2026.4.9 現在

明海大学浦安キャンパスメディアセンター洋書案内

欧米のベストセラー作家の小説（原書）を、2 週間（2 回連続で、４週間）借りることが出来ます。これからも、毎月一冊のペースで紹介して行きます。

問い合わせ先

坂戸キャンパスメディアセンター：**Tel 049-279-2716**

浦安キャンパスメディアセンター：**Tel:047-350-4997**

107 冊 “The Portrait” by Danielle Steel (299 pages) published in 2025 Macmillan

第一章：チャールズ・マッケンジー・テイラーが、父パトリックの葬儀場に立っていた。サンフランシスコ　グレイス　カテドラル　コーアが讃美歌を歌っていた。父は、祖父が設立したカリフォルニア最大のゴールデン　ステート商業銀行の頭取・兼会長であったが 85 歳の時、癌で急死した。唯一の息子のチャールズ（チャーリー）は、会社の運営には全く興味がなく、父とも折り合いが良くなかった。父親の後釜として、いやいやながら会長を務めていた。役員会のメンバーは、保守的であり、革新的ではなかった。チャーリーは、49 歳になり、プリンストン大学でデリバリーサービスなどの新しいことに挑戦したかった。チャーリーは、26 歳の時、５歳年上のニューヨークの銀行業者の一人娘のファーユと知り合った。二人は、ラスベガスへの旅行がきっかけとなり、電撃的な結婚をした。やがて、一人息子のリアムが生まれた。二人はそれぞれ仕事を持っていたので、ベビーシッターを雇い、独立した生活を楽しんでいた。チャーリーは時々浮気をしていたが、子供の養育のために、離婚はしていない。チャーリー、ファーユ、リアムは棺が運ばれるのを見ていた。ファーユは、父の秘書と数百名のレセプションを企画していたが、チャーリーは乗り気ではなかった。チャ―リーは、ＮＹで 20 件のファーストフードレストランを開設する予定であった。22 歳になったリアムは、イエール大学で建築の研究を始めようとしていた。チャーリーは、幼馴染で弁護士をしているアダム・スタインから、マギーが家を建てる資金を貸してもらえないかと尋ねられた。チャ―リーは妻との折り合いが悪く、満足のゆく結婚生活を営むことができないでいた。

　デヴォン・ダーシーは、NY のハドソン川近郊のウェストサイドのタウンハウスの最上部の 2 階に住んでいた。デヴォンは、6 歳の時、火災に会い、教師をしていた両親を失った。16 歳になるまで、母方の祖母により育てられた。祖母の財産のおかげで、パリ国立美術学校エコール　デボザールに通うことができた。22 歳の時、２歳年上の孤児の彫刻家のジャン・ルイと結婚し、アクセルを生んだ。夫は、子供の養育費を稼ぐため、居酒屋で働いた。バイクを運転していた夫は、バスと衝突して死亡した。アクセルは、５歳の時に髄膜炎で死亡した。一人になったデヴォンは現在、42 歳になり NY に戻ってきた。

第二章：葬式のレセプションを終わらせたチャーリーは、自分の肖像画の作成を勧められ、いやいやながら承諾した。リアムのヨーロッパ行きを見送った後、チャーリーは、NY のセントラルパーク近くの 5 番街にある 60 階建てのテラス付きアパートに向かった。夜一人、星空を見上げ、ワインを飲んだ。カリフォルニアよりも NY が好きだ。朝、医療関係に詳しい旧友のテッド・ベ

ーカーと、新しい取引のことで相談した。夕食前に、一緒に、アートギャラリーに行くことになった。そこで、チャーリーは、デヴォンと出会あい、その緑色の目に一目おぼれしてしまった。電話で、30 分だけ会う約束をとることができた。7 か月後に、肖像画の作成を依頼した。

第三章：チャーリーの息子のリアムは、ノルマンジーの森を歩いている時に、木の根っこにつまずき、踝を骨折した。リアムは、イースト・ハンプトンで療養している時に、自分に目覚めた。

第四章：リアルは、父と生活し、自分を取り戻そうとした。チャーリーは、リアルに妻との出会い、現在の夫婦生活の現状を伝えた。そんな時、本屋で、偶然、デヴォンと出会った。デヴォンに製作所を見に来ないかと誘われた。リアルは、デヴォンが 30 歳位の若々しく魅力的な女性であると思った。踝の傷もほとんど回復した。チェ―リーは、ヨーロッパに帰るリアルを見送った。

第五章：チャーリーとデヴォンは、これまでの結婚生活について話し合った。二人は、お互いを理解し、恋愛を受け入れることにした。

第六章：チャーリーは、仕事が忙しくなり、毎日夜遅くまで働いた。そのため、デヴォンへの連絡を怠り、二人の間に亀裂が入った。

第七章：ファーユは、強靭で苦労したことがない。両親も、祖母も健在であった。それに引き換え、デヴォンは家族が死別し弱い。実は、チャーリーも 13 歳の時、母を亡くしている。久しぶりにリアムは、ハンプトンに戻ってきた。チャーリーは、リアムと朝食を取り、事務所で夜中まで働いた。チャーリーは、飛行機内でデヴォンにメールを送った。デヴォンは、一夜考えてから、夕方の 4 時にビーチで会うことを承諾した。デヴォンは、アクセルが水膜炎を起こし、高熱発作で死んだことを教えた。9 月の労働者の日に、彼らは、ボートで 3 泊過ごし、二人だけの時間を楽しんだ。お互いに強い者同士だ。来年の 1 月に NY で再会することを約束して別れた。

第八章：チャーリーは、レストランの数を着実に増やしていった。ファーユは、54 歳になり、アスペンで、ゆっくり過ごしたかった。一方 49 歳のチャーリーは、仕事に対する情熱を依然として持っており、まだ頑張りたかった。夫婦は別々の生き方をしており、ただの同居人と変わりがなかった。チャーリーは、地球と植樹が好きな息子には、好きなことをさせたいと思っていた。彼は、立派な園芸技術者になるだろう。息子は、フランスでガールフレンドをみつけたようだ。

第九章：デヴォンは食料品を買い込んで、チャーリーとの再会の準備した。チャーリーは、花束を持って NY のデヴォンのアパートにやって来た。２階に駆け上がり、抱き合って喜んだ。デヴォンは、チャーリーの母親同様、こまごまとしたことに気を使い、家のこと、主婦がすべきことをきちんとした。いつも、ケータリングで、豪華な食事を頼むファーユとは大違いだ。二人は、辻馬車で、セントラルパークに着いた頃、雪が舞い始めた。次に会えるのは、５か月後だ。

第十章：チャーリーは、デヴォンと別れ、ひとり、カリフォルニアのアサートンにある家に戻ってきた。デヴォンからひっきりなしにメールが届いていたが、返事はしなかった。アスペンから帰って来たファーユとは相変わらず他人同士のような生活であった。寂しくなり、夜こっそり、バーに行き、若い女の子に 200 ドル渡して、遊ぼうとしたが、結局、何もできず、別れた。これからどのような生活をしたらよいか思案に暮れていた。そこで、友人のアダム・スタインに会い、相談した。彼は、デヴォンと結婚することを勧めた。

第十一章：デヴォンは、若い魅力的な俳優ブランドン・イェーツの肖像をクリスマスの日に完成させた。ブランドンは、デヴォンにダイアモンドの腕輪をプレゼントした。リアムは、クリスマス期間に、チャーリーの家にやって来た。踝は大分回復したが、まだ完全復帰ではなかった。リアムはデザインに没頭していた。また、同じ女性と付き合っていた。ファーユは、豪勢な会食を

ケータリングで用意した。夫妻は、リアムにロレックスの時計を、チャーリーは、ファーユにスキーとフード付き防寒着を、ファーユは、チャーリーにセーターをプレゼントした。ファーユは、「これからの人生は、それぞれ離れたところで働くべきである。自分は、好きな人たちとスキーをしたい。子供も独立しているので、家を売って、離婚をすること」を提案した。チャーリーとリアムはもちろん賛成した。

第十二章：デヴォンは、塗料を落とす時に使用する液体を手に持って、流しに捨てようとした時、つまづき、目の中に入ってしまった。急に眼が痛み出し、視界が閉ざされた。痛みに耐えられなくなり、財布に入っていた携帯を取り出し、911 に電話し救急車を呼んだ。担架で NYU 病院に運ばれ、塩類溶液で目を繰り返し洗われ、手に着いた液体を洗い流してもらった。眼科長のアレン博士によれば、「目に入った液体には、水酸化ナトリウム、アンモニア、水酸化カルシウムが入っており、数分で角膜が傷害される。抗生剤やステロイド軟膏を使用すれば、皮膚の火傷は治るだろうが、今回のようなグレード III の火傷の場合は、失明の可能性も否定できない」。研修医のルイーズ・ロバト医師が処置を行った。連絡先を訪ねられたが、チャーリーとは音信不通であるので、「いない」と答えるしかなかった。そこで、マディソン通りのキングスレイ　ストーン画廊のエドワード・ストーンに連絡をしてもらい、病院に運ばれたことを伝えてもらった。エドワードは病院に来てくれた。エドワードは、二人の看護婦に、一日中、デヴォンの世話と監視をするように図ってくれた。チャーリーは、離婚の話が進んでいることをデヴォンに伝えたかったが、連絡できないでいた。エドワードからは、肖像画の制作の中止とお金の返済の通知が届いた。チャーリーは絶望した。デヴォンは、聴力は幾らか回復したが、まだ見えない。チャーリーは、デボンがリハビリテーションセンターに回されると聞き、絶望した。

第十三章：チャーリーは、小さな家を自分とリアムのために買うために、アサートンの家を売りに出した。ブランドン・イェーツは画廊を訪れ、デヴォンが病院にいることを聞いた。ブランドンは、デヴォンに会いたかった。また、デヴォンのボーイフレンドは、どうなったか気になっていた。エドワードは、ブランドンの介助犬のウェンディと病院長の手紙をもって、病院の中に入った。デヴォンは、エドワードの香水の匂いで、彼が来てくれたことを知った。「バレンタインデー、おめでとう」。デヴォンは、少しずつ人の姿が見えるようになった。バレンタインの日の奇跡だ。

第十四章、３カ月が経ち、視覚がしっかりしてきた。ブランドンは、映画のフィルムの仕事が入ったので、カルフォルニアに去って行った。デヴォンは、アレン博士に、６月までは、３時間程度なら、絵を描いてもよいと言われた。その後、さらに調子がよくなれば、一日中好きなだけ、描けると言ってくれた。デヴォンは、チャーリーの絵を少しずつ描き始めた。そして、完成版を、チャーリーのカリフォルニアの家の方に送った。チャーリーは、絵を受け取り、デヴォンに御礼をしたかった。デヴォンが一時病院にいたが、復帰したことを聞き、会う決心をした。

第十五章：デヴォンは、ウェンディ―を連れてハンプトンズのビーチを歩いていたら、偶然チャーリーに会うことができた。離婚の手続きが間もなく終わることを告げた、そして、長い間連絡を取らなかったことを詫びた。チャーリーは、家でワインを飲まないかと誘ったら、デヴォンは、少し考えたあと、うなずいてくれた。

106 冊 “The Waiting” by Michael Connelly (487 pages) published in 2024 Orion

月曜日 7:28AM: レニー・バラードは、南カリフォルニア沿岸の崖のあるドッグウェイラービーチでサーフィンを楽しんでいた。車に乗って帰ろうとした時、携帯、拳銃、財布、バッジ、ID カードが盗まれていることに気づいた。ロサンゼルス市警察のアーマンソンセンターの玄関から中に入れないので、新しい携帯でコリーン・ハターースに連絡を取り、非常口から入った。バラードは、ロサンゼルス市警察で迷宮入り事件を担当しており、ボランティアからなるチームのリーダーであった。部下の一人、コリーン・ハターースは、警察官ではないが、法執行への応用に関するオンラインコースを受講した、２児の母であり、遺伝子系図にはまっている。

ウェストバレーの重罪家庭内犯罪課により男が逮捕された。精液を綿棒でとり分析した結果、アビー・シンクレア事件と一致した。世紀が変わってから５年間、強姦犯が、次々と就寝中の女性を枕カバーで顔を抑えつけて目隠し、凌辱して、プラスチック製のスナップタイで手足を縛り、逃走していた。その事件は、瞑想入りしていた。2000 年 1 月 29 日生まれのニコラス・パーセルは、9 週間前に、重罪で、逮捕されている。彼は、女友達の 21 歳のサラ・サンタナに危害を加えた。DNA 鑑定の結果、新たに、ニコラスの父親で、ロサンゼルス上位裁判所の裁判官のジョナサン・パーセルが容疑者として浮上した。バラードは新しくクレジットカードをリクエストした。バーバラはトゥトゥが、ホスピスで静かに息を引き取ってから、不眠に陥り、不眠症の権威のキャシー・エリンバーグ博士に相談に行った。バーバラの父は溺死し、母は、ハワイ島のマウイに一人で住んでいる。大火災に会い、消息が途絶えていた。自分自身が心的外傷を受けてしまい、キャシーに会いに行った。「水は救いである。できるだけ、サーフィンをすること」と言われた。容疑者のパーセルなどの法務執行官や裁判官は、住所や連絡先を公開していない。そこで、バーバラは、未解決事件捜査班を率いて、パーセルを尾行して、パサダナにある彼の家を見つけた。外で待機していたら、パーセルは、紫色のパンツスーツを着用した、奥様と思わエる女性を車に乗せ、どこかに行こうとしていた。バーバラと警察官のマッサーは、二人の入ったレストランに忍び込んだ。そして、トイレで口紅をぬぐった紙をこっそり、持ちかえって、DNA 鑑定に渡した。

火曜日 12:14 A.M.：バラードは、夜間、空港で荷物送達係をしているセス・ドーソンから「バラードが盗難にあったと同じトガンビーチで、父からもらったブライトリングのウォッチとセルフォンを盗難され、更に３名も盗難にあっている」ことを聞いた。バラードはすぐ現地に向かった。見晴らしの良い崖の上に登ると、駐車場とビーチがよく見渡せた。多分犯人は、ここから窃盗の機会を伺っていたのだろう。レッドブルエナジードリンクの缶の中に、タバコの燃えさしがあったので、それを、DNA と指紋の鑑定に回した。短期間犯罪歴のあったディーン・デルセイの DNA が検出された。また、出生届から、ニコラスは、ジョナサンとヴィヴィアン・パーセルの子供であることが記載されていたが、DNA と指紋の鑑定を待つ必要があった。バーバラは、自動車のフロントガラスから双眼鏡で、デルセイのアパートを見ていたら、バルコニーで、ディーンがマリファナたばこを喫っているのを目撃した。彼を逮捕し手錠をかけ、問い詰めたところ、窃盗を認めた。バッチは、ライオネル・ボーデンに渡ったが、誰かに売り払った後であった。

水曜日 11:15 A.M.:バッチを買った男は、40 歳を少し過ぎた顎鬚の濃い男であった。サングラスをかけていた。白いライトバンの後部座席には車椅子が置いてあった。プレートはなく、唯一ニューメキシコ州特有の黄色地に赤字で蛇の柄の入ったガズラン旗が貼ってあった。それは、アメリカの自由と個人の権利を主張するものであった。何故、警察のバッチとピストルを買ったのか

だろうか？その男は、車を走らせたので、バーバラとボッシュは、追跡した。キャッスルロックのビーチに着いた。バーバラは、駐車場でおり、男を探した。窪んだ崖にキャンプファイアーをしていたグループを見つけた。何台かのキャンプカーがあったが、バラードは、そのうちの一台に入り込み、車中に機関銃を見つけた。そのうち、二人の男性が中に、入り込んで来た。バラードは二人の会話を聞き、盗んだ機関銃を何かテロ活動にでも使うのではないかと思った。しかし、何ゆえにバッチが必要なのか不明であった。バラードは、ユニット 22 の税金記録 2012-2022 と書かれた 4 箱にトーマス・デヘイヴンという名前の記載があることに気づいた。。ボッシュは、ユニット 23 の白い宝石箱の中に、金銀のブレースレットとイヤリングを見つけた。

木曜日、8:39A.M.：バラードとボッシュとカフェで、ロス警察の逃亡者担当をしていたゴードン・オルムステッドと出会った。バラードはオルムステッドに、ビーチでサーフィンをしていた時、妻の殺害歴のあるトーマス・デヘイヴンからバッチを盗まれたことを話した。そして、バッチを取り返して欲しいと言った。ボッシュの娘のマディーもバーバラの未解決事件捜査班に参加することになり、バーバラは皆に彼女を紹介し、机を与え、週 4 日間の給与を捻出することにした。土曜日の朝は、ビーチの日で、多くサーファーが集まるだろう。マディーは、ボーイフレンドのアパートに移動した時、家具類をエコーパークにある貯蔵ユニットにしまっておいた。この家は、100 年以上前に、建てられ、オーナーは、高齢のナンシー・ポーター婦人から、ワックスマンに代わっていた。このユニットには、独身者で写真家エミット・ソーヤーが住んでいたが、殺されていた。ソーヤーのユニットのキャビネットには、ブラックダリア事件で殺されたエリザベス・ショートの白黒の写真が見つかった。情報シートには、ソーヤの運転免許所と、誕生日 1924 年 1 月 7 日が記載されていた。エリザベス・ショートが誘拐され、殺害されたのは、ソーヤが 23 歳の時である。彼が殺したのだろうか？

金曜日、9:21 A.M.：バラードとボッシュは、サリー・バーンズ夫人の家宅捜査を始めた。サリーと夫ブルースの間には、二人の息子がいた。キャビネットの奥に、地下に通じる階段があった。ルミノールは、血液中のフォスフォ（エネルギーを吸収して発光する物質）と反応する。バラードは、床のコンクリートルミノールを噴霧してから UV の代わりに TV を照射すると青色を発した。床の濃青色の蛇行している形状は、写真に写っている形と酷似していた。写真には、彼女が頬から口まで切り裂かれた姿が映っていた。オークランドにあるマウンテン墓地からブラック・ダーリアの墓を掘り起こし、DNA 鑑定に回した。ここで、セシリーはじめ、エリーセ、サンディ、デブラ、ウィラ、シーヴォン、ロレーヌの写真が撮れ、殺されたようだ。一方、ニコラス・パーセルは、ジョナサン・パーセルとヴィヴィアン・パーセルの間にできた子供ではないことが判明した。これは、出生記録と異なるため、ニコラスは養子である可能性が生じた。再び、枕カバーレイプ魔事件について、ジョナサンは、少女に妊娠させたことを告白した。その少女は死んでいる。トーマス・デヘブンとフレドリック・スタンデーと 4 名の共犯者は、FBI 密告者から機関銃を買い、国民の祝日にマリブ埠頭に集まった群衆に発砲しようとしていたことが判り逮捕された。

土曜日、7.22 A.M.: デヘブンはボッシュと乱闘の末、アスファルトに倒れ、息絶えた。首に巻いていたバッチをバラードに返した。それは、バラードがなくしたバッチであった。

日曜日、1:00 P.M. 車両管理局(DMV)にある記録を基にロビン・リチャードソン宅を訪問した。妻が在宅であり、娘のマロニー・リチャードソンの高校の卒業アルバムを見せてもらい、自殺したマロニーが付き合っていた男性がロドニー・ヴァン・ネスであることを発見した。

月曜日, 9.54 A.M.　ファニング・フォード夫人は 80 歳を過ぎていたが、まだ健在であった。彼女は、新聞で、 大柄な娘エリースは死去していたが、エリースの小柄な妹マーサの娘、つまり、孫娘が生きていることを知り、ズーム会議に応じてくれた。写真を見せたところ、92%の確立で、エリザベス・ショートであることが判明した。スーツケースの内容物は安全な保管倉庫に保存されているが、調査ファイルは殺人課などのファイルキャビネットに保管されてるので大勢の人がアクセスできる。バーバラは、マウイ島にいる母の安否が心配である。母がこちらに来ることはなかった・ジャッキー・トットは、旧友のマロリー・リチャードソンの調べられていることを知った。エンマ・エルシェガ（結婚してエンマ・セプルベガに改称）も友人であった。2 年先輩のロドニー・ヴァン・ネスは、卒業ダンスパーティでマロニーと知り合い、性的関係を強要したのではないだろうか？25 年前の卒業写真には、ロドニーとビクター・ベストが映っていたが、マロニーは映っていなかったのは何故であるか、この二人に聞くつもりだ。マディーは、トッドに、エンマ・セプルベーダの連絡先を教えてくれるように頼んだ。コリーンは、「同じく失踪している歌手のウィラ・ケニヨンの両親とボーイフレンドのアドルフォ・ガルベスは死んでいるが、アドルフォの息子と孫は、ロサンジェルスに住んでいるので聞いてみた方がよい」と述べた。ケニヨンは、歌手として昇格されたいために、写真家のソーヤーに近づいたのだろうか？バラードは、ロドニー・ヴァン・ネスにいろいろと聞きたいので、ボッシュと一緒にラスベガスへの旅費を、キャプテンのギャンドルに頼んだ。コリーンは同行したいと申し出たが、休息を取らせることにした。バラードは、ソーヤーが撮ったエリザベス・シューレの写真をスーツケースにしまった。

火曜日, 6:25A.M.　バラードは、セス・ドーソンを呼び出し、ズマにあるサーファー場で会うことにした。波乗りを楽しんだ後、バラードは、ドーソンが盗難にあったブライトリング時計を、渡してあげた。盗人がフェンスに置いた時計を持ってきたと説明した。ドーソンの感謝の言葉を聞きながら、別れた。バラードは、皆を集め、枕カバー事件とブラックダリア事件についての検討会を開いた。エリザベス・ショートが殺害され、彼女のスーツケースがバスターミナルのロッカーで見つかった。その中のブラジャーとパンティーの十字縫いのパターンが、ファイルの中の写真の下着のパターンと同じであった。これらの結果をもとに、バラードとマディーは、エミット・ソーヤーが、ハリウッド有望株のエリザベスの写真アルバムを撮るからと言って誘い、殺したのだと結論した。しかし、LA 裁判所の地方検事代理のキャロル・プロヴィクは、92%は確かだが、決定的な証拠がないと言った。

水曜日, 10:22A.M.　バラードとマディーは、ギャンドルから許可をもらい、ラスベガスに着いた。クレオパトラ・カシノ・レゾートで、セキュリティ監督者のロドニー・ヴァン・ネスの後任のマーティ・ブランチに会い、ネスの居場所を聞いた。ヴァン・ネスに、25 年前の卒業パーティに写真を見せ、マロリーが殺害された夜のことを聞きたかった。ヴァン・ネスはマロリーとセックスをし、妊娠させた。その後、写真に写っていた二人が彼女を殺した可能性があった。バラードは、キャプテンからメールが届いた。「ラスベガス行きの許可をもらってから、ラスベガスに着いたという言い訳をした。ヴァン・ネスは、DNA 鑑定のための swab test を引き受けてくれたので犯人ではないと思う」。首席検察官のアーネスト・オファロンは、ソーヤーの有害決定は証拠不十分であると言ってきた。キャロル・プロヴクは、降格を恐れて、オファロンに判断をゆだねてしまった。

木曜日 9:12 A.M. キャプテン・ギャンドルから、「今朝のタイムズ誌のリポーターから連絡があった。ローラーホッケーしている傍観者の子供が撮ったビデオが送られてきた。彼は、ボッシュが語りかけているバラードに似た女性を抱きしめポケットに何かを入れたので調べて欲しいと言ってきた」。バラードはそれを聞き、困り果てていた。その時、マディーが、耳たぶ、耳輪、耳甲介の写真判定専門の会社を教えてくれた。早速、FFI のルーセル・オルティースに連絡して、時間単位の支払いでお願いした。困った時に頼りになるのはハッテラスだ。彼女は、ハワイのコナ（ハワイ島）にあるオルオルレストランのウェブサイトに約 20 年料理長兼マネージャーをしているビクター・ベストの写真が写っているのを見せてくれた。バラードはオアフ島に住んでいた頃、ジャーナリズム学校に通い、リポーターをしていた。アンディー・ウィリアムスは、パサディナのセント・ヴィンセントを 1999 年に卒業している。ベストが何時、カリフォルニアからハワイに移ったかを聞き出した。ギャンダルから、ビデオを見せてもらった。ボッシュは、バラードのコートのポケットに、ロス警察６課（ハリウッド地区）が発行した鎖のついたメダルを入れた。そのメダルには、聖ミシェル（警察の後援者）が描かれていた。ギャンドルは、ジャケットが汚れているのはなぜかと質問したので、銃撃戦の時、ボッシュの所に行こうとして、堤防から落ちたからと説明した。グギャンデルは、バアードを契約から外すことを命令した。バラードはギャンドルに考え直してもらいたかった。警戒・監視・注意通知システムより、バアードの母が、ハワイ島のワイルク町の厚生・社会復帰施設にいることを、聞いた。

金曜日 9:00A.M. FFI（映画鑑識研究所）から、二人のテクニシャン（ポール・バックレイ、ジェイムズ・キャンプ）が、ソーヤーの写真に写っていたのは、エリザベル・ショートであると結論した。コリーン「３人の居場所が分かった。ウイークスは、エクスタシー摂取＋飲酒運転による車両事故で死亡していた。」バラードは、コリーンの様子がおかしいと思った。彼女の家に行った。呼んでも返事がなかった。ガレージと家の戸は開いていたので、中に入ったら、家族の写真が置いてあった。彼女の首には電気コードが巻き付けられ、殺されていた。コリーンは十分な訓練を受けていなかったが、捜査に参加したかった。バラードは、「誰かがマロニーの部屋に入り込み、性的暴行を受け、妊娠した。その結果生まれた子供が 24 年後に逮捕させた」という仮説を立てた。ラスベガスに行った男の DNA 鑑定を行った。他の三名に内一人は、死亡している。ハワイに行った男は多分違うだろう。残るは？」。コリー・ハタラスのパソコンもバックアップのハードドライブも盗まれていた。バラードは、アンダース・パーソンに電話で、コリーンのアカウントに入り込み、コリーンが誰と電話のやり取りをしていたかを調べるよう、頼んだ。キャロル・プロヴィクは「オファロンは、耳の判定に疑問をもっている」。エリーゼの妹は 80 歳だが、姉を殺した犯人が捕まるのを待っている。この事件は迷宮入りになっているが、まだ終わってはいない。ハタラスは、フォード家を調べていたのを思い出した。ハタラスは、アンドルー・ベネットと 30 分話している。ゴーリングが入って来た。近所の防犯カメラによると、俯いてフーディーを着た男が、ドアをこじ開け、家の中に入ってきた。ハタラスのパソコンを開いてみると、犠牲者の名前が載ったファイルが見つかった。ハタラスが残した遺伝子系図の解析を、ゴーリングにお願いした。

土曜日、8:42 A.M. バラードは、ベネットの家の前で双眼鏡を片手に、見張っていた。バラードは、ベネットが運転する車を追跡した。ベネットは、海が見える見晴らしの良いサンセット・リッチは丘の上で、売家のオープンハウスを始めようとしていた。家の中には、誰もいなかった。ベネットが入ってきた。バラードは家の見学の目的で入ってきたと説明したが、ベネットは、ハ

タラスとの関連性に気づいたのか、ピストルで威嚇してきた。バラードは、弾倉には銃弾が入っていないことを既に調べがついていたので、ピストルを取り出しベネットを逮捕した。

日曜日、12:00 PM、記者会見が行われた。警察署長のカール・デトリーは、DNA 診断の結果、世間を騒がせたレイプ魔のアンドルー・ベネットが逮捕されたこと、彼の逮捕に貢献したコリーン・ハタラスが殺されたことを発表した。バラードは、「ハタラスは、２年前から我々の班に、ボランティアとして参加していた。彼女は何も悪いことはしていない。何故、犯人がハタラスに近づいたのかも、どうして殺されたかもわからない。私が守ってあげられなかったのは、私の責任である」と述べた。テトリーは、逮捕にこぎつけたバラードを称賛した。DNA 診断の結果により、この事件は解決するだろう。未解決事件捜査班は円陣を組み、ハタラスの冥福を祈った。

エピローグ：　バラードは、1 週間ハワイで休暇をとることにした。５時間のフライト、３時間のドライブで疲れ果て、熟睡していた。そんな時に、マディー・ボッシュからの電話が鳴った。Times に、記者会見の時、自分が、ブラック・ダーリア事件を漏らした責任を取らせられたと言った。ギャンドル・キャプテンからも同じ内容の電話が届いた。LAPD チームは、６年前に亡くなった写真家、エミット・ソーヤが、エリザベス・ショート、つまり、ブラック・ダーリア、の身体を切断しさせた犯人であることの証拠を見つけた。これは、全米を震撼させ、書籍、記録、フィルム、テレビで取り上げられた。当時 22 歳であったショートは、ハリウッドの酒場、ダンスクラブのホープであった。タイムズ誌は、1947 年 1 月 15 日、彼女の死体が、レイマート公園の地区のノートン通りで見つかり、エミット・ソーヤが容疑者として浮上したが、証拠不十分のため、２度、却下されたことを報告した。マデリーン・ボッシュが、ボランティアで、自分が借りていた倉庫の中に、ソーヤの所持物が納めらていたことを見つけた。その中に、エリザベス・ショートを含む数人の女性の死体の写真が残されていた。DNA 解析の結果、90%以上の確率で、犠牲者の一人は、エリザベス・ショートであると結論した。これらの写真は、1940 から 1950 年代に撮影されたものだった。ソーヤは、ハリウッドの芸能人の顔写真などを撮っていた。未解決事件捜査班は、１週間前に、検察官に起訴状を送り付けたが、アーネスト・オファロン地区検察官は、証拠不十分で取り却下した。フィルム鑑定研究所のポール・バックレーは、耳の写真鑑定より、被写体の女性は、ショートであると主張したが、オファロンはまた却下した。LAPD ウオッチのブログを開設しているジャクリーン・ゲイザーは、嘆いた。LAD のデトリー警察長と、オファロンの仲違いのために、決まるものも決められないのだ。

バラードは受話器を置いた。アンダーソンは、良い仕事をしてくれた。マディーも残ってくれてよかった。バラードは、地図を広げ、車で、母の住んでいるところに向った。

105 冊 “Resurrection Walk” by Michael Connelly (469 pages) published in 2023 Orion

序章：　私（ミッキー・ハラ―）は、高級車リンカーンの後部座席をオフィス代わりに使うため、リンカーン弁護士という愛称で呼ばれている。ここコルロラン ステート刑務所に 14 年間、無実の罪を着せられ、仮釈放なしの終身刑として働かされていたジョージ・オチョアを引き取るために、彼の母親と弟と共にやってきた。午後５時に、ニュースステーションの関係者や、マイクを持ったカメラマンの中を、ジョージが出てきた。ジョージは、母親と抱き合い、私もお祝いの言葉をかけた。私は、同行していたハリー・ボッシュ捜査官に御礼を言った。ボッシュとハラ―は、父親が共通の腹違いの兄弟である。

ルシエンダ・サンスの手紙の最後に「弁護士は、有罪を認めなさい。さもないと、ルシエンダは、法律により処罰されますよ。」と書かれていた、手紙の裏に、チノのインテルユイットの誰かを意味する数字が書かれていた。前夫のロベルトは子供の父である。ボッシュは、ハラ―にルシエンダの手紙を見せ、彼女はどのようにして夫を殺したのか？過失致死（殺意がないのに、不注意に人を殺してしまうこと）を主張している。誰が殺したかも書かれていない。ボッシュは、癌治療で聴覚を損傷した。

ボッシュは、様々な事件解決に奔走している。アーマンソンセンターには、ロサンゼルス市警察の主要な建物と訓練所がある。そこには、1960 年からの 6000 件に上る未解決事件の資料が保管されている。ルネ・バラードが机に座っていた。遺伝学・系譜学が専門のコリーン・ハテラスが別のパーティションで作業していた。ハラ―は、ボッシュを雇い、個人的な健康保険と UCLA の臨床試験ができるようにしている。ジェニファー・アロンソンは、マイケル・ハラ―法律事務所の仲間である。北方にある郡の主な少年拘置所は、サンフェルナンドバレーのシルマーにあった。アロンソンの姉妹の息子のアンソニー・マーカスは、16 歳で、ウッドランドヒルズで警官を射殺した事件の公聴会があった。マーカスは自分は撃っていないとジェニファーに主張した。ハラ―は得られた情報を、ロルナに e-mail で送って印刷してもらうよう指示した。ハリーが 30 分で見てくれるだろう。ボッシュはしぶしぶ引き受けることにした。「もし、更なる仕事が必要ならシスコ（ハラ―と仲間達の長年捜査官を務めているデニズ”シスコ“ヴォイチェホフスキ）に連絡して下さい」。ボッシュは先ず事故報告書から調べた。子供の名前は、アンソニー・マーカスであった。彼は、シルマーにある少年拘置所で 17 歳の誕生日を迎えていた。彼はパトロール中の警官カイル・デクスターを、デクスターの銃で撃った。報告によると、デクスターとパートナーのイボンヌ・ギャリティーは、ウッドラントヒルズのカリファ通りで、家に強盗に会ったという通知を受けた。デクスターは、犯人を通知し、追いついた時、バックアップの警官に所在地を教えていた。容疑者が捕まり、アンソニー・マーカスと分かった。マーカスは、ガールフレンドの家で密会をするために、歩いていたら、事件の現場に遭遇した。デクスターが倒れた時、何が起こったのかわからなかった。ボッシュは、レポートを読み、グーグルマップで、たどった足取りを探った。FID（国際ドキュメンテーション連盟）の医学書を見た。FID には、全ての警官が絡む銃撃事例が、たとえ警官が犠牲者であっても記載されている。デクスターは 2 回、同じ銃弾で負傷している。銃弾は、右のふくらはぎから靴、足の方へかすれた。ワーナー医学センタ―の緊急治療室に入り退院した。報告書には、マーカスの服装、コンドーム、彼の手に銃弾の痕跡が書かれていた。デクスターとギャリティの無線には、容疑者が拘留中に撃たれたことが書いてあった。

さて、本小説の主題であるルシエンダ事件に戻ろう。ルシエンダ・サンス(34 歳)は、ロサンゼルス上位裁判所で過失致死一件を争わない。ルシエンダと息子が住む家の前の庭で夫ロベルト・サンスがうつ伏せになって殺害されていたが、ルシエンダは、無実を主張している。ボッシュは、ロサンゼルス上位裁判所の地下３階にあるシヴィック・センターの保管庫で、事件調書を調べた。供述内容は資料により一致していない箇所も見つかった。ロベルトは、一発で倒れ、二発目が留めの一撃になった。腰の出っ張った部分に Que Viene el Cuco（ブギーマンがやってくる）と書かれた入れ墨が見つかった。

以前、ルシエンダの事件を担当した弁護士のフランク・シルバーは、ルシエンダに対して何もできなかった。そこで、ハリーは、シルバーに会い、ルシエンダ事件に関する過去の書類を貰った。ハリーは、ガブリエラ・サミュエルズ、男弁護士ゲーリー・バーネットとルシエンダの会話記録を読んだ。そして、本当にルシエンダが夫のロベルトを殺したのか確かめることにした。ハリーは、ルシエンダに会い、ハリーが責任をもって依頼人のルシエンダを応援すると誓った。ルシエンダは、自分のことをシンディーと呼んでくれと言ってくれた。ロベルトは、離婚する前に複数の女性と知り合っていた。ハリーとボッシュは、ルシエンダの「自分は夫を殺していない」という供述は、嘘ではないと確信し始めていた。ボイルハイツのモット通りにルシンダ・サンスが育った家を訪れた。ルシンダの母親のミュリエル・ロペスの家も近隣の家の多くも、ならず者から身を守るために前庭に垣根があった。ルシエンダの弟のカルロス、従弟のシーザー、そして、小柄な弟のエリックに会った。エリックは、父には、マティルダ・ランダスという女友達がいることを教えてくれた。ミリュエルに聞くと、マティは、売春婦であるそうだ。

ハリーは、ボッシュと共に、尊敬する弁護士デビッド・シーゲル(1932-2022)の碑を訪れ、ジョージ・オチョアの無実を証明して、復活させた時、アドレナリンがたくさん出た時の高揚感を思い出した。今回の事件にも全力で取り組もうという意欲が湧いてきた。ボッシュは、エドワード・コールドウェルの調査もしたい気持ちであった。ボッシュの娘のマディーは、父が、骨髄性白血病の治療のためルテチウム 177 放射線の点滴を受けていることを担当医のオースティン・フェラスから聞き、抗がん剤の副作用で疲れ果てた父を迎えに来た。ボッシュは、いろいろな事件解決に生甲斐を見出しており、止める気持ちはない。シスコからマティルダが氏名を、マディソン（マディ）・ランドに変えていることを教えてもらった。シスコが、本屋に入る彼女を教えてもらい、ロベルトが殺された当日の情報を聞き出すことができた。ハリーは、ルシエンダの前弁護士フランク・シルバーを問い詰め、シルバーが警察関係者から、ルシエンダがロベルトの殺人を促されてこと、また、上層部のアンドレア・フォンテインがならず者と関係があることが判った。ブッシュそして、ハリーの家に何者かが侵入し、荒らされ、パソコンも破壊された。ルシエンダが法廷に呼ばれた。コエーリョが裁判長を務め、ハリーと、検察側のヘイデン・モリス弁護士の一騎打ちとなった。シルバーも最初だけ、挨拶したら、モリスは嫌な顔をした。この事件を担当していた 7 名の巡査の中で、若輩者のステファニー・サンガ―が急に、巡査部長に昇格したことが腑に落ちなかった。モリスは、サンガ―が証人にさせられた時も、機嫌が悪くなった。ルシエンダは、夫のロベルトから銃の打ち方を習ったが、夫を殺してはいないと主張した。ハリーは、サンガーが、調査団が到着する前に勝手に、銃弾の痕跡を調べていたことを聞き出した。ロベルトの腰に入れ墨がある写真を提示し、ルシエンダの夫がならず者と接点があるのではないか、そして、サンガーにも入れ墨があるかどうか問いただしたら、サンガーは不安を隠せなった。入れ墨があるかどうか尋ねたら、一瞬ギョッとした。怪しい。特殊作戦報告システム（SORS）にリンクするサンガーの電話番号を教えてくれと言ったら、モリスは動揺した。ボッシュ、ハリー、シスコは、イザベラの兄のマックス・モーダーに会ったが、参考になる情報は得られなかった。ハリーは、証人として、法医学が専門のシェイミ・アルスレイニアン博士を法廷に呼んだ。彼女は、ロベルト殺害時の写真をコンピューター解析したものを映写した。ロベルトに銃弾が撃ち込まれた銃痕の角度から、ルシエンダよりも遥かに背の高い人物から銃弾が発射されたことが判明した。犯人は、ルシエンダではないと主張した。モリスは声が出なくなった。休憩をはさみ、モリスは、AI を法廷に持ちこむことは禁止されていると指摘され、ハリーの試みは失

敗に終わった。次に、ボッシュは、GSR（射撃残渣）を使用し、サンガーが、ロベルトと殺人が行われた直前まで一緒にいたことが判明した。ハリーは、コエーリョ裁判長に、事件解決には、ルシエンダの DNA が本当に、回収資料に付着しているか否かを調べるべきだと言った。以前、ボッシュに家が何者とが侵入して家の中が荒らされたこと、そして、つい最近、自分の家も、同様に荒らされ、おまけに、パソコンが使用不能になったことを伝えた。事件の緊急性を感じたか、裁判長は秘密裏に捜査するように指示した。公判の前日、ハリーは、ルシエンダチームを会食に誘い、気勢を上げた。その夜、自宅に、黒い覆面をしたマックアイサックと名乗る男が侵入し、この事件には関わるなと脅迫した。マックアイサックは、情報を教えてくれたが、出廷できないと言った。ハリーは、離婚したマーガレット・マッファーソンとの間にヘイリーという娘を儲けている。モリスは、マーガレットを証人として呼び、ボッシュが抗がん剤の副作用で、記憶能力が低下し、彼の供述内容は信用できないと言わせた。また、怪しげな医師の診断書まで提示した。このため、ハリー側は不利になった。しかし、DNA 判定結果が届き、検体にはルシエンダの DNA が検出されないことが報告され、ハリーは、ルシエンダの無実が証明できたと思った。ところが、裁判長の結論は、意外であった。資料が汚染されている可能性が否定できないので、この結果をそのまま鵜呑みにはできないというものであった。ハリーは、発狂した。どうして、DNA 診断が下されているのに、裁判長は、それを認めようとしないのか、と貶し、罵った。しかし、継続審議となったので、まだチャンスはあった。証人として、サンガーを呼びだすことができたが、証拠不十分のままで結論は出なかった。サンガーが退出した。ボッシュは、サンガーのトラックを追跡し、サンガーがタバコの吸い殻を窓の外に落とすのを見逃さなかった。サンガーを見失ってしまったが、その吸い殻を鑑定に回すことができた。タバコから回収された DNA は、前回の資料 GSR（射撃残渣）に残っていた DNA と完全に一致した。しかし、サンガーは正体不明の男に殺されてしまった。これでサンガーを尋問する機会を失ってしまった。タイムズ紙に、サンガーに関する記事が載った。ベテランの犯罪報道官のジェイムズ・ケリーは、サンガーは、ロスクコスという保安官の仲間のメンバーであり、メキシコのカルテルのライバルの契約殺人に関わっており、法廷外で殺害される直前に、証言していたと述べている。ようやく判決が下される日が来た。ルシエンダの家族は全員集まった。裁判長は、判決文を読み上げた。ルシエンダは無罪になった。検察側が、無理やりに罪を擦り付けたことを理由に挙げた。ルシエンダは、思わず、家族と抱き合って喜んだ。ハリーは、自分の娘、前妻のマーガレット、ボッシュ、そして、ボッシュの娘に声をかけ、全員で、お祝いの夕食の提案をした。裁判長は、ハリーを個室に呼んだ。「おめでとう。しかし、貴方は、私を冒涜したので、一夜だけ、MDC（メトロポリタン拘置所）に入ってもらう。」。翌日、ハリーは、謹慎を解かれ、復帰することになった。

104 冊 “The High Notes” by Danielle Steel (239 pages) published in 2023 Dell

小柄な女の子アイリス・クーパーは、テキサス州レイクシティーにおいて、父チップと母バイオレットの間に生まれた。孤児であった父親のチップは、女癖の悪い二人の未婚の叔父により育てられた。16 歳になり、一人で生計を立てるようになったチップは、ロデオで牛に左足を踏みつけられ、以来、足を引きずって歩くことになった。アイリスが 2 歳の時、バイオレットに愛人ができ、別居するようになった。この二人は、酒場で喧嘩に巻き込まれ、銃殺されてしまった。アイリスは、その後、チップにより育てられた。12 歳になったアイリスは、持ち前の高音の美しい声を発するのに目を付けたチップは、、ハリーが経営する酒場で歌わせた。ウェイトレスのパー

ルとサリーに可愛がれ、学業と夜のバイトを両立させた。アイリスの高音の美しい響きは、地元で話題になり、ハリーから若干の給料を貰えるようになった。アイリスは、自分のオリジナルな歌詞を作れるようになった。父のチップは、アイリスの天性の歌声で稼げると思い、アメリカ各地を遍歴し始めた。アイリスは、４つ目の遍歴地（ラスベガスから 50 マイル離れた町）にある高校で、卒業証書をもらった。

アイリスは、ビリー・ウェストンと 5 年間の契約を交わし、全国ツアーを開始した。途中、他のグループとのロマンスもあったが、特に進展もなかった。ラスベガスに住み、オーディションを受けることにした。バーで一時しのぎの仕事の合間に、新曲を作りだし、手ごたえを感じ始めていた。23 歳になった時、ビリー・ウェストンから誘いがあったが、嘘つきだとわかり、断った。ビジネスを学び始める契機となった。歌手や音楽家とデートしたが、彼らはセックスをしたかっただけだ。まだ、真面目な青年と長続きする出会いをしたことがなかった。スカウト係のドレイクを介して、グレン・ヘンドリックスに雇われることになった。給料もいくらか上がり自分の銀行口座を作った。酒におぼれ、ストリッパーと同棲している父とも別れたかった。シアトルに移動し、ミシシッピー出身の歌手パティ―・ディクソンと出会った。パティ―には 7 歳になる男の子がいる。アイリスの父は、連絡がとれず、行方不明であった。家族がいないことは不思議な感じであった。54 歳の父は、苦しい生活をし、酒浸りであった。

グレン・ヘンドリックスは、アイリスを呼びものの歌手にしてくれた。パティ―が祝ってくれた。アイリスは、アルバムを作りたかった。アイリスは３つの新曲を披露したら、観客から拍手喝采を浴びた。グレン・ヘンドリックスが楽屋に入って来て、いきなりパディ―を攻め、罵り、頬を平手打ちした。お祝いのケーキの蝋燭を消し、皆で祝おうとしていた矢先であった。グレンは、訴えられるのを怖がってか、1000 ドルの入った封筒をパティ―に送り付けた。生計を立てねばならないため、二人とも辞めるわけにはいかない。ジャッドが、興行主でありクレイ・マドックスの名前を教えてくれた。アイリスは、ニューヨークに向ってドライブをした。途中、ワイオミング州北西部にあるジャクソンホールという山間の町を通過した。アイリスは、ヘンドリックスのやり方に耐えられなくなり、５年の契約の後１年を残し、出て行った。ワイオミング州のカウボーイが来る酒場で、ボーイと出会い、自分の歌を二人で歌ったら素晴らしいできばえであった。オーナーのモウも絶賛した。２週間が経ち、アイリスはしつこいグレンの電話にでなくなっていた。グレンはとうとう私立探偵のスコット・キャンベルを雇い、アイリスの動きを探らせた。アイリスは、念願のクレイ・マドックスに会うことができた。彼は、既にアイリスの歌声を２度聞いており、その高音の素晴らしさを知っていた。また、作曲をしていることを知り、益々気に入った。アイリスがグレンとの契約が切れる前に、立ち去ったことを知り、援助したくなった。また、デュエットをしているボーイにも会いたくなった。

クレイは、アイリスにはアルバムの作成、ボーイにはデュエットで参加してもらうことにした。その後、主だった都市でのライブを考えた。弁護士は、グレン・ヘンドリクの契約は違法であり、行き過ぎであるので心配はいらないと励ましてくれた。クレイは２度の結婚がある。一度目は、22 歳の時、ナイトクラブで歌っていた時、歌手と結婚した。しかし、ドラマーと駆け落ちしたため、離婚をした。その後の彼女の消息を知らない。２度目は、25 歳の時、女優のフランシスと結婚して、二人の娘を授かったが、４年後に離婚した。長女のマージ―は現在 22 歳で、南カルフォルニア大学を卒業後、母と一緒に、クレイが買ってくれた美しい家に住んでおり、母とハリウッドでのイベント、結婚式やバルミンバに関する仕事をしている。次女のエレンは現在 20 歳

で、カリフォルニア大学バークレー校を卒業後、カリフォルニアデービス校の獣医学部に進学したかった。父と相性がよい。一方、アイリスは、純粋であって、限界まで挑戦するようである。クレイは弁護士と相談し、グレン・ヘンドリクスの契約が労働法や人道に反することを根拠に、契約を打ち切るようにした。そして、アイリスには 10 万ドルの契約ボーナスと赤いバラの花を、ボーイには 5 万ドルの契約ボーナスを払いことにした。その夜、アイリスとボーイは夕食を共にして祝った。ホテルに帰ったら、グレン・ヘンドリックスから「帰ってこないと、刑務所に行ってもらうぞ」という脅しの電話が入った。パティ―は、母の健康上の理由で、グレンから去って行った。グレンは、アイリスとボーイの居場所を突き止め、二人のならず者に行かせた。ボーイのいるホテルに入り込み、アイリスの居場所を教えろと迫って乱闘になった。アイリスがやってきたら、ボーイは、頭部を殴られ、血まみれになっていた。アイリスは高音の悲鳴を上げたところ、警備員と警察がやって来て、二人は逮捕された。ボーイは鼻と肋骨をおってしまい、病院に急送されたが、幸い意識を取り戻した。アイリスは、肋骨の軽傷で済んだ。クレイはグレンに「お前は善良な市民を手荒く扱った。お前は一生刑務所入りだ。もうこれ以上、アイリスとボーイに近寄るな」と言い放った。二人には、警備員による護衛をつけさせた。クレイはアイリスに帽子と子犬をプレゼントした。アイリスは、子犬をロージー（バラの蕾）と名付けた。NY 警察は、ラスベガスの警察署に連絡し、犯人は共謀罪が科せられ、1~3 カ月牢屋に入れられるだろう。クレイは、アイリスに恋しており、一生守ってあげようと思った。ボーイのバックアップバンドが、ボーイにクッキーを持ってきた。スターという女性は、背が高く、セクシーであった。スターとボーイは気があるらしい。そんな時、ふと、アイリスの父親のチップがアイリスに会いにきた。父は、タブロイドでアイリスがクレイから多額の契約金を受け取ったことを知り、お金をせびりに来たのだった。アイリスは、過去何度も利用されてきたことを思い出し、断った。もう父と会うことはあるまい、会いたくもない。肋骨の痛みもほとんどなくなり、アイリス、ボーイはスタジオで歌うことができるまでになった。スターとボーイは二人でランチを食べに行った。父の訪問から２週間も過ぎ、自作の歌を載せたアルバムのリハーサルが繰り返された。タブロイド版に、アイリスの父チップ・クーパーが全てを語る、という記事が載っていた。ボーイはアパートを探していたが、いつかは、ナッシュビルに戻りたいと思っていた。彼の２枚目のシングルのレコーディングはうまく行っている。１枚目の売れ行きも上場であった。クレイは、アイリスとボーイ、そしてバックアップバンドを連れてツアーを開始した。ラスベガスでの演技は素晴らしかった。クレイは、思わずアイリスを抱きしめたが、それ以上のことはしなかった。そばにいて彼女の歌を聴くだけでよかった。聴衆の評判は良かった。ボーイの最初のアルバム、そして、アイリスの 2 枚目のアルバムの制作に取り掛かりたかった。クレイは、家族をコンサートに招いた。次女のエレンは、好意的であったが、前妻と長女マージ―は馴染まなかった。アイリスは、クレイとヒューストンのハリーの酒場を訪れた。ハリ―とパールと再会できたことは大変嬉しかったが、サリーが 10 年前に乳がんになり亡くなっていたことを知った。ハリ―の妻も亡くなり、弟の住むモンタナに行くため、来月には店をたたみ、弟と一緒に生活するそうだ。とにかく、会えて良かった。クレイは３人の写真を撮ってくれた。帰りの車の中で、クレイは初めて、アイリスにキスをした。アイリスにとりクレイは守護神のようであった。ワシントンでのコンサートはうまくいったが、ラスベガスやヒューストンのような特別のものではなかった。二人は、一緒の生活に入るが、エミーは許してくれるだろうが、マジーは難しいだろう。NY のコンサートで大成功を収めた一行は、ワシントン・スクウェア―・ガーデンでの演奏を控えていた。パテ

ィ―も飛行機で会場に詰め掛けた。クレイは、前席に彼女の席を取ってくれていた。当日、アイリスが 4 曲目を謳い、声を張り上げていた時、突然、爆発音がした。狙撃者は、繰り返し掃射を続けていた。クレイは、アイリスからスマホをかり、911 に電話した。SWAT チームが到着して、狙撃者を射殺するまでに、42 名の死者と、34 名の負傷者がでた。死者の中には、パティ―も含まれていた。ボーイも負傷した。パティ―の家族には、死に行く母と、もうすぐ 12 歳になるジミーがいるだけだ。離婚した夫は、音信不通であった。アイリスは、この悲報をパティ―の家の隣人のメイベック夫人に伝え、葬式の準備をお願いした。クレイは、アイリスのために車を用意してくれた。アイリスは、ハリーとパールに事の顛末を告げた。パティ―の母はホスピスに預けれ、ジミーは、養子として引き取ることを考え始めていた。クレイは、物置になっている客室を使えばよいと言ってくれた。パティ―は遺書を残さなかったので、メイベック夫人に連絡して、家の物品を売るようにお願いした。クレイとアイリスは、ジミーを連れてビロクシ市に飛行機に行き、ジミーを養子として引き取ることの承認を得た。ジミーはクレイのことを父と呼んだが、アイリスことは（パティ―のことを考えてか）、叔母さんと呼んだ。その晩に、クレイは、アイリスに大きな結婚指輪をプレゼントし、結婚を申し込んだ。ジミーも喜んでくれた。11 月に発売されたアイリスの新アルバムは大成功であった。アイリスは、アトランタでの演奏旅行中に、インフルエンザに罹患した時感じる食中毒様症状を経験した。眩暈や体調が悪化したため、アイリスはジミーを連れ審査を受けた。以外な事実が判明した。アイリスは、妊娠４か月であった。クリスマスと新年の間に、教会でクレイとアイリスは、結婚式を挙げた。ボーイとスターが証人になってくれた。クレイの予想通り、アイリスとボーイはグラミー賞候補になった。二人のうち、実際にグラミー賞を獲得したのは、アイリスであった。アイリスは、ステージに立ち、生きてきたこと、つらい経験を乗り越えてきたこと、望んだこと、クレイに会えたこと、そして、愛と喜びが、アイリスの歌に込められていた。クレイには、心からの歌のメッセージを伝えて感謝した。

103 冊 “Camino Ghosts” by John Grisham (401 pages) published in 2024 Random House

マーサー・マンとトーマスは、2 年間の同棲生活を経て、カミノ島の砂浜のビーチで結婚式を挙げた。ミシシッピー大学で創作作家を志望するマーサーの教え子がギターで愛の歌を弾いた。マーサーは、まだ終身雇用されていないが、これまでに２冊の本を出している。最も新しい、ラッサというタイトルの小説はベストセラーになり、出版社のバイキングプレスから２冊の契約を結ぶことができた。３冊目を早く世に出し、一生自由に小説が書ける身分になることを夢見ていた。トーマスは、マーサーより、５歳年下で裕福な家庭に育っている。マーサーは、６年間で２度も教鞭の場所を変えている。ミシシッピー大学では、ベストセラーの小説を書ける唯一の英語学部の歴史の教授として皆から羨望されている。結婚式の司会進行をベイブックスのオーナーのブルース・ワーブルにお願いした。マーサーにとっては２度目の結婚式であった。ブルースは、どれだけ多くの花嫁と浮気しただろうか？彼は、マーサーと寝たことがある。ブルースの妻のノエルは、そのことを知っていた。新郎新婦は、指輪の交換、キス、夫婦の誓いをした。ブルースがシャブリワイン、サンセールワインの説明をし、生カキ、小エビのレムラードローム添え、ヒラメのメインディッシュが運ばれ、ワインで乾杯した。

マーサ―とトーマス夫妻は、スコットランドにハネムーンに行く前に、ブルースから店に寄るように言われた。ブルースは、二人にコーヒーを出し、フロリダ州とジョージア州の間にあるダ

ーク島の話をした。ダーク島には、1750年頃、ジョージア州からの移民がいた。英国の統治下であった。フロリダはスペイン領であった。1760年頃、西アフリカからの奴隷船ビーナス号は、台風に遭遇し、カンバーランド島付近で沈没した。大半は溺死したが、少数がダーク島に流れ着き、コミュニティーを作った。その後200年の間に、死亡者、逃亡者が出て、やがて無人島になった。ブルースは、ラブリー・ジャクソンが書いた「ダーク島の暗い歴史」という書物を二人に見せた。ラブリーは、カミノ島の旧缶詰工場近くに住んでいる。彼女は、1940年にダーク島で生まれ、15歳の時、母と一緒にいた。不動産活動家は、未開拓地を探していたが、数年前から、ここに目をつけ、分譲アパート、ホテル、水上公園、T-シャツなどの販売をしたかった。ハリケーン・レオは、島の北側を分断し、何トンもの砂を砂洲に押し込めた。ラブリーは、土地を独占するつもりだ。彼女の曾祖母のナラは、ビーナス号に乗っていたので、開拓業者に売りたくない。しかし、ラブリーが島で生まれたことを証明する記録はなく、親戚も死に絶えた。このままで行くと、3年以内に島全体が舗装される。年金生活者のラブリーは80歳を過ぎ、弁護士を雇えない。トーマスは協力することになった。マーサーは、飛行機の中で、ラブリーの小説を読むことにした。この本には、写真も謝辞もなく、自費出版であった。マーサーはこの本は面白いと思った。

その本には、ナラと夫のモシには、三歳の男の子がいたことが書かれていた。暴徒の襲撃に会い、島の人たちは捕らえられた。女達は、拷問を受け、レイプされた。日中は、厳しく容赦ない太陽に苛まれ、逆に夜は急に寒くなり、女達は抱き合って暖を取った。土砂降りになっても避難所はない。天然痘で多くの子供らがなくなった。ナラは、初めて売られることになった。ビーナス号は、1760年4月12日に、415名のアフリカ人（310名は男性、125名は女性）を乗せ、ジョージア州のサバンナに向け出港した。ナラは、カリブ海でハリケーンに遭遇した。巨大な波のため船は真っ二つになったが、かろうじて島にたどり着くことができた。島の人たちは、皆親切であった。

カミノ島の新聞、レジスターは、週3回発行される。ブルースは、隅から隅まで読み、毎月広告に1000ドル支払っている。ダウンサウス（マイアミ）からの大金を投資する宅地業者が、土地を吸収して、分譲マンションの建設を予定していた。市民は、彼らの不正を疑っている。1845年にフロリダが州となり、ダーク島は、正式にカミノ島の管轄になった。ブルースが新聞に目を通すと、ダーク島におけるパンサーケイというリゾート計画の記事が載っていた。島の中心部にカシノ、スロットマシーン、ミュージックホールが、南部には、ゴルフコースが、北部にはビーチとホテルが建設される。島に橋をかけるにはお金がかかる。タイダルブルース社のスポークスマンは、半分を出資する。パンサーケイは、5年以内に半分を支払う。しかし、タイダルブルース社は、州の上院議員と吊るんで30年かけて免税のお金を貯めてから支払うという情報を得ている。環境グループからは抗議の声が上がっていた。

マーサーとトーマスは、スコットランドでの新婚旅行中に、ロイヤル　スコッツマンという電車でハイランド高地に向かっていた。その時、ブルースから電話がかかり、著者のラブリー・ジャクソンに会う話を聞いた。スティーブ・マホンという弁護士は、ダイダルブリースによるダーク島の開発計画に反対していた。ブルースとノエルは、地域の非営利団体に毎年5000ドルを寄付している。ラブリーの小説によると、300年前、奴隷が住んでいたが、1950年代に去っていった。ラブリーが最後の生存者であった。会社を阻止できるのはラブリーだけである。ラブリーは、自ら法廷で所有権を主張することが最善策だ。会社側は、ラブリーは土地を所有する興味が

ないと主張する。しかし、土地は国が管理しており、地域の開発に自由に使えるはずだ。早く、ラブリーに会った方が良い。

2年前、フロリダの天然資源開発部(DNR)の調査で、ハリケーン レオが通過し、島の東部が削れ、300ヤード後退した。島の中心は、大西洋側の長いビーチを失った。その地域を探索中のDNRグループの船が転覆し、3名の乗務員が海中に放り出され、２名が死亡した。ダイダルブリースは、人口衛生やドローンを使って探索したが、島には鬱蒼とした草木が生い茂り、地面の状態を確かめることができなかった。レオ（カテゴリー４）は、風速毎時233 km、風津波（高潮）762 cmを記録し、草木が根こそぎ倒された。第３の会社ハーモンは、４人を雇って、島の探索を行わせた。ジャングルを進行中、電気系統は全てシャットダウンした。全員、ビブリオ・バルニフィカス感染による怪奇な死に方をした。

ハネムーンから帰ったマーサーは、トーマスとともにブルースを訪ねた。そこには、スティーブンもいた。マーサーは、ザ・ドックスに住んでいるラブリーから、直接話を聞き、ノンフィクションを書きたかった。ラブリーは、1940年に誕生し、1955年に最後に島を出たというが、それを証明する資料がない。ラブリーの世話は、ミス・ナオミがしていた。ラブリーは、土地をフロリダ州に寄贈したかったが、弁護士を雇うだけのお金がない。島では、大学院生が豹に襲われたり、偵察中の海軍の飛行機がビーチに墜落したりしたため、スティーブンは島には行きたくなかった。ラブリーは、18歳の時に流産し、それ以後、子供が授からなかった。夫の死後、ナオミの孫娘を溺愛していた。島では、レイプされた女性達が、犯人を逆さに吊るし、首を切って殺した。島は、白人の住むところではない。ブルースのレイブックス店に、マーサー、トーマス、ブルース、シエラクラブ（米国の非営利環境団体）の弁護士のスティーブン、65歳代のナオミ、ラブリーが集まった。スティーブンは、５ドル出してもらえれば、弁護すると言った。誰が島の所有者なのか？アーサーは、ラブリー・ジャクソンとは違った角度から島について書いて見たかった。アーサーは、ナオミから、ザ・ドックスの教会（世界収穫礼拝堂寺院）に行けば、短時間だけラブリーに会えることを聞いた。

スティーブンは、聴聞会を要望した。パンサーケイ計画に関する噂がある。州は無数の無人島の所有者であり、所有権を主張している。裁判に勝ったら、それをタイダルブリーズに売却するという噂があった。スティーブンは、会議を主催するリディア・サラザール裁判官に挨拶した。フロリダ州の法律では、土地と財産所有権を主に管理している陪審員なしで判決がなされる。従って、サラザール裁判官は、強い権力を持っているが、口が軽い。島の新聞、The registerの所有者であり編集者である知人のシッドと議論した。シッドは、カシノと行楽地よりも、ダーク等の伝説に興味を示し、ラブリーの本を読んだ。特集号を出したかった。マーサーとトーマスは、島にまつわる民間信仰を書くために、古文書を調べていた。

タイダルブリーズは、レックス・ラニーにより、1970年に創業された。1992年にレックスが癌で死去し、息子のフィルソンが継いだ。友人の弁護士であるＪ・タッドリー・ナッシュの力で、2008年の大恐慌を乗り切った。早春の頃、裁判官サラザールのみによる審理が行われる。

フロリダ州は、「ラブリ―・ジャクソンは、７年間所有権を持っていなかった。記録もない。また、ラブリーが島で生まれ、そこに住んでいたことを証明する記録も存在しない」と主張した。ラブリーは、ナオミと一緒に、マーサーそしてブルース出版と交渉し、25%の契約金を受け取ることを承諾した。スティーブンは、大学卒だが、バイタリティーのあるダイアン・クラッグを雇うことにした。「ダーク島の暗い歴史」には、カープという男の子に、お金をやり島のお墓

の雑草を取り除かせたこと、また、ラブリーは、ハーシェル・ランドリーとのロマンスがあることが記されていた。カープに関しては、姓もわからず、追跡できなかった。ハーシェルについては、息子のロイドによると、ノースカロライナ州のニューバーンにある老人ホームいることが判った。ロイドは、両親の離婚後、カミノ島を去った。そこで、ダイアンは、ニューバーンに行き、ロイドに会い、車いすのハーシェルにビデオ尋問した。ハーシェルは、カープのことを知っており、マービー・フィズビーの息子の一人であることが判った。ダイアンは、レイクシティーにいるフィズビーを訪ねたが、収穫がなかった。ラブリーは、1940 年生まれで、もうじき 80 歳であり、記憶が心配である。マーサーは、ラブリーに講演の機会を与えたところ、好評であった。リディア・サラザール裁判官は、亡父との間にレニーという長男を儲けた。レニーと妻アリッサの間に二人の子供が生まれた。レニーの会社は、少なくとも８軒の高級マンションの建設の契約書を結び勢いづいていた。オールド・デューンの中に入って行くと、アパート、分譲マンションが立ち並び、近くにはマリーナや港がある。この開発の支持者は少なく、地元組の大半は反対であった。しかし、レニーの母のサラザールの権力は強く、パンサーケイ計画の支持であるので、気を付けることが必要である。売れっ子作家のギフォード・ノックスは、この 20 年間、本で稼いだお金をブルースに寄付していた。ブルースは、ギフォードと妻のマディーを呼んだ。セールスマンのアーノルドは、マックマンションという大型マンションを紹介した。2 件売れた。残りの 1 件は、300 万ドルの値段である。マディーが気に入ったようだ。中を見せてもらった。ギフォードは２階から手すりを使って降りてくるとき、一階まで落ちてしまい、病院に運ばれた。ウィルソン・ラーニーは、パンサーケイ計画が遅いのが不満であり、弁護士のダッド・ナッシュに、サラザールに 100 万ドル渡すように通達した。マーサーは、半分原稿を書き進めている。ダイアンは、時間をみつけては、アーサーの話を聞きだしていた。スティーブンは、サラザール裁判官に会って、息子のレニーが、タイダルブリーズが関与するオールド・デューンで、分譲マンションを建設していることを伝えた。利益相反に引っかかる恐れがあるので、手を引く方が無難であると進言したら、サラザールはあっさり応じた。最高裁に、公平で、サラザールと仲の良い 76 歳のクリフトン・バーチが参入することになった。5/18 の公判が近づいた。タイダルブリーズ側は、ラブリーの話は作り話であり、根拠がないと主張する。これに対して、ダイアンは、ジャクソンの祖先の DNA 鑑定をもとに真実を暴こうとした。ダイアン、マーサー、ラブリーら、考古学者らとともに、ダーク島へ船で出航した。波止場では、スティーブンとブルースが見送った。海辺近くにキャンプを張り、行動を開始した。途中、蛇、豹による襲撃をかわした。墓石はなくなっていたが、3 つの墓を見つけることができた。シャベルで掘ってみると、棺と思われる古い箱が見つかった。上部は腐食していたが、骨が散らばっていた。写真を撮った。

尋問が始まった。ラブリーは最近、細菌感染で４名が命を落としたことを述べた。ハワード大学の考古学者のサージェント博士は、ダーク島のお墓が海抜 20 フィートの高さにあり、80 数個の棺は破壊されていたことを述べた。カミノ島は、台風レオの大波で、27 フィート持ち上げられた。従って、ダーク島の墓石や棺は、海水と数時間接触し、DNA 試験に必要なサンプルが分解した可能性があるかことを述べた。残念ながら、骨や歯はラブリーのサンプルとは一致しなかった。ラブリーによれば、他の埋葬場所は、島全体に散在しているそうだ。ダイアンの協力により、ランドリー・ロイドが、車椅子の父のハーシェルを連れてきた。ハーシェルは、「ラブリーと何度も二人だけでダーク島の先祖の墓の雑草を刈りに行った」ことを証言してくれた。カープという男子のことも知っていた。フロリダには、約 800 の無人島があるが、ダーク島には人が住

んでいないという証言が続いた。台風レオにより、鹿が姿を消した。タイダルブリース側は手を引き、事実上の勝訴となった。皆で祝った。ダイアンは、BILDF の企業買収を始めた。オンラインマーケットに興味を持ち、ダーク島にナラ記念館を立ち上げ、ダーク島に定住したアフリカ人の記録を称えた。ブルースとノエルが 1 万ドルを寄付した。ダイアンの 1 万ドルをローンで寄付した。アフリカ埋葬財団から 5 万ドルをもらえた。ベイブックスも彼女の本を 6000 コピー以上売った。

ダイアンは、ラブリーの異変に気付いた。”w”の音が出せない。唇が震え、目を閉じたりした。マーサーの文章も真夏に 11 万語を超えた。裁判も終わりそうだ。朝 4 時間書き進め、トーマスとビーチを長時間散歩した。トーマス自身の潜水艦の執筆も終え、ダイアンの手伝いをした。ラブリーには血縁者がいないので、家と個人的財産を親友のナオミに残した。お金の半分はナオミに、半分はナラ財団に与えた。ナオミから、ラブリーが心臓発作で、病院にいること聞いた

ダイアンが書き上げた「パッセージ」は好評であった。その後、ノンフィクション部門では一位に輝いた。ダーク島での遺骨の収集は続いていた。ダーク島における最後の生存者であったラブリーは、82 歳でなくなった。トーマスは、ラブリーが先祖の遺骨が納めていると信じていた場所にシャベルで穴を掘り、焼却されて壺に収められたラブリーの遺骨を納めた。ラブリーの最後の願いは、ナラのすぐ傍らに、永遠の平和とともに休むことであった。

102 冊 “The Challenge” by Danielle Steel (317 pages) published in 2022 PAN

モンタナ州スティルウォーター郡フィッシュテイルは、ビリングス市からは、車で 1 時間かかる、ベアトゥース山脈の麓、標高 4466 フィート（1360m）の人口は 478 人の小さな村である。最高峰のグラナイト・ピークは、標高 12807 フィート＝3900ｍが見渡せる。ピーター・パロックは、 7 月にここで 14 歳の誕生日を迎えた。ピーターは、毎朝、両親の牧場で家畜の世話をしていた。フィッシュテイルの人。ピーターの父ピットと母アンは、高校の同級生であり、モンタナ大学を共に卒業後、結婚した。その翌年、両親が 23 歳の時に、一人息子のピーターが誕生した。両親は現在 37 歳である。アンは一人娘であり、たくさんの子供が欲しかったが、輸卵管が機能不全であったため断念し、奇跡的に誕生したピーターに愛情を注いだ。ピットの父方の祖父がポラック牧場を開設し、州で最良の血統の馬を育て売りに出した。祖父は 10 年前事故死でなくなり、一人息子の父は、その牧場を引き継ぎ、モンタナ州で最も成功した牧場経営者となった。アンの父は、人気のある獣医であった。アンはピットと牧場の事務室で働いていた。ピットは、父、祖父から馬に関する全ての知識を得ていた。しかし、経済学を専攻したアンは、馬ばかりでなく、経済に関する知識も必要であると思っていた。ピーターは 5 歳の時にはロデオに参加していたが、今夏の８月からは高校に通うことになる。アンとピットは、兄弟のいないピーターのために、友達を家に読んだり、寝棚で遊ばせたりしていた。両親は、ピーターに牧場の経営法を学んで欲しかった。

ビルとパディ・ブラウンは、近くの小さな牧場を所有していた。ビルが少年の頃に、ビルの父親はピットの父から土地を買った。牧場の規模はポトック家には及ばないが、家畜、馬、羊を飼い、乳製品工場も所有していたため成功した。彼らは、アンとピットの旧友である。ピット、アン、パティは同じ高校を卒業している。ビルとピットは級友である。二つのカップルが結婚し、マット・ブラウンが先に生まれ、3 週間後にピーターが生まれた。アンとピットは、マットの名親であった。ビルとパティに、8 歳年下のベンジーが生まれ、現在、6 歳になっている。ビルとパ

ティは一時期、お互い浮気をしたが、よりを戻したようだ。アンとピットは依然としてロマンティックな関係であるのに対して、ビルとパティは短気でイライラしているが、何とか良好な関係を保っていた。両家は余暇にキャンプに行ったりした。ピーターとマットは、パロック家に行く機会が多かった。そこには、ベンジーが行きたくなかったからだ。ピーターは、自然豊かな、生まれ故郷を愛しており、そこで４代目の牧場の主になりたいと思っていた。一方、マットは、コンピューターに長けていて、故郷を離れ、スタンフォードで磨きをかけ、カリフォルニアのシリコンバレーで働きたかった。6歳の時ベンジーは、ロデオに嵌まっていて、ロデオ道化師になりたかったが、両親は由としなかった。

ピーターとマットのグループの第3番目の仲間は、ティム・テイラーである。ティムはポロック家、ブラウン家で歓迎された。ティムの両親の父は、パティの家族と同じ牧場で仕事をしている。ティムの母のジュンは、ティムがまだ体内にいるとき、髄膜炎を患っていたため、ティムが数日間高熱を出し、部分的に難聴になった。ティムは、母の勤勉な努力、言語テラピストのお陰でクラスで一番の成績を納めていた。彼は馬について興味を持ち、獣医の道に進もうと思っていた。ティムの父のテッドは、息子の聴力障害を受けいれられず、親譲りのアルコールに救いを求めた。オクラホマ、中東等の遠隔地の海洋上の油田掘削用施設で生活することが多くなり。年に数回しか帰宅しなくなった。とうとう、ジュンはテッドと離婚した。その後、9年の間に、ジュンは、何回か浮気をしたが、やはり、最も愛していたのは、息子であった。

４番目の仲間は、ノエル・ワイリーであった。他の３人の男子と幼稚園から一緒であった。母のマーリーン、父のボブは、ともに弁護士であり、ポロック家も依頼人になっていた。二人とも、フィッシュテイルののどかな自然が好きであった。これに対して、二人の息子、ノエルと兄のジャスティンは、挑戦的で、競争のある都会に憧れていた。ノエルは7歳の時、若年性糖尿病を患い、インスリンポンプを装着し、インスリンを補っていた。いつか、同じ病を持つ患者の治療をしたいと思い、医学部を目指していた。ボブはすい臓がんに罹った。ピーターは、女性よりも馬とビデオゲームが好きであった。ティム、ノエルは遅れてポロック牧場にやってきた。ピーターの母のアンが作ってくれたサンドウィッチを頬張り、浅瀬で泳いだ。家にもどり、ピットが建てた広々とした遊び場で遊んだ。夜６時、４人の子供達を連れて、シルバースパーダイナーで夕食をご馳走した。お金は、アンのそっとピーターのポケットに忍ばせておいた。

ジュリエット・マーシャル(13歳)は、ニューヨークで生まれて、育った父トム（43歳）と母ベス（38歳）の一人娘であった。トムはニューヨークの厳しい生存競争、ストレスにうんざりしていた。トムは会社の同僚ともうまくいかない。一方、ベスは、雑誌のフリーランスライターで現役で働いており、ニューヨークを離れたくない。トムは、一度、仕事仲間とフィッシュテイルに釣りに行き、ベアトゥース山脈と200年の歴史のある雑貨店に魅了されたことを思い出し、モンタナ州のフィッシュテイルに行ったが、ベスはついて来なかった。二人は根本的に考え方が違っていた。やがて結婚生活が破綻した。ジュリエットは、両親の同意を受け、トムの所に、7月下旬から8月下旬の６週間訪れることになった。ヴィクトリア風の家には、インターネットで注文した家具、骨董品、ベスの送った絵画、日当たりのよい寝室があった。トムはジュリエットを連れて、山に行った。ジュリエットは父の様に長身であった。ベスは学生時代、スキーの競技でチャンピオンになったことがある。ジュリエットは父が平和に暮らしていることを知って安心した。ジュリエットは秋から高校に通うことになる。二人は、湖で魚を釣り、料理した。ベスは、ジュリエットには私立の名門の高校に通わせたかったが、トムは詰め込み教育には反対であっ

た。トムはジュリエットを新車に乗せて、1950年代の簡易食堂に連れて行った。たくさんの自転車が壁にかけて並んでいた。ジュリエットがジュークボックスにコインを2枚入れようとしたとき、長身の男子がやって来て、「レコードはお父さんの子供頃から変わっていないよ」と言った。ジュリエットは、「何か歌いたいですか？」と尋ねたら、「有難う」と言い、コインを一枚入れ、３曲歌った。男の子は、ピーター・ボロックと名乗り、「明日、友達と乗馬して、近くの湖で川遊びをしないか」と誘った。ジュリエットも、「ジュリエット・マーシャル」と笑って答えた。ピーターは、「もし、来たければ、ここに電話してください」。父のトムは、ポロックはモンタナ州で最大の牧場を経営していることを知っていたが、心配であった。食事が終わった頃、ピーターの母のアンが、トラックを運転して、４名の男子を迎いに来たので、トムは安心した。トムは、電話したところ、アンが出てきた。若々しい、忙しそうな声であった。トムとジュリエットは、ポロック家に行った。アンは綺麗であった。子供達５人は、湖に着いて、美しい砂浜のビーチに毛布を引いて、アンの手作りのチキンサンドイッチ、ポテトチップ、クッキーを食べ、レモネードを飲んだ。その後、トムとジュリエットは、仲の良いピットとビルの家族の夕食に招待された。その時、川で取った魚を料理して楽しんだ。皆、良い人たちであった。ジュリエットは、ピーターと仲良しになった。ジュリエットは、男友達と、グラナイト山(3901m)の湖よりも高い所にある滝に行くことになった。その日、ボブが体調を崩し、マーレーンは重要な会議があるため、パティ―がボブの世話をすることになった。マットがベンジーの面倒をみるようになった。落馬しないように遅い馬を当てがい、さらに、腰に紐をつけサドルに固定させた。その時、「山の反対側で火事が派生したという」警報が届いた。水遊びを楽しんだ後、山道を登ると、川の水が枯れた場所が出現した。ギザギザ岩に上り、ジュリエットが作ったサンドウィッチを食べた。ピーターの指示に従い、登山を続けていったら、当たりが暗くなり雨が降り始めた。やがて雷鳴がとどろき、急に水嵩が高くなった。反対側に渡れないので、ピーターは、更に登山を続けるよう指示した。無線連絡もできない。その夜は熊を恐れないように１時間毎の見張りを立てた。バンジーにはジュリエットがサンドイッチをカットして与え、雨水を飲ませた。ピーターは皆を励ますように、これは我々のグリニック山への挑戦だと意気込んだ(p80)。

　親たちは子供が戻らないので心配になり、森林警備隊長のピット・ハーヴィーに連絡を取った。ハーヴィーは身長196cmの大柄で、片幅が広く、頼りがいがあった。ミシガン大学のフットボールの選手であり、米海軍のシール特殊部隊にいたこともあった。20年間レンジャー部隊長をやっている。肩山の真ん中は雨、反対側は雨なし、南部は山火事が発生していることを伝えた。明朝６時に親たち全員６時に出発することになった。トムは、ベスに電話した。子供達は、山で２日間を過ごし、食べ物、インシュリンポンプの供給がなくなったが、捜索隊は子供達を見つけることができない。アンは、マーリーンのために、シチューを作った。100名のレーンジャー部隊、ヘリの捜索が続けられた。ベスはトムに何故、ジュリエットを連れて行ったのか怒った。トムは、マーレーンのことが気がかりになり、彼女の家に行った。放送局が取材に来た。夕方、子供達は、ヘリが真上に来たことを知り、７名の衣服を繋げて、岩の上から翳した。ヘリの乗員が子供達を見つけ、ハーヴィーに連絡した。ハーヴィーは、飲食品やインシュリンなど必要な物品を多数、ヘリから落とさせた。そのうちの一つが近くの樹木に引っかかった。最も痩せて体重の軽いジュリエットが、木をよじ登り、それらを拾うことができ、一行は無事、帰宅できた。ベスは、ニューヨークでもと編集者時代の旧友で独身を謳歌しているナタリー-ウィンダームと相談していた。フィッシュテイルでアパートを借りジュリエットと過ごし、ニューヨークでは編集活動

を継続することにした。山火事の８割は静まり、もうマスコミの対象から外れた。消火活動に携わった３名が殉死したが、ハーヴィーは責任を果たした。ポロックス牧場で、ハーヴィーを招いたパーティが開かれた。ベスは欠席であった。ピーターとジュリエットは抜け出し初キスをした。ロスト７（山で遭難した７人の子供達）の親同士で、次は、イエローストンでのキャンプ計画を立てていた。ボブは静かに息を引き取った。ボブは家族が困らないように葬儀、通夜、埋葬の準備をしておいた。親しい人がパロック牧場に集った。ジャスティンはウォッカを飲んだことをトムは見ていた。トムは、マーレーンを家まで送ってあげた。

イエローストーン公園にやってきた。三日間、ゲーム、水泳、バーベキュー、音楽、どんちゃん騒ぎ、ジャスティンがお酒を飲まないよう監視した。トムはマーレーンと長い散歩にでかけた。ジュリエットとピーターは父の目を盗んでディープキス。アブサローキー高校はジュリエットの家から車で７分のところにあった。スクールバスが迎えにきてくれた。ジュリエットは慣れない学校生活に苦しみ、母親のことを思い出していた。トムは毎日、マーリーンを訪れ、家の修理（壁紙の張替え）などを手伝っているうちに仲が良くなり、恋に落ちた。裸で愛し合っている場面をジャスティンに目撃されてしまった。ジャスティンは、父に対して裏切りものと罵り、ウォッカを飲んで、家から出行ってしまった。しばらくして警察から、ジャスティンは交通事故を起こし、病院に運ばれたことを知った。幸い症状は軽く鎮痛薬を数日投与後、退院できた。弟のノエルもインスリンポンプが外れたためインスリンの投与で回復できたが、子供達の、トムに対して嫌悪感は収まりそうもなかった。マーリーンは、トムにしばらく会わないことにした。一方、パティーは妊娠し、4月には女児が生まれることを子供達に話したら、すぐには快く思わなかった。ベスは、ハーヴィに連絡してデートした。二人は何度か会ううちに仲良くなったが、ジュリエットには報告していない。ジャスティンは再度、飲酒運転し、刑務所に入れられた。とうとう、マーリーンはフィッシュテイルを引き払い、デンバーに引っ越して再起することにした。パティ―は、ビルが家に忘れたスマホを開いたら、ビルが女性と連絡を取り合っていることを知った。事務室に行って鍵を開けたら、ビルはアシスタントのキティーと抱き合っていた。ビルは父親同様、その後も多くの女性と不倫を続けた。パティーは無事出産し、弁護士を雇い離婚の手続きを始めた。パティ―は、これから3年子供達をフィッシュテイルで育ててから、一緒にロサンジェルスに引っ越す予定である。ビルは、家をトムに売り、お金を持ってテキサスへ向かった。トムはフィッシュテイルに残る。ベスはハーヴィとフィッシュテイルとニューヨークを行ったり来たりした。子供達は、フィッシュテイルで時々再開し、友情を築いたグラナイトピーク登山を楽しんだ。ジャスティンはリハビリから退院し、９月からモンタナ大学に通う。

山での遭難からちょうど１年経ち、親達は分散したが、トムは、デンバーにいるマーレーンと連絡を取り合っている。子供達からも理解してもらえそうだ。ジュンは、ビリングスで小児科医とデートしており、結婚して、ティムを養子として育てる予定だ。ベスとハーヴィは、ニューヨークよりもフィッシュテイルで過ごすことが多くなりそうだ。ジュリエットは、皆を助けたハーヴィーを尊敬している。人生は山の様だ。挑戦、危険、冒険、クレバス、河川、そして勝利。ハーヴィーとベスは、ダンスをした後、子供達が遭難し、救助された場所に向かっていた。

101 冊 The Bourne Ultimatum”byRobert Ludlum (739 pages) published in 1990 Bantum Books

ジェイソン・ボーンは、プノンペンにいた外交官であった。妻と川遊びしていた子供二人は、機銃掃射で殺された。気が狂ったボーンは、サイゴンに行き、腐敗した東南アジアを元通りにしたいというスローガンを掲げる非公式民間組織メデューサに入り、デルタ・ワンというゲリラの指導者になった。メデューサ生まれのボーンは、支配地サイゴンの熱狂的な燃焼部員であった。ボーンは、家族を殺した飛行士を探し続けた。東洋学を専攻する教授であるデイビッド・ウェブは、ボーンが北ベトナムのタム・クワンで、無線で位置情報を発信している時、殺害し、自らをボーンと名乗ることにした。デイビッド・ウェブ（ボーン）は、米中央情報局(CIA)が主宰した人間兵器作成計画「トレッド・ストーン作戦」のために訓練を受け、世界で２番目に危険な暗殺者になった。

イリイチ・ラミレ・サンチェス（カルロス・ジャッカルとも呼ばれる）は、ベネズエラ生まれ、ソビエトでは、手に負えない国際テロリストとなった。カルロスは、ノヴィゴラドで訓練を受け、ソ連国家保安委員会(KGB)により、狂人として解雇された。カルロスが、ジョン・ケネディー米大統領の真の殺人者であるとも考えられていた。国際機関は、25 年間もカルロスを野放しにしていた。カルロスは、老人になり体力も弱っているはずだ。カルロスを見つけられるのは、ボーンだけである。ボーンの親友には、足の悪い前情報補佐官のアレクサンダー・コンクリンと精神科医のモリス・パノブがいる。コンクリンは、ソビエトで生まれ、父は資産家であった。コンクリンは、有段者で提督のピーター・ホランドと一緒にいた。ボーンは、ヨーロッパで、カルロスを追跡していたが、途中で負傷し、記憶喪失に陥った。地中海を漂流中、親切な漁夫に助けられ、島で医師の手当てを受けた。チューリヒで開催された第６回世界経済会議では、マギル大学ペンブルック校経済学部のマリー・セント・ジャック博士に出会った。マリーは、ボーンの記憶を取り戻させたく、ボーンに寄り添った。二人は結婚し、娘のアリソンと、息子のジェイラーをもうけていた。マリーの弟のジョニーは、子供の面倒を見てくれた（**95 冊 “The Bourne Identity” by Robert Ludlum (566 pages) published in 1980 Orion**）。

ボーンは、香港を支配下に置こうとしてた中国にいた。副首相が九龍（カオルン）で殺された。カルロスは、ボーンを取り押さえるために、ボーンの家族を監禁した。カルロスは匂いに敏感である。マリー・セント・ジャクス・ウェブは、「ボーンが 13 年間におよぶ治療により記憶を取り戻しつつあるので、島の保護収容所にいた方がよいのだ。暴力行為をしてしまうと治療が無駄になってしまう。ジャッカルの追跡は、別の人に頼んだ方がよい」と考えていた。しかし、ジボーン以外に適当な人物いないのではないか？トレッドストン（実際はデーヴィッド）からの電話で思考回路が途切れた。「島にいるマリーに元気であると、伝えてくれ」。マリーは、弟と連絡を取り合っていた。マリーは二人の子供を連れてモンセラット島に行った。

ジャッカルの兵隊は、パリにいる。殺人者のカルロス・ジャッカルは、60 代の伝説のプロの殺し屋である。噂では、病気を患っているが、憎しみは消えていない。ボーンは、カルロスと銃撃戦になり、耳を負傷し病院に運ばれた。ボーンの放った銃弾は、誰かに命中したようだ。

ボーンは、パリのオルリー空港にやって来た。パノフが行方不明である。カルロスはパリにいる。パノフを探さなければならない。マリーは１時間前に去った。早くて明日までは戻らないだろう。モリスの母は、「いつも真実を語りなさい。それは、神が我々に与えた正義を守る盾である」と言っていたことを思い出した。マリーは、ボーンがカルロスを探すのに専念してもらいたい。ボーンは、パリにいるが、マリーをまだ見つけられないでいる。マリーはケイマン諸島にお金を預けている。何故か、昔、トロカデロ、シャイヨー宮で、撃たれたことを思い出した。マリ

ーはその時、デカルトの像の前のテラスにいた。しかし、そこに行ってみたが、マリーはいなかった。フランソワ・ベルナンディーは、ボーンに「ノルマンディー銀行に行き、タブリー氏を尋ねて下さい。サイモン様がケイマンにある銀行から、700 万フランを彼の個人銀行を介して、振り込む予定です」。そして、ボーンは、銀行に行き、タブリーに会い、確かに彼の当座預金があることを確認した。75 万フランのお金を引き出した。ボーンは、トロカデロで、13 年前に過ごした日々を思い出していた。カルロスは近くにいる。カルロスの軍隊の主たるパイプ役のサントスは、武器を持たずに来る。ボーンは、サントスのいる部屋に案内された。カルロスの拠点は、荒廃した場所にあった。夫と再会できずに終わったマリーは、「ジェイソンはどこにいるのか」と不安になった。

ジャクリーン・ラヴィエとドミニク・ラヴィエの姉妹は、ボーンを知っていた。ジャクリーンは、カルロスがドミニクを殺したことを知った。今から 12 年前、カルロスは、高名な将校ヴィリアーズの妻を愛人にしていた。ヴィリアーズは、カルロスの愛人をしている妻を殺した。ドミニクは、「ボーンは、ここを去り、地中海に戻れ。カルロスはやがて死ぬから心配するな」といった。サントスは、カルロスを羨むために殺された。カルロスの家の近くに来ている。マリーは、ボーンを探してあるためにパリにやってきた。そして、ボーンに会えた。子供たちを呼ばなくてはならない。

ソビエトは、カルロスを始末したがっている。モリス・パノブは、マリーに、「夫と一緒について、デイビッド・ウェブとの繋がりを持て」。ドミニクは、死んだ妹の名前のジャクリーンを使って、カルロスを殺す機会を伺っていた。ボーンは売春婦のドミニクを使い、KGB オフィサーのクラプキンが、カルロスに近づけるようにした。ボーンは、ロシアと共謀してカルロスを捕まえたい。カルロスは、今モスクワにいる。クラプキンはカルロスの近くにいるが、KGB が守っているので心配いらない。カルロスはボーン、マリー、アレックス、モリスはパリにいるものと思っている。モスクワに行ってどうするか？ジョルジンスキー広場でフランス語を喋る人々は見張られている。

飛行場で銃撃があり、モリス・パノフは負傷した。手術を受け、両肺と心臓に銃弾の穴が見つかり、生存率は 40%と言われた。マリーはマルセイユに着いた。ケンブリッジ出身のエリート弁護士のジョナサン-ラミュエルは、スイスの個人銀行から 300 ポンド（約 6 万円）を輸送、宿泊、接待のために送金した。マリーは、ボーンがモスクワに行ったことを知った。モスクワの空港に着いたらクラプキンが出迎えた。パモスは何とか生きている。

僧侶の衣服を纏ったカルロスは、グレゴリー・ロドチェンコ将軍と KGB ノヴォゴロド監視チームの指導者を殺した。カルロスは、パリからの聖職者と名乗り、話を有利に展開するために、カルロスに献身的な弟子を配置し、共産党員を洗脳しようと企んだ。注意深い官僚から、「あなたはどのようにして現状を変えようとしているのか？」と鋭い質問を浴びた。聴衆から見放されたカルロスは、発狂し、裏切り者と罵り、銃弾を聴衆に浴びせた。KGB 機関員も多数死者が出た。コンクリン、ボーンを起こせ。カルロスはホテルに逃げたはずだ。ボーンは靴と靴下を脱ぎ、裸足で追跡した。アレックスには弾倉を詰めてあげた。コンクリン達は生きているのか？カルロスは何処に隠れているのか？カルロスを油断させるために、ボーンは既に亡くなっているという偽情報を流した。マリーはそれを信じないと言った。カルロスは、旧友のエンリケに会っていた。彼らは、ボーンは既に死んでいると思っている。カルロスは、エンリケを銃殺した。ボーンはイギリスに行き、最終的にはアメリカに行くつもりであった。突然、ボーンの頭の中には、幻想の

世界が広がっていた。ヨーロッパの縮図が表れ、主要都市には、ガソリンが撒かれ、辺りは火の海であった。カルロスは、トンネル内でロシアにあるヴォルホフ川の水に埋没して死んでいた。

ボーンは、マリーと子供たちと再会した。カリブ海の砂浜にヘリコプターが着陸し、ジミトリー・クラプキンを運んできた。パノフ、コンクリン、デイビッド・ウェブと同様、負傷していた。ジュネーブの自宅は押収されたが、ケイマン諸島にある銀行口座は保持している。クラプキンは、マリーに、この家の一部を借りられないかと尋ねたら、この家は、あなたの家であることを言われ感激した。ジェイソン・ボーンは、モスクワで死んだのだ。しかし、デイビッド・ウェブは生きている。泣き崩れるデイビッドを、マリーが寄り添い支えた。一つの心に二つの生命があることを、誰も知ることはできない。

この第三作により、ロバート・ルドラムが執筆した３部作（**第 95, 96, 101 冊**）は終了する。

100 冊 “The Boys from Biloxi” by John Grisham (563 pages) published in 2022 Vintage Books

第１部：少年達：ミシシッピー州南部メキシコ湾岸に位置する人口 5 万人のビロクシ市の人々は生計を海産物で立てていた。ポーランド、ハンガリー、チェコスロバキヤ、特にクロアチアから移住してきた。男たちは縦帆式帆船やトロール船でメキシコ湾岸で魚介類を獲っていた。一方、女性達や子供達は、牡蠣の殻割りや小海老を梱包していた。Back Bay として知られる地域には、40 の缶詰工場が並んでいた。1925 年には、ビロクシは、2000 万トンの魚介を国内の他の地域に船で輸送していた。世界の魚介の町であることを誇りとしていた。移住者達は、メキシコ湾ビーチの隅にある半島のポイントカデットの大きな宿舎あるいは縦一列に繋がった家に住んでいた。1920 年、酒類の販売を禁止した合衆国憲法第 18 修正を無視して、酒場が栄えた。飲酒については、警察の御咎めもなかった。米国南部の人にとり、ビロクシは、人気があった。魅力的なビーチ、美味な魚介類、穏やかな気候、綺麗なホテル、観光業は栄えた。野放しになっている悪徳は伝播しやすい。ビロクシには、売春宿が、バー、ギャンブル用テーブル、カシノ、ポーカー、スロットマシンと同じ建物内にあり、警察や公官吏が使っていた。1941 年には、キースラー陸軍飛行場を立てられた。喧嘩や婦女暴行が絶えなかった。

クロアチアの移民の第３世代の二人の男の子のライバル関係が始まった。二人は、ポイントカデットで育ち、カソリック教会、学校、通り、広場、ビーチ、魚釣りをともにした。1948 年、二組に復員軍人の夫婦の息子達として、左利きのピッチャーのキース・ルーディが生まれ、28 日後に、右利きのピッチャーのヒュー・マルコが生まれた。温暖な気候なので、一年中野球を楽しんだ。ビロクシチームは、ウィリアムズポートのリトルリーグワールドに参加する機会を逸した。

歴史を遡ると、1912 年に、ヒューの祖父が、東欧の人達とニューオーリンズにやって来た。子供の名前は、オロン・マロコヴィッチといった。言語もフランス語やスペイン語から英語に代わっていった。オロンの名前も、アーロン・マルコに変わった。２年後に、造船所で帆船の製造に従事した。20 歳の時に。17 歳のクロアチア女性リダ・シモノビッチと結婚した。彼女は缶詰工場で働きつつ、空き時間には針子の母の手伝いをした。しかし、アーロンは足場を踏み外し、転落して、脊髄を損傷したため、夢が崩れた。親や親戚が食事・家賃の支払いを助けてくれたため、少しずつ、回復していった。ボスは、食品雑貨店とバーを併設した。アーロンは仕事を探し始めた。1922 年に待望の長男のランスが生まれ、長女、そして次男が次々に生まれた。1925 年、ボス

が心臓発作で死亡した。未亡人から食品雑貨店とバーをそれぞれ 1000 ドルで買った。アーロンは、ランスに家業を継いでもらいたかったが、ランスは、ビジネスや財政に興味があり、父アーロンと仲たがいした。第二次世界大戦がはじまり、途中で頓挫した。1947 年、ランスは、高校で知り合ったカルメン・コッシアと結婚し、男児のヒューが誕生した。アーロンは、1950 年 54 歳で肺炎が悪化して急死した。アーロンは遺言書を残さなかったが、健康を害した母のリタは、財産分与は、長男のランスに任せた。弟や妹は、それぞれ 5000 ドルを受け取り、海岸を去って行った。ランスは、ナイトクラブとバーを買い、繁華街が出来上がった。カルメンは、子育てに徹した。ヒューは、野球選手になり台頭した。ライバルは、友達のキース・ルーディであった。

ポイントでは、ルーディ家は、マルコ家と同時期に発生した。キース・ルーディの父のジェシー・ルーディは、1924 年に生まれ、缶詰工場と海老船で成長した。ジェシーは太平洋艦隊の駆逐艦に乗り、1944 年 10 月レイテ島の戦いで、神風特攻隊に体当たりされ、負傷した。1945 年春、負傷した足を引きずり、帰国し、19 歳のカンサス出身のアグネスと結婚した。ジェシーには、1947 年にキース、1950 年にベヴァリー、1951 年にはローラ、1953 年にティモシーが生まれた。ジェシーの唯一の親友である弁護士のフィリー・ペリーと会食した。ジェシーは危険を承知の上で弁護士になることを決心した。法律試験に合格後、ビロクシの法律事務所の準会員になった。ジェシーは、お気に入りのバー（マルコの食料品店）でランスがカクテルを作っていることを見かけた。ネヴィン・ノルは、ランス・マルコの最も信頼できる部下になり、ヒューにゲームの楽しさを教えた。ネヴィンは、ヒューが、ホステスのシンディ・マドックに惚れ込んでいることを見つけ、深入りするなと忠告した。ラッド・キルゴア（郡保安官アルバート（ファッツ）・ボウマンの総括補佐官）は、新しいバーやラウンジの経営者の所有者のジンジャー・レッドフィールドに会った。ジンジャーの夫と二人の息子達は犯罪経歴がある。40 歳になるジェシーは、４人の子供達の養育のため弁護士として働いた。オハイオ州のリマから 50 歳代のガイとミリー・モーズリーがやってきた。なんでも、酒場で、ウェイトレスのロニーと、邪な詐欺師のシャイン・タナ―に騙されて、賭博で大損をしたそうだ。ジェシーは、何も手伝うことはできなかった。不法薬物の氾濫は、子供に危険であるので、止めなければならない。ネヴィンは、ヒューに「シンディーと別れた方がよい。」と忠告した。

19 地区の検察官は、若いパット・グレーベルであった。1963 年に重要な仕事が舞い込んできた。リタ・ルテンの殺人未遂で容疑者ネヴィン・ノルが捕まった。フォルティエ殺人とは直接関係ないと考えていた。ジョシュア・バーチが弁護士である。しかし、ノルのアパートで、アール・フォルティエを殺し、リタ・ルテンを傷害したピストルが見つかったが、無罪の判決で逃れた。ヒュー・マルコは、16 歳の誕生日に父から新車を買ってもらった。ヒューは、野球などのチームスポーツは諦め、ボクシングに興味を示した。ヒュー、キース、ボートのキャプテンのジョーイ、ギター演奏家のデニー・スラスと、小型モーターボートでシップ島のビーチ、そして、山沿いの闘鶏競技場で遊んだ--。ポッピーは、ラールセンラウンジをタフで野心家の助成事業化のランスジンジャー・レッドフォードに売ったため、ランス・アルコの縄張りを侵害するおそれがある。ジェシーは、妻と４人の子供達の支援を受け、1967 年の地区首席検察官の選挙に出馬することに決めた。対抗馬は、ヤクザ社会のサポートを得ている現職のレックス・ダビソンである。

第 2 部：改革運動家：ジェシーは、勤勉な移民の子孫として、退廃した不正が蔓延っている町を立て直したかった。八月の予備選挙を控え、妻のアグネスと４人の子供達の助けを受け、選挙運

動を開始した。19 歳のキースは、野球を辞め、父の応援に回った。ジェシーは、暗殺の危機を乗り越え、選挙に勝った。1969 年 8 月、歴代 2 位に猛烈な台風カミールが通り過ぎ、多くの家がダメージを受けた。４年前に買ったジェシーの家も、屋根が吹っ飛び、窓は砕け、床上浸水した。ジェシーは家族を妻の実家に避難させた。ジェシーの法律事務所は、10 月 2 日に復帰した。毎週６日、毎日 10 時間働いた。人手不足のため、二人の若い兄弟のジーンとゲージ・ペティグルーを雇うことにした。ジェシーは、台風カミールによるダメージを訴えた。ジェシーは、11 件の ARU 関連の裁判で勝ち続けた。ジェシーは裁判でダメージ、支出、利益の分を受け取るべきだと述べ、多くの保険会社は支払った。ハーディー・ペティグルー法律事務所は ARU を訴えた 81 人の依頼人の小切手を受け取った。ジェシーはパートナー、秘書や見習生にも御礼した。市長は市の立て直しをはかり、ショッピングセンター、港湾設備、建築ブームとなった。一方、ランスの息子のヒューは独り立ちしたかった。ボクシングをやめ、ビジネス業界へ進出したいが資金がない。ヒューは刑務所からでてきたジミーと出あった。ヒューはジミーと許嫁のシシーとともに４箇所の宝石店から、宝石、ネックレス、ブレスレットを盗み、車のライセンスプレートの州名を変えて逃走した。略奪品は、ヒューのところに隠すことにした。パーシバル宝石店に行き、宝石を売り、4200 ドルを貰い去った。また、新たに宝石店で窃盗を企てたが、シシーとジミーは射殺され、ヒューはテネシーに逃走した。シシ―とジミーの身元は割れ、ヒューのモンタージュ写真が出回ったが、ビロクシ市の人々は沈黙を守った。総括補佐官のキルゴアがランスの所に聞きに行ったが、その時、ヒューは、小海老運搬船でヨーロッパで６カ月間滞在していた。

ジェシーは、前回落選した地区検察官の選挙に出馬中であった。ジェシーは、エガン・クレメントに出馬させ、3 人で競わせて、ダビソンへの票を減らした。その甲斐があって、ジェスは全体の 51%の票を獲得して当選した。

息子のヒューが宝石泥棒をしたことは、父のランスに既に伝わっていた。ジェスの当選は嬉しくなかった。エガン・クレメントはジェスに、1966~1971 年に起こった殺人事件を捜査するよう命じられた。ダスティ・クロムウェルの殺人事件には悩まされていた。ジェシーは、その事件の背後にランス・マルコがいると睨んでいた。そこで、ヘイリー・ストファーを雇って追跡させた。キースは、ラディ&ペティグリー法律事務所を作るのを手伝いたかった。キースは、無事、法律学校を卒業し、学部生のエーンズリーと恋に落ちた。ジェシーは、陪審員を見ていた。キースは周囲を見ていたら、長髪で口ひげを伸ばしていたヒューが後部列にいた。オールスター時代の 1960 年以来会っていなかった。被告側のナイトクラブは、一時的な売春宿ほどではなかった。マーリーン・ヒッチコック（24 歳、薄化粧、学校の図書館人だろう）。陪審員の意見が分かれ、判決が下せなかった。ジェシーは、オリファント裁判官と会った。「3 名の陪審員の間で、金銭取引があったと思われるが、証明できない。最高裁が不法妨害と認めたら、ジンジャーを執拗に追跡できるのだが」。車を盗んだ経歴のあるストファーは、アパートの管理人をしているが、彼から、情報を集めていた。ジェシーのパートナーのジーンとゲイジ・ペティグルー兄弟は、事実審専門弁護士として活躍していた。彼らに秘密操作をお願いした。ジーンは、陪審員の一人のジョー・ヌンジィオに近づき、「お前も、ポール・デューイとチック・ハッチンソンと同様にお金を貰い、ジンジャー・レッドフィールドを無罪にしたのか？本当のことを言わないと、偽証罪に問われるぞ」と脅した。ジェシーの法律事務所のチームワークはよく取れている。15 カ月間は、選挙の再選を目指す。20 年間もビロクシで犯罪組織長のランス・マルコを刑務所に入れてやる。ジェシーには、もう一人の DA が必要であった。1974 年 1 月 11 日、最高裁は、ナイトクラブの閉

鎖を決定した。ジェシーは、犯罪組織を中止させた。ジンジャー・レットフィールドを捕まえるのだ。ジンジャーは、カルーセルとオマリーをランス・マルコに売却し、海岸から消えた。ランス・マルコは、カルーセルをデスペラドと改造した。ヘーリー・ストファーは、ジェシーに、メンバーカードを持っている 86 名の紳士、クラブの従業員、アルコール、ビールや料理品の情報を忠実に報告した。繁華街は活気を取り戻した。マルコのナンバー２のネルヴィン・ノルとヒューマルコの姿をよく見かけた。判決が下された。ジェシーは勝った。売春関係者は、最大 500 ドルの罰金を支払った。ヘイリー・ストファーの消息はない。マルコの体調が良くない。

第３部：囚人　オリファント裁判官は、「マルコは、パーチマン刑務所に 10 年服役し、5000 ドルの罰金を支払う」判決を下した。ヒューは、ジェシーに対する憎悪を募らせた。キース家は、車で海岸から 2 時間半北に位置するメリディ―市に向かっていた。キース・ルーディとエーンズリー・ハートの結婚式に出席するためである。二人は、ミシシッピ―大学において、キースが法学部３年生の時に、エーンズリーが音楽科３年生である時知り合った。ライル（仮名、正式にはヘンリー・テーラー）は、テネシー州のユニオンシティで、10 年前に爆弾の使用で２度も逮捕歴があった。ライルは、マルコ一味に、ジェシーの殺人を依頼された。ヘンリーは、爆弾の入った箱を持って、ジェシーの部屋に置いてきた。しかし、立ち去る時、エガン・クレメントとすれ違った直後、スイッチを押した。ジェシーは、爆死し、死体は引き裂かれて散らばっていた。マルコ一味は喜んだが、妻アグネス、キースら子供４名、ペディグルー兄弟は、悲嘆にくれていた。犯人は、マルコ一味であると悟り、復讐を誓った。ジャクソン・ルイス警察官は、犯人のヘンリーも、左の脛骨を粉砕し、病院で治療を受けていることを知り。足をギブスで固定後、退院させる戦略をとった。ヘンリーがミシシッピー州で、教会爆破事件の犯人であったが、逮捕後、無罪で解放されたことがあることを知っていた。そこで、いったんヘンリーを逃がし、ヘンリーを追跡して、雇った犯人を特定することにした。その知らせは、家族に届いた。ジェシーの葬儀では、キースが一家を代表して、「父の仕事は、始まったばかりだ。父の敵のマルコとヒューは、現在、刑務所にいる、そこで死ぬことになるだろう。」と述べた。ヘンリーは私立探偵（実は、ＦＢＩのご用達）のＪ．W．グロスから、10 万ドルで、架空の人物の暗殺の依頼を受けた。盗聴器がベルトのバックルに、トランスミッターがピストルの床尾にしかけられていることを知らず、うっかり、ネヴィン・ノルに爆薬を送ってくれと電話してしまった。土曜日に殺人を決行して、午後に報奨金を受け取るはずであったが、ヘンリーとノルは現行犯で逮捕された。ジャクソン・グロスは、飛行機でビロクシ市にキースに会いに行き、父のジェシーを殺した犯人を捕まえたことを伝えた。キースは、本裁判は、父の殺人に関するものであるので、チャック・マクルーアに検察館としての仕事を依頼し、裁判には立ち会うだけにした。ヒュー・マルコの裁判は、４月 3 日に、ハディスバーグで行われることになった。マクルーアは、ジェシーの偉業を称えた。悪役が蔓延る業界の撲滅をめざしたことをアピールした。これに対して、ヒュー・マルコの弁護士は、ビジネス業界での活躍をアピーし、ジェシー・マルコを尊敬したので、殺すはずがないと主張した。公判では、ノル、ヒューのガールフレンドのティファニー・バーンズの発現が嘘八百で塗り固められていることが暴露され、ヒューの母の発言もむなしく、死刑が確定された。

第４部：死刑囚棟　エンズリー・ラディ―は、第二子のコレットを出産した。ハリー・ストファーのお陰で、闇ルートが暴露され、ランスとヒュー・マルコは身動きがとれない。1984 年 1 月 5

日、キース・ラディ―はミシガン州の第 37 代目の司法長官に就任した。最高裁で家族に祝福された。キースには COI があるが、何とかして、ランス・マルコを死刑にしたかった。ヘンリーが殺され、海に投げられた。殺される前の写真が、刑務所にいるランスの所に届けられていた。ネヴィンとサラーはごみ袋にの中に飛び込み、運搬車に運んでもらって脱走した。サラーは逮捕されたが、ネヴィンは脱出に成功し、追跡も逃れた。裁判は長引き、最高裁での審議も３回目である。ランスは許しを請うた。キースは、昔、12 歳の頃、ヒューとの楽しい思い出と将来の誓いを思い出していた。ヒューは、キースに「私はジェッシーの殺害を動かしたが、実際にはジェッシーを殺害する計画は立てていなかった。信じてくれ」。キースは、ヒューに「陪審員は全員、お前は死ぬべきだと言った。私もその時、同意した。今でもそうだ。長い間、お前が処刑されることを夢見ていた。しかし、今は、それができない。ビロクシに行き、母と話し合ってみる。」ここで物語は終わる。

著者の覚書：　前世紀の中頃、アメリカ南部は、何人かのギャングがおり、不法行為を繰り返していた。彼らが関与していたかは不明である。多分、法の執行について、誰かが、彼らのことを「ディキシー・マフィア」と呼んだのだろう、そして、伝承が生まれた。1950 年ごろ、湾岸地帯の居住地帯に悪徳が横行していたと思われるが、これらは全てフィクションである。FBI の諜報員のキース・ベルやロイス・フィグナイトは、1970 年代や 1980 年代に活動していたが、現在は引退しているが、当時のことを著者に話してくれた。

99 冊 “Bad Luck and Trouble” by Lee Child (377 pages) published in 2023 Bantam

大柄の男のカルヴィン・フランツは、両脚を負傷したため担架に乗せられ、双発のベル２型ヘリコプターで、山並みを超えて砂漠の町に運ばれた。

17 日後、放浪者のジャック・リーチャーは、オレゴン州のポートランドにいた。2001 年のテロリストによる攻撃により、リーチャーの生活は一変した。リーチャーは、13 年間軍隊にいた。リーチャーと 10 年来の知り合いのフランシス・ニーグリー（コンサルタント、元憲兵）から、ロサンゼルスで、至急会いたいとの伝言が入った。リーチャーは、ロス国際空港に着いた。デニーズでニーグリーを見かけた。4 年ぶりの再会である。彼女は 40 歳になっても、スリムでしなやかであった。誰かが、カルヴィン・フランツを飛行機から突き落とした可能性があると言った。

フランツは、リーチャーと同期の憲兵であり、親しい間柄であった。リーチャーよりも小柄といっても、身長は 190 cm、体重は、86 kg もあった。死因は、外傷による多臓器不全、肋骨の亀裂、血液ヒスタミン濃度の急激な上昇、全身脱水状態、胃粘液の集積、急速な体重減少であった。リーチャーは、左手でサンドイッチを食べながら、検視報告書をめくった。3000 フィートの高さから、20 秒間で落ちた。酸化第一鉄の粉が向う脛に残っていた。フランツは私立探偵をしており、最近結婚した妻との間に、4 歳の子供がいる。誰かが鉄棒で向う脛の骨を砕き、ヘリコプターから落としたのではないか？死亡時に体重が 7.5 kg 減少していたのは、絶食のせいだろう。

昔、リーチャーは、8 名の捜査部隊のリーダーであった。トニー・スワン（南カリフォルニアで防衛機器製造会社）、ジョージ・サンチェス、マヌエル・オロズコ（ベガスで保安事業）、フランツ、ニーグリー、スタンレイ・ローレイ（他界）、デービッド・オドネル（D.C.で私立探偵）、カルラ・ディクソン（NY で不正経済行為の監視）である。もう一度再結成して、この事

件の捜査をすることになった。ベバリーヒルズの、高級ホテルにチェックインした。トーマスブランドという男が、ボスのカーティス・モーニーに「ニーグリーが一人味方を見つけた」ことを伝えた。クライスラーセダンに乗っていた濃紺のスーツを着た男も、「ニーグリーは、図体の大きい男を味方にした」と誰かに通報した。

リーチャーはディクソン、オドネル、そしてスワンの秘書に電話したが通じない。この新世代防衛システムという会社は、電話帳には記載がなかった。ニーグリーは、シカゴにいる友人にこの会社を調べさせたら、UPS（小口貨物輸送会社）が、コロラド州と東ロサンゼルスにあることが分かった。そこで、東ロサンゼルスの会社を調べてみることにした。

その前に、サンタモニカにいるフランツの妻アンジェラに会いに行った。４歳の一人息子のチャーリーがいた。アンジェラからは核心的なことは聞き出せなかった。フランツのオフィスのあるカルバーシティーに行くことにした。それを見ていたトーマス・ブラントという男が、ボスのモーニーにボイス・メールを送った。紺青色のスーツの男もボスに「大柄の男は、トーマス・シャノンという偽名で宿泊予定だ」と電話した。フランツのオフィスは、荒らされていた。ニーグリーは、リーチャーがディクソンを雇い、司令官として使っていることに焼きもちを焼いていた。フランツは、鍵をアンジェルに預け、家を出ていった。オーナーに問い詰めたところ、二人の青いスーツの男からお金をもらい、つい鍵を渡してしまったことを自供した

リーチャーとニーグリーは、郵便局に行き、330 個の私書箱を探して、鍵で開けたら、中から、フランツのフラッシュメモリーが出てきた。パソコンに差し差し込んだが、パスワードを知らないので開けられなかった。スワンの東ロサンゼルスにある新世代防衛システムに行き、人事課長のマーガレット・ベレンソンにスワンの消息を訪ねた。組織替えのため、スワンは追放され、連絡が取れないとのことであった。重病の妹に会いに来ていたオドネルに偶然出会い、同士は 3 名となった。後一回しかパスワードの使用をオドネルに託すことにした。パスワードとして「リーチャー」を使ったら開けられた。パソコンのスクリーンには、アザリ・マームード、エードリアン・マウント、アラン・メイソン、アンドルー・マクブライド、アンソニー・マシューズの５人の名前と、共通の分母 3,12,13 と分数からなる数字が記載されていた。成績表だろうか？ニューヨーク市のマディソン通りの豪華なホテルで、エイドリアン・マウントが、イギリスで発行したパスポートを燃やして、アラン・メイソンに名を変えた。

事件は、この 24~25 日の間に起きている。三人はオドネルの GPS ナビゲーション付きの車で、スワンのいるサンタアナに向かった。トーマス・ブラントという男は、彼らの行動を見ていて、ボスのモーニーに報告した。青いクライスラーに乗っていた男もボスに連絡した。アラン・メイソンは、ラグアディア―デンバーの往復飛行切符を買った。スワンの家には誰もいなかった。犬が餓死していた。スワンは 2 日家にいないことになる。一体どこに行ったのか？クラウンビクトリア（ビック）の車が尾行しているのを知った。車を接近させ、窓をぶち壊し、殴り倒して、鼻を潰してやった。ID ホルダーには、警察のバッチとトーマス・ブランドという名刺があった。

レンタカーを返し、ホテルもヘルツに変えた。その時、知り合いのディクソンと再会した。二人は夜をともに過ごした。紺青のスーツを着た男は、ディクソンが加わり 4 名になったことを伝えた。アラン・メイスンは、デンバー空港まで地下鉄で向かった。トーマス・ブランドはロス保安官省のモーニーに電話した。サンチェスとオロズコは、3 週間前に行方不明になり、彼らのアパートは、完全に荒らされていた。モーニーは、お葬式に来ていたリーチャー達に、消失前の４人の写真を見せてくれた。4 名は、ニューエイジに行って、ベレンソンに会ったが、スワンのパ

ソコンは破損され、消息不明であった。アラン・メイソンは、商談が成立し、65000 万ドル入金したらすぐ、パスポートを燃やしてしまい、アンドルー・マクブライトという名前で空港に向かった。

マヌエル・オロズコの死体が、発見されたことをモー二―より聞いた。背中に大きな名前の入れ墨が見つかり、オロズコであることが確認された。ヘリコプターから落とされたのであろう。ニーグリーは、ペンタゴンに電話したが、協力は得られなかった。アンドルー・マクブライトは、デンバー空港の地下鉄に乗っていた。青いスーツの男は、「4 人はホテルを出た」「数時間で行動を起こす」。ディクソンが運転する車でベガスに向かった。その情報は、いち早くボスに伝えられた。アンドルー・マクブライトは、ラスベガス空港で降りた。オロズコの死を確認した。守衛のライトが、サンチェスと仲良しだったリビエラを紹介してくれた。 4 人を追跡していた男は、銃を取り出し、発砲したが、4 人は分散して隠れた。オドネルの銃弾は、男の足に命中し、出血多量で男は死んだため、土中に隠した。リーチャーはこのスーツを着ていた男を見たことがあったが、思い出せない。リビエラを探すことにした。バス停で待っていたら、それらしい女性に会えた。サンチェスの友人だと話したら、サンチェスの妻のミレナは、近くのサンチェスのアパートに案内してくれた。緑色に塗られたドアを開けると、こじんまりした飾り気のない部屋があった。家具は全て壊されていた。フランツはサンチェスに電話している。ミレナは、オロズコの妻タミーに会えば、亡くなったメンバー達が何をしていたか知っていると教えてくれた。タミーは 3 人の子供の養育のため夜働いていた。部屋は、破壊され、オモチャ、熊の縫ぐるみ、絵本が散らかっていた。タミー「カリフォルニアにいる昔の軍隊仲間から電話をもらい、動きはじめた」といった。死んだ青いスーツの男の車に電話がかかってきた。ボスではないか？デューンホテルに着いた。ダイアナ・ボンドはニーグリーを呼び出した。超高速のリトルウィングの開発は間違いなくヒットする。リトルウイングは正確に的を攻撃できる点は革命的だが、生産がうまくできない。スワンは、フランツ、サンチェスとオロズコを呼び集めて、探らせた。7 カ月、一週 6 日の重労働である。労働者にサボタージュができないようにした。質の管理をする者をだまして、使用不能とした。アザリ・マーモードに売り飛ばした。現在、650 台の新型次世代地対空ミサイルを所有しているの分からない。あるいは電子機器だけなのか？リーチャーは、銃のディーラー店で、銃を奪った。弾薬を買った。リーチャーとディクソンは、車でニューエイジに行ったが、門は閉まっていた。駐車場は空であった。スワンは、手を後ろで縛られ、ヘリコプターから落とされた。アントニー・マクブライトは、姿を消した。アンソニー・マチューはUホールを借りた。モーニーは何かあったら連絡をくれるようにと、 4 人に名刺を配った。リーチャー達はニューエイジに入りロビーから 3 階に上がった。マーガレット・ベレンソンと、死んだアンソニー・スワンの名札があった。3 台の車に 5 人が分乗していた。安全課長のアレン・デメゾン、その下に、スワンがいた。グレンデールとサウスパサデナの間にあるハイランドパークには電子製造工場がある。リーチャーは電話し、様子を伺った。10 分後にレノックスが現れ、コーヒーを運んだ。50 分後にベレンソンが現れた。多くの建物とヘリポートがあった。ヘリコプターの残骸があった。ベレンソンは、家に向かった。リーチャーとニーグレーは、車で追跡し、彼女の家で捕らえ、ダクトテープで椅子、腕を縛った。ナイフと銃で脅し、白状させた。ベレンソンとディーンは、ラメゾンに脅迫された。命令に背けば、ベレンソンの息子とディーンの娘に危害を加えると脅かされた。ラメゾンはやり手で、トップに麻薬、金、賄賂、汚職、パートナーがいる。グレンデールの北方より、カーティス・モーニーから電話で呼び出しがあった。

ディクソンの電話を使って、ラメゾンからリーチャーに「取引をしないかとの」電話があった。リーチャーは、「急いでいる。ペンタゴンで承認された文書に、削除された箇所をみつけた。FBIに暴露するからな」。ラメゾン「スワン、フランツ、オロズコ、サンチェスの４名を殺した。こちらに１週間滞在しろ。そうしないと、ディクソンとオドネルを手足を切断して、ヘリから突き落とすことになるぞ」リーチャー「そんな手に乗るか。その間に、俺を殺す気だろう。２時間後に、話し合おう」。

ハイランドパークは、人が密集しているが、ニューエイジは、商業施設であり、仕事が終わると、人々は去り、静寂さを取り戻す。リーチャーはうまい手だてを考えた。ぼろ切れにガソリンを染ませたガソリン爆弾、中央棟を目掛けたら、あたり一面、火の海と化した。管内の温度が上がった。消防署がやがてやって来て、鎮火を行った。その間、リーチャーとニーグリーは、フェンスの中に入ることができた。リーチャーは、ディクソンの携帯電話にかけたら、ラメゾンが現れた。リーチャーは二人の警備員を次々に倒し、窒息死させた。ポケットにあった銃と現金を奪った。また、オドネルの拳鍔を回収した。リーチャーは、追手が迫る中ヘリコプターに乗り込み、モーニーを撃ち殺した。ヘリコプター機内では、リーチャーは、パーカーの腸をSIG（オートマチックのハンドガン）の銃口で強打し、ドアから闇に突き落とした。パーカーは、叫び声を上げ消えていった。リーチャーは、ラメゾンの喉を左腕で強打し、パイロットの銃を突きつけた。ヘリコプターのパイロットは動けなくなり、ヘリコプターは、ドアをあけたまま、空を旋回した。ラメゾンは、大柄で、首が太く、強靭だが、リーチャーはさらに大きく強かった。リーチャーは、パイロットに、高度を１マイルまで上昇させた。砂漠の真上を通過した時、リーチャーは、亡くなったメンバーに対する弔いの言葉を述べ、ラメゾンを突き落とした。リーチャーは、燃料がまもなく枯渇するヘリコプターを低空飛行で維持した。地上にいるニーグリーのシビック車が見えた。パームデールの深い涸れ谷の岩床に着地した。パイロットは、ラメゾンから脅迫されて、４名の同僚をヘリから放り投げたことを主張して命乞いをしたが、リーチャーは、パイロットの首を捻じ曲げて脊髄を破砕した。対麻痺の状態で歩かせるのは忍びないので、椅子に縛り付けた。ヘリコプターを藪に隠した。リーチャーは、ニーグリーに、ミサイルのある場所を聞いたが、わかないとの返事であった。ディーンの家は、そこから約60mほどのところにあった。直接、彼に会って聞くことにした。リーチャーは、ラメゾンが同僚４名を殺したので、仕返しとして、彼をヘリコプターから突き落としたことを話した。ディーンは、ラメゾンに脅迫され、新型次世代地対空ミサイル（リトルウィング）の扱い方を教えていた。コーヒーをご馳走になった。お昼を食べに行かせた。その間に、家には、電子機器、真空管増幅器の付いたステレオ、ホーンスピーカー、寝室には14歳になる娘の写真を見つけた。ラメゾンの友達と称するマームードが、借りたUホールトラックを持って、やってきた。かれは、リーチャーがエドワード・ディーンであると勘違いしていた。「リトルウィング の操縦法を習いに来た。レメゾンから教えるように指示されているはずだが。」リーチャー「どこに運ぶのか？ラメゾンは、カシミールと言っていたが」マームード「そこかしこだ。我々は大きな組織だ。友達を選んで送達する」。リーチャーは「中に入れ」と言い、後ろから、後頭部を強打し、よろめいたところを、ニーグリーがアッパーカットを食らわせ、四肢を縛った。デンバーからのトラックの運転手の四肢を縛った。オドネルは、二人をトラックの横に放置した。4名は、ニーグレーのシビックに乗り、彼らを見送り急いで立ち去った。ニーグリーは、ペンタゴンの相棒に連絡をとり、顛末を話した。車が山にさしかかった頃、多数のヘリコプターが到着したのが見えた。後の処置は彼らに任せることにした。

その後、４名の仲間は、清算し、別れた。ディクソンから、ニューヨークで会えないかと誘われたが、予定はないと答えた。

98 冊 “The Crossing” by Michael Connelly (386 pages) published in 2016 Grand Central

エイプリルフールの日

エリスとロングは、ヴェンツルラ通りで、オートバイの 4 車後方にいた。東から南に大きくカーブしてハリウッドに向かう途中であった。先輩のエリスが運転していた。ロングは、後部座席で、携帯電話でビデオを見ていた。右側のレーンに空きがあったので、足を踏み込んだら、車が前方にジャンプした。ロング「どうした」。エリス「問題にない」。エリスは、バイクに追いつき、バイクと並走した。エリスは、後方に、運転手の黒いブーツと、ガソリンタンクにオレンジ色の炎を見えた。カマロの色と同じであった。彼は、数フィート前に行き、右側に曲がろうとした時、遠心力が働き、左のレーンに流された。運転手の叫び声を聞き、車の側面に衝突したが、そのまま疾走した。彼のミスであった。車の軋る音、長くホーンの鳴らす音が聞こえた。バイクは対向車線に入ってしまい、衝突してしまった。エリスの車は逃走した。

金曜日の週末、ハリー・ボッシュは、弁護士のミッキー・ハラ―に遅れないように早朝から裁判所にいた。19 階建てビルのロビーの金属検出器を初めて通過し、エレベーターで、13 階の 120 課でハラ―を見つけた。ハラ―は、午前中、目撃者のスタンドにいるロス警察官のサンチェスに質問していた。ボッシュとハラ―は、著名なロサンゼルスの被告側弁護士を父に持つ腹違いの兄弟で、育った環境も年齢もかなり違っていたが、同年代の娘達がいた。ボッシュはロス警察で 1 年前に捏造したビーフの件で停職中であったため、古い殺人事件の警察記録をみる機会があった。生活費と娘の学資金を捻出するために退職していた。ボッシュの娘のマディーは奨学金を得たし、ヘイレイも順調であった。ボッシュは、ハラ―から、レクシー・パークスの事件で、ダクアン・フォスターの弁護を頼まれた。あと 6 週間で裁判が開かれる。ボッシュは、退職後、世間に疎くなり、この事件のことを真剣に考えていないようであった。レキシ―・パークス(38 歳)は、就寝中に性的暴行を受け、鈍器で痛打され殺された。郡保安官の夫ヴィンセント・ハリックが、夜勤から帰宅してみつけた。レキシ―・パークスは、4 名のウエストハリウッドの市政管理官の一人であり、市の主な代弁者であった。殺人が起こった日から 38 日後、41 歳のダクアン・フォスターが、犯行現場で回収された DNA より、レキシ―・パークスの殺人容疑で逮捕された。

ボッシュは、過去の事件簿を調べていた。ウエストハリウッド地区の性犯罪者の聞き込み、犠牲者の活動、恨みを買いそうな人の歴史、夫婦の婚外交渉について初動捜査を開始した。郡保安官の行動科学ユニットで取りまとめたプロフィールには、容疑者は、レキシ―・パークス殺害に生理的な要因、精神病を患っていた。容疑者は、公のイベント、市議会でのミーティング、ケーブルチャネルで、彼女を目撃していた。ボッシュは、殺人現場となった家を訪れた。バンガローが並ぶ一角にあった。コーネルとシュミットは、フォスターにインタビューしたが、レキシ―を知らないの一点張りであり、弁護士を呼ぶようにしか返答しなかった。エリスとロングは、ハリーを追跡し、飲酒運転で逮捕させるように誘導した。そして、911 に電話して警察を呼んだ。

ボッシュは、午前 9 時、男性中央刑務所のロビーでハリーを待っていたが、約束の時刻にやって来なかった。その変わりに、ジェニファー・アーロンソンと名乗る女性がやってきた。「ハリーは飲酒運転で捕まり、市の刑務所にいる。間もなく保釈されるだろう。ハリーのために働いて

いるそうなので、預かった書類を渡しに来ました。」ボッシュは、フォスターに会ったが、思いのほか痩せていた。「フォスター、お前は人を殺していなければ、犯人を捕まえてやる。殺人が行われた日は、どこにいたかを教えてくれ。」フォスター「ハリウッドにいたが、私の妻以外の男性と一緒だった。」.

仮釈放されたハリーは、「血中のアルコール濃度は、規定値よりも低いので問題ないはずだ」。法の執行脅迫実施の標的とされてきたが、酔った時には運転していない。運転していたという証拠もない。潔白であることを実証してみせる。リポーターにも屈しない。政府は我々の生活にまで介入することはできない。」ハリーはどうして平服の警官のエリスとロングに車を道端に置くように命じられたのか？

ボッシュは、放射性物質の窃盗事件を担当していた時、放射能を浴び、毎年胸部X線検査を受けている。ボッシュは、娘のマギーの継父であった。娘が4歳になるまで自分に子供がいるとは思っていなかった。13歳になるまで一緒にいなかった。娘にハリーが関与している事件について話した。「刑務所にいる依頼人は無実であり、濡れ衣を着せされているかどうか、調査を頼まれた。」マディー「誰が殺されたの？」ボッシュ「女性だが、しかも残酷に」マディ「刑務所にいる依頼人を探すの？」ボッシュ「依頼人を逃がす前に止めるのだ」。マディー「よく考えて」。娘は寝室のドアを閉めた。

ボッシュは、ロス警察時代のパートナーのルシア・ソトに電話した。彼女は、ボスに見つからないように、犯罪日誌を調べ、その年の3月19日以降の一週間で起こった事件を調べてくれた。被害者は、売春婦である。犯罪日誌は、1899年9月9日から記録されている。

モテルでアレンは、絵画を吊るすワイアーで絞殺された。コンドームを使った安全なセックス、多量の毛と線維が散らばっていた。精神病者の犯行である。レキシ―・パークスの殺人と関係があるのか？ボッシュは、マイク・ストゥッターとアリ・カリムから２つの殺人に心理的な共通点がないか、事件のファイルが欲しかった。ボッシュは、行動科学部長で、20年来の知り合いのヒノジョス医師に電話した。マディーは、５年前、母が殺された後、ロスにボッシュと一緒に暮らすようになった時、家事を無償でしてくれた。「マディーは、あなたと同じように、心理学を専攻したいと思っている。娘に、今、やっている事件について説明してくれないか」。ボッシュは、オーランド市の裁判官・陪審員であるレキシー・パークが殺害された家の売買をしている不動産屋を訪ねた。若い女性のテイラー・ミッチェルがボッシュをレキシ―・パークの家に案内した。殺人の行われた部屋は、空になっていた。バーベキューステージも長期間使われていなかった。壁に付着していた血は、塗装により隠されていた。夫のヴィンセント・ハリックが妻にクリスマスプレゼントした高価な時計は見当たらなかった。ハリック「壊れたので修理中である。出ていってくれ」。

ヘブンハウスは、不法な性行為が行われているモテルである。ボッシュは、数カ月前にここで起こった男娼のジェームス・アレンの殺害事件を調べていたが、まだ未解決である。殺害事件の起こった６号室には、死体も、衣服も持ち出されて何も残っていなかった。もし、アレンの友達が来たら、連絡が欲しいとフロント係に頼んだ。ボッシュは、ロス警察にいたオスカー・ガスコン（ハリウッド　フォアエバーの警備員）に2月9日にヘブンハウスをカメラで撮った写真がないか聞いた。自殺したドラッグクイーン（女装するゲイの男性）はここに住んでいた。ガスコンのビデオは「1993年型のフォード　エコノラインがモテルに向かった。夜9:45PMにバンがまた現れ、来た道と同じ道を使いサンタモニカ方面に向かった」。オスロ―にビデオのコピーを送

り、ラッキーに拡大するように言った。ヒノジョス博士によると、女性器への挿入の仕方が異なるので、2件の殺人は、別の容疑者による。ダクアン・フォスターには、事件当時、刑務所にいたので鉄壁のアリバイがある。何故、レキシ―・パークスは殺されたのか？時計はどこにいったのか？ソトに会うことにした。

ボッシュは、殺人日誌を頼りに、エル・セントロ路地のアパートに聞き込みに入った。死体を車のトランクにしまう音がした。２つのドアの閉まる音がしたことから、犯人は二人であると思われた。ボッシュは、他の刑事が見落としていたこと、時計の修理されていること、レキシ―の夫がかなり割引した値段で時計を買っていることに気付いた。２名のロス警察（コーネルとシュミット）がボッシュを訪れ、ボッシュが捜査できる身分であるかを問い、軽蔑の言葉を吐き帰って行った。ボッシュは、時計店に行ったが、直感で何か隠していると感じ、更に追及することにした。ロングとエリスは、追跡アプリでボッシュの動きを常に把握していた。書店の兄弟を探るのでは？ボッシュは、念入りに検討したかったので、飛行機を使わずに車でラスベガスの時計店に向かった。販売とサービスの支配人であるバートランド・ゲラルドからいろいろと聞き出した。自分は、ロス警察を退職した殺人担当刑事であることを証明し、殺害されたレキシー・パークスの時計の修理をしていないか、と尋ねた。旦那の姓のハリックを使って、レキシ―・ハリックで登録している可能性があるといったら、ゲラルドは、「もとの所有者は、時計を返却されたくないので、その時計を持っている。カリフォルニアのウェストハリウッドにいたレキシ―・ハリックから送られてきたものだ。スイスでクリスタルガラスを送ってもらい修復するのに 10 日かかった。レキシ―・パークス殺害の１週間前の 2 月 2 日に届いた。しかし、3 日後の 2 月 5 日まで開封しなかった。この時計は、ハリックの名前では登録されておらず、元の所有者の名前で登録されていた。この時計ともう一つの時計、すなわち２つの時計は、時計収集家の医師に売った。この収集家の奥さんは、自宅にいない間に盗まれたと言った。彼らはビバリーヒルズに住んでいる。夫は、時計は盗まれていない、自分が賭博で損した分を、時計を売却して得たお金で払ったと、事実と違う話をした。レキシ―からも時計の修理が完了するのにどれ位の日数がかかるかと問い合わせがあったので、これらのことを伝えたら怒られた。」と言った。ボッシュは、机の上の時計の裏には、ヴィンスとレキシ―、永遠にそして 1 日、と彫られていた。ボッシュは、シェリフ課のディック・サットンから緊急のメッセージをもらった。電話にでると、「ウェストハリウッドで２重の殺人があった。ネルソン　グラント＆サンズという宝石店で。お前の助けが必要だ」。ボッシュは、ミッキー・ハラ―に「今夜 7 時にシェリフのウェストハリウッド支署に来てもらえないか？弁護士が必要だからだ。何か不穏な動きがある。注意しろよ」。私がその店に行って、1 時間以内に兄弟が殺されているのは偶然の一致だろうか？5 週間後の裁判までに全ストーリーを知らなければならない。ボッシュは、グエン兄弟は何を知ったために殺されたのか？

ボッシュは自分の車に GPS が取り付けられ、監視されていることを知った。そこで、コンピュータに詳しいルシア・ソトに電話してネットで車の調達を頼んだ。ボッシュはあえて GPS を外さないことにした。配車を待つ間、ベバリーヒルズの整形外科のジョージ・シューベルトを調べさせた。セルビア人のマルコが運転する車（テスラ）がきた。テスラという車は、同郷のテスラが発明王のエジソンと一緒に電気を編み出したことから名付けられた。ボッシュがいつも携帯している手帳に、帳簿に載っていない情報提供者の名前、ドン・エリスとケヴィン・ロングの名前が載っていた。ボッシュは、ハリウッド支署にきた。エリスとロングの写真をはずし、カラーコピーした。このコピーをハラ―に見せたところ、一人はハラ―の車を道路の片隅に寄せたことが分

かった。秘書のジャネットがエリックに「誰かがここにきて、署の壁のピンで留めてあったあなたとロングの写真を外し、コピー後に、その写真をもとに戻さなかった。多分、悪ふざけだと思うが。何かご存じ？」と言った。エリックとロングは、今日はボッシュが車を使った形跡がない。不審に思い、ボッシュの家に行ってみたが、車は置いてあったが、ボッシュは家にいなかった。不安になった。ボッシュの携帯に、家の近所の知り合いから、メールが入っていたので、電話したら、30~40 代の警察風の男がボッシュの家を双眼鏡で監視しているとの情報が入った。ボッシュは以前銃撃治療に通った病院で、足の不自由なシスコに会った。シスコは、ミッキー・ハラ―は、意図的に飲酒運転とされたと思っていた。シスコも自分の負傷も、誰かが自分を押して車に引かせるようにしたと思っていた。アルメニアの通り魔はロス警察のハリウッド支署の通りにあるビルの 7 階にオフィスを構え、偵察をしていた。そこで、駐車場をハリウッド運動クラブ(HAC)の駐車場に移した。ボッシュの努力が実り、濃いオレンジ色のキャメロ車を見つけた。シスコに車の写真を拡大して送ったら、自分を牽いた車であることを教えてくれた。ボッシュは、モテル（ヘブンハウス）の受付のオスカー・ガスコンからビデオを見せてもらい、ジェームズ・アレンがモテルに 2 度訪れており、その間にジェームズ・アレンを殺し、トランクに押し込め逃走したことを知った。隣人のフランクに写真を見せたら、ロングであることを確認してくれた。次は、シューベルト博士に会うことだ。エリスとロングは、ボッシュは、車をチェロキーからクライスラーに変えたことを知った。

ボッシュは、整形外科のシューベルトの病院に行き、院長室で、レキシー・パークの傷ついた写真を見せて、レコーディングをした上で問い詰めたシューベルト「2 年前にラスベガスで、オーディマーズ・ピグェットという時計を買い、賭博の負債分を支払うために売った。エリスとロングは風俗取締官であった。風俗店でジェームズ・アレンと知り合った。風俗店のホステスのボツリヌス毒素（ボトックス）を定期的な使用、顔や腕のリフトアップを 10 年ほどやっている。警察の報告書に残さないでくれ」。

デボラ・ストバルは患者になりすまし、ボトックスによるアレルギー反応で、顔が腫れてしまったため病院に行けない。アパートに来てほしいと連絡してきた。シューベルトは、アパートに行ってみると、裸になったルームメートのアニーと二人がかりで誘惑され、ついにセックスまでしてしまった。迂闊にもその時写真を撮られたため、エリスとロングから、公表されたくなかったら、毎年 10 万ドル支払うよう脅された。そこで、妻にプレゼントした宝石のついた時計が盗まれたことにして、エリスとロングに渡した。エリスとラングは、それをグエン兄弟と取引し、ネルソングラント&サンで所有地として売ることにした。

ハリックは、クリスマスプレゼントとして、その時計をレキシー・パークスに渡した。しかし、レキシ―はその時計の宝石を破損してしまい、修理のためにラスベガスに送ろうとしたが、問題が起きてしまった。エリスとロングは、ジェームズ・アレイを使って、レキシ―の殺人を計画した。

エリスは、面倒なことが起こりそうなので、ロングに「我々は別行動を取ろう。お前は、メキシコへ行け」

エリスとロングが、シューベルトの整形病院に入ろうとした。カーテンを閉め、電気を消し、シューベルトを浴室に待機させた。911 に電話して救援を頼んだ。パトカーのサイレンが近づいてきた。エリスとロングは銃を持って建物に入ろうとした。シューベルトが打たれ死亡した。ボッシュの銃弾は、ロングに命中し、深手を負わせた。ボッシュはロングに、「エリスは去った。

お前を盾に使ったのだ」。ボッシュは取り押さえられたが、録音テープを使って、説明する機会を与えられた。警察署内の二人が関係する事件なので、多くの同僚者が集まった。

メンデンホールがボッシュの家まで送ってくれた。そこには、エリスが潜んでいた。ボッシュに銃を突きつけてきた。その時、メンデンホールが背後からエリスを銃殺した。

裁判が行われた。副首席検察官のブラッド・ランドレスとミッキー・ハラーの一騎打ちである。ランドレスは、コンドームは使用しないと言ったが、ハラ―は証拠写真を示し、実際には、全部で７件に渡る事件全体で同じコンドームが殺人現場から回収されたことを示した。その結果、ハラ―が大逆転で勝利した。依頼人は牢獄から出ることになった。サヨナラ満塁ホームランがでた。ハラ―、ボッシュ、マギーは喜びを共有した。ハラ―は依頼人の肩を抱き祝福した。世界中のメディアが、カメラ、レコーダー、マイクを持ってハリーを取り囲んだ。

ボッシュは、メンデンホールに、1950 年のワイルドワンという映画でリー・マービンが乗ったものと同じバイクを手に入れたが、乗らない？」。メンデンホール「いいわね」。さあ、娘を連れて家に帰るとするか。

97 冊 “Without a trace” by Danielle Steel (261 pages) published in 2023 Pan Books

チャールズ・ヴィンセントは、11 年前に、第二の職業として、パリにあるフランスで最大のプラスチック製造会社ヤンセンプラスチックの CEO になった。チャールズには、イザベルという妻があり、広い友達付き合いをしている。チャールズは、金曜日の午後、82 歳のヤンセンプラスチックの所有者兼創立者のジェローム。ヤンセンに会うため、車でノルマンジー海岸を走っていた。ジェロームには、一人息子が一人いるが、父の会社を継ぐことに興味がなく、数年前にアメリカに渡り、ファーストフードのビジネスを開始した。ジェローム・ヤンセンは、ロサンゼルスとサザンカルフォルニアで、自分の仕事を手伝ってくれる有能で、強い意志のある CEO を探すことになった。ジェローム・ヤンセンは、プラスチック製品を製造会社以外に、フランスで最大規模の玩具会社を所有していた。チャーリーの方針とうまく合致した。

一方、チャーリーの父は、フランスでかなり認められた作家であったため、チャーリーは大学を卒業後、出版事業に入っていた。最初は、大成功であったが、執筆には興味がなく、チャーリーの父は 2 年後に他界し、母も彼が若い頃他界した。チャーリーは、フランスで最高の学校で教育を受けた。会社の所有者であるジル・バーミエルが嫌いであった。フランスや外国の著名な作家を勧誘し、前向きな姿勢は電子ブックを生み出した。チャーリーはオーディオブックにも挑戦し、アメリカをマーケットとして使った。５年も経たないうちに、チャーリーは出版事業では、輝かしい評判を得て、10 年でスターになった。オーナーの一人息子は、事故死したので、チャーリーは人気者になり、将来で最大の出版社をフランスで作れそうであった。しかし、ソフトポルノ（性描写がそれほど露骨でないポルノ）を全面的に取り込もうとした出版社と、それに反対するチャーリーとの間に亀裂が入った。チェアリーは、40 歳の誕生日を迎える２週間前に退職した。その後、大物作家が次々と辞めた。

チャーリーは、その後 2 年間は職にありつけず、彼の世界も、個人的は生活も砕かれてしまった。由緒ある家庭に育ったイザベルは、若い頃は、生き生きと、精力的に美術史を専攻し、ルーブル博物館で短期間働いていた。チャーリーとの結婚後は、仕事を止め、家庭に入り、息子オリヴィエと６歳年下のジュディスの育児に専念した。イザベルの父は、シャンパン、高級革製品、宝石などの収益の多いビジネス社会を所有していた。イザベルは、経歴のためではなく、父のよ

うな成功している人の妻になるように育てられた。チャーリーには早く復帰してもらいたかったが、失脚したチャーリーに対する誇らしさはなくなった。一方、チャーリーは、卓越した知性を身に着ける様に育てられた。作家である父は、チャーリーが商取引に関心があることに当惑した。彼の母は、ソルボンヌ大学の教授兼桂冠詩人であったが、彼が大学在学中に他界した。イザベルの父親は、チャーリーは、以前のように、危険で挑戦的な仕事には手を出さなくなった。チャーリーは頑固で、自尊心の強い、扱いにくい性格であるので、なかなか仕事が見つからなかった。イザベルもそんな夫に愛想が尽き、寝室をともにすることがなくなった。二人の子供たちが私立の学校や大学に通う学費は、イザベルの父が払っていた。

ジェローム・ヤンセンの事業は、その時は不振であった。チャーリーに２度あったが、頭がよく、創造的であり、機知に富んでいた。チャーリーは何か新しいものを学びたい。チャーリーはプラスチック事業を猛烈に勉強してオモチャ産業を知り尽くした。チャーリーはリーダーになり、収益を上げた。フランスの子供いる家庭では、ヤンセンの玩具がもてはやされた。11 年後には、チャーリーは、フランスで最も影響力のある人物となり、結婚生活も何とか乗り越えられると思われた。しかし、チャーリーは、53 歳になり、仕事に情熱を感じなくなり、一歳年下(52 歳)のイザベルとの結婚生活を維持するために、仕事を続きているだけであった。29 歳の長男のオリヴィエは、独立して、ロンドンでよい仕事をしている。23 歳のジュディスは、スイスで有名な EHL ホスピタリティビジネススクールを卒業し、ニューヨークで職を得た。イザベルは、海岸線の岩の上に立つ完全修復された壮麗な洋館と、パリのエッフェル塔が眺められるアロンディスマン 7 区のシャン・ド・マルス公園にあるアパートを手に入れ、皆から羨ましがれた。しかし、夫婦中は冷え切っていた。イザベルは、チャーリーのお金で、ほとんどの時間、友達と過ごしたり、ショッピングに行ったり、友達と食事したりしていた。チャーリーは、結婚は永遠であり、慎ましいものと思っており、読書したり、クラッシックカーに乗ることに生きがいを見出していた。しかし、ここで会社を辞めたら、イザベルは離婚を切り出すであろう。彼は週末の家でのパーティーはいつもよそ者扱いされた。彼はお金を稼ぐだけの奴隷であった。ヤンセンのために働くのは、いくら裕福であっても喜びではない。

チャーリーは、シャトーに向かう途中、崖ら落ち、頭を打ち、一時気を失った。車は、海中へ沈みかけた時、海水が車の中の入ってきた。間一髪、脱出で、岩をよじ登った。時計をなくしたが、助かった。道端に横になった。骨折はしていないようだ。道を歩いて行くと明かりのついた小屋があり、ドアをノックしたら、長身の痩せた美しい女性が現れた。家の中で傷の消毒をしてくれ、明日、ルアーブルの病院に連れて行ってくれるとことである。家の中で止めてくれた、お互いの自己紹介をした。名前は、オード・サンマルタンで画家のようである。チャーリーの身の上話をしたら、真剣に聞いてくれ、信頼感を得た。二人は、ベッドをともにし、愛し合った。

イザベルには何人かの姉妹がいたが、お金持ちの夫と結婚しており、活気がなく会う機会が少なかった。チャールズも好感をもてなかった。イザベルは、２度離婚歴のあるステファン―・ボナールに親近感をもっていた。ステファニーは、高齢の財力のある夫と贅沢な日々を過ごしたことがあり、イザベルにチャーリーのお金をどのように使うかをアドバイスしていた。二人は、ローマ、ミラノによく旅行に行った。

釣り好きな大工のジャックと、配管工のエミールは、夕食の魚を取ったり、地方のマーケットに売ったりしていた。よく晴れた日、豊漁が期待されていた。その日は、沖合に出ず、海岸線沿いで釣りをしていたら、ぐしょぐしょになった財布を釣り上げた。その中には、クレジットカー

ドと運転免許証が入っていた。善良な二人は、現金を盗むことなく、警察にそれらを持って行くことにした。

チャーリーは、シャトーに行く前に、引き返して、オードの家に戻った。二人は、より惹かれ合い、お互いの生い立ちを教え合った。オードは、36歳、兄弟はいない。ボルドー出身で、両親は教師をしている。６歳から絵画を始めた。パリにある名門エコール・デ・ボザールで絵画を専攻中のクリスマスイヴに木が燃え焼死した。家や絵画を売り、画家を続けている。一度結婚したが、嫉妬深い性格であった。私がボルドー時代からデ・ボザール時代までのボーイフレンドと一緒にいたのを見つけいら立ち、私に暴力を振るい、ボーイフレンドを殺害した。刑務所に入れられた。その後、彼と離婚して、この家で８年生活している。これに対して、チャールズも同様一人っ子であった。母はソルボンヌ大学の教授で、父は、かなりよく知られた作家であったが、二人ともチャールズが若い頃死別している。

チャールズの車が落ちた崖の近くを走行中を車の運転手から、車の轍後が崖まで続いており、車が見当たらないという通報が警察に届いた。警察は、現場に急行して調べたところ、崖に車の断片、クロム、サイドミラーが見つかり、車が海中に沈んだことが考えられた。その後、ダイバーが潜り、車が海中から発見され、シートベルトが外れたことから、運転手は、海中に放り出されたとみなされた。その後、二人の漁師から運転手の財布と身分証明書が届き、運転した男が、チャールズ・ルイス・ヴィンセントであることが判明した。警察は、シャトーにいるイザベルに、夫のチャールズの車が崖から落ち、行方不明になったこと、海中に放り出されて行方不明になっていることを告げた。

イザベルは、ステファニーに相談した。チャーリーは、家族、キャリアー、一生を見捨てたりはしない。自殺はありえない。チャーリーは、今の仕事よりも昔の仕事をしたかった。死体が上がっていないが、警察は断崖から落ちたので、助からないと思っている。年金はもらっているが、1~2年しか持たない。葬式を行うためには、死亡証明書が必要である。

チャーリーは、ノルマンディー海岸から1時間の所にあるアーマンドが経営する車の整備場で働いていたが、彼の車が見つかったことを聞いた。トラックが車の残骸物を運んできた。これから屑鉄処理場に運ばれる。新聞の死亡記事欄の彼の名前と写真が載っていた。チャーリーの葬式は、盛大に行われが温かみがまるでなかった。ジュディスは、チャーリーの方が好きであった。チャーリーのアパートは、子供たちに譲り受けられるが、イザベルが一生、あるいは再婚まで使うことができる。シャトーは、イザベルのものであったが、子供たちが自由に使える。アーマンドは、二人の未婚の子供たちのいる娘たちに出て行ってもらい、チャーリーには整備場で働いて欲しかった。チャーリーは、新しく、オードとの生活を始めたい。人々が自分が死んでいると思っていることは、そのままでよいと思っている。近くで不吉な発砲の音が鳴り響いた。用心すべきと思った。ドアの前には、３匹のリスの死体と皮を剝がされた1匹のウウサギが置かれていた。刑務所の連絡を取ったら、前夫のポール・パキエがピストルを持ち脱獄していることが発覚した。

チャーリーとオードは、パリ近郊の町に、離婚後の遺産の分配が片付くまでいることにした。そこには、レストラン、有名な教会、修道院などがあり安全そうであった。チャーリーは、パリにいる弁護士のフィリップ・ドラクロアに電話して会いに行った。子供には資産の75%ではなく、66%に減らし、イザベルには、シャトーは差し上げるが資産の25%を、12.5%減らして、自分の持ち分を21.5%にするという案を提案するつもりであった。イザベルに電話したら、吃驚し、

ステファニーと相談した。子供たちとジェロームは、チャーリーが生きていたことを知り、喜んでくれた。とうとう弁護士同士の戦いになったが、平行線であった。

ポール・パキエは、オードが自宅に戻っているのを知り、ガレージから押し入り、オードを確保した。クロロホルムを噛ませて、轡をして、放火して、オードをトランクの中に押し込み、逃避した。チャーリーは、携帯で電話してもオードが出てこないので不審に思い、オードに家にいったら、家が焼け落ちており、オードが以前の夫に拉致されて逃走したことを警察に通報した。チャーリーはアーマンド、そしてフィリップ弁護士に、軍隊の奇襲部隊にいたことのある屈強で経験豊富なロバート・ベルシーという私立探偵を紹介してもらった。ベルシーは、コンピューターで検索して、ポールがオードを連れ去った場所として、ところどころに宿泊小屋や、夏季専用のキャンプ場のある 2 万 6 千エーカーの広さのあるフォレ・ド・トロンセ国有林（トロンセの森）を考えた。ポールは、生け捕りにしたオードを罵り、苛々した時は、何度も顔や身体を殴り痛めつけた。自分が捕獲した小鳥や兎を料理しても、オードには渡さなかった。水、スナック程度しか渡さなかった。幸いなことに性的暴力は振るわなかった。オードは、森林を素足で歩いていたため、足を傷つけていたため遠くへ行けないだろうと思い、ポールは散歩は許した。ポールが町に食料品を買いに行っている間に、ポールの携帯を見つけ、チャーリーにトロンセの森にいることを告げた。ベルシーは、長距離赤外線双眼鏡でポールを見つけたがオードはいなかった。オードは、誰か手信号を送っていた人を見かけチャーリーであることを確認した。いよいよレスキュー隊の出番である。ポールは、しまっていた銃をオードに向け狙った時、チャーリーが身代わりになろうと突っ込んだその時、レスキュー隊員の放った銃弾が先にポールに命中した。ポールは死んだ。

3 週間後、チャーリーの希望通り、離婚が正式に成立した。イザベルは、シャトーの全てと、アパートにあるものを手に入れ、チャーリーはアパートを手に入れた。チャーリーは、アパートにオードのために創作部屋を作った。チャーリーは出版社からオファーがあり、自宅で編集長として勤務できる。チャーリーとオードはアパートにホームシアター、ジム、サウナを取りレル予定であることを子供たちに話したら、喜んでくれた。もアパートに来て、居心地がよさそうであった。

96 冊 “The Bourne Supremacy” by Robert Ludlum (679 pages) published in 1986 Orion

登場人物：モリス・パノフ博士（コンクリンの仲間）、リン・ウェンズ少佐（巨大な中国生まれの英国のトップ情報将校）、キャサリン・ステイプルズ（マリーの旧友で、香港のカナダ大使館勤務）、フィリップ・ダンジュー（ボーンの仲間のメデューサン、時にはメンターである難民）、ハヴィランド大使（アイビーリーグ出身の洗練された白人のアメリカ人外交官）

本小説は、ロバート・ラドラムのジェイソン・ボーンシリーズの第一作「ボーン・アイデンティティー」の続編（第二作）として執筆された。ジェイソン・ボーンは、ベトナム戦争のブラックオプス「メデューサ」の退役軍人で、トレッドストーン 71（極秘諜報活動）の一環として、分身のデビッド・ウェブになり、暗殺者カルロス・ザ・ジャッカルを捕まえることを引き受けた。前作 **95 冊**では、嵐の中、ラシオタットからの漁船は、冷たい海に浮かんでいる瀕死の男ボーンを釣り上げた。ボーンの頭は厚板にあたり割れていた。医師が住んでいるポート・ノワール島にい

たジェフリー・ウォッシュバン医師の治療を受け、リハビリに励んだ。ある程度回復したが、記憶喪失と統合失調は完全には直っていないまま、フランスに渡った。ボーンは、マギル大学ペンブルック校経済学部のマリー・セント・ジャック博士がレイプされて殺される寸前で助けたことがきっかけとなり、愛し合うようになった（前作 95 作参照）。ボーンは現在、彼の正体を発見するのを手伝ってくれた女性であるエコノミストのマリーと結婚していたが、もう一人の自分であるジェイソン・ボーンは、極東に現れた。香港は、小さな道が迷路のように繋がっているエキゾチックな場所である。マリーが誘拐され、香港で行方不明になった時、再度、救出に現れた。謎めいた強力なタイパンは、ウェッブの妻を担保に、ウェッブに 1997 年の香港の英国から中国への引き渡しを混乱させ、世界を戦争に陥れる可能性があった。ボーンはマリーだけが味方だった。CIA エージェントのアレクサンダー・コンクリンは、以前、ボーン/ウェブを悪党であると思って殺そうと思ったこともあったが、過去の過ちを償いたいと熱望し、デビッド/ウェブを助ける側に回った。ベトナムでの負傷により、コンクリンは杖をついて歩くようなっていた。酔っぱらいのコンクリンは、愚か者を喜んで苦しめたりはしなかった。アメリカ人外交官、ハヴィランド大使が事件全体の糸を引いている。ボーンがマカオのカジノで詐欺師の接触を追跡し、北京の毛沢東の霊廟でのスリリングな銃撃戦、ボーンが、 ウェブ、ついに来る詐欺師と対面する。ウェッブが自分が何者であるか、温厚なデビッド・ウェッブは、ジェイソン・ボーンになることを恐れているが、妻を救うにはボーンの洗練された暗殺者のスキルが必要である。ボーン/ウェッブは再び自分が本当は誰なのかわからなくなってしまう。

さて、物語は、香港のキャバレーの奥まった一室から始まる。血の海に転がる五つの死体の一つは中国副首相のものだった。床には、「ジェイソン・ボーン」の血文字が書かれていた。それは中国復帰を 1997 年に控えた香港をめぐる、ある陰謀の幕あけであった。そして、暗殺者は決してボーンではなく、ほかにいるはずだ。デルタとして壮絶な殺戮を実行するボーンは、愛妻マリーのために戦う。

エドワード・ニューイントン・マカリスター次官は、レイモンド・ハヴィランド大使の契約に乗った。コピーをもらって帰った。契約違反で処罰される。ハヴィランド「ジェイソン・ボーンを知っているか？」。マッカリスター「アジアで知らない者はいない。35~40 人殺しているアメリカ人。フランス外人部隊逃亡兵で、聖服を脱がされた聖職者、百万ドルを窃盗した輸入業者だ。被害に会っているのは、大臣、実業家、政治家やモンスターだ。ボーンは姿を消した。負傷し、健忘症になった。カナダの経済学者のマリーと結婚した。政府の金 500 万ドルを持って逃げている」。

ジェイソン・ボーンは、外国勤務の将校のデイビッド・ウェブであった。タイ生まれの妻、そして二人の子供は、飛行機からの機銃掃射により殺された。彼はデルタと呼ばれるゲリラ戦士になり、CIA の官公吏のコンクリンの努力もあり、メドゥーサと呼ばれる秘密作成部隊に参加した。メドゥーサは南北ベトナム地域に詳しい国際組織で麻薬、金、銃、宝石の密売を行っていた。

ハヴィランド大使「３年前、ジェイソン・ボーンを派遣した。中国人の副大臣のシャン・ジョウ・ヤングを殺せ」。マカリスター次官「シャン・ジョウ・ヤングは、中国共産党中央委員会により監視されていた。マルクス主義者だが、将来を期待されロンドンで経済博士号を取得している。ソビエトの失敗を、ロシアの高級官僚の腐敗、低級層の思慮のない順応のせいであるとした。工業センターで悪習の公平な分担を除去した。中国の新しい貿易政策の多くの責任がある。

中国に大金をもたらした男だ」。マカリスター次官は吃驚して「何故欧米はシャンに死んでもらいたいのか？」大使「ションは裏切り者だからだ」。マカリスター「それは違う。ションは北京では崇拝されており、主席になる人だ」。ハヴィランド大使「それでは、中国は、台湾の国家主義熱狂者により支配されるのか？

マリーがいなかったら、ウェブは、愛のない死人であったはず。パノブ医師がいなければ、植物人間だった。家に来た国務次官のマカリスターは、手短に自己紹介した。

トレッドストンファイルには、ジェイソン・ボーンのことが記載されている。ヤオ・ミンという香港銀行経営者の妻が殺された。この妻の最後の愛人は、麻薬卸売り業者であり、競争相手を殺した。海洋パトロールを買収して船を沈めて殺した。この愛人はマークされ、彼の敵はボーンを雇った。妻と愛人は、寝室で射殺された。タイパン（外国商社の支配人）は。MI-Six（秘密情報部）の男に近づき、彼の妻を殺したジェイソン・ボーンのファイルを得るように言った。しかし、この男は殺された。

ボーンの家が荒らされ、放火された。メリーは誘拐された。ウェブは、ワシントンにいるアレキサンダー・コンクリンのアパートに会いに行った。ウェブとコンクリンは夜を徹して話し合い、コンクリンは、アメリカ合衆国国務省に赴くことになった。情報セキュリティ責任者のいる神聖な二重ドアを開けて入り、協力を求めた。

ウェブは、クルエットという偽名で、香港のカイタク空港、カオルン空港に降り立った。ウェブは、100 ドルで運転手から銃を買った。旺角（モンコック）は人で密集していた。メリーは体が弱っていないか？マリーは病院で手当てを受けている。カナダの官僚たちがいるので安心である。

マリーは、逃亡して、旧友のキャサリン・ステイプルズの助けを借りるため会いに行った。ボーンは、ガイドからピストルを買って森の中に入って行った。中国兵を捕らえ、懲をして、衣服とライフルを奪い、森の中を進んで行った。カナダのエコノミストのマリーは誘拐され、香港に連れて行かれた。ボーンはマリーを連れ戻さねばならない。

キャサリンは、マリーに、車で待っているからすぐ来るようにと電話した。しかし、マリーはどちらに行くか迷っている間に、車に乗った男に連れられそうになったため、悲鳴、叫び声を上げ、通行人に喚起した。何とか逃げ、キャサリンの車に乗ることができた。しかし、キャサリンがレンタカーを取りに行こうとしているところを捕らえられた。外務職員であるステイプルは、オーウェン・ステイプルという少なくとも４つの会社社長と離婚していた。レンタカーを借りに行ったが、待ち伏せに会い、辛うじて逃げた。ハヴィランド大使「カナダ・アメリカ戦略会議は、明日午後 4 時から始まるので、彼女はすぐ戻らなければならない。」しかし、「彼女は、セクハラを訴えれば、国際外交の法律に抵触することになるが」、ハヴィランド「彼らを引き裂き、すぐ彼女を連れてこい」。リン・ウェンズ、キャサリン・ステイプルをハヴィランド大使、マッカリスター次官の前に連れてきた。

ボーンは、ダン・ジョーとマカオに向った。雨で濡れた警察のユニホームを着て、ボーンは北京からの飛行機を待っていた。マリーが大事だ、詐欺師を探さなきゃ。英国と中国の友好を深める記者会見。ジョン・バーチ協会に属するメンバーの中国人のガンマは完全な仲介者である。ダン・ジョーが推薦する。サンフランシスコが好きか船員である。北京の空は霞んでいた。巨大な北京国際空港は、滑走路は２マイル以上の長さもあった。

マリーは、キャサリンからの電話を待っていたが来ない。マリーは待ちかねて、外に出て、海岸線に出て、生き止まりの道に来たら、二人の中国人の警察補助にレイプされそうになった。しかし、必死に反撃し、叫び声を上げた。それを聞きつけて人たちが救助に来てくれた。マリーは、ジダンという中国人に助けられ、拘置所に預けられた。マリーは窓から、外の景色を見たら、キャサリンが国務省次官のマッカリスターと３名の海兵隊と一緒にいた。キャサリンがこっちを見ていそうなので、マリーは窓から遠ざかった。キャサリンは、味方ではなく、敵ではないのか？私は一人になってしまった。

マリーは銀行家のジョイに「香港に帰り、助けてくれる人に電話したい。」。ジョイ「足から血を流しているので、見てもらった方がよい」。ジタイ「尖沙咀（ツィムサーツイ）でオースチン・ペネロプの名前でホテルの部屋を取った。ワシントン・DC のアレクサンダー・コンクリンに電話した。マッカリスターは、私を連れ戻したい。デイブックをコントロールするために。マリーに「香港に行くから、家から一歩もでるな」。暗殺者、僧侶の衣服を纏ったカルロスを見つけた。毛沢東記念館まで追いかけた。

マリーは監視されている。キャサリンが運転手付きの車で、家につき、車から降りて車道を歩いていた時、黒いセダンがやってきて、隣に車を寄せた。その時、爆発音がして、運転手は、即死、キャサリンも一斉射撃を食らった。あたりには首にない身体が横たわり、血の海であった。そのセダンの車を運転していたのはボーンであった。ボーンは、カルロスを追い続けている。

ダンジョウは、峡谷で長い剣で断頭により処刑された。コンクリンからマッカリスターに「キャサリン・すいてプルは、銃弾 40~50 発を食らい射殺された」ことが伝えられた。ボーンは飛行機長に香港に向かうよう指示した。ボーンはパラシュートで香港新界元朗区の魚の孵化場に降りた。暗殺者を縛り、バンに乗せた。シェイリンは疲弊していた。キャサリン・ステープルは自分のアパート前で銃殺された。リン・ウェンズも重傷を負った。ボーンとコンクリンは、ションから、部下たちが護衛する山に呼び出され、そちらに向かった。ションを殺したが、コンクリンは負傷した。ボーンはハワイでマリーと幸せな時間を過ごしていた。

ボーン対カルロスの対決は、第三作「ボーン・アルティメイタム」で再び登場する。宝石商のピーター・グエンの兄弟のピーター・グエンが殺された。

95 冊 “The Bourne Identity” by Robert Ludlum (566 pages) published in 1980 Orion

1975 年 7 月、国際テロリストネットワーク（日本の赤軍、西ドイツのバーダー・マインホフ団など）の重要人物のカルロス（正式名は、ラミレス・サンチェス・イリイチ：ウラジーミル。マルクス主義の法律学者の父にイリイチ・レーニンに因んで命名された）が逃亡した。

第一部：嵐の中、ラシオタットからの漁船は、冷たい海に浮かんでいる瀕死の男を釣り上げた。男の頭は厚板にあたり割れていた。医師が住んでいるポート・ノワール島に向かった。ジェフリー・ウォッシュバン医師は、8 年前にこの島にやってきた。男は銃弾を浴び瀕死の状態であったが、冷たい海水の中で、何とか命を繋いできた。日に日に回復してきたが、自分の名前も覚えていない。また、記憶もない。右臀部の上の皮膚に、本人の署名入りのスイス・チューリッヒの銀行の貸金庫番号を記した 35 mm のマイクロカプセルが埋め込まれていた。男の名前として、ポート・ノアール島で一般的なジーン・ピエールを選んだ。マルセイユから 6 冊の医学書が届いた。精神的ストレスと 9 時間以上の漂流による病的な興奮により精神的損傷を受けていた。銃の知

識、歯を見る限り軍とは関係ないようだ。精神的なストレスが治まれば、技術や才能は復帰するかもしれない。また、肉体が強くなれば、記憶がもどる可能性はある。言葉の練習は、19 週間続いた。やがて、船で、フランスのマルセイユに送り返された。スイスのチューリヒが目的地である。ウォッシュバン医師はパスポートを改変した。医師から貰った 2000 フランでは足りないので、金集めが必要であった。ナップサックにしまってあった衣服を着て、砂浜に横になり、空を見た。幾らか明るくなった。飛行機と船を利用してマルセイユにつき、スイスに行って銀行の貸金庫を開けた。パリ在住の「ジェイソン・ボーン」という名前が記された米国パスポートや、多数の偽造パスポート、400 万ドル（1185 万フラン）、そして拳銃などがしまってあった。ジェイソン・ボーンは拳銃以外を持ち去った。

アメリカに国籍を持つジェイソン・チャールス・ボーンという名で、ゲマインシャフト銀行で貯金の振り替えの手続きを終えた時、二人の男が、銃を持って入ってきた。カリロン・デュレック・ホテルで開催された少人数の第 6 回世界経済会議の中に入ったら、二人の男を見かけた。オクスフォードにあるマギル大学ペンブルック校経済学部のマリー・セント・ジャック博士を囮にして逃亡した。銃殺しようとした男を殺し、車を奪って逃走した。ボーンは、逃走中にスーツケースを落としてしまった。スイスのチューリヒからパリに行きたかった。ボーンは途中で、カルロスの手下の殺し屋に襲われ、手を負傷した。マリーは裸にされ、レイプされて殺される寸前で助けられた。防潮壁で銃声を聞いてかけつけた見張りが殺された。マリーを助けたボーンは、深手を負い、疲労困憊となりホテルに帰った。マリーにお金を渡し、カナダに帰るように言った。しかし、マリーは、命の恩人のボーンの手助けをしたいと言って残ることにした。

第二部：

マリーには、ピーターという 2 年間同棲していたセクション・ディレクターがいた。マリーは、ボーンの記憶を取り戻させたく、ボーンに寄り添った。「命を救って有難う。ピーターにはしばらく連絡しない。あなたと一緒にパリに行きたい。私は、カナダ政府の幹部である。私がチューリヒにいるのは、国際財政、大使館を保護して、同盟国に報告するためである。」カルロスは、ヨーロッパの刺客と呼ばれており、これまでに、50~60 人の名だたる政治家や軍の司令官を殺している。容姿は不明であり、パリから離れて住んでいる。ボーンは髪を金髪に染め、眼鏡をかけ、送金手続きのため銀行のアントワーヌ・ダマコート氏に会いに行ったが、銀行のオーナーと相談してくれと言われた。頭巾を被ったカルロスは、80 歳の老人を伝令係として雇い、手下のケインに命令して、マリーを襲わせ、見張りの男を殺したが、ボーンを逃してしまった。カナダ政府にとり重要なピーターが殺されたことはまだ報告されていない。カナダ大使館の随行員のデニス・コルベリエも知らないのは不思議である。マリーは、オタワに電話して、「どうしてピーターは殺されたのか？本気で対処しないのは何故か？口止めされているのか？」。マリーは、何が起こっているのかを聞き出そうとした。マリーは、彼らはボーンを殺そうとしていると分かった。電話交換手が、ジャクリーン・ラビエ（パリの高級衣裳店の経営パートナー）とケインが一緒にいることを目撃した。リーランド大使は、ケインではなく、カルロスにより殺された。ケインとはいったい何者なのか？ケインの国籍は不明である。これまで、ケインにより、73 名のアメリカ人、46 名のフランス人、39 名のオーストラリア人、24 名のイギリス人そして、推定 55 人の白人が犠牲になった。アジアで評判を得て、1 年前にヨーロッパへ移動した。しかし、我々はケインではなく、カルロスを追う。ケインはカルロスを凌ぎたいと思った。ボーン（ケイン）は、

マリーのベッドサイドに「お前はカナダに帰れ。いつでも連絡できるから」と書かれた便箋を置いた。それを見たマリーは涙ぐんだ。耐えられず、ボーンは「それは過去のことだ。今はもう離れたくない。何故、こんなことをするのか、あとで説明するから」。マリーは、カナダ政府の女性の経済学者であり、国際銀行業に詳しい。熟練したコンピューター・プログラマーである。ボーンは、ケインのようだけど、証拠がない。カルロスは、ハワード・ルランドの契約を受理したが、ボーンはそれを止めようとした。メドゥーサ（守護者）の元本と二つのコピーは、ペンタゴン（アメリカ国防総省の本庁舎）、CIA（中央情報局）、NSC（アメリカ国家安全保障会議）の保管庫にあり、限られた人しか見ることができない。ボーンは、メドゥサから来た。銀行の記録から名前を割り出せる。カルロスにその情報が伝わってしまった。二人の殺人者が、ボーンとマリーのいる部屋に近づいた。マリーがあてにしていた大使館員のデニス・コルベリエは深夜、銃で喉元を打たれ死亡した。「ボーンを助けたい人が連絡を取りたがっていた」。アレキサンダー・コンクリン（メドゥサの秘匿諜報員）は、東南アジアで手榴弾により足を飛ばされ、杖をついていた。

第三部：

ボーンは、オーベルジュ　ドゥー　コインのホテルで車を借り、逃亡した。車中で、マリーに打ち明けた。「６カ月前、地中海のイルド　ポートノアール島で私の人生が始まった。ジャクリーン・ラビンがアルジャントゥイスのレストランで語った言葉、事件、都市、暗殺、メドゥーサ、全ての辻褄が合う」。マリー「あなたは、自分が犠牲になり、私を救ってくれた。あなたは、あなたが描くような人ではない。やがて全て思い出せると言ったでしょ。」ボーン「私のことは構うな。英雄気取りで逃げようとしている私は、ケインと呼ばれる男だ。アジアからヨーロッパで指名手配されている男だ。カルロスという暗殺者は、私のしたことに対する仕返しとして、私の喉を打ち抜きたいのだ。そんな私と一生を終えたいのか？」マリー「あなたは、自分ひとりで罪を背負うとしている。他人を苦しめたりしない」。ボーンは、アンドレ・ヴィリアーズ将官の家の前で待ち伏せして、彼が南テール郊外の会合に行く車を追跡した。田舎風のレストランには、グラスを持つ人、煙草を吸う人、カルロスの崇拝者おおよそ 10~20 人（全員男性）の前で、ヴィリアーズは、過去のこと、ケインを取り逃がしたことを話していた。ボーンは、ヴィリアースから話を聞いた。「息子を死なせたのは、カルロスのせいではない。私は、カルロスのやり方については、むしろ賛同していたくらいだ」。

ヴィリアーズは、8 年前に前妻と死別している。30 歳前後の後妻は、カルロスと接触している男に話しかけた。ヴィリアーズは、ボーンを信用しているようだ。ヴィリアーズは、ボーンに妻の不審な動きについて喋ったのは何故だろうか？彼女は、ヴィリアーズの財産の要求はしない。彼女は、いろいろな国の美術館めぐりに行った。ハワード・リーランドが殺されたマルセイユにも行っている。カルロスに命じられてだろうか？多分、カルロス、あるいは、側近の近くにいるヴィリアーズの妻に会うことになった。ボーンはトリニョンに対して「連邦捜査局はお前の本（ラヴィエル婦人が請求書を発行する）を差し押さえた。アンドレ・ヴィリアーズの妻のアンジェリクは長身で、日焼けしている。カルロスの従妹であり愛人」である。パルクモンリーのステップにいたメドゥーサから来た男のダンジョンは「1968 年 3 月 25 日、ジェイソン・ボーンはタムクウァンであなたに処刑されたので、あなたの名前はジェイソン・ボーンであるはずがない」といった。ボーンは、マリーをヴィリアーズに預けて、メドゥーサとケインの創造者のデイビッ

ト・アホック僧侶が眠っているお墓を訪れた。カルロスの手下に追跡された。自分が誰だか、出身地もわからない。ボーン（ケイン、デルタ）は、ニューヨークに行き、そこでカルロスと決戦を予定している。マリーは、ボーンに言われた通り、ヴィリアーズに会った。ヴィリアーズは、マリーにアメリカ大使館に行くように言った。アメリカ国務長官「女性（マリー）が真実を喋ったらヤバイことになる。機密情報を持った男もいる」。ボーンはカルロスと対決するために、ニューヨークに到着した。昔の生家に戻ってきたような気がした。車で移動中、運転手は射殺された。ここはケインの生まれた場所である。ボーンは出血のため、長くは生きられえないことに気付いていた。カルロスを道ずれにしてやる。最後の銃弾もなくなり、白衣を纏った男に銃を投げたら、白衣が落ち、見覚えてのある顔が現れた。銃弾が前腕部にあたったようだ。カルロスにも着弾したが、自動小銃を持ったまま私にのしかかってきた。サイレンの音が鳴り響き、人が集まってきた。パリ郊外でボーンを殺そうとした足の不自由なコンクリン、タムクワンのジャングルでの過去のことが思い出された。煙の中、メリーの声がした。「あなた、私の手をしっかり握って」。

ホテルの一室で、クロフォード准将は「どこで間違ったのか」モリス・パノフ精神科医「ボーンの精神障害はまだしばらく続くだろう。浄化が必要である」。彼は、デービッ・ウェブとして生きている。外国での奉仕活動、特に極東地域のオフィサーをしていたが、５年前から、政府から離職した。デーヴィッドにはタイ人の奥さんとの間に生まれた娘と息子がいたが、旋回中の不明の飛行機から落下した２発に爆弾により家族３名とも殺された。彼は新しい道を探さねばならなかった。ウェブは、サイゴンに向かい、守護者（メドゥーサ）になるための訓練をした。残虐な行動に走り、デルタになった。北部ベトナムの諜報は、彼の首に莫大な賞金をかけた。ハノイは、ウェブの弟がサイゴンの軍の将校であることを知り、罠を仕掛けた。弟を誘拐して、北ベトナムに連れて行った。ベトコン情報提供者（密告者）は、タムクァン地区に囚われていると言った。デルタは、二重スパイと一緒にメドゥーサのチームを作り、深夜に、ダンジョンと電気関係に詳しい白人の一団にいた。ベトナム人は逃げた。デルタは、逃げなかった白人を処刑した。その男というのが、ジェイソン・ボーンであり、オーストラリアのシドニーから来たメドゥサンである。東南アジア全域で、銃、麻薬、奴隷、密輸業者である、犯罪歴のある共謀な男である。行方不明者である。メドゥーサは、彼の死の情報を埋没させたかった。トレッドストン作戦チームが形成され、ウェブは呼び戻された。彼は、自分を裏切ったボーンという名の男をタムクァンで殺している。そこで、ボーンという男の名前を使うことにした。これが、ボーンの生い立ちである。

川辺のコッテージで、ボーンは、マリーに「私の名前は、デーヴィッドです。」マリーはボーンに「こんにちわ、デーヴィッド」。これから、ボーンは何をするのか。

94 冊 “The Concrete Blonde” by Michael Connelly (411 pages) published in 1994 Orion

本書は、マイクル・コナリーのハリー・ボッシュ・シリーズの比較的初期の作品である。触れ衣を着せられた刑事ボッシュ刑事が、連続殺人の犯人は、二人いることを立証し、見事に真犯人を突き止める。コネリー独特の重厚な文章が魅力的である。

ハリー・ボッシュ（43 歳）は、4 年前に、連続殺人魔の機械工学士（航空宇宙産業）のノルマン・チャーチを殺したのだと、妻のデボラから訴えられていた。ボッシュは、怠慢さが指摘され、ロス市警察の窃盗犯・殺人課から、ハリウッドの殺人班に降格処分になった。しかし、警察

長官は、ボッシュのとった行動は妥当と判断した。これから、陪審員が選ばれ、公判が始まるという記事が、ロサンゼルスタイムズのメトロ欄に掲載されていた。著者は、タイムズのスタッフライターの**ジョエル・ブレマー**であった。ボッシュには、市の弁護士ロッド・ベルターが付き、デボラには、ハニー・チャンドラー弁護士が付いた。米国裁判所裁判官のアルヴァ・キーズはジミー・カーター元大統領に任命されただけあって公平である。公判が始まった。ボッシュは、自分は正しい判断をしたと確信していた。被害者は、いずれも水商売の女、アダルト女優、ストリッパーであった。犯人の手口はいつも同じで、首を絞めながらレイプして殺害し、財布や衣類には手を付けず、化粧品のみを持ち帰るという特徴があった。ボッシュには、この 1 年間、週に 3,4 回夜を一緒に過ごすシルビア・ムーアという離婚歴のある女友達がいた。最近、コンクリートの中から女性の死体が見つかった。

テリー・ロイドは、ロス市警の窃盗・殺人課のエリートであり、18 名の部下を、昼の A 班、夜勤の B 班に分けて統括している。ボッシュは、B 班に所属していた。テリーロイドの証言によると、犯人は、犠牲者を人形のように化粧する癖があるのでドルメーカーと呼ばれていた。犯人は、ノルマン・チャーチである。生き延びたポルノ女優のディキシー・マックィーンは、ブッシュは、ディキシーの代わりにドルメーカーを殺したと言ってくれた。

公判で、デボラの夫のチャーチは、アパートで愛人を囲っていたようだ。デボラは知らないそぶりで嘘をついていたことが暴露された。検死の結果、生前に出血が見つかり、レイプと断定された。5 名の被害者に対して、犯人は、同じ会社の潤滑油が塗られていたコンドームを装着して、セックスした。ノルマンのアパートには、12 個入りのコンドームのうち 3 個が残っていた。ノルマンは、恥毛を残さないように全身の毛を脱毛していた。公判は順調で、ボッシュは余りの嬉しさに、ベルクと検視官のアマドにビールを奢ってやりたい位であった。ボッシュは、ビデオボックスに視察に入り、マグナ・カム・ラウドリーの名を使っていた女性がコンクリート内で殺害されたことを確信した。ブッシュは、ドールメイカーにより殺された女優のアダルトフィルムを見た。ボッシュは、シルビアとワインを飲みベッドをともにして、辛いことを忘れようとした。

ボッシュにとり、不利な証拠が提出された。チャーチの友人のヴィクゾレッチイは、チャーチは私の家で、仲間と一緒にいたという（時刻入りの）ビデオを見せた。これは立派なアリバイであり、チャーチがその時間に殺人を犯すことができないことを立証した。急に、ボッシュ側の旗色が悪くなった。更に追い打ちをかけるように、チャンドラーの発言が続いた「ボッシュの母は、売春婦をしていた。殺された原因は不明であるが」。これに対して、ボッシュの上司のアービン・アービングは、ボッシュの判断については、間違っていないと発言してくれた。性行動の専門医のジョン・ロック教授は、性衝動は誰にも起こることであることを述べ、チャンドラーに有利となる発言は得られなかった。

トーマス・セロンは、ベッキー・カランスキーの同室者あった。ベッキーは、サンセットストリップでブランドデートに行ったまま帰って来ていない。コンピューター検索で、セロンは 40 歳であり、ポン引きや売春斡旋を 9 回も逮捕されていることが分かった。売春婦に 20 ドル渡し、セロンのアパートを教えてもらった。そこで、ベッキィのことを訪ねた。マギー・カム・ランディーは突然消息を絶った。ボッシュは女の子の前でセロンをノックアウトした。セロンはベッキィーが戻らないのでホリー・リア（ポルノ名は、ニコール・ナップ）を顧客に送ったが、ドルメーカーの 7 番目の犠牲者になった。この時、ボッシュは、犠牲者の殺され方に不一致があることに

気づき、もしかしたら、殺人者は二人いるのではないかと考えた。裁判前夜、ボッシュは、ロック医師に面会を求めた。そこで、ボッシュは、犠牲者 12 名は二つのグループに分けられる根拠を述べた。9 名はグループ A、3 名は、グループ B である。グループ B は、７番目のコール・ナップ、11 番目のシャーリーン・ケンプ、そして、今週の犠牲者の 12 番目は、いずれもポルノ女優であり、死体は、いずれもマリブ、西そして南ハリウッドで発見されている。これに対して、グループ A の死体は、東ハリウッドとシルバーレイクで見つかっている。更に興味いことに、グループ A の殺害の間隔は、いずれも接近しており、30,32, 28, 31, 31 日であった。これに対して、グループ B の殺人の間隔は、48 日であった。つまり、犯人は二人いて、チャーチはグループ A の女性を殺し、もう一人の犯人は、ストレスに強く、まだ生きている、グループ B の女性を殺したと思われる。第二の犯人は、自分の存在は誰にも見えないので、また、チャーチが死んでしまったので、大胆な行動に出る可能性がある。犯人は、若くて、ブロンド色の髪の、巨乳の女性を好む。犯人はどうしてチャーチの手口を知ったのか、もしかして特殊任務のための起動部隊か？犯人は、カミンスキーの死体の横に、タバコの吸い殻を残したので、喫煙家であろう。

公判で、チャンドラーに質問され、ボッシュは、「これまでにチェーチ殺害の前後に二人、計３名殺害している。私は、チャーチは何かを不穏な動きが見えたので殺害したのだ」と述べた。まだ、犯人がもう一人いることを話さざるを得なかった。シルビアは公判の席に現れた。私に対して楽観的でいるように励ましてくれた。チャーチの死後、2 年前に失踪していたレベッカ・カミンスキーがコンクリートの中に死体で埋められていた。ノートが送られてきて、その場所が分かったのだ。ボッシュの旗色が悪くなった。ボッシュが裁判で勝つためには、二人目の犯人を捜すしかなかった。

ボッシュは、第二の犯人が殺しそこなったジョージ・スターン（別称：ヴェルヴェット。ボックス）、殺害されたニコール・ナップ（別称：ホリー・リー）、シャーリーン・ケンプ（別称：ヘザー・カムヒザー・マリブ）の犯行現場にモラがいたことを突き止めた。また、ボッシュの母が殺された場所に、アービングがいた。ボッシュはチャンドラーに鎌をかけた。「第二の殺人犯からノートを受け取ったようだ。チャンドラーとエドワードが一緒にいるところを見つけた。ボッシュは、レイ・モーラ刑事の目に暗い影を見た。ボッシュは、再度、精神科のジョン・コック博士に会いにいった。

容疑者のモーラによれば、第二の模倣殺人者は、これまでに、7 番目、そして 11 番目の２名の被害者の他に、６名、計８人を殺している。チャーチの死後、殺人の間隔が伸びている。逃亡している女性の被害者の目撃情報が入った。モーラが自宅から出て、映画館に入っている間に、モーラの自宅を探索した。家には、ポルノ関係の TV やビデオデッキのテープがあったが、いずれも中身が消されていた。モーラに見つかってしまった。遅れてシーハンの声が聞こえた。足音が聞こえ銃声がした。モーラは逮捕された。しかし、モーラは、自分は模倣犯ではないと言い張った。ボッシュの家の郵便箱に、封筒が届いた。お前の金髪の女を殺してやる、と書かれていた。ボッシュは、シルビアの安否を心配し、家の鍵をかけて静かにしているようにと注意した。二人は、サンタ・モニカの海が見渡せるホテルのスウィートに２泊した。

判決が下される日、ハニー・チャンドラー弁護士が失踪した。代わりに、弁護士の間に合わせにダン・ダリーが立ち会った。判決が下された。ノルマン・チャーチに対して、非合法的な捜査と押収から守る権利を奪ったので、１ドルを支払うこと。この判決は、ボッシュにとり勝利であった。ボッシュの行動は、不手際があったが、所詮、チャーチはドルメーカーであったのだ。依

然として、模倣犯は、見つかっていない。警察官のモーラやロック教授でもなかった。インタビュー記者のブレマーが浮上した。ハリウッドにある彼の家を訪れ、問い詰めた。ブレマーは、録音されているとは知らず、銃を持っていたため安心してか、自分が模倣犯であり、チャンドラーも殺したことを話してしまった。そして、ボッシュを射殺しようとしたが、銃弾が入っていなくて、その場で手錠を嵌められた。その後、ブレマーは、チオペンタールを注射されて麻酔され、唾液、血液、陰毛が採取された。検死の結果、犯行現場から採取されたものと一致した。さらに、ある婦人から通報があり、ブレマーがウッドワードという偽名で所有していた貯蔵用ロッカーの中から、チャンドラーやマギー・カム・ラウドリーなど７名のポルノビデオテープ、手錠、ベルト、ナイフ、グロック９銃が見つかった。とうとう、ブレマーは、第二殺人者として送検された。無期懲役は免れないだろう。

ボッシュは、シルビアに、都会を離れて週末を一緒に過ごそうと提案した。シルビア「もう金曜日で、どこも空いていないのでは？」ボッシュ「すでに予約してあるから、心配ないよ」

93 冊 “The Night Fire” by Michael Connelly (405 pages) published in 2020, Orionboos

ハリー・ボッシュは、30 年以上勤務していたロサンゼルス警察を 4 年前に定年で退いていた。ボッシュは、現役時代、病院から盗まれた多量を捜査中に、多量のセシウムを浴びて、慢性骨髄性白血病に罹り、化学療法を受けていることを娘にはまだ告げていない。２週間前に膝を手術したため足を引きずって、旧友の探偵のジョン・ジャック・トンプソンの墓地で行われた葬儀に参列した。ジョン・ジャックも、40 年間、ロサンゼルス警察に制服をきて勤務した。ボッシュ達に、悪者の退治法や嘘つきの嘘を見抜く方法を教えた。葬儀が終わり、参列者は、リムジンでジョンの家に向かい会食が始まった。ボッシュは、持ってきたパイにナイフを入れたら、妻のマーガレットに夫ジョンのオフィスに案内され、そこで、ジョンからの殺人の記録を受け取った。相棒のバラードに激励され、未解決事件に決着をつける決意をした。

バラードは夜勤責任者として、焼き焦がれた死体の前にいて、レポート用の写真を撮っていた。巡回軍曹のスタン・ドゥボレックが消防局に呼ばれてやってきていた。２台の消防車が鎮火に当たっていた。目撃者はいなかった。14 歳のアマンダ・マンディーと母がいた。母は死者のエディーを知っていた。サンセット大通りのホームレスが集まる広場（聖餐のパン）にいた。ボッシュは、マーガレットから受け取った殺人記録をバラードに渡した。マーガレットと一緒に捜査しないかと訪ねた。

異母兄弟のミッキー・ハラーは、殺人容疑のかかっているジェフリー・ハースタットの弁護を務めていた。ジェフリーは、自分が殺したと言っているが、ミッキーは、統合失調症のジェフリーの言うことを信じない。スーザン・サルザノ検察官とやりあっている。血液の DNA 鑑定を友人に頼んだ。ハラーは年金生活者のボッシュの代理人である。ハリーは、裁判官にこの仕事を頼まれた。ボッシュとハラーは一緒に食事に行った。

バーバラは、ジョン・ヒルトン殺人事件を解決するために、ボッシュからもらい受けた殺人帖に載っているマクスウェル・タリスに会うことにした。

殺人は、真夜中から明け方、午前:4 時に行われ、それから 4~8 時間後に店主により死体が発見された。ヒルトンは、至近距離で右耳の後ろ当たりを撃たれた。バーバラは、トンプソンの家に、まだ記録が残されていないだろうかと思った。犠牲者ジョン・ヒルトンの母、サンドラ・ヒ

ルトンは、刑務所から戻って来た息を冷酷にあしらった。ジョンは、殺される前に、製作スタジオに寄っていた。

トンプソンは、証拠を得ることができなかった。バラードは、犯罪シーンの写真に探している何かを見つけた。ボッシュの娘のマディーは、３人の女学生と一緒に住んでいた。そこに、変態男が入り込んできた。バーバラは、協力することにした。バーバラは、容疑者としてデナード・ドルセイ、ネイサン・ブラジル、エルビン・キッドの３名と、マクスウェル・タリス、ブレンダン・スローンの２名のグループに分け、捜査することにした。ジョン・ヒルトンは、同じ囚人仲間のキッドが管理する薬物仲間に殺された。バーバラは、キッドに会ったが情報は得られなかった。

ボッシュは、ジョン・ジャック・トンプソンの妻のマーガレットの承諾を得て、ジョン・ジャック・トンプソンの書斎を調べたが、参考となる証拠は得られなかった。ボッシュとサルザノは、ジェフリー・ハースタットによる殺人事件と、モントゴメリー裁判官殺人事件について、オキシメーターで血中酸素濃度を測定したモラレス医師に尋問した。ボッシュは二つのオキシメーターを使用したと言い張り、サルザノは、二つのオキシメーターを使用したと言い張った。ハースタットの DNA がモントゴメリーの指の爪に転移していた。ハースタットは、実際は殺していないのに、精神病で、殺したと思い込んでいることが判明した。その結果、無罪の判決を受けることができた。

バラードは、殺されたジョン・ヒルトンのルームメートのネイサン・ブラジルに会いに行ったら、戸口に現れたのは、同性の妻のデニスであった。バラードは、ブラジルが働いているレストランに行った。クレイトン・マンレイ・マンレイが怪しい。モントゴメリー判事殺害に関与する二人の男の声を、盗聴器越しに聞くことができた。バラードは、ドルセイから、相棒のエルビン・キッドが、囚人仲間だったジョン・ヒルトン少年を射殺したことの確信を得た。

クレイトン・マンレイは、32 階までエレベーターを使わずに降りて行った。その後、ビルの上から落下した。飛び降り自殺をしたと思われている。バラードは、ロリー・リー・ウェルズの名を借りた女性陪審員がモントゴメリー判事を殺したと思っている。ビデオには、この足指内反の女性（キューバ人のキャタリナ・カヴァ）は、異なる色の鬘を付けて、二つの殺人現場に現れていたことが映っていた。ボッシュは、マンレイの法律事務所がある建物に入りこみ、マンレイの部屋のドアはしまっていた。隣のマイケルソンの事務所で書類を調べていたら、カヴァにみつかり、銃殺されそうになったが、バラードが銃をかざして現れ、逆転したかに見えた。しかし、キャタリナは、隠しナイフで逆襲し、バラードに切りつけた。深手を負ったバラードは、病院に急送され、30 名の献血者により命をとりとめた。カヴァは、逃走したが、自宅で逮捕された。カヴァは、組織内の殺し屋であり、これまでモントゴメリー判事などを殺害してきた。マイケルソンは、カヴァを利用して、マンレイを殺した。そして、今度は、私を殺そうとしたのだ。マイケルソンは、専用機でグランド・キャンヨンに旅立つ前に逮捕された。

ボッシュは、バラードに、「今度、マーガレット・トンプソンに会いに行く。ジョン・ヒルトンについては、話すべきか迷っている。マーガレットは、ヒルトン事件の真相をすでに知っているのかもしれない。しかし、もし、そうなら、私に、ヒルトン事件の捜査を依頼するはずがない。最後に、トンプソンの書斎を訪れた時、クローゼットにあった箱があったことを思い出した。確か、その中に、ハリウッド・フリーウェイでバイクに乗っていた少女サラ・フリーランダーが 1982 年に殺害された事件の要約が入っていた。今度、その箱についてマーガレットに聞いみ

ることにする。」バラード「もし、その事件を捜査することになったら、私も一緒に捜査したいです！」。ボッシュ「じゃ、そうしよう」。

92 冊 “The Final Twist” by Jeffery Deaver (405 pages) published in 2021, HarperCollins Publishers

導入部

名探偵コルター・ショーは、銃を持ち、階段を降りて行った。二人の男が、ビールを飲んでいた。薄暗く、上の階にはダンスホールがあり、誰にも気づかれず暗闇の中の部屋を探し廻った。20 代前半の女性ニタは、ふらふらとした頼りない足取りで、立ち上がり、連れて出ようとした時、ビールを取りに来た男に見つかってしまった。コルターとニタは燃え盛る物置にいて、逃げようとしていた。

第一部、6 月 24 日、使命（家族の死まで 52 時間）

コルターは、アマチュアの歴史家、政策研究者であった大学教授の父アシュトン・ショーと、同じく大学教授で開業医の母マリー・ドーブの間に生まれた。6 歳年上の兄のラッセルと、3 歳年下の妹ドリオンがいる。

コルターは、長く愛用しているヤマハのオートバイで、シリコンバレーから、東カリフォルニアからワシントン州に連なるシエラネバダ山麓のサンフランシスコにやってきた。非業の死を遂げた父の遺志を継ぎ、民間諜報会社「ブラックブリッジ」の悪行を明らかにするためだ。父が生前使用した隠れ家に入り、父が残したドキュメントを探していたら、突然爆発音がした。破片が胸に当たり、痛みが走った。幸い、皮膚の裂傷はなく。手足は機能しているようだ。ピストルが落ちていた。侵入者を検知したら、警報音が鳴り、自動発射される仕組みである。この装置は、恐らく軍が昨年、作ったのだろう。

コルターは、変形したテーブルの上に置いてあった書類を見つけた。父が東カリフォルニア山麓のエコーリッジで発見して、残した手紙とは何であろうか？父は大企業、政治家、富裕層の傲慢な仕草が嫌いだった。友人の教授達とサークルを作り、彼らの悪徳を暴露するつもりであった。父が最初に目をつけたのが、スパイ活動をしている民間諜報会社「ブラックブリッジ」であった。この会社は、「都市改造計画」を謳っているが、地方のヤクザと一緒に、安価な値段で麻薬取引をしていた。隣人を次々と腐らせ、不当な利益を上げていた。不法行為が横行すると住民は出て行ってしまう。ブラックブリッジの創立者兼 CEO は、映画俳優のイアン・ヘルムズであり国防、機密情報を取り扱っていた。進行役は、殺人犯はエボット・ドゥルーンとアイリーナ・ブラクストンであった。同社の根深い不正行為は、クライアントのバンヤンツリーホールディングス責任者のジョナサン・スチュアート・デヴェルーが絡んでいた。

父の友人と弟子（サンフランシスコ市議員）が「都市改造計画」の実態調査に取り掛かった頃、父は個人的にブラックブリッジを調査する決意をした。弟子のトッド・ザレクスキー夫妻が至近距離から銃殺された。ブラックブリッジのコーポレートソリューション研究者のアモス・ガールは、雇用主から証拠物件を窃盗し、サンフランシスコ市内のどこかに隠した。その後、謎の死を遂げている。味方が次々と殺され、いつの間にかアシュトン一人になった。コルターは、父が何年も前に始めた使命を引き継ぐ決心をした。困難な時に遭遇した時は、父が残してくれた教

えを思い出した。10 月の寒い夜、16 歳になったコルターは、父の死体をエコー・ブリッジで見つけた。地図に記された 18 箇所の場所を調べ、アモスが隠した証拠を見つけることにした。

アイリーナは、アモスが盗んだ会社の秘密と証拠物件が隠されている場所を示す地図を盗んだ。コルターは、ドリアン・ドーブ法律事務所の若手弁護士のカーター・スカイと、図書館で 30~40 年前の歴史ドキュメントを探したが見つけられなかった。ブラックブリッジで検索すると一件でできた。「一つずつ可能性を排除して行けば、自然と目標に近づいて行くものだ」。コルターはエビット・ドローンに見つかってしまった。防火扉から逃げたが、ブザーが鳴った。コルターはナイフで脅かされ、地下のアイリーナの所に連れて行かれる寸前に、ラッセルに救われた。コルターは、ラッセルとは数年会っていなかった。ラッセルは時々、父の隠れ家に通っていた。コルターは母に電話して、ラッセルの無事・生存を伝えた。

コルターは、一週間前にヴィクトリア・レストンと出会い、キスができるほどの親密な間柄になっていた。ヴィクトリアは、デルタフォース（テロ対策特別部隊）に所属していた。崖から湖に落ちた時も一命をとりとめたほどの強者である。母のところで治療してもらうことを勧めた。ヴィクトリアは常にグロック銃を持っている。

第二部：大地震（家族の死まで、あと 32 時間）

コルターは、マリア・ヴァスケスの娘のテシー（クラブのウェイトレスで芸人）を探すことになった。テシーとマリアのどちらかが強制、国外に退去させられる。父の住んでいた家は、エレナ―・ナドアーの夫の家族の家であった。ラッセルは、父の写真を見せたら、エレナ―は、アモスの葬儀で、父を見たと言った。ラッセル「私の父は、貴方の息子と同じ様に殺された。アモスは会社から、何か犯罪の証拠を密かに持ち出した。」コルターは、都市改造計画や他の不法な活動を説明した。

アモスの母は、「息子は、殺される前に、きっと何処かに秘密の証拠文書を残しているに違いない」と言った。コルターとラッセルは、アモスの友人で、ブラック・ブリッジの同僚のアーネスト・フルアに会いに行った。フルアの家は、マリン地区の、サンフランシスコ湾が望める崖っぷちに立っていた。フルアは、この豪奢な築 70-80 年の、防弾シャッター付きの家に 1 人で住んでいた。突然、防御用の矢が飛んできた。アモスは、ブラック・ブリッジに対する証拠を見つけた。コルターは、父が、アイリーナとドルーンに殺され、父の生徒も、ブラック・ブリッジに殺されたことを伝えた。フルアから、「アモスは、クウィグレー広場（犬の公園）の地下室やトンネルに何かを隠した」ことを聞きつけた。

コルターとラッセルは、早速捜索を開始した。そして、棚に書類カバンを見つけた。その中に、1980 年代のカセットテープがあった。しかし、文書にもカセットにも何も情報はなかった。手榴弾が投げ込まれたため、二人は辛うじて脱出した。遅れて、アイリーナ達は、家の家具類、キャビネット、冷蔵庫、宅配便バックなどを調べていた。コルターとラッセルはコンピュータースクリーンで彼らの動きを察知していた。何も参考となるものは見つけていないようだ。

コルターとラッセルは、バークレーに住む父の研究仲間のスティーブン・フィールドに会いに行った。フィールドの家には立派な庭園があり、昨年、大学教授のガーティと結婚したばかりであった。フィールドに文書を見せたら、驚いた。ローランド・CT・ブリッグスは、不動産、鉄道の大事業家でアメリカ国土を買い取り、搾取、独占した。コルターはデヴェルーを思い浮かべ

た。ブリッグスは、資本主義を導入しようとした。この修正文書「エンドゲーム・サンクション」は、企業がカリフォルニアにオフィスを構えることを許してしまう。

コルターは、デヴィルーに会い、「貴方とブラックブリッジの社員は、アルヴァレス通りにあった父の家に押し入った」と言った。コルターは、デヴェルーにアモスがブラックブリッジから盗んだ物のコピーを渡した。1906 年からの都市改造計画の法的裁定の証拠書類「エンドゲーム・サンクション」だ。過去 10 年の日付が記載されていた。都市改造計画の証拠隠滅をするために必要ではなかったのか？ブラックブリッジは、薬物を低価格で近隣にばらまき、土地を買い占めたのではないのか？、と続けた。ドゥローンとブラクストンは、超小型無線ＩＣチップ（RFID フラグ）を付けて追跡して新しい隠れ家を見つけたのだ。

テシーは、ギラルデリ広場から姿を消した。ここは、クラブの所有者、薬物商、売春斡旋者のダンテ・ムラディックにより所有されている。コルターは、囚われていたテシーを救出した。コルターは、テシーの母の友人であるコンスエラ・ラミレズ（コニー）から、テシーを救出した御礼を受け取った。

第三部（王者になるはずの男、家族の死まで８時間）

コルターは、探偵アデルの車で轢かれそうになった。ハンターズポイントのギャングが関与しているのなら、秘密警察(SP)は都市改造計画を知っているので狙われるであろう。多分、彼らは、麻薬の源はブラックブリッジや下請けのギャングにより都市にばら撒かれたのをみつけたのだろう。警察が入ってきたが、コルターは逮捕されなかった。家宅捜査を受けたが、容疑は晴れた。コンスエラ・ラミレズ（コニー）に会った。

第四部（火炎、６月 27 日）

後、６時間で殺人命令が発令される。TV のニュースキャスターが、100 年以上前の政府のドキュメントに、地方や州規模の会社の設立、自由競争を認めた記載がある、ことを報じた。父がサンフランシスコにいて手紙を書き、18 箇所に隠したものである。

ジュリア・カラハンは、カセット・テープの解読をした。男の声がした。銀行の口座番号、ブラクストン、ドゥルーンという名前、プロダクト（麻薬）の取引、MP3 のファイルのコピーを手渡してもらうことにした。コルターは、ドゥルーンと戦い、殺した。ドゥルーンとヘルムズがコルターを殺す計画を立てている会話を盗聴した。コルターのチームは、よい防御態勢を取っている。

コルターは、ヴィクトリアに、ジュリアになりすましてカセットの証拠を確かめ、オーディオ分析にかけてもらった。コルターとラッセルはブラクストンとドゥルーンになりすましてカセットの証拠を確かめた。コルターとラッセルは、ブラクストンとドゥルーンを捕まえ、SP 家族への攻撃を止めなければならなかった。黒幕のリチャード・ホーガン、デヴェルーは、秘密を探ろうとしている SP に死んでもらいたかった。CEO は、毒性廃棄物で人々を殺そうとしている。老廃物をタンカーで運び、工場の下流の奥まった場所に廃棄した。

ラファレールは「ブラックブリッジが、アシュトンを殺した」と言った。ヴィクトリアのスマホに、不明者から連絡が入った。「デヴェルーは、会社の上役、ボディガードとともに、ゴルフリゾートを去ろうとした時、狙撃され、死亡した。不法薬物の関与のため、土地のギャングが犯人と思われたが、現在、捜査中」と書かれていた。

第五部（灰、７月３日）
コルターとヴィクトリアは楽しいひと時を楽しんだ。コルター、ビクトリアと母の 3 人は、エコー・ブリッジに行く計画を立てた矢先に、鬚ずらのラッセルが現れ、一緒に行くことになった。

91 冊 “Better Off Dead” by Lee Child and Andrew Child (355 pages) published in 2022, Dell

私（リーチャー）、は、アメリカの無法地帯を渡り歩く旅を続けている。今、アメリカとメキシコの国境地帯に来た。そこでで、運転手と４名の乗客が車で降りるのを見目撃した。訪問者は、運転手を倒し、３名の乗客を次々と倒した。足の不自由な女性は、マイケルという男が死んだことを悟った。この女は、17 発の弾倉のある精巧なグラック 17 銃で、自己防衛のために、二人の男を殺した。射撃の名人と思えた。彼女は、私のこめかみを撃とうとしていた。「私は、自分の仕事を失った。罪のない人に危害を加えた。私の弟が殺された。生きる糧を失った。死んだ方がましだ。」という彼女に、私は好感を持った。助けてあげようと思った。私は、マイケルを探すことを手伝うことにした。彼女の名前は、マイケラ・フェントンと言った。マイケルと双子である。

ヴァード・アーメッド・デンドンケルは、フェントンを殺そうとしている。ドンデンケルは、ドイツ人の父とレバノン人の母の間に、フランスで生まれた。ペンシルバニア工科大学を卒業できたが、工学部博士課程の途中で退学した。一時、フランスに帰国し、イラクで働いてから、アメリカに渡り、2010 年、ビザを取得後、ジョージア州のグースネックで働いてから、取り締まりが厳しくないこの地にやってきた。秘密裡にダミー会社を作り、売春斡旋とケータリングをしている。客室乗務員を送り込んで、多分、薬物や武器などを運んでいるのだろう。一人の女性が、未開封の箱を管理していており、フェントンに触らせなかった。

マイケルは、アバーディーン兵器性能試験場で砲弾の中に入っているマスタードガスが漏れ、痙攣、狭心症、嘔吐を催し、ドイツの病院で療養していた。陸軍を辞めたマイケルは、地雷に詳しいデンドンケルに雇われた。

マイケルの姉のフェントンは、既婚者であったが、夫の死後、夫の名前をつけていた。マイケルは、カーティスという姓であった。デンドンケルのケータリングをしているルネという女性から、マイケルはまだ生存しており、地雷のテストをしていることを知った。フェントンは、ルネに、マイケルに連絡をしてくれという伝言を頼んだが、連絡がない。マイケルは、爆弾の製造をしており、デンドンケルは飛行機でそれを輸送している。

私は、フーリエ医師に会いに行った。フーリエ医師から、デンドンケルは、残忍であり、指示に従わないと、殺されるぞと脅された。マイケルも、デンドンケルに穴に落とされ、手りゅう弾で殺された（と思われた）。私は、ドンデンケルの４名の用心棒に襲われたが、全員痛めつけてやった。フーリエ医師から、足を引きずった女性が、デンドンケルに銃を突きつけて、ここから連れて行ったことを聞いた。私宛に残した手書きには、「リーチャー、デンドンケルのことで奔走してお会いできなかった、状況が険悪になり、もうこれ以上関わらない方が良いでしょう。短い間でしたが、お会いできてよかった。」と記されていた。私は、フーリエ医師からポリウレタンのファイバーを、ヘビ咬傷による毒素の拡散の防止と、手足の固定用にもらって、フェントンを探す旅に出かけた。

フーリエ医師は、デンドンケルに痛みつけられ、血を流して診療所に戻っていた。私はフーリエ医師に、車で自宅以外のところで避難するように言った。私は、リンカーに乗って、フェントンを探した。私は、以前ある事件で助けてあげたFBIのウォルワークに電話した。フェントンが危険な目にあっていることを知った。彼女の足は爆弾で飛ばされた。彼女はTEDAC（テロリスト爆発物分析センター）に所属している。フェントンは、ドンデンケルがアメリカに爆発物が輸送する計画を立てているという情報を察知した。デンドンケルは、Moon shadow agentという会社を介して「Pie in the sky実現しそうもない計画」という会社を経営している。そして、フェントンを殺害しようとしている。フェントンは、ロス・ケメロスで消息を絶っている。

ドイツの病院でマイケルと知り合ったソニアという女性から、マイケルは、発煙弾を製造していることを聞いた。砂漠で、タイマーと無線を使い、３回実験をした。犯行現場にマイケルは行くであろうか？マイケルの居場所は教えてくれなかった。マイケルは２台の車を所有している。ソニアは、マイケルと結婚や婚約はしていないが、お互いに助け合っていると言った。

デンドンケルは地雷を売っていた。その男に私を連行してくるよう命令した。復員軍人の式典で発煙爆弾を仕掛けるそうだ。誰が標的かわからない。私は、ソニアは、車でフェントンのホテルに連れて行ってくれたが、そこには、フェントンはいなかった。ドンデンケルのオフィスには誰もいなかった。この辺りは、活気もなく、警察もいない無法地帯である。

私は、ウォルワークに、町の排水溝の情報を送ってもらうことにした。排水溝は貯蔵庫に繋がっているはずだ。ソニアは、マイケルと結婚したかった。この逃げ道の話をソニアにしたらついてくると言ったが、危険だから駄目だと言った。地下を進むと、荷物を運搬する電動式のトラックがあった。デンドンケルは、廃校になった建物を商品、多分爆弾の倉庫として使っている。用心棒３名に６名位の地元の人を雇い、料理や運搬をさせている。建物を一周したら、大砲の砲弾を見つけた。マンサウアを倒し、息の根を止める寸前で、ドンデンクルが「止めろ。さもないと、フェントンを殺すぞ」とささやくようにしかし怒りっぽい声で言った。ドンデンケルは、「荷物の運搬をやらないか。食事とホテル代を払ってやる。」と誘いの手を伸ばしてきた。私は、その話に乗ることにした。ホテルについてみると、フェントンが閉じ込められていた。私は、行方不明であった彼女が、捕まり、目隠しをされ、見知らぬ土地に連れてこられたことを聞いた。弟のマイケルは、おそらく、死体廃棄所に捨てられたのではないかと思っているようだ。私は、一枚のベットでフェントンと添い寝したら、彼女は私に抱きついてきた」。

私は、ドンデンケルの命令に従い、運搬業務を始めた。私は、ウォルワークの力をかり、ヘリコプターで国境近くまで運んでもらった。そこから、ドンデンケルからもらった携帯で、フェントンに電話した。足音の数から、８名位の人間がフェントンの周囲にいるようだ。「これから大変重要なことをするので、一旦席を外すが、まだ電話中であるかのように会話を続けてくれ。」。私は、ガス銃を手に取り、屋根伝いに建物から建物に移動し、ドンデンケルの居場所に近づいた。時には、ガス銃で、ドンデンケルの手下を悶絶死させた。私は、フェントンの所に戻り、管理人室の木製のドアを足で蹴飛ばして開けて部屋の中に入った。階段があり降りて行くと、白い布で顔を覆われ、点滴を受けている瀕死の患者を見つけた。マイケルであった。熱傷と満身創痍で顔がはれ上がっている。急いで、ウォルワークに救助要請の電話をした。ドンデンケルに見つかる前に救助できるだろうか？建物の一角に小児治療室を設置して、そこで、フーリエ医師に治療してもらうことにした。

ドンデンケルの爆弾には、VX（V は、Venom 毒物）が含まれている。これは、噴霧状のサリンと異なり、溶液であるため爆発の熱を借りて初めて噴霧状態になり毒性を発揮する。ネーダー・ハリールが部品の提供を受け、マイケルが爆弾を作り上げたと思われた。

私は、用心棒のマンサウアを格闘の末に始末した。ドンデンケルは気を落とし、キャディラックに乗り、事業半ばで逃げることになった。マイケルは、まだ完全には回復していないが元気だ。ソニアは帰ってきていた。フェントンはマイケルとソニアが結婚することを望んでいた。私は、フェントンにもう一日いないかと勧誘されたが、体よく断り、風来坊の旅を続けた。

90 冊 “The dark hours” by Michael Connelly (463 pages) published in 2022, ORION

若い女刑事のレネ・バラードが、これまで未解決であった殺害事件と最近の真夜中の婦女暴行事件を、勇敢にも自力で解決して行く痛快小説である。

第一部：真夜中のレイプ魔：

ルネ・バラードは、ロサンゼルス警察ハリウッド地区の性暴力班に勤務している。大晦日には、野外パーティが開かれ、夜空には花火が打ち上げれた。逮捕歴のあるジャビエ・ラファは、至近距離から頭を打たれ死亡したという知らせが入った。バラードは、ロビンソン・レイノルズ警部補から承諾が得られれば、ラファ事件の捜査を継続できる。弾丸と弾倉のデータベースを調べたら、弾丸は、10 年前の強盗殺人事件で、リー・アルバートの殺害に使用された「ワルサー P22」と同一のものであった。この事件を担当したハリー・ボッシュが退職したため、未解決のまま放置されていた。バラードは、ボッシュに事情聴取した。アルバート・リーは、借金をしてノース・ハリウッドにスタジオを開設した。しかし、資金繰りに失敗し多数ローンが返済できず、貸主に事業を持って行かれ、保険金を掛けられ、そして、33~34 歳の若さで殺されたのだ。

これまでに、ロベルタ・クレイン、アンジェラ・アシュバーン、そして、シンディー・カーペンターズの、近隣に住む 3 名の女性が、夜のレイプ魔の犠牲になった。バラードは、この事件を解決するために、シンディーの家を訪れた。シンディーは、夫のレジナルドと離婚し、山に近くに一人で住んでいた。近所付き合いもない。シンディーの記憶が少しずつ戻ってきたようだ。レイプされている間、写真を撮られていた。シンディーに質問票を渡しておいた。ワゴン車を運転する二人が目撃されている。近所の聞き込みにより、赤毛の白人が車を運転していたことが判った。これは、シンディーの証言と一致している。街燈のワイアが犯人により切断され、道路を暗くしてから家に侵入したものと思われた。

バラードは、ハリー・ボッシュから、ジャビエ・ラファの葬儀が今日行なわれること聞いた。気になる白人のデニス・ホイルがいる。ラファの息子のガブリエルに、お父さんを殺した犯人を逮捕するために協力してくれ、とお願いした。ジャビエ・ラファは、歯科医師のパートナーから得た 2 万 5000 ドルをラス・パラマス・ギャングに支払った。「ラファが死に、パートナーがビジネスと保険対策、修理工場のある土地を得た。ギャングのリック・ダバンポートがお膳立てをした。バラードは、ダバンポートに会いに行った。

バラードは、ダパンポートに質問した。２万ドルを、ダパンポートの恋人のフンベルト・ビエラに払って、ラスパラモスから逃亡した。ラファは、自動車の修理をしていた。ラファは、ストリートバンカー（投資家の警察官）から借金をした。隙を見て、ダパンポートは、バラードの車のキーを盗み、逃げた。バラードは、同僚のボッシュに連絡をして、車を追跡するよう指示した。お金をラガーに渡したストリートバンカーの名前を知りたい。ベルトとボナーは、電話で連絡を取り合っていた。ベルト・ビエラは、ユニフォームを着た警官とランチを食べていた。ボナーを追い詰める。

バラードは、ボナーと名乗る人物を、警察署名簿で検索したら、クリストファー・ボナーという名を見つけた。その台帳には、ロビンソン・レイノルズのポストイットが貼られていた。ショー・バレーで年金生活をしていた。クラウン研究所の４名の歯科医とも近い。当直していたビベラ警部補に聞いた。該当者は、一箇所だけワイアをカットしている。50代の街燈修理担当のカール・シャープに調べてもらった。誰か、会社と関係ない者が、被害者の近くの街燈のみを切断したのだ。今回の街燈の修復をしないようにお願いした。

ロビンソンーレイノルズは、今回の事件は、西署の管轄だから、バラードには捜査に加わらないようにと言った。

第２部：ラファ殺害の容疑者の逮捕

バラードは、夜、男の襲撃にあった。隙を見つけて、肘で相手の喉を思い切り突いた。なんとボナーであった。怒りとともに救援しなればという気持ちが勝った。携帯で対処法を聞き出し、気道を切開した。救援隊が車で駆け付けた時には、ボナーは息絶えていた。自殺をしたのだ。善意でやったことなのに、バラードは尋問された。恐らく、デニス・ホイルがボニーに連絡したと思えた。ハリー・ボッシュは、９年前のアルバート・リー殺人事件とラファ事件はリンクしていると思っていた。アルバート・リーの事業と保険は、彼に金を貸していた歯科医（ホイルのパートナー）に行った。ボナーは歯科医により送り込まれた。ボナーのポケットに鍵開け道具が見つかった。ボナーは、西連邦殺人課が担当するので、バラードは、現場から外された。ボナーの車で見つかった銃は、二つの殺人に使われた。バラードとボッシュは、歯科医のデニス・ホイルの家の前に車を止めた。ホイルは、バラードが生きているのを知って驚いたか否かは、判定できなかった。しかし、ジェイソン・ボイルが、お金の貸し借りに関与しいていることが判った。

バラードとボッシュは、クラウン・ラボに向かった。ジェーソン・アボットは、クリストファー・ボナーがここに来て猿轡をされたのだと言い張った。しかし、アボットは、誘導尋問にはまり、ボロをだしてしまい、ジャヴィエル・ラファの殺人容疑で逮捕された。

第３部：レイプ魔との対決

バラードは、アボットをヴァン・ヌイス刑務所に搬送した。また、報告書を、ロス・ベスター刑事を介して、検察官に渡した。バラードは、犯行したこと、夜無茶した行動をしたことにより停職になっている。バラードは、今後の方針を立てるため、犬を連れて、パース・ヴァーデス・ビーチで休暇を取った。

バラードは、カール・シェーファーから街灯管理局の場所を聞き出した。ジョン・ウェルボスから修復の電話。30代初めの女性エンジニアのハンナ・ストヴァルは、コロナ禍の中、在宅勤務をしていた。最近、家の前の街灯が点滅しており、修理が必要であった。ピントを犬預かり所に

預け、ハンナの家の周りに着いた。外から、ハンナに電話し、誰かが家に侵入しようとしていると伝えた。バラードは、変装して身代わりになることを伝えた。ストヴァルには、ハリー・ボッシュを護衛としてつけ、ホテルで待機してもらった。ストヴァルの彼氏のギルバートは、職を失い、喧嘩別れして、メキシコのカンクンに行っていた。バラードは、辞表を提出したため、護衛もなく、ストヴァルの家で待機して、凶悪犯の逮捕を企てた。急襲して一人の男を捕獲した。ガムテープで猿轡をし、手足を縛る前に、情報を得ようとしていた。しかし、もう一人の男が接近して、身の危険を察知したため、二人を銃殺してしまった。

尋問が行われた。バラードには、リンダ・ボスウェルという女の弁護士がついた。リンダは、「バラードは、発砲した時、事前に辞表を出していたので警察官ではなかったこと、今回は市民の個人的な問題として、身を守るために発砲した。これは正当防衛に該当する」ことが認められ、無実となった。

空港で、バラードとボッシュは、カンクンから帰国したギルバート・デニングを待ち受けていた。ギルバートは、ダーク・ウェブサイトで知り合った二人の男に、ストヴァルを凌辱するために送り込んだのだ。

チーフ警察官が、ストルヴァルに、警察に復帰する気があるなら、いつでもバッチを変換すると言ってくれた。このバラード・シリーズは、まだ続きそうだ。

89 冊 “Over my dead body” by Jeffrey Archer (364 pages) published in 2022, paperback, HarperCollins

本小説は、ウイリアム・ウォリックシリーズの第四弾である。ウイリアム探偵兼警部は、ジェームズ・ブキャナンという 17 歳の青年に「貴方は、探偵ですか？第一級の探偵になるには何が必要ですか？」と問われた。ウイリアムは、「興味を持つこと、仮定はダメ、忍耐強く、五感を大切にすること」と返答した。ウイリアムは、試験をした。「私を描写してみてくれないか？」。この利発気な青年の祖父のフレーザー・ブキャナンは、船会社ピルグリムラインの会長である。父のアンガス・ブキャナンは、その副会長である。ジェームズは、雑誌から得た知識で、マイルズ・ホークナーは、スイスで心臓発作で亡くなったと言ったが、まだ生きていると思うと発言した。

マイルズ・ホークナーは整形手術をして、ラルフ・ネヴィルとして生まれ変わった。ブース・ワトソン「オリジナルの絵は、故マイルズ・ホークナーの個人所蔵の一部であり、モンテカルロにあるクリスティーナの別荘に掛かっている」。マイルズ「もし、マイルズがまだ生きていることを知ったら、クリスティーナは、その絵を安全な場所に移すだろう」。しかし、そこが何処かは言わなかった。ブース・ワトソン「お前はクリスティーナと再婚すれば、丸く納まるはずだ。」マイルズ「もし、クリスティーナが私が生きていることを知って、私の絵画を触ろうとしたら、殺してしまうぞ」。

ウィリアムとベス夫妻は、1200 人を収容できる船で休暇を楽しんでいた。フレーザー船長は、マイルズ・フォークナーとクリスティーナ夫妻の友人である。フレーザーは、1921 年グラスゴーで生まれている。現在、乗客と車を収容できるフェリー26 艘を所有している。ピルグリム ラインは、キュナード汽船に次ぐ大きさである。長男のハミッシュ・ブキャナン（妻は、サラ）は、副社長の座を、次男のアンガスに譲った。ジェームスは、アンガスと妻アリスの息子である。ジェ

ームズは、会長の孫であり、ウィリアムに内部情報を教えてくれる。ブース・ワトソン「モンテカルロをくれたら、毎週 2000 ポンドだけでなく、家政婦や、女中、運転手も付けてやるがどうだ。どうかラルフ・ネヴィル夫人として控えめな生活を送ってくれ。」クリスティーナ「一億ポンドくれなければ、海に捨てた灰は夫のものでないと証言します。骨壺はウィリアムに預けました。」祖父の妹（フローラ）は、我々の家系の中で初めて大学入り、数学科の会計を首席で卒業した。その時、祖父は、英国海軍から解放され、中古のフェリー会社を買い取った。祖父には二人の秘書がおり、ケイ・パターソンは、魅力的な女性であった。ジェームズは、ハミッシュやフローラではなく、自分が会長の後を継ぐべきであると思っていた。

ブース・ワトソンはマイルズに「クリスティーナに１億ポンドさえ払っておけば済む。ラモント警視を雇って、見張らせるとするか。ウィリアムのチームの中には、ラモントという内通者がいる。ジョーイ・バーナードショウは。「英国人は、目の前の口論を無視する。イタリア人は遠くから見ている。ドイツ人は、味方に加わる。アイルランド人は参加する」と言った。ハミッシュは、酒好きで、ロックハート医師に注意されていたが、穏やかな鎮静薬だと言ってこっそり飲んでいた。フレーザー会長も、俺にも味合わせてくれと言った。しばらくして、フレーザーは苦しみだして、心臓発作で亡くなった。誰かが毒薬を酒の中に混ぜたのだ。

ウイリアムの部下には、ポール・アダジャ、レベッカ・パンクハースト、そして、ラモントに雇われているジャッキー・ロイクロフト、そして、チーム強化のために参入させたロス・ホーガンの 4 名がいる。しかし、ホーガンは、女癖が悪く、ジャーキーに手を出している。ウイリアムは、フレーザーは殺害されたものと思っている。ジェームズに接近して、フレーザーとハミッシュが交わした会話を教えてもらおう。ロックハート医師のカバンの中に、鎮静薬を見た。ウィリアムは、皆を集めフレーザー会長との会食時と同じテーブルの場所に座ってもらい、携帯用の 小型 水筒のコップについている指紋を確認した。また、ウィリアムは、毒殺の可能性を探るためにフレーザーの検死を御願いした。ところが、新会長の提案により夫フレーザーの遺体は、海に放たれるたため、検死ができなくなった。ロンドンの美術競売所でラファエルの絵が、2.2 億ポンドでブース・ワトソンが買い取った。

さて、クリスティーナとラルフ・ネヴィルの結婚式開始間際になっても、ラルフはまだ来ない。ウィリアムは、マイルズ・フォークナーを逮捕すべく待ち構えていた。電車で逃亡する可能性のある駅を警備していた。しかし、ラルフは車とバスを乗り継ぎ逃亡した。マイルズ・フォークナー（別名ラルフ・ネヴィル）は、頭を坊主に刈り上げ、リカルド・ロッシュと名前を変え、スペインに逃亡した。ウィリアムはベスに「クリスチーナはどっち側についているかを調べてくれ。もし、フォークナーが刑務所に戻ってくれば、絵画の半分は、クリスティーナのものになる」。

ブース・ワトソンはバルセロナに向かった。車は森を抜け、マイルズのいる宮殿のようなリンプトンホールに到着した。フランコ将軍が築いた隠れ家には書斎があった。鉄のドアを開けると大きな空間があった。２番目のドアを開け、階段を降りると地下室に行きついた。そこにはマイルズの肖像画と、マイルズが所有する半分の絵が掛かっていた。残りの半分はクリスティーナが所有していた。書斎に戻ると、執事のコリンズが二人分の昼食とシャンペンを用意していた。

ラモントは、ロス・ホーガンを尾行した。ロスは、早朝ジョゼフィーン・コルバートのアパートを出て、警視庁に向かった。ジョー（ジョゼフィーン）は、離婚手続き中であった。ロスは、ジョーに婚約指輪をはめようとしたが、ジョーは、売春斡旋組織に雇われ、ロスに接近して、ブ

ース・ワトソンと内通していたことを話した。しかし、ロスはそれでも結婚したいことを伝えた。

クリスティーナは、ベスの所に行き、マイルズの居場所を聞きたがった。ラモントは、ブース・ワトソンに、ロスの新しい恋人のジョーの話をした。ブース・ワトソンは、バルセロナに向かった。尾行しているレベッカも同乗した。

博物館では代表的な絵画展を企画していたが、なかなか絵を借りることができない。ロスは、転職を考えていた。

ロスとジョーは、市役所の登記官の前で、結婚式を挙げた。二人は、生涯、道徳的にも、精神的にも結ばれることを誓った。ロスは転職し、コ―マック・キンセラの下で、地上作動支援者として働くことになる。一年で 8 万ポンドの給料だ。

「人の漁師」という名の絵が、アバーディン空港から個人飛行機で輸送された。バルセロナからは、温度調節された車で、受け取り人のブース・ワトソンとマイルズの所まで搬送された。ジョーには報酬を渡さないことにした。ラモントに、ジャッキーを監視させた。クリスティーナは裏切らないであろう。フォークナーはロスを見つけ、地下に逃げ出した。

ベスは、クリスティーナが、フランス・ハルス（オランダの画家）の絵をフィッツモリーン（フィッツウイリアム）博物館へ貸してくれることを喜んだ。荷物が届き、蓋が開けられた。

ロスの妻のジョーが殺害された。犯人はわからない。ジョーは身ごもっていた。葬儀が行われた。ロスに遺産が入る。犯人を捕まえる動機となった。

ロスは、スリーマンから 1000 ポンドをかりて、車を買った。ロスは、贅沢にもビジネスクラスでケープタウンに飛んだ。機内で、隣席に離陸直前に入り込んできた金融仲介機関のラリー・ホルブルクと親しくなった。ラリーは、ロスの話を親身になって聞いてくれた。ロスは、ピューに会うためにケープタウンにやってきた。次は、スリーマンを逮捕しなければならない。ロンドンの朝 5 時は、ケープタウンの朝 7 時である。ロスは、ホテルの朝食を取りに行った。ピュー夫妻と離れた場所で様子を伺っていた。ピューは、ワイングラスに毒薬を入れ、夫人を殺そうとしたが、それを目撃していたロスは、隙を見てワイングラスを取り換えた。ピューはそれとは知らずに、ワインを飲み干してしまた。ピューの容態が急変し、口から泡を吐いて倒れた。ロスは妻ジョーの死により、二つの悪者集団の党首のアボットとローチを殺害することを思い立った。ローチは酒場で殺し、アボットは屋根から突き落として殺した。屋根には、ロスの愛用のマールボロのタバコに吸い殻が残っていた。

リンプトンホールの書斎に隠れていたフォークナーは、とうとう逮捕された。「私は、キャプテン　ラルフ・ネーヴィルであり、フォークナーではない」と悪あがきを言った。それに対して、ロスが「私は、マザー・テレサだ」と言ってはぐらかしたら、ウィリアムは笑いが止まらなかった。フォークナーは、一人部屋に空きがないので、母を殺害した男、麻薬常習犯の男と同室に監禁された。一方、リンプトンホールに残っていたブース・ワトソンは、執事のコリンズには、フォークナーが消えたことを知らないふりをして、全ての絵画を、夕方到着するヨットで運ぶように手配した。

ホークは、夜中、ウィリアムに電話し、「何が起こったか至急教えろ」とこぶしを固め、ほくそ笑んだ。フォークナーは逮捕されたが、肝心の絵画の行方は不明である。2022 年 8 月発売の次号に続く。

最後に、この小説を楽しんだ方のために、ウィリアム・ウォリックシリーズの第１冊目“Nothing Ventured”の冒頭の部分が紹介されている。

ウィリアムは、8歳の頃から、探偵になりたかった。父の弁護士事務所の見習いにならず、ロンドン警視庁に入りたいと言って、父をがっかりさせた。ウィリアムは、探偵になるためロンドン警視庁に移った。警察学校を無事卒業した。刑事になるためには、さらに２年の見習いが必要であった。フレッド・イェーチェ巡査から ABC を習った。「**A**ccept nothing 何も許容するな。**B**elieve no one 誰も信じるな。**C**hallenge everything 全てが挑戦だ」。

88 冊 “Turn a blind eye” by Jeffrey Archer (330 pages) published in 2021, Pan Books

本小説は、ウィリアム・ウォリックシリーズの第三弾である。ウイリアムは、若手のポール・アタジャとともに、麻薬捜査班にいる。ウィリアムは、ホークスビー警視長より、「地方行政長官（レンブラント作）やキリスト降架（ルーベンス作）の絵等の窃盗犯であるマイルズ・エドワード・フォークナーは逃走中である。部下のアダジャー・ロイクロフトと一緒に探し出せ」と命令された。マイルズ・フォークナーは、ヘロイン・コカインの輸入をしているアセム・ラシジと同じヨットで、逃亡した。ブース・ワトソンは、フォークナーとラシジの弁護士である。ブース・ワトソンは、依頼人のラシジ― の薬物カルテルを先導する罪を軽減しようとするだろう。寝室のベッド横のテーブルの上に、彼の母の写真があり、A.A.のイニシャルが書いてあった。ラシジ―は、フォークナーとどこに消えたのか。そして、絵はどこに行ったのか。

フォークーの死体が発見された。しかし、司祭はウイリアムにフォークナーの死体を見せようとしないので、真相は明らかではない。火葬前の挨拶はブース・ワトソンが務めた。マイルズの死により、フォークナー夫人（クリスティーナ）は、夫の財産の私有地の全てと絵画の半分を所有することになった。

女性巡査のレベッカ・パンクハートと二コラ・ベイリー（ニッキー）が入署した。偶然、二人とも父親が囚人であった。アセム・ラシディは、刑務所にいる。ラシディーの興味は、金儲けである。レベッカがラモンを追跡した。ラモンは、ロンドン警視庁に向かい、ホークス警視長（昔のボス）を尾行していた。一体何のためなのか。ブリクリンのアパートで見つかったスーツは、ベネット・リードルで仕立てたものであった。そこには、A.R.というイニシャルが付いていた。

ニッキーは、容疑者の巡査部長のジェリー・サマレスと映画館で知り合い、一夜の情事をしたが、そのことをレベッカには話さないでいた。ニッキーは、捜査中のサマレスの家に既に３泊もしている。誰か、ラシディに雇われて、ロンドン警視庁に潜り混んでいる者がいる。

公判が始まった。ブロック B の 23 階に 10 年間アパート住まいしているトリー・ロバートを証人として呼んだ。ウィリアムがアパートを捜査したこと、そして、捜査員の一人のウィリアムが金庫に保管されているお金を盗んだと告げた。しかし、ロバートは、偽名を使っていること、窃盗の話は、飲み仲間の情報であるため、信用できない。最近、11 店舗を保有する富豪になったのが、ラシディがマリファナ工場を建てた頃と一致すのは何か疑わしい。このアパートがもしかしたら、ラシディーが所有するものである可能性が浮上した。次の証人は、薬物リハビリテーションセンターの臨床部長であるゴダード医師であった。ラシディーは毎年、彼のクリニックに 10 万ポンド寄付している。ゴダード医師は、ラシディーは麻薬依存症から回復したと述べた。しか

し、逮捕された時は、少量の麻薬を所持していたことを認めた。ラモンは、実際の犯人は、ウィリアムであると述べ、ラシディーの罪を転嫁しようとした。

次の公判で、ラモンに、「何故年金を受け取れる前に、警察を退職したのか」と尋問したら、「それは、罪のない人を見るのが忍びないからだ」という答えが返ってきた。ラモンに対する質問が続いたが、ラモンは細かい点は把握していなかった。公判が終わった後、ラモンは、陪審員の男女が、ラブホテルに入るのを目撃した。その不倫をネタに、陪審員を恐喝した。

判決の日が来た。ラシディを有罪とするためには、陪審員全員の賛成が必要であった。しかし、ラモンの計らいで陪審人の３名が反対したため、検察側は敗訴になってしまった。おまけに、ウィリアムは、3～４か月停職の判決が降りてしまった。

トニー・ロバーツは、ラシジーのいない間は、代理を行っていた。ホークスビーは、朝のミーティングで、「ニッキーは、ジェリー・サマレスと愛人関係にあるので信用できない。ラモン、サマースに、ウイリアムが停職していることを悟られてはならない」と伝えた。陪審員長は、陪審員全員の意見を聞き、美術館で落ち合った。

クリスティーヌは、ブース・ワトソンと財産の受け取りの話をした。その時、夫のマイルズは、死んでいないことを知った。ブース・ワトソンは友好的な和解案を出してきた。「絵画は、モンテ・カルロにはなく、マイルズの全資産は、チューリヒ、ジュネーヴ、ベルンの口座にある」。マイルズには会えない。未亡人のままでいれば、友人のベス（ウイリアムの妻）には会える。

ジャッキーとラモンは恋仲であった。ジャッキーは、ウィリアムが自分より先に昇進したことを恨んでいた。ウイリアムとレベッカは、ニッキーとラモンを追跡した。ウィッティティー裁判官は、「ラシディーは、５オンスのマリファナを所持しているので、２年の禁固に処す」とメモ書きした。サマーズとラモンは結託していた。レベッカはサマーズとラモンを電車まで追跡してきたが、二人に見つかってしまったため、（職務を果たせず）途中で降りてしまった。

電車のプラットフォームにいたラシジーは、二人のボディーガードに電車のレールに投げられ、轢き殺された。ニッキーは、妊娠した。ラモンから指輪を貰い、プロポーズされたものと早合点していた。しかし、ラモンのアパートに行って見ると、別の女性の下着がベッドに散らばっていた。彼女は、自分は騙されたと悟った。怒りが爆発し、ラモンと敵対するようになった。

ブース・ワトソンとフォークナーは、地域マネージャーのシンプソンを訪ね、ラシディー夫人の残り 49 株の買い取りを進めた。ブース・ワトソンは、ラシジー夫人の代理委任状を手に入れた。スチール製のドアを開けたら、７つの箱があった。六つの箱を取り出したら、200 万ドル＋100 万ドルの現金、ダイアモンド、債務調書、株券がしまってあった。残りの 49 株をラシジが残した金で買い取ることにした。夫人の所有する 51 株は、ラファエルの「システィーナの聖母」の絵画で取得することにした。私はオリジナルを持っているが、コピーを渡すことにする。写真、手紙、家族の記念品はリヨンにいるラシジ夫人に渡す。

夜、ウイリアムは、20 代の妊婦が手紙を自宅の郵便入れに投函しているのを目撃した。そこには、「プレイボーイ　クラブ」に夜 19:30 に行き、侵入者に注目して欲しい、と書いてあった。ウイリアムは早速、「プレイボーイ　クラブ」に行ってみたら、ウィリアムは、ラモンとサマーズが合っていることを目撃した。やはり彼らは結託していた。

ブ―ス・ワトソンは、マイルズに「ラシジ夫人は死んだ。ラシジ夫人は、ラファエルの「システィーナの聖母」の絵など全てをケンシントンにある教会に残した。贋作であることが分かって

しまう前に美術競売商から、買い取る。いい案がある。死んだと思われているお前は、クリスチーヌと結婚するのだ。」と言い残した。

サマーズが、婚約指輪をはめた美貌の金髪女性カレン・ターナーと一緒に飛行機で空港に着陸しが、窃盗品の売買と不正行為の罪で逮捕された。しかし、ブース・ワトソンがうまく立ち振る舞い、保釈された。ニッキーは、男子を出産した。ニッキーは、真実を話してくれるだろうか？

ラムスデン裁判官のもと、裁判が開かれた。サー・ジュリアンとブース・ワトソンの一騎打ちである。サー・ジュリアンは、ウイリアムの部下のニッキーを証人として呼び出した。ニッキーは、真実を正直に陳述した。ニッキーは、サマーズに騙され彼の子を宿したことを涙ながらに話した。家の中で、ダイアモンドを見つけた。ブレイボーイクラブで、ラモンと取引しているのを目撃したことを陳述した。ブース・ワトソンは、ニッキーの発言は、偽証だと反論した。ニッキーの葬儀が執り行われた。ニッキーの死の真相は不明である。決定的な証拠が見つからなかったことと、ブース・ワトソンの巧みな弁論のため、旗色が怪しくなってきた。判決が言い渡される間の休憩時間に、ブース・ワトソンとサマーズはレストランで食事した。ブース・ワトソンは支払いをしなかった。そこで、サマーズは、請求書には 7.8 ポンドと記載されていたが、ウェイトレスに、10 ポンド以上支払った。それから、法廷に戻った。一方、サージュリアンのチームは、公判開始時間より 6 分遅れて、ようやく戻ってきた。サージュリアンは、最後の証人として、ウイリアムを呼んだ。ウイリアムは、ウェイトレスから、サマーズが支払った 5 ポンドの銀行件を２枚を回収して、調べた結果、スパイの警察官から、ペイン氏に支払われた１万ポンドの一部であることが判明したことを陳述した。その結果、ウイリアムチームは裁判に勝利した。ブース・ワトソンは項垂れていた。もし、自分が支払っていたら、こんなことにはならなかったのに。

ホークスビー警視長に電話したら、「ラファエルの絵画は、表向きは、競売で、ブース・ワトソンが買ったことになっているが、クリスティーナ・ホークナーは売り手であるので、競売で争うはずがない」という情報が入ってきた。もしかしたら、マイルズ・ホークナーは、まだ生きているのではないかと、ウイリアムは思い始めていた。次号に続く。

87 冊 “Sooley” by John Grisham (477 pages) published in 2021, RANDOM HOUSE

17 歳のサミュエル・スーレイは、南スーダンの人口３万のレムバック市郊外のロッタ村に住んでいた。サミュエルは、村のベストバスケットボール選手であった。母で主婦のベアトリス、父アヤクの子供である。チョールとジェイムスという弟と、アンジェリーナという妹がいた。ディンカ語を喋り、英語は第二外国語であった。彼の夢は、大学のバスケットボール選手を経て、将来全米バスケットボール協会(NBA)選手になることであった。アメリカから招待を受けた。村の皆に祝福された。この３か月で、身長は、189cm から 193cm まで伸びた。空調のない、バスに乗り、首都ジュバに向かった。ジュバ大学では、コーチのエコー・ラムに会った。南スーダンから 20 名の選手が集まった。エッコは、「この内 10 名がアメリカ在住の 5 名の同郷人と合流する。私のアシスタントコーチのフランキー・モカがシカゴで同様な選抜試合を行う。オーランドで合流して 2,3 日練習する。他国からのチームも含め、全部で 16 チームになる。オーランドで 8 チーム、ラスベガスで 8 チームが戦い、上位 4 チームがセントルイスで全米披露しあいを行う。質問はあるか？この遠征は、有名な靴の大会社がスポンサーだ。」エコーは、20 名を 5 名ずつ 4 チームに分け、練習試合を行った。翌日、コンテストが行われ、サミュエルは群を抜いていた。アン

ジェリーナは、アイロンをかけていた。学校教育を受けていないので、父が教えていた。弟たちは、朝食用の卵を集めていた。

チームに選抜された。バスで移動中にゲリラと兵士が打ち合いになり、道路上に死体が置き去りにされていた。盗み、ギャングの一味に加わらないと射殺されることは日常茶飯事である。バスの中で、兵士にバックをとられ、なかから、バスケットボール、ユニホームなどが取り出された。アメリカでバスケット選手に選ばれたことを兵士に話したら、対応が急に易しくなった。「NBA で 100 万ドル稼いだら、ビールを奢ってくれ」「ビール飲み放題にしてあげます」「その言葉覚えておくぞ」サミュエルは、家から 4 時間の所にいた。帰宅した。隣近所では、アメリカでバスケットができることが、村で評判になった。いよいよ出発だ。父と再び会えるか不安であった。

厳しい練習が続く。選手同士で打ち解けた会話ができるようになった。数あるアパレル会社の中で、リーボックが南スーダンチームのスポンサーになった。クリスマスの朝、選手たちに、新しいリーボックの靴が届いた。長さが 12.5 インチ（31.7 cm）あった。質素な国民性、祖国を思い出すように、自信を持て、南スーダン人の誇りを持て。黄色い T シャツには、前後に南スーダンの旗が描かれ、空港でバラバラにならないように。エチオピア空港で、アジスアババへ。アイルランドのダブリン、ワシントンのダレス空港へ 26 時間、更に、デルタ航空で、アトランタを経由して、オーランドへ、30 時間の長旅であった。そこは、茹だるようなフロリダの暑さであった。セントラルフロリダ大学(UCF)で練習を開始した。エコー「私と、モカコーチのいうことをよく聞け、毎夜、次の日の日程を話す。」。フロリダ時間午後 2 時（南スーダン時間朝 7 時）に、エコーの衛星電話をかり、ぶじにフロリダに着いたことを南スーダンにいる父母と兄弟に電話した。第一試合は、2 点差で（52 対 54）でクロアチアに惨敗したが、イタリアとの第 2 試合は、13 点差で、ウクライナとの第三試合は 30 点差で（73 対 43）で、ブラジルとの第 4 試合は、24 点差で楽勝した。途中、副会長や、南スーダンの英雄であり慈善活動家のニオロの来訪もあり激励された。ノースカロライナセントラルのヘッドコーチに、３人上げるとしたら誰かと尋ねれられ、エコーは、三番目にサミュエルを成長株として挙げた。村では、大きなスクリーンにサミュエルの活躍が放映されていた。夜中、ゲリラ部隊の襲撃に会い、父のアヤクは銃殺され、母のベアトリスは負傷し、娘のアンジェリーナは捉えられ、裸にされた、サミュエルが夜電話しても普通であった。第六試合は、ニュートン・アカデミーが対戦相手であった。15 点差で勝った。サミュエルは、母たちが心配になり帰国したかったが、エコーに意見に従い、ダーハムに向かった、エコーの家に泊めてもらい、奨学金を貰い、学費とした。一方エマヌエル達は、女たちと子供達を水のある場所に探していた。丘の中腹にある小屋に逃げてきた人から、汚れた水とピーナッツを貰い飢えを凌いだ。父のアヤクの死を知った、妹の安否は不明であった。18 歳になったサミュエルは更に身長が伸びた。第七試合は、イギリスとの試合であったが、負けた。エコーは、南スーダンの状態を視察に行った。人々は散り散りであった。サミュエルの弟のジェームスは発熱したので、多国籍医療チームに薬を貰いに行った。クラブハウスのリーダ^のデモン・デイトンに、名前が長すぎるので、これから「スーレイ」と名乗れと言われた。毎朝、シャツの洗浄と乾燥をまかされた。マリーとサミュエルは、トラックに積んだ野菜の缶詰めを食料貯蔵庫でおろし、アルバート・アインシュタインが 1933 年にヨーロッパのユダヤ人がアメリカに移住するのを援助するために設立した国際救援委員会(IRC)の事務室に立ち寄った。そこは、ミス・イダが教えてくれた場所である。ようやく、屋根のある家、食物、水の配給がもらえるようになった。ベアトリーチェ

は、白人の女性救援隊から、エコー・ラムが明後日、キャンプに来ることを聞いた。スーレイはジャンプ力がついた。194cm になっていた。サミュエルは、マリー・ウォーカーと知り合う。マリーの家に夕食に招かれた。彼は、ダーハム郡の食銀行の取締役の父アーニー・ウォーカーと、黒人が経営する生命保険会社取締役の娘の魅力的な母ミス・イダの間にできた次男である。マリーには、イェール大学を中途退学した、家庭を崩壊したブレーディーという兄と、ヴァンダービルトの法律学校にいる妹のジョーダンがいる。サミュエルは、ジョーダンに一目ぼれしてしまった。エコーが南スーダンから帰国した。エコーは、国境無しの救援隊フランス看護婦から、ベアトリス、息子たちはぶじであること、しかし、妹のアンジェリーナが反乱軍に連れて行かれたことを聞いた。フランス人看護婦のクリスティーン・モランは、スイスとの国境近い、東フランスのブザンソンの出身である。パリで看護学を学び、バングラディシュに 2 年、タンザニアに 3 年過ごし、フランスに一旦帰国し、ケニアの難民キャンプに行った。サミュエルは、夜、このクリスティーンを経由して、母の消息を聞くことになる。

その後、バスケットの試合は負けが続いた。マリーの女友達から誘惑されたが、道徳心から断った。ジョーダンを益々意識することになった。選手たちの間でインフルエンザが蔓延し、サミェエルも熱発して、数日休んだ。ブリットコーチは、新しい陣容を考えていた。復帰第一線の前に、初雪が降った。吉兆だ。補欠で出場したサミュエルは、高さを活かして、次々にポイントを稼いだ。新スターの誕生である。

ショートを決め、勝つ試合が多くなった。ソーシャルメディアで報道された。スーレイは高得点をたたき出した。イーグルズの得点の約 40%はスーレイによる。７回連続勝利。略奪で食料、着物、枕、毛布が盗まれた。スーレイはヒーローになった。女の子たちに迫られた。ノーフォークスコープの上位 4 チームが戦い、勝者がマーチ・マッドネスに進む。イーグルス（コーチはブリット）は、スーレイの力で、MEAC 選手権で優勝。２度目のトロフィー。今後は、Big Dance (NCAA 全米大学競技協会のバスケットボールトーナメント)だ。

セントラル・イーグルズは、これまでに 60 万ドルを稼いでいる。March Madness に勝利し、Final Four に選ばれた。キャンパスでは、皆に祝福された。
しかし、Final Four の第一線では、Nillanova に負けてしまい、スーレイ―は涙した。
マリーの両親は、スーレイが大学をプロの道に進むために大学を中退すること反対であった。スーレイは、バリーという女性と友達になった。アーニーは、彼女はストーカーであると重い、注視した。スーレイは、ドラフト会議でワシントン・ウィザードに決まった。４年で 14 億ドルの契約金である。母への送金とフォード車を買いたいと思っていた。スーレイは、マリーとバハマへ行った。運転免許取得試験に落第し、車を買えなくなった。スーレイは、ジャッキィという「フィルム」で働いている女性と仲良くなり、酒の勢いで、エクスタシーという麻薬が危険であることも知らず、飲んでしまった。バリーは、スーレイが動かなくなっているのを見つけた。なんともあっけないスーレイの死であった。検死の結果、MDMA 120 mg を３錠飲んでいることが判明した。血中からはマリファナが検出された。体温が急上昇し、腎不全が起こり死亡した。アーニーの弁護士は、この検視結果を報告しなかった。4000 人が出席した壮大な葬儀が執り行われた。マリーは、スーレイがウガンダの救援キャンプに送金の世話をするために会ったエイジェント・パートナーという会社のギャリー・ガストンに面会を求めた。

マリーとイダは、スーレイの母と、二人の息子たちは、アメリカに呼び寄せ、一緒に生活することを提案した。墓地の大理石の墓石には、「サミュエル・スーレイモン、1997 年 8 月 11 日誕

生、2016 年 6 月 19 日逝去」と記されていた。マリーは、背丈も 180cm に達した息子たちを、スーレイが練習した場所に案内した。スーレイのように育つことを期待して。スーレイの功績は、絶大であり、スーレイが学んだ大学では、銅像を作った。その除幕式では、スーレイ―の母は最前列に立ち、銅像のお披露目の垂れ幕を下した。学長は、「2016 年、スーレイは、20 ゲームに出場し、大学バスケットボールでも最も人気のあるプレーヤーになった。彼は、イーグルズを最終の 4 組に残らせた。彼は死去したが、彼は、彼のプレーを見てきた皆の心の中にいつまでも残るだろう」と述べた。通りからは、学生が、「スーレイ、スーレイ、スーレイ」と静かに、尊敬の念をもってロずさみ始めた。

86 冊 “Complications” by Danielle Steel (243 pages) published in 2021, MACMILLAN

ルイ 16 世ホテルは、富裕人専用の豪華ホテルである。初代マネージャーのルイ・ラバレが創始者である。 4 年間、改造のため閉店していた。ラバレは癌でなくなり、清掃主任も退職した。現在のマネージャーは、41 歳のオリヴィエ・バトーである。31 歳のイヴォンヌ・フェリッペと二人で、テクノロジーを取り入れた近代的なホテルに改造中である。まだ電気系統は繋がっていない。この格式の高いホテルに、未亡人になったばかりのガブリエル・ゲイツ、大統領選挙出馬予定のパトリック・マーチン、医師のアリステア・ホワイトジョーンズ、そして、最近、それぞれ離婚をしたばかりのリチャード・シャフィールドとジューディスのカップルがやってきた。

ガブリエル・ゲイツは、ルイ・ラバレに、これまで大変お世話になってきた。25 歳年上でベンチャー資本家のアーサー・ゲイツと結婚し、二人の娘ヴェロニカとジョージーを授かった。しかし、夫のアーサーは、サーシャという、金銭目当ての貪欲な若い女と恋愛して、妊娠させてしまったため離婚することになった。ガブリエルは、気分を一新するために、再びルイ 16 世ホテルに一週間の宿泊予定でやってきた。ゆっくり過ごし、新しい生活を始めようとした。イヴォンヌ・フィリップが部屋まで案内してくれた。iPhone で操作できる快適な部屋であった。

パトリック・マーチンは、ソルボンヌ大学教授の妻アリスと、大学生の娘のマリーナと息子ダミエンと暮らしていた。しかし、夫婦の中は次第に険悪になり、パトリックは、ゲイバーで若い男性セルゲイ・カルポフと知り合った。二人は、ルームサービスを頼み、ワインを飲み、ホテルで愛欲に溺れていた。しかし、パトリックは、セルゲイから、「この密会を秘密にしたければ、もっとお金を出せ」と脅迫された。パトリックは、大統領選への影響が心配になり、セルゲイと言い争いになり、セルゲイを押し倒した。運悪く、セルゲイは、大理石の床に頭をたたきつけられ死亡した。パトリックは、その夜こっそり、部屋を抜け出し、自宅に帰った。妻のアリスは外に、娘は、リルにある大学に、息子のダミエンは、自分のアパートにいたため気づかれなかった。セルゲイから回収したお金は、机の引き出しにしまった。

旅行雑誌編集者であり著者のリチャードは、看護婦の妻と 3 年間、夫婦生活を営んでいたが、親友の株式評論家スティーブ・オークスとジューディスの結婚式の時に、酔った勢いでジューディスとダンスをし、恋に落ちてしまった。リチャードと、ジューディスは、それぞれ離婚し、このホテルで落ち合った。二人は、愛し合い、将来を語りあっていた。しかし、リチャードの様態が心臓発作を起こし急変した。胸をつかみ、奇妙な音を立て、目が回り、パニックに陥った。電話が繋がらない。ジューディスは、思わず「助けて」と叫んだ。

アリステアは、ブランデーを飲み、タバコを吸い、一人、平和な時を楽しんでいた。叫び声を聞き、ジューディスの部屋に駆け付けた。ジューディスは、胸部圧迫を試みていたが、効果がなかった。アリステアは、自分が医師であることを告げ、持ってきた除細動器（AED）で、電気ショックを与えた。ジューディスには、フランス緊急医療サービス(SAMU)を呼ぶように指示した。騒ぎを嗅ぎ付けたガブリエルがやって来た。リチャードは病院に運ばれ、命は取り留めた。

二人の探偵ミチェル・プランテとフォレスティエは、マーチンの家に向かった。パトリックは、二人の探偵に、自分が部屋を出た後に、セルゲイが殺されたと嘘の供述をし、一時難を逃れた。しかし、再び、二人の探偵が来た時、ルームサービスを頼んだのが、パトリックであること、また、マーチンの精液が検出されるに及んで、パトリックは白状した。探偵が去った後、妻に説明をせねばと思った。

アレステアは、急性リンパ性白血病に罹り、ジーン・クロード・ルブラン教授に会い、研究段階の治療を受けるべきかを相談した。最終的には、薬を飲まず、最後はピルで落命することと決意した。

パトリックがホモであること、自分の意志ではなく殺人を犯したことをアリスに一部始終話した。アリスは、激怒し離婚話を持ち出した。翌日、フォレスチェアとプランテが来て、パトリックに手錠をはめ、逮捕した。娘のマリーナは父親は罪を犯す人ではないと思っていた。これに対して、同性愛者の息子のダミエンは、父親を痛烈に非難した。パトリックは自殺を考えたが、できなかった。あの時のことを悔やんだ。アレステアは、白血病を患っていることをガブリエルに話した。ガブリエルは、病気と強く向き合うようにと励ました。もう少し前にガブリエルに会っていればと残念がった。アレステアは、ガブリエルの部屋の前で、キスをして別れた。ガブリエルは、パリを去り、アレステアはイギリスに戻り、ガブリエルとの出会いや、薬物治療はしないことをルブラン教授に話したら、喜んでくれた。

ガブリエルの娘たちは、父がボートをチャーターできれば、タークス・カイコス諸島、サン・バルテルミー島への旅に行く予定であった。アレステアは、ガブリエルと連絡を取り、二人はルイ 16 世ホテルで落ち合うことになった。二人だけの幸福な時を過ごしたが、途中、爆弾が仕掛けられたという通報が入り、宿泊者は外に避難した。特別機動部隊、爆薬撤去隊がかけつけ大変に事態になったが、未然に防止できた。

抗癌剤の治療を受けて、治癒を目指すことにした。治療後は、体力を消耗するので、精神力、栄養、そして十分な睡眠が重要である。二人は、川沿いの散歩に出かけた。

ジュディ―スから、ガブリアルに、リチャードと結婚すること、そして、妊娠したという知らせが届いた。二人は、過去に、別な配偶者と盛大な結婚式を挙げているので、今回は、結婚式は少人数で行いたいこと、結婚式に来て欲しいと、記されていた。ガブリエルとアレステアは、イギリスのサセックス州の白鳥が泳ぐ湖畔の館で過ごした。そこには、アレステアの両親の肖像画がかかっていた。ガブリエルは美術の見本市に出かけたりした。アレステアは、治療を続けたおかげで、少しずつ治療効果が出始めた。治療の合間に、ニューヨークのセントラルパークを見下ろせるガブリエルのアパートに行った。以前、そこで前夫のアーサーと過ごした。そこで、ガブリエルは、二人の娘たちを紹介した。

パトリック・マーチンの見方は、娘のマリーナだけであった。アリステアは、最後の治療をうけた後は、食欲も回復した。お互いに助け合おうとしていることに感動した。６名の宝石泥棒が、逃走中に警官に対して発砲した。そこに居合わせたアリステアは、、ガブリエルを身をもっ

て守った。泥棒は逮捕された。診断結果を、ルブランから告げられた「寛解」。癌フリーがどのくらい続くかは未知数であるが、二人は喜んだ。

パトリック・マーチンは、殺人を犯したが、証拠がない。国務大臣のため、特別に、手加減してもらえた。５年の保護勧告、監視で延期の判決で済んだ。しかし、法曹界から追放され、仕事に復帰することは不可能になった。多量の睡眠薬を飲み、自殺を図った。病院に運ばれたが、昏睡状態が続いた。娘のマリーナだけが悲しんでくれた。家庭崩壊である。やがて、パトリックは、意識を取り戻したが、記憶喪失に陥いり、生きる屍となった。ホモのダミアンは、男性の愛人のアシ―ルの助けをかり、自分のアパートに父パトリックを運び、ベビーシッターに世話をさせた。妻のアリスは、夫の罪を全て許し、去っていった。マリーナも大学に戻った。

ガブリエルとアレスターは、それぞれの仕事に生き甲斐を持ち、尊敬しあった。ニューヨークでは、ルブラン医師の照会で、研究者のサッチャー医師に診てもらった。５ヶ月間、世話をしてくれたジェフェリーにしばらく暇乞いをしてもらった。人生はどのように変わるか誰も予想できない。サッチャーは、アレスターが完全に治癒したことを宣言してくれた。「おめでとう。治癒を成し遂げるには、何が必要かわからない。人生を両手でつかめ。これまで獲得したものを全て投じて、泳ぎ切れ、そして戦え。先ず、心と精神を癒すことだ。ガブリエルは、アレスターを救った。

パトリック・マーチンは、パリ近郊の公衆衛生局（厚生省）の住居に入れられたが、誰も見舞いに来てくれない。アリスは、離婚で得たアパートを売り、娘のためにアパートを買う資金とした。アリス本人は、新しい仕事を探すことにした。

リチャードとジュリーに男児が誕生した。アレステア・サムと命名した。サムは、リチャードを救った SAMU（フランスの緊急医療サービス）からくる。アレスタテア「ルイ 16 世名付けても良かったのでは」。

アレスタとガブリエルは結婚した。ガブリエルの二人の娘のベロニカとジョージ―が新婦の立会人、リチャード・シェフィールドが、新郎の付き添い役であった。もちろん、新婚旅行先は、パリの 16 世ホテルである。イボンヌがバトーに代わり、明日、新しいマネージャーになるそうだ。バドーは、山麓のスキー場のシャレーのマネージャ-になる。

リチャードの心臓発作で、全てが始まった。人生は複雑であるが、貴重であり、いつでもギフトである。

85 冊 “The Law of Innocence” by Michael Connelly (513 pages) published in 2020, ORION

登場人物
ミッキー（マイケル）・ハラー：私（主人公）、
コルナ・テイラー：私の２番目の妻、現在、デニス・シスコ・ウォジェチョフスキーの妻
マギー・マクファーソン：地区検察官オフィス、私の最初の妻、娘ヘイリーの母
ダナ・バーグ：犯罪検察官、私を刑務所に送りたい冷たい人
ジェニファー・アロンソン：私の法律パートナー
モリス・チェン：法廷次官
ウォーフィールド：アフリカ系アメリカ人の裁判官、法と秩序を重視する。
ケンダル・ロバーツ：私の元彼女

この小説は、元依頼人の殺害の容疑者として逮捕された主人公が、チームの助けをかりて、自らの力で容疑を晴らす過程を描く。

私（ミッキー・ハラー）は、以前サム・スケールズの弁護士をしていた。私には、最初の妻マギー・マッパーソンとの間にヘイリーという娘がいた。スケールズは、シカゴの子供養育センターで殺害された子供達に支払う寄附金を募り、着服してしまった。それを知った私はスケールズの弁護士を降り、別の弁護士を探すことを勧めた。スケールズの死体が私の車のトランクで見つかったため、私は容疑者として逮捕された。検査側は、私がスケールズを誘拐し、トランクに入れて殺したのだと主張した。

警察官のロイ・ミルトンが、腐敗した死体から漏れ出た体液を見つけた。事件の夜、隣人の二人の隣人ショグレンとチャセンが言い争うのが聞こえた。私は、早く寝込んでしまったので詳しいことは知らない。まだ検死が行われていなかった。元警察官で強盗・殺人課にいたハリー・ボッシュが、弁護を手伝いたいと申し出た。ベトナム戦争が勃発した頃、私はボッシュと血縁であることを知った。検死の結果、サムの血中から、フルニトラゼパム（鎮静・催眠薬）が検出された。サムは殺された時、意識がなかったはずである。私は、犯してもいない殺人の濡れ衣を着せられたのだ。

ハリー・ボッシュとアンドレ・ラ・コスは、それぞれ 20 万ドルのお金を調達してくれた。保釈金（罰金）を 500 万ドルから、50 万ドルに減額してくれたおかげで、私は、保釈できた。私には愛人のケンダルがいた。ケンダルは、ハワイに行く前の 7 年間、私と交際していた。私は、娘のヘイリーとケンダルを連れてビーチにドライブに出かけた。久しぶりに楽しい時を過ごした。私は、ケンダルとこれから一緒にやり直そうと思っていた。

サムは、私の依頼人であった。サムの稼いだお金はどこに行ったのか？ロサンゼルス市警強盗殺人課のケント・ドラッカーやラファエル・ロープスは知っているかもしれない。目撃者のルイス・オパリシオは、ターミナル島で密輸していた。バイオグリーン精油会社とオパリシオ、そして、サム・スケールズは繋がっていると思われた。

ミルトンが、私の車のトランクを開けた時、サムの死体があったが、その時に映した写真には、財布は写真に写っていなかった。しかし、ミルトンのボディー・カメラには、サムのお尻のポケットに、札束の入った布が映っていた。誰かが、その財布を持ち逃げした可能性がある。

FBI 捜査員のリック・アイエロとドーン・ルースが私の家にやってきた。保釈中の私は、踝にモニターをつけられ、郡から出ることができなかった。ラスベガスの北方 1 km にあるハイ・ラザート・スラートの刑務所にいるオースティン・ネーデルランドに会いに行きたかった。ウォーフィールド裁判官に、真夜中までに、帰るという条件で許可をもらった。サムは港で働いていた。ネーデルランドから、「無実と証明するためには、犯人を特定しなければならない」と言われた。

私、ボッシュ、シスコの３名は、サン・ペドロに翌朝到着した。賃貸アパートの女性経営者から、ウォスター・レノン（サムの偽名）が住んでいた部屋を見せもらった。部屋はきちんと整理されていた。４つの段ボール箱の中に、衣類、靴下、靴、書籍・コーヒーメーカー、開封された封筒などが見つかった。残念ながら、パソコン、携帯電話、盗まれた財布はなかった。しかし、靴底には、油性の屑が付いていた。サムの爪にも同様な油状物が付いていたことを思い出した。本のほとんどは、小説であったが、一冊だけ、マック・ピナクルのタンカートラックの 2015 年版

のマニュアルがあった。もしかして、バイオグリーンと関係があるのではないか。手紙から、サムとネーデルは、恋愛関係にあったのではないかと思われた。

死体解剖は、死体が発見された翌日に行われたので、その間に財布が盗まれたのかもしれない。オパリシオが殺人犯ではないか？ドラッカーらは、家宅捜査をして、証拠資料を持って行った。私は、保釈を受けられなくなった。再び刑務所に送検される前に逃亡した。ケンドルは心配そうであった。自宅のドアの下の隙間に、無記名の手紙が届いた。開封してみると、サム・スケールズの逮捕レポートが手紙で書かれていた。末尾にロサンゼルス FBI と記されていた。サムは、ウォルター・レモンという偽名を使い、サウザンドオークスの酒場で、犠牲者への基金を横領した罪で逮捕されたことが記されていた。書き手はドーン・ルースではないかと思った。ルースのように正しいことをしたい人間がいるのだなと思った。

公判が行われた。バーグ検察官は、ドラッカーを指名し、私がサム宛に書いたメール文書を証拠物件として提示させた。そこには「サム殿、弁護料として、20 万ドルを支払ってくれなければ、私は、貴方の弁護士を続けられない。他の弁護士を雇って下さい。」と書かれた。ジェニファーは、署名されていないので、この文書を根拠をもとに、私の保釈を取り消すことはできないと言い返した。ウォーフィールド裁判官は、ジェニファーの主張を採用してくれた。しかし、バーグ検察官は譲歩しなかったため、保釈は取り消され、私は刑務所に送り返された。私との交信が立たれたケンダルとはもう会うことはなくなった。ジェニーの父の体調が優れないとの知らせが入り、ジェニーは実家に帰させた。ジェニーの代役として、私のマギー・マクファーソンが務めることになった。

次の公判の時、バーグ検察間から目撃者のミルトン警察官が指名された。彼の証言は、バーグと予め打ち合わせ済のようであった。私は、車を誰かの指図で路側に寄せるように言われたことを述べて、動揺させた。ウォーフィールド裁判官も、ドラッカーに、推測で証言をしてはならないと、注意した。

逃亡中のオパリシオの居場所が分かったので、オパリシオに証人になってもらうための召喚状を送った。サムの検死を行ったジャクソン医師に目撃者として、サムの体重は、206 ポンドあることを証言してくれた。私の体重は、50 ポンド以上軽いので、私が一人でトランクに押し込めることは難しいことを陪審員は気づいたはずだ。これは私に有利に働くだろう。

バーグは、私が前に弁護したことのあるリサ・トラメルを証人に呼んだ。トラメルは、夫を殺害した容疑がかかっていた。バーグは、「私が、トラメルに弁護料を支払うように手紙で執拗に要求した」ことを喋らせ、私が再度お金を請求することを認めさせて、不利になるように企んだ。これに対して、私は、トラメルが精神的に正常ではないことを、本人の手紙をもとに立証し、逆に優位に立つことができた。また、ミッチェル・ボンジュランの殺人者として、ルイス・オッパリジオに容疑がかかっていることを喋らせた。その時、逃亡していたオッパリジアが、ホテルでルームサービスを頼んだ時に、殺害されて、路上に捨てられてたというニュースが飛び込んだ。再び、ドラッカーに尋問し、事件の当日、附近で銃声を誰も聞いていないこと、サムがバイオグリーン社と繋がっている可能性を聞き出せた。私は、化学者に靴底に油分が付いていることを立証させ、バイオグリーンと接点を疑わせた。その後、検事側に呼び出され、和解案を出されたが、私は、真相を究明したいと申し立て断った。

私の容疑は晴れ、保釈が解かれ、自由の身になった。皆から祝福された。真犯人は恐らくラスベガスのカシノ界の人間だろう。ジェニーが実家から戻り、祝福してくれた。ジェニーは、妹が父の看病で体調を壊したこと、そして、父は他界したことを教えてくれた。

マギーとショッピングに出かけた帰り間際、私は見覚えのある男につけられていた。そうだ、ビデオに写っていた、ホテルでオッパリジオにルームサービスを運んだ男だ。私は、速足で逃げた。彼は発砲したが、かろうじて助かった。その時、銃声がとどろいた。ルースが私を救ってくれたのだ。男は死んだため証言をとることはできなかった。事件は解決に向かいつつあった。ルースに任せることにした。私の車にはプレートナンバーがあった。NT GLTY（私は無罪だ＝Not Guilty）。

84 冊 “A Time For Mercy” by John Grisham (581 pages) published in 2021, HODDER

この物語は、家族を守るために、酒乱の元警察官を殺害し、死刑の判決を下された未成年者を、ミシシッピー州の小さな町の弁護士が援護するプロセスを描く。

元警察官のスチュアート・コファーは、愛人のジョージー・ギャンブル(32)、ジョージーの息子のドルー・アレン・ギャンブル(16)と娘のキエラ・ゲイル・ギャンブル(14)と同じ屋根の下で生活していた。この二人の兄妹は、父親が異なる女性に産ませた子供であることを知らない。スチュアートは、酒浸りになると狂暴性を帯び、ジョージーを強打して、息の根を止めてしまった。兄妹は、母が死んだものと勘違いをして、警察に通報した。警察はなかなかやって来ない。キエラに性的興味を持ち、キエラが籠る部屋の中に押し入って来そうであった。恐怖にかられたドルーは、瞬間的な判断を迫られた。警察はまだ来ない。ドルーは、危機が迫る中、ドルーは、泥酔しているスチュアートの頭に発砲して殺してしまった。

ようやく、警察と救急車がやって来た。フォード郡の黒人の保安官のオジー・ウォルズと（足を失ったカール・リー・ヘイリーを含むチーム）、そして、モス・ジュニア・テータム補佐は、すぐ状況を察知した。スチュアートは頭を打たれ即死した。ジョージーは、まだ、脈拍があったので、病院に急送された。二人の子供は、手錠をはめられ、連行された。ミック・スウェージ補佐官は、ジョージーは２度の離婚歴があることを教えてくれた。スチュアートは、オジーに気に入られたが、皆、スチュアートの暗い面を無視してきた。オジーは、リポーターのデュマ・リーには詳細を語らなかった。オジーは、アール・コファー（スチュアートの父）に会うことにした。キエラは、オージーにチャールズ・マガリ―牧師の面会を願い出た。マガリ―は、妻、幼児と出産を控えている妻メグの家族構成である。牧師館でキエラをしばらく預かることにした。ドルーは、刑務所に残され、弁護士をたてて、裁判することになった。ジョージー・ギャンブルは、意識を取りもどした。子供の安否が心配であった。オージー、テータム、ルーニー、マッカーバーは、アール、ジャネット・コーファー夫妻を訪ねた。

弁護士ジェーク(37)がドルーの弁護を担当することになった。ジェークには、妻カーラと娘のハンナがいた。ジェークは、法律学校を卒業後、ウィルバンクス法律事務所で、ルシエンの指導を受けた。「本当の弁護士になりたかったら、細かいことにびくびくせず、図太く生きろ。」ジェークは悪行で追放されたこともある。コファー家は、何十年も教会とは縁がなかった。遠縁の従弟たちも集会には参加していたが、神の言葉には、耳を傾けなかった。彼らは、アールの家に集まり、想像を絶することを企てた。女たちは座り、スチュアートのジャネットとともに叫んだ。男たちは、外で復讐を誓った。日曜の朝、チャールズ・マガリー牧師は事件のことを知らせ

た。オマル・ヌースは、老齢の裁判官であり、ジェークに、ドルーの弁護士を最初だけでようから、引き受けるようにと言われた。検死の結果、スチュアートは多量のアルコールを飲んでいたことが分かった。

ジェイクは、別の事件についても弁護も頼まれていた。夜の 10:30 頃、テイラー、スモールウッド、妻のサラ、3 人の子供のうち二人が乗っていた車（インポート）が、交差点で、大型貨物車と衝突して死亡した。信号機（警告灯）が作動しいなかったためだ。その２か月前に、サラはブレースという女の子を出産したばかりであった。その女の子は、テイラーの妹が世話をしていたので事故を免れた。ハリー・レックスは、陪審員に知人がいないので、自信がなかった。そこで、ジェークに応援を求めたのだ。ジェークは、ヌースに頼まれ、弁護士を引き受けた。

ドルーが収容されている刑務所に行った。ドルーは、髪は伸び放題であった。声もかけても何も答えない。終始受け身であり、何も食べようとしなかった。「母とキエラは、無事であると」伝えたら、「母が殺されたと思って、キエラに暴行するのでないかと思い、殺してしまった」。ハリー・レックスは、ジェックに、スモールウッドを守るため、引き受けないように忠告した。夜の 10:00 のニュースで、スチュアート・コファーの殺害事件が報道された。キエラはしばらくマックガリー牧師の家に預かってもらうことになった。ハンナを家に残して。ジェークとカーラは、散歩した。家がコファー家による放火にされたことが思い出された。アールの弁護士によると、土地はスチュアートが所有している。二人の前妻はすでに他界している。子供はいない。遺書も残していない。従って、財産は、スチュアートの両親、兄弟のアールとジャネット、バリーとセシルの息子たちに配分される。スチュアートの家を焼き払った。スチュアートは、仲間５人とポーカーをした後、アルコールを痛飲した。ドルーは、テトゥーペロの病院で精神科医に見てもらうことになった。キエラはスチュアートにレイプされ、妊娠した。自殺まで考えていた。母には、中絶を進められたが、妊娠８か月の子供を腹に持つ牧師の妻メグから、胎児は一人の人間としての人格を持つので、温かく育てるべきだと諭され、中絶すべきか否か、迷っていた。弁護士を務めるジェークは、弁護士を頼まれたが、ジョージーを養うだけの資金もなかった。

ドルーの父は、レイ・ハーバー、母はジョージーであった。カルラは、ドルーの家庭教師になった。カルラとジェイクは、キエラの子供を養子として引き取ることを考えた。キエラは、オクスフォード高校への入学を考えている。ジェイクは、クララに頼まれ、食料品の買い物に出かけた時、二人の暴漢に襲われた。顔面を殴られ、気を失った。幸い、通りかかった警官のウィリアム・ブラットレイが見つけ、病院に運ばれた。鼻と肋骨を折ってしまった。カルラは、ベビーシッターも考え、両親の住む近くの住居への移動を考えていた。オジーが病院にやって来て、「誰がやったのか？」ジェイクは「多分、コファー一味、多分、セシルかバリーだろう。先週裁判所で見た。トマトジュースの缶で、二人のうちの一人の顔を思い切り殴ってやったので顔面に傷がついているはずだ。二三日で治ってしまうから、早く探した方がよい。ブラットレイに御礼を言ってくれ。」額に傷のあるセシルが逮捕された。ジェイクは、退院して、両親とハンナと一緒になった。しばらく傍観して、犯人の名前は出さないことにした。ジェイクは、まだ病み上がりで、目がかすみ、頭痛がしていた。バイコディン（麻薬性鎮痛薬）が効かない。

ドルーの犯罪を正当化するためには、ドルーにその瞬間の恐怖を聞くことが必要だ。ヴァンブレン郡で公判が行われた。ドルーを知る人はほとんどいない。病理学者の供述が行われた。ジェイクは、事件当日の車を運転していたスチュアート・コファーの血中アルコール濃度が、3.6 mg/mL であり、危険濃度の 1 mg/mL の 3.6 倍であることを聞き出すことに成功した。ドルーは、

ジェイクの指示に従い、立派に真実を述べ、検察側の反撃を見事に振り切った。後は判決を待つのみであった。検察側は、生生しい殺人現場の写真を映写して、陪審員に、ドルーへの残虐な行為を印象付け、死刑を求刑した。これに対して、ジェイクは、コファーは酒乱であり、当日正当な判断ができないくらい血中アルコール濃度が高かったことを述べた。スチュアートにレイプされたキエラが証言に立った。妊娠８か月のキエラは、おなかが大きくなっていた。だれが見ても妊娠していることは明らかであった。キエラは、何度もスチュアートに脅迫されて、強制的にレイプされたことを証言した。その時、スチュアート側は、その父親は、スチュアートであるという証拠があるのかと叫んだ。一時会場は異様な雰囲気に包まれた。最後に、ジョージ―に殴られて、腫れあがった顔の写真を映写し、意識を失い、病院に運ばれたことを供述した。再度、陪審員に強いインパクトを与えた。ドルーは、ジョージーがすでに死んだと思い込み、キエラに性的危害を加える前、発砲したことを述べた。ジェイクの巧妙な援護のお陰で、評議員 12 名の評決は、６：６のドローになった。

キエラは無事、男児を出産した。ジェイクとカルラは、ルシアンと名付けた。正式に養子にすることにした。ハンナは、弟ができ、嬉しかった。カルラは、ドルーの教育をした。物語は、再審の結果を聞かず、未解決のまま終わった。

83 冊 “Hidden in plain sight” by Jeffrey Archer (318 pages) published in 2020, PAN BOOKS

本小説は、ウイリアム・ウォリックシリーズの第二弾である。巡査部長に昇進したウォリックが、英国に横行しているコカイン供給路を暴くことを描く。

ホークスビー警視部長宛に、彼の誕生日祝いに託け、ブラックラベルのスコッチ、タバコ、ポアブラ、オリーブオイルの入った箱が届けられた。添付された無署名の手紙には、次はもっと幸福にと書いてあった。ウイリアムス巡査は、「もし、ルーベンスのキリスト降架の絵が捏造であったら、何故、フォークナーを逮捕して、刑務所に送り返し、延期の判決を取り下げ、４年間監禁しないのか？」と疑問に思っていた。ウイリアムスは、新米のポール・アタジャとともに、麻薬捜査班に加わった。ロンドン警視庁(Met)は、ダイヤモンド密輸業者の逮捕に貢献したポールを警官に採用したばかりであった。ウイリアムスは、ホークナー夫人のクリスティーナから相談を受けていた。ホークナーは、離婚が正式に決まるまで、私立探偵を雇い、クリスティーナを尾行するだろう。長官から、グレーターロンドンの南側で活動している主犯を見つけ出すように言われた。父のサー・ジュリアン、妹のグレース、母のマリージョーと犯罪になる条件について検討会を開いた。来週の月曜から、ウイリアムスは、巡査から巡査部長ウォリックに昇進する。長い階段の最初のステップだ。200 万の英国民がマリファナを吸い、40 万人がコカインを鼻から吸い、にせ金作りが横行している。長官は、ホークスルビー警視庁に、薬物問題を担当させるため、エリート班を作らせて薬物商を突き止め、連行する作戦を企画したのだ。

地区の薬物班は、供給路に集中した。地域警察は路上の卸売業者や薬物使用者を取り扱った。彼らは麻薬注射以外に人生の目的もなく気の毒なものだ。ホークスは、ロンドンの薬物局の半分を支配している極悪人を根絶やしにしたい。しかし、極悪人の名前も住所もわからない。ウイリアムの昇進パーティが終った後、ジャッキーは、車でウイリアムを送ってくれた。帰途、ジャッキーは、逮捕歴のあるチューリップが別の男に袋を渡すのを目撃した。驚いたことに、この男は、ウイリアムの私立初等学校の同級生のエイドリアン・ヒースであった。ウイリアムは、クリスティーナと会うことになった。フォークナーは、これまで数えきれないほどの犯罪を犯してき

た。ウイリアムは、チューリップを見つけ追跡した。ウィリアムは、エイドリアンに、200 ポンドのお金を払い、ヴァイパーは、アセム・ラシディー（出生証明書とは違う名前）という男であり、毎週金曜日にボルトンズ 24 に行くことを教えた。アセム・ラシディーは、アルジェリアの農場園労働者と地方警察官間に生まれ、ソルボンヌ大学を優等で卒業後、リヨンのお茶輸入会社（マルセル&ネッフェ）で勤務した。3 年後、27 歳の若さでアルジェの事務所の管理者になった。会社の利益は倍増したが、ラシディーは、説明もなく退職した。5 年後、会長になりリヨンに戻ってきた。1973 年、イギリスの EEC に参加してから、ロンドンに移住した。ラシディーは外国から薬物を輸送していた。左手の３番目の指がない。ラシディーを追跡したが、逃がしてしまった。エイドリアン・ヒースはユーザーであり、チューリップは卸売業査であり、チューリップの顧客の一人が、マイルズ・フォークナーであった。どんな薬を、どこで配達してもらっているのか不明であった。警察署長のラモントは３回の離婚歴があった。ジャーキーも１度離婚している。警察官は不規則な生活をしていて、ストレス・悩みの相談が絶えない。

ウィリアムとベスの結婚式が行われた。突如、マイルド・フォークナーが現れ、ウイリアムがクリスティーナと不倫をしたおかげで、自分は離婚することになったと叫んだ。結婚式をご破算にしようとしたのだろう。列席者は皆唖然とした。別室で話し合いになった。ウィリアムの父は、フォークナーは、詐欺のため４年間刑務所に通う前科者であること、クリスティーナとウィリアムは、私生活において深い関係もなく、クリスティーナは、ウィリアムに会う前から離婚を考えていたことを言って弁護した。拍手喝采であった。ベスの父のアーサーは、フォークナーを蹴飛ばして追い出した。ウィリアムスとベスは、その日のうちに、新婚旅行に向かった。飛行機には間に合ったが、エンジンの故障で飛べず、附近の豪華なホテルで一夜を明かすことになった。その時、ベスから、妊娠しているという嬉しい知らせを聞く。フォークナーは、クリスティーナには、一生かけて収集した絵画を渡したくなかった。ウォリックは、毎年この部屋で結婚記念日を過ごしたいと思った。この番狂わせな出来事は、ベスの父のアーサー・レインフォートが計画したものであった。ハネムーン期間中、ウイリアムの代行をアダジャが務めていた。アッセム・ラジディーは今どこにいるのか？フォークナーの家の大理石が床に落ち、上半身の中にコカイン（A 級物質）が見つかり、現行犯で逮捕された。

来週行われる裁判の行方は、エイドリアンの供述次第であった。ウォリック側は、ヒースが裁判で正しいことを陳述してくれれば、ヒースと許嫁のマリア・スイス嬢２名分のリオデジャネイロへのビジネスクラス片道航空券、と１万ポンドを提供すると約束した。公判でグレースは保釈は絶対に認めない、と強気でいた。大量のコカインがコロンビアから、ベルギーのゼーブリュッヘ港を経由して、多分イングランドのフィリックストウ港に送られてくる。ウィリアムとジャッキーは、サクソンプリンス号（船）が港に入ってくるのを目撃した。フェリーからワゴン車を引っ張るボルボが降りてきた。MM が運転し、チューリップが隣に座っていた。

家宅捜査が行われた。コカインがフォークナー氏の彫像の内部に隠されていた。裁判では、証人のエイドリアン・ヒースが偽証した。コカインではなく、キャビアを渡したと嘘をついた。これは、フォークナー側に有利な発言となった。ヒースは、フォークナーからも、偽証してくれれば、リオデジャネイロ行きの航空券を渡してもらえるという誘いに乗ったのだ。ヒースは、リオデジャネイロ行きの航空券を受けとり、空港に向かっていた。ウィリアムとポールは、ヒースを追跡した。ヒースがトイレに入って行くのを目撃した。トイレに入って行くと、エイドリアンは、既に何者かに殺されていた。ポール・アダジャは、チューリップと名乗る容疑者を追跡し

た。ヒースのポケットに会ったパスポートには写真が写っていたが、名前は書かれていなかった。出発したリオデジャネオロ行きの飛行機には、マリア・ルイア嬢は乗っていなかった。

再審の日が迫ってきた。グレイスは、フォークナーは絶対に責任を逃れられないと思っていた。コカインの所持をどう言い訳するのか？母のクレアは、グレイスに尋問の仕方を伝授して、一緒に練習をしてくれた。用意万全である。グレイスは、家族に励まされ、フォークナーへの尋問を始めた。キャビとコカインでは値段が違い過ぎることを鋭く追及して、本当にキャビアを購入したのかと迫り、勢いを取り戻した。判決が下された。前回の判決の４年と、今回の判決の 6 年、合計 10 年間の刑務所で服することになった。チューリップは、エイドリアン・ヒース殺人で逮捕されないように、コカインを一包飲んだが、死にきれず病院で治療を受けていた。

ラシジの本部は、ブリクストンのアベンハムロードにあるマンスフィールドタワーのブロック A にあった。最上階の 25 階では、大麻が栽培されていた。24 階では、町の卸売業者のためにヘロイン、コカイン、エクスタシー錠などを調剤していた。23 階は、薬物の配送所として使われていた。責任者のラシジの側近として、除名された弁護士、資格を剥奪された会計士、医師免許を剥奪された医師、横領のために解雇された販売マネージャーの４名がいた。マイルズが家が燃え尽きる前に絵画を盗んだことを証明しなければならない。屋上からはヘリコプターが、エレベーターから、一斉に急襲をかけ、ドノヒューを逮捕した。ラシジは、床に落ちていたフェイスマスク、ゴム製の手袋を纏い、他の労働者に紛れて逃亡しようとした。しかし、ウイリアムは、野次馬の中に辺りを気にしている男を見つけ、ファイスマスクと手袋を脱がせた。３番目の指がないことから、ラシジと断定して、逮捕した。ラシジのオフィスの壁際には３つの大きなスポーツバッグが置いてあった。バッグの中には、一日分の収益金が一杯詰まっていた。ラシジの４名の側近をはじめとして、多数の容疑者が捕まった。ポール・アダジャは、バスから落ちたが、運よく捻挫で済んだ。ウィリアムも、ラシジの手下に殴られ、目の周りに黒あざができていた。ラシジは、母の葬儀場に列席していた。３台のバイクが現れ、そのいずれかに乗って逃走した。３台のバイクは、それぞれ別方向に向かったため、ヘリコプターによる追跡は不可能であった。モーターボートで脱走した男が浜に上陸しているのが目撃された。

ウィリアムは、病院から呼び出され、タクシーで急ぎ駆け付けた。ベスは、無事双子を出産していた。最初、長女のジェンティレスキ（同名のイタリアの女性画家にちなんで）が生まれ、続いて、長男のピーター・ポール（多分、ポールアダジャにちなんで）が生まれた。その時、ニュースがテレビで放映された。ペントンビル刑務所から、囚人が脱走した。マイルズ・ホークナーの顔が画面に現れた。次号に続く。

82 冊 “KLARA AND THE SUN” by Kazuo Ishiguro (307 pages) published in 2021, Faber

AF（Artificial friend、人工の友達ロボット）である私（クララ）が、自らの栄養補給になっている太陽光線により、病弱なジョージーという女の子を救い、大学進学までさせる過程を描いている。この小説は、全部で 6 部から構成されている。

第１部（ロボット展示会場にて：ジョージーに見初められて）

オフィス街にある RPO（採用アウトソーシング）ビルの 1 階正面の小部屋に、私（クララ）は、AF として飾られていた。太陽光線が、私にとり、唯一の栄養源である。13 歳の少女のジョ

ージ—が気位の高そうな母親と一緒に、私の前に現れた。（私は、正確に人間の年齢を言い当てられる）。その時、私にこっそり、「家に来て欲しい」と言ってくれた。その後、しばらく来なくなった。その間に、同僚のローザや少年のロボットは、次々と買われて行き、その度に新手のロボットが補充された。私に興味を示してくれる顧客はいないのか？多少、焦り気味になっていた頃、ジョージーが再度、母親と一緒に来た。私を探しているように見えたので、私の方から近づいた。「待っていてくれたのね」。「約束した通りよ」。母親に、「私のことが気に入ったのでクララを家に連れて帰りたい」と言ってくれた。マネージャーは、「クララは、観察することと学ぶことに、貪欲である。自分の周囲を見回し、吸収し、ブレンドする能力は優れている。」と言ってくれた。母親は、私の音声テストをした。クララの目の色、音域を尋ねた。クララは、ジョージ—が左のお尻が弱く、右肩が痛むため庇っていることを見抜いていた。母親に言われた通り、ジョージ—の歩き方を実演したことを確認して、クララを買うことにしたようだ。マネージャーは喜んだが、母親は神妙そうな顔だった。多分、B-2 級のクララよりも、より精巧な B-3 級が欲しかったのだと思われた。

第２部（ジョージ—の家に住むようになって）：

ジョージーの家で働くことになった。家政婦のメラニアとは折り合いが悪い。ジョージーは身体が弱い。母は、日中は仕事に行っているため家にはいない。ジョージーは、ヘッドフォンを使った講義には集中できないでいた。ジョージーは、一緒に外出をしようと誘ってくれた。メラニアは、私が外出の経験がないので、ジョージーの手をとり、先に外に行った。私は後を追った。途中、隣家に母のヘンリーと住む、リッキーに会い、紹介してもらった。ジョージーは、リモコンでドローンの鳥を飛ばしていた。リッキーとジョージーは、ほぼ同じ背丈の中の良い友達同士であった。ジョージーの母クリッシーは、娘が学業だけでなく、接待術を身に着けるために、家で大人（すべて女性）のパーティーを企画した。ジョージーは、なんとかホスト役をこなしていた。ジョージーは、夜眠れないため不安になり、アラームボタンを押してしまった。医者に見てもらったが異常はなかった。ジョージーは、体調が良くなったら、一緒にモルガンの滝に連れて行うと言ってくれた。ジョージーは、若い頃、モルガンの滝で撮った写真を見せてくれた。そこには、多くの子供達や AF とともに、病没した姉のサルの後姿が映っていた。母が運転する車で、ジョージー、メラニアとともに、モルガン滝を目指して出発した。私にとり初めてのドライブであった。景色が目まぐるしく変わる。母親は、私のことを、感情に左右されず冷静に判断できることを羨んでいると言った。ジョージーの父ポールが働いていたキンボール冷凍会社の工場を通りすぎた。道が狭くなり、車から降りて、歩くと泥道、そして牛のいる野原に辿り着いた。ジョージーに歩かせるのは無理と判断し、今回は、私と母親だけが先に進むことになった。木製のテーブルが 14 台並べられていた。家族連れ、AF、犬がいた。その先に滝があった。母は、コーヒーを買いに行った。昔、母は、サルとジョージ—を連れてここに来た。サルの死亡の原因は不明だが、身体が弱かったようだ。私とジョージ—の間に亀裂が入る。私に不満があるのだろうか？B3 を選んだ方がよかったのではないかと問うたら、「そう思い始めている。しかし、我々はまだよい友達でしょう？」モルガンの滝に行ってから我々の友情が冷めてしまった。

第３部（ジョージーとの気まずい関係は復帰できるのか？）

私に対して、ジョージーだけでなく、母も急に冷淡になった。やはり、私には、B-3 級の能力がないのだろうか？ジョージーの体調が悪化し、朝のコーヒーを飲みに降りてくることできないので、母親がベッドまでコーヒーを持っていった。メラニアからも馬鹿にされ、外に行っていろと言われた。ライアン医師が頻繁に往診に来て、一日の大半を寝て過ごすようになって体力も回復してきた。授業の代わりに、シャーペンで絵画を描いたりして過ごしていた。リックが 30 分だけ来るときは、見張り役を命じられた。リックが来なくなった。私は、ジョージーが描いた絵を封筒に入れ、草の生い茂る道を通り、リックの家に届けに行った。みすぼらしい家である。壁には、写真、シャーペンで描いた絵が飾ってあった。私には、臭いの感覚がない。身を守るために必要な感覚は、B3 級の AF にはあるが、B2 級の私にはない。リックの母親は、リックと一生にいたいと考えているが、それは間違っている。私は、リックには自分の生き方があると言った。

リックは学校に行かず、自宅でスクリーン教授による家庭教育を受けていた。クリッシー（ジョージーの母）は、子供を抱いていた。サラの死の２年前であった。母はまだサラが生きていて家のどこかに隠れていると思っている。リックは、ジョージーの絵を封筒に戻した。リックは、ジョージーを訪問することを止めた。リックにはガイダンスが必要である。クリッシーが、アトラス・ブルキングス大学への教育を御願いされた。リックは頑固である。ヘレン（リックの母）は「母の息子に対する愛は高貴なものであり、孤独の恐怖を覆すものである。私は、亡くなったリックの父と一緒にいるよりも、孤独を選んだ。リックは戻ってきてくれた。クララのお陰で、リックは、ジョージーに会うと言ってくれた」。私は、リックの肩車に乗り、マックベインの納屋に向かった。

リックに頑張ってもらいたいこと、アトラス・ブルッキング大学に行ってもらいたい。母のことは気にしないで。リックは久しぶりにジョージーに会いに来た。私はベッドにいる二人を監視した。リックから、セックスはしないから心配しないでと言われ、私は二人を残して、部屋から出て行った。メラニアから、「ジョージーは母と都会に行くので、ついて行ってあげて。カパルダ氏に気を付けるように」と言われた。私「もし、私の計画がうまく行けば、ジョージーは大学に行って、立派な大人になれる」。ジョージーは精神的に不安にはり、夜、「死にたくない」。ジョージーは、母と抱き合い落ち着きを取り戻し、平和を取り戻し、寝た。

第４部（肖像画の作成）

ジョージ―は父のポールと再会し、抱き合って喜んだ。市内観光をした。昔の店は移転したのか？亡くなったサリーの肖像。ジョージ―の肖像の作成するために、来たのか？父はジョージーと連れて帰った。母は、「私にジョージーになって欲しい。どうしてもジョージーの肖像が欲しい。それがないと生きて行けない。クララ、なんとかして。私は他の男性に夢中になるかもしれない。ポールを外した、クララ、私、リック、ヘレンだけの生活ができないか。ジョージーから全てを学んで欲しい。私「クララを助けることが使命です。」母は私を抱いた。ポール「クララ、ジョージーを救うことができるか？」私「ジョージーを観察し続ければ、人間の特有な心の内面を理解できる。人間には、たくさんの部屋の中にまた部屋がある。しかし、人間の心は複雑だが、限りがある。時間さえあれば、専念して、ジョージーになり切れる。車で、この地区に運んでもらったのは、昔の店に行くのではなく、３つの煙突のある、Cooting と名前のついた排気ガスを放出している機械を見つけるのが目的であった。それを破壊すれば、ジョージーの健康を復帰できるのではないかと思った。ジョージーを健康にできれば、肖像画を作成することも、ジョ

ージーを学ぶこと必要なくなる。Cooting 機械が見つかった。ポール「外層に穴をあけ、バルブを緩めて、また占めて。P-E-G nine を 500 ml 導入すれば、破壊できるだろう」。
ヘレンは、恋人のヴァンスは、リックがアトラス・ブルッキング大学に入学したいことを伝えたら、ヴァンスは、同大学の経営にタッチしているので、入学ができるようにしてあげようかと話した。ヴァンスは、リックから直接話を聞きたがった。しかし、リック自身は乗り気ではなかった。

第５部（太陽光線は、ジョージーを救う）

リックは、ジョージの体調が悪くなった。私は、誰も気づかない方法で、ジョージを健康にしてみせる。第２の Cooting 機械の存在を知り、汚染を防止することができなくなった。私は、マクベインの納屋に行き、太陽に会いに行った。太陽にジョージに健康を祈った。母は、ライアン医師に相談し、ジョージーを病院に連れて行くことを相談した。母とメラニアは疲れ切っていた。私は、ジョージーに危険なシグナルを察知した。

太陽が登ったので、急いで２階のジョージーの部屋に行った。ジョージーは安らかに眠っていたので、ひとまず安心した。メラニアは、カーテンとブラインド、窓を閉め、太陽光線の遮断しようとした。私は、「だめ」と言い、太陽光線を思いっきり部屋に入れた。ジョージは、目が覚め、元気を取り戻した。

第６部（ジョージーは大学進学へ）

太陽の栄養は効果的であった。強くなったジョージーは、子供から大人へと成長した。リックとジョージ―は、別々に生きて行くことになる。ジョージ―は、大学に進むため、家を出て行くことになった。メラニアは、退職し、コミュニティーの仕事を探している。元の店に行って時、マネージャーに途中経過を報告に上がった。すでに退職していたマネージャーは、私のことを大変よく評価してくれた。私は、ジョージーを一人にさせなかった。ジョージーを救ったのだ。

81 冊 “Camino Winds” by John Grisham (343pages) published in 2021, DELL

ハリケーン・レオは熱帯暴風に発達し、予想されたコースから逸脱し、フロリダのカミノ島に向きを変えて来た。同島サンタ・ローザ町レイブックス書店長のブルース・ケーブル（66 冊 “Camino Island” by John Grisham (310 pages) Hodder & Stoughton Ltd (2017)参照）は、この地に 24 年滞在しているが、これまで、湾流のためヘリケーンの被害を受けたことがなかった。女流ベストセラー作家のマーサー・マンは、カミノ島にルーツを持ち、ブルースとも深い関係にあった。マーサーは、若い 20 代後半の作家トーマスとも仲が良かった。嵐が近づき、島の住民の大半は避難し始めていた。ブルースは、カミノ島に残り、１万冊の本を安全な２階に移動させた。浸水は、4 フィートに達していた。レオは刻一刻と近づいてくる。島は多大な被害を受けつつあった。小説を書き上げたネルソン・カーは、死んでいた。大学生のニック・サットンは、夏の間祖父母の家で過ごしていたが、ブルースの経営する本屋で働いていた。本棚に血痕が見つかり、ネルソンが大枝で頭頂を強打され何者かに殺されたものと思った。嵐が原因の事故死ではない。ブルースは 2F のバルコニーで旅行中の作家をもてなしてきた。そこで、ネルソンと出会った。ブルース、ボブとニックの三人は、ネルソンの家に車で向かい、冷蔵庫から食料と飲み物を取り出し飢えをしのいだ。イングリッド・マーフィーが犯人であるかは、解剖所見がないと判断できない。ブルー

スはスイスにいるノエルとオクスフォードにいるマーサに、ニックはノクスビルの両親に、ボブはテキサスの娘に無事であることを伝えた。旅行者も顧客もいないし、ハリケーンは、あと１年は来ないだろうから、本屋の再開を急ぐ必要はないと思った。

嵐が来る三日前の 8/2（金）に、ボブは、40 歳前後の若作りの容姿のイングリッド・マーフィーに会っていた。このイングリッドは、ボブと肉体関係を持ったことが契機となり、ネルソンとも深い関係になった。イングリッドは誰かから、大金を貰い、ガレージにあったゴルフのクラブあるいは野球のバットでネルソンを撲殺したのだろうか？ネルソンは、これまでに３冊の本を書いたが、現在未完の４作目に、登場する怪しげな登場人物が実際に存在するのではないかとも考えられる。犯人に都合の悪いことが書かれていたため、殺されたのだろう。

ブルースは、ネルソンの姉のマッカン・ポリー（50 歳位）に連絡した。ポリーは、葬儀のために来ることになった。ネルソンは、妻とは離婚しており、子供がいなかった。ネルソンの家宅捜査が始まった。パソコンは押収されたが、最終稿を納めた USB はブルースが所持している。ポリーは、女性遺言執行人であった。遺産の 1/3 はポリーに、2/3 は。両親に渡される。原稿には、イングリッドの名前が出てくる。ネルソンには敵はいない、誰も傷つけたりはしないとポリーは言った。

ネルソンは、これまで 3 冊の小説を公表してきた。第一作（Swan city）は、武器の不正取引、第二作（The Laundry）は、法律事務所による不正金の洗浄、第三作(Hard water)は、ロシア人の殺し屋による核兵器の予備部品の密売を描いたものである。ブルースは、第四作(Pulse)の出版の打ち合わせをした。ブルースとボブは、小説の校正をやっている。この第四作は、未公開であるが、ダクサペンという中国製薬剤が、臨床試験を経ないでアルツハイマー病患者に投与されていること、平均 12 か月延命させ、会社は、一人当たり 4 万ドル、毎年 5000 人が死ぬので、30 億ドルの年収を上げていることが描かれていた。ネルソンは、製薬企業とは取引をしていない。悪党は捕まり、ダクサペンは消え、老人は死に始める。ネルソンの家族はそれを売りさばくだろう。患者は傷付きやすい。弁護士にとり介護施設の訴訟は儲かるものだ。ネルソンは情報提供者や告発者を書いた。ポリーは、ネルソンの分譲アパートを売ってしまうだろう。ネルソンはお金を埋めた。ネルソンは、シンガポールのダミー会社を介してシリコンバレーのベンチャー会社の 10 万ドルの株を買った。ブルースはノエルとイタリア旅行に出かけた。47 歳のブルースは、23 年間、本屋をやってきたが、カミノ島に残るか、それとも、別の場所で再活動すべきか、まだ決断ができないでいた。

イングリッドは、高額の契約金で雇われた女性の殺し屋であり、ボブと何回か寝るようになってから、ネルソンに行き着いた。嵐のお陰で、誰にも気付かれずにネルソンを殺すことができた。ブルースは、ネルソンの小説を出版する気である。リンジーは、同じ黒人のヴェラ・スタークをスパイとして雇った。リンジーの同僚の一人のレイモンド・ジャンパーは、安酒場で 22 歳のブリタニ―・ボルトンと知り合い、４歳の時に自動車事故で脳死になった少女が、40 歳の同僚のジェラードによりレイプされ、妊娠した。施設には、このような見捨てられた人達が多数収容されていた。多くは植物人間である。ブリタタニー・ボルトンは、こっそり養護施設を調べた。フラクサシシルが吐き気、失明、脳死などの副作用を示すが、拍動を僅かに促進して確かに延命するという情報を得た。ケンタッキーの新聞には、ブリタニーは、オピオイド（オキシコドン）を過料飲まされ殺害されたと記されていた。ブリタニ―は、ゲラルドがレイプする現場を目撃した、弁護士に話すぞとおどすと、ゲラルドは、ブリタニ―が薬を盗んだと嘘の情報を流し、その

場で解雇した。子供は死亡し、死体は速やかに焼却されていた。犯人は、ネルソンを殺したのだ。

ブルースとノエルは、皆に祝福されて、改めて結婚式を挙げた。ブルースの所に黄色の紙に打たれた手紙がメールで届いた。そこには、「結婚おめでとう。きれいな奥様ですね。彼らがネルソンを殺したのです」。とあった。また、メールが届いた。ニューヨークで会えないかとの誘いである。ブルースはマンハッタンで、ネルソンの本編集長とランチを食べた。３日後、ホテルのバーで紅茶を飲んでいたら、ペンション・ホテルの 2F のバーで待ち合わせのメモを受け取った。そこで、ダニエル（デーン）という美貌の女性に会った。デーンは、ナーシングホームの社長である女遊び人のケン・リードの３番目の秘書兼妻である。デーンはネルソンとも深い関係になり、そのことが原因でネルソンは殺されたと思った。もし、ネルソンと会っていなかったら、生きていたのではないだろうか。ブリタニ―は、ネルソンの世話をしていた同じ人に殺されたとも思われる。フラクサシルは、まだ認可されていないが、不法薬物ではない。政府の調査が入るのが心配である。デーンは、この会社を辞め、ケンとも離婚したいと思い始めていた。

デリンジャーは、SWAT チームの副部長である。いよいよ、FBI の捜査が始まった。ヒギンボサッムは、西オハイオの最大のアスファルト舗装建設業者である。ヒッギンボッサムは、２番目の若い妻リンダが、浮気していることを知っていた。ヒッギンボッサムは、リック・パターソンにリンダと愛人のジェイソン・ジョルダンを射殺させた。相棒のカレン・シャルボネットはリックの額に銃弾を２発放して殺した。リックは病院に運ばれたが、脳出血と首の骨折のため、全治は不可能であったが言葉は理解できた。リックは、２億ドルのお金をもらい、二人を射殺することを請け負った。監視カメラには、リックの相棒であるカレンの写真が写っていた。その顔は、イングリッドと同一であった。

ハリケーンの最中にネルソンを殺した。400 万ドルの契約金で、リックとカレンはネルソンを殺して、契約金を山分けした。リックは、首を骨折してから 18 日後に 44 歳で死亡した。リックは死に際に、これまでカレンと犯した殺人の告白をした。カレンに対する本格的な捜査が始まった。ニックは、再びブルースの店で働くことになった。Pulse の売り上げは、50 万部まで増加していた。ハリケーン・レオの発生地附近で、新たに、ハリケーン・ブフォードが発生していた。

80 冊 “The Guardians” by John Grisham (373pages) published in 2019, Hodder

本小説の構想は、冤罪を晴らすために一生をささげた二人の実話に基づいている。私（カレン・ポスト）は、殺人の容疑にかかり、刑務所で処刑される前の最後の晩餐を食べているデューク・ラッセルに、犯人は別にいることを伝えるところから、この物語は始まる。エメリー・ブルーンは、レイプされ、誰かに殺害された。４年前から、犯人はおそらく、33 歳のマーク・カーターであることを確信していた。

私は、米国聖公会の牧師でもある弁護士であったが、現在、無実の罪で逮捕され刑務所生活を救済する非営利組織の The Guardians で働いている。私は、妻のブルッフと離婚後、しばらくの間は精神的に不安定であったが、やがて今の仕事に生き甲斐を見出し始めていた。私は、ビッキー・グルリーとメーシーという二人の女性と共に活動している。ビッキーは、甥に事務所を貸し収入を得ていた。私は、ビッキーから給料を貰っていた。メーシーは頼りがいのある女性だ。この組織は、これまでに、現在捜査の協力をしてもらっているフランキーを含めて 8 名の濡れ衣をきせられた容疑者の無実を晴らしてきた。ケイヒル協会から 500 万円入った。非営利組織は個人

から年間 50 万ドルを得て運営している。私は家賃無しの、最上階の高級アパートに一か月に 10 日位泊まっている。ビッキーは、私の健康を気にして、バンガローでの食事に誘ってくれた。メーシーは、私の恋愛生活を心配してくれていた。

フロリダ州の小さな町シーブルックで、キース・ルッソという若い弁護が、射殺された。警察は、ルッソの顧客だった黒人の若者クインシー・ミラーを疑った。クウィンシー・ミラーは、濡れ衣を着せられた。有罪判決を受けた、22 年間、獄中で衰弱していた。その無実を明らかにするために、彼の前妻のジュン・ウォーカーに、証言の内容を確認するために、会うことにした。クインシーは、私に手紙をよこした。そこには、「キース・ルッソを殺した犯人は、別にいる」と書いてあった。前デンバーの殺人探偵を担当していたポール・ノルウッドは、被告の犯罪の関与を立証して収入を得ていた。ノルウッドの担当した３件は誤りであることが後日判明したが、３人は、計 59 年牢屋で暮らし、そのうち一名は死刑に処せられた。2006 年にノルウッドは、退職に追い込まれた。これまで 7 件の有罪決定は間違っていた。ノルウッドは、ブロガーから非難されたが、反省の色はみせていない。誰かがディルカを操り、ディルカに顔を整形させて、殺人の目的を完成させたのだ。マルカドは、アルベルト・ゴメスと名前を変えて殺人を実行した。郡保安官フィッツナーに雇われていた。男たちに待ち伏せされた。その黒幕と思われるフィッツナーは、クウィンシー・ミラーに濡れ衣を押し付けて、弁護士のキース・ルッソの殺害を企てた。一味は入院中のクウィンシーを殺そうと病院に向かった。お金を渡そうとしているところで、アルカドとフィツナーは FBI に捕まり、牢屋に閉じ込められた。

私とフランキーは、ウェンデルの家宅捜査に入った。リレイとウェンデルは家を見せたくなかったが、交渉の結果、１日 400 ドルで家を借りることにした。フィッツナーが、クウィンシーを殺そうとしたが、証拠がない。ケニーの生家を訪ねた。20 年前に死んだ白骨死体が転がっていた。蛇が這いずり回り、蜘蛛の巣が張り廻られていた。腐乱臭が漂い、気味が悪い。死体には銃痕がなかった。箱の中に、手書きの証拠書類を見つけた。地元の保安官立ち会いのもとで、箱の中身を検証した。23 年前の黒ずんだ血液がついたワイシャツ、４冊の法律書、冷凍用ポリ袋、2cm のレンズがついた懐中電灯が見つかった。何故、獄中のフィッツナーは、この証拠を消滅したかったのだろうか？地区検察官の協力のもとで、早くクウィンシー・ミラーを牢屋から出してあげたい。その後、DNA 鑑定の結果、キース・ルッソのワイシャツについていた血は本人のものであること、レンズに残っていた血は彼のものはないことが判明した。裁判が開かれた。20 年前の裁判では、クウィンシー・ミラーに不利な証言をした３人は、偽証であったことを認め、犯行現場には、クウィンシー・ミラーがいたという過去の証言は嘘であることが判明した。そのうちの一人は、クウィンシー・ミラーの前妻ジュン・ウォーカーであり、クウィンシーとの間に３人の子を儲けていた。証言をした後、二人は抱き合って、過去の罪を認め、許し合ったことは感動的なシーンであった。やがて、判決が下り、クインシー・ミラーは釈放された。

79 冊 “Nothing Ventured” by Jeffrey Archer (369 pages) published in 2019, PAN BOOKS

クリフトン年代記を書き終えた後、読者から「年代記に登場するハリー・クリフトンが書いた連載小説の主人公のウィリアム・ウォリックについて、もっと詳しく知りたい」という投書が届いた。本小説のウィリアム・ウォリック　シリーズの第一冊目にあたる”Nothing Ventured（レンブラントを取り返せ）”の構想は既にあった。本小説において、ウィリアムが父の弁護士事務所の

見習いにならず、ロンドン警視庁に入りたいと言って、父をがっかりさせた。ウィリアムは、探偵になろうとロンドン警視庁に移る。ウイリアムは、やがて捜査部の巡査から、ロンドン警視庁の監督官に上り詰める。私は、現在、第２作目の若かりし頃の巡査部長に焦点を当て書き進めている。彼が成功するか否かは、彼の決断と、私がこれからどれだけ長く原稿を書き続けられるかにかかっている。

ウィリアム・ウォーリックは、8歳の頃から、探偵になりたかった。父サー・ジュリアンの反対を押し切って、また、母のマージュリーが間に入って、ロンドン大学で美術史の勉強することになった。ウィリアムは、数々の画家の絵に夢中になったが、中でも、イタリアの画家カラヴァジョが恋愛関係の縺れから、殺人者となったことに興味を抱いた。父は、絞首刑になるべきだといったが、ウィリアムは、死罪を免れるだけの十分な理由を挙げて対抗した。卒業時には、カラヴァッジョの暗い面を描い論文で博士号を取得した。ウィリアムは、16世紀よりも20世紀の犯罪人について学びたかった。1982年9月5日、ウィリアムは警察学校の訓練に入った。警察のユニホームを纏い、授業、事務、法律、法医学、犯行現場の分析などに没頭した。ウィリアムは、無事卒業し、ランベス警察署に報告に行った。刑事になるためには、さらに２年の見習いが必要であった。指導は、フレッド・イェーチェ巡査が行った。「誰も信じるな。全てが挑戦だ」。父は、娘のグレースではなく、ウィリアムスに自分の後を継いで欲しかったが、母は、息子の好きなようにさせたかった。ウイリアムは、フレッド・イェーツと玉突きの試合をした。72対73の僅差で負けたが、その試合を見ていた老人（ジャック・ホークスビー）は、負けず嫌いで逞しく戦っている姿を見て、自分の事務所に雇うことになる。メトロポリタン警察に出向き、彼のオフィスを訪ね、彼のチームの一員として働くことになった。フレッドとの最後の訓練の日、女性が暴行を受けている現場に遭遇した。女性を助けようとしたウィリアムは、ナイフで胸をさされ、意識を失ったまま病院に駆け付けた。回復した時、フレッドが落命したことを知った。フレッドは、最後の言葉を残した「我々の歩んできた道は異なるが、一つだけ共通点がある。我々は、多少、気が狂っているが、少なくとも運命づけられた仕事を行っているのだ。」

ウィリアムには贋作を見破る才能があった。また、フォークナーが画廊からレンブラントの絵画を盗んだことを見破った。アームストロングは、アポロ11ミッションで月の土埃持ち帰った。アメリカ政府は、その土埃を、マンチェスター大学のフランシス・デニング教授に、他人に譲渡しないという条件で、最初寄贈した。それがいつの間にか、故デニング教授より、ケイス・タルボット博士に渡っていた。ウィリアムスは、この経緯を2,3日で調べるようボスから命じられた。フロント・デスクのメラニー・クロアから、タルボットより、ガラスの小瓶の提供を受けたことを聞いた。ウィリアムスは、タルボットの家に出向いた。

ウィリアムは、レンブラントの絵の説明をしてくれた女性のエリザベス（ベス）・レインスフォードに一目ぼれしデートを申し込んだ。デートの前に、ウィンストン・チャーチルの第二次世界大戦を描いた６冊の本に偽造の署名をして売りさばき、金儲けをしていた人を探した。タクシーに乗り、イタリア料理店に向かった。二人は打ち解けて、お互いの経歴を述べた。ベスは、ケンブリッジ大学でルーベンス外交官について調べ学位を取得した。ベスが紛失したレンブラントの絵を次の月末までに持ち帰ると約束した。ウイリアムスは、ベスを好きになったが、ベスにはプラトニックな友人のジェズがおり、共同アパートに住んでいた。

ベスの協力で、レンブラントの絵のコピーを描く人物を見つけた。エディー・リーだ。ジャッキーとウィリアムスは、ホテルに泊まりこみ、ケヴィン・カーターの行動を監視した。カーター

が鋳型からコインをくり抜くのを目撃した。カーターはカバンを持って出かけた。ボスのラモンより、カーターは飛行機でロンドンに向かうという情報を得た。カーターの座席より３列後方の座席を用意してくれた。カーターはヒースロー空港から、ローマに向かった。ウイリアムスは、ラモンドと一緒にエディ・レイに会いにいった。「お前が絵を描いたのか？」。

地方行政長官（レンブラント作）の絵をマイルス・ホークナーが窃盗した。ホークナー夫人は、夫に対する復讐のため、弁護士のグレイスを雇っていた。2:1 でグレースよりの判決であった。ホークナーの家には、地方行政長官（レンブラント作）の絵がかかっていた。ホクスビーは、マイク・ハリソン弁護士を付けることにした。ハリソンは、紛失したレンブラントの絵を探すのに熱心であり、ラモンのことを「警察官の中の警察官」と言って評価した。ホクスビーは、ウイリアムスにベス・レインスホールドには絶対に秘密を漏らすなとさとした。

カーターが動きだした。ローマに行こうとするカーターを追跡した。カーターは水中の金貨をとるため、許可証を取得した。夜、船の防水シートに隠れて、偵察した。グラントが、木製の棺から、宝石入れをワイアで持ち上げ、海中へ。カーターはキャプテンに挨拶した。二人のダイバーが海中に飛び込み、カスケットを持ち帰った。中からコインが出てきた。偽造品？裁判で訴えてやる。

ベスの父のアーサー・レイン―フォードは、殺人罪で終身刑の裁きを受けていた。ベスは、ペントンヴィル刑務所にる父に会いに行った。ウィリアムは、法廷弁護士の父ジュリアンに、ベスを紹介したいと行った。アーサーが殺人罪で終身刑の身であるが、ベスと結婚したいことを伝えた。ジュリアン、ウィリアムス、グレースの３人は、レインフォールドのいる刑務所で落ち合った。アーサーの父は一般医であったので、アーサーにはロンドン大学付属病院で働いて欲しかった。しかし、アーサーは、医者には向いていないことを悟り、ロンドン証券取引所で経済学を勉強し、クレインフォード・ベンソン銀行で顧客の企業拡大の援助をしていた。幼馴染のハミッシュ・ガルクレス、そして証券取引所で知りあったガリー・カークランドの三人で、1961 年に RGK 有限会社を設立した。秘書１名のこじんまりした会社であったが、ベーターブロッカーの開発で成功した。ガリー・カークランドは、女癖が悪く、フィアンセのブリジットに稼いだお金をもって行かれ、まもなく離婚した。カークランドは、アーサーの娘のベスにも性的なセクハラをした。アーサーは、ハミッシュと相談し、カークランドを解雇したかった。カークランドが殺害された。殺人現場から頑丈そうな男が、アーサーを通り過ぎた。おそらく殺人犯から通報を受けたのだろう。数名の警察官がやってきて、現場にいたアーサーを逮捕した。アーサーは、３ページの陳述書を書いたが、真ん中ページが故意に抜き取られていた。アーサーは、12 年の懲役の判決を受けることになった。アーサーの説明を聞いていたサー・ジュリアンは、アーサーの無実を信じ、法廷で弁護すると約束してくれた。ウイリアムは、レンブラントの絵を持ち帰るために、モンテカルロに行った。グレイスは、アブラハムズ教授に証人になってもらうための約束をとった。そして、裁判がやり直されることになった。

フォークナーは逮捕され、７年ぶりに、レンブラントの絵がもとの場所に戻った。裁判で、アブラハムズ教授は、ESDA という機器を使って、真ん中の抜けている部分の文章を再現させた。その文書には、殺人は、別にいることを示していた。クリスチーヌとフォークナー夫妻は、お互いに相手が盗んだと言い張った。判決が下された。レインフォードは無罪で釈放された。マイルズ・エドワード・フォークナーについては、裁判長の温情により、罰金と、４年間に裁判沙汰にならなければという条件で、釈放された。フィツモリーン博物館は、ともあれ、レンブラント作の

ドレイパーズ・ギルドのシンディックスの油絵と、ルーベンスのキリスト降架が戻ってきたのはよい知らせだ。」フォークナーは、ウィリアムスの耳元で、「ニューヨークに来た時、私のアパートに寄って来ないか？ルーベンスのオリジナルを見せて上げるから」と謎めいた言葉を囁いた。事件はまだ終わっていない。第２作に続く。

78 冊 “Fairy Tale” by Danielle Steel (330 pages) published in 2017, PAN BOOKS

この小説は、ナパバレーのワイナリーで生活していた二家族の娘と息子が、幾多の悲劇を乗り越え、愛を育んでゆく過程を描く。

クリストフとジョイ・ラメナイス夫妻は、24 年前にフランスから米国カリフォルニア州のナパバレーにやってきた。クリストフの家族は、代々フランスのボルドーでワイン醸造を営んできた。二人は、スタンフォード大学の大学院でそれぞれ、経営学、ワイン醸造研究を専攻した。クリストフが在学中に父を亡くし、遺産金を元手として、ナパバレーでワインナリーを始めた。ジョイも最初はシリコンバレーでベンチャーを立ち上げようとしたが、クリストフのワインに対する情熱に負け、一緒について行くことした。二人は結婚して、やがて一人娘のカミールが生まれ、こじんまりした家（シャトー・ジョイ）での幸せな生活が始まった。ナパでは、サムとバーバラ・マーシャルと知り合った。サムとバーバラの間には、カミールより７歳年上のフィリップがいた。両家族は、ともに良質のワインを造ることに意欲的であり、自然と家族ぐるみの交際が始まった。カミールは 18 歳になった。ジョイは、乳癌が見つかったが、早期であったため復帰でき、再び家族３人の平穏な生活に戻れた。バーバラも乳癌を患っていた。しかし、進行性であったため、身体が次第に衰弱し、死に至った。ジョイも再度、乳房にしこりを感じ、家族には内緒で、生検を調べてもらった結果、進行性の乳癌であることが判明した。外科手術でしこりを摘出、放射線治療、抗がん剤治療を受けたが、日に日に体力が消耗し、痩せこけ、やがて家族の知るところとなった。カミールの卒業式のパーティには、出席できず、やがて、他界した。カミールは、母の仕事を受け継ぎ、父のワイナリーの手伝いをするようになった。シャトー・ジョイにはセサレという頑固でずる賢いヘルパーがいた。給料を水増し請求したり、敵意を抱いたりするのでカミールも亡き母も嫌いであった。セサレは他の仕事で十分カバーしていることを考慮し、父だけは大目に見ていた。

クリストフは、ヨーロッパにワインの取引のため出向いた時、ボルドーの実家に立ち寄った。ナパバレーに戻り、ワイン醸造家が集まる盛大なパーティに誘われた。そこで、マクシーンという 45 歳の未亡人と運命的な出会いをした。マクシーンは、フランスのペリゴールで 90 歳になる夫と暮らしていたが、夫の逝去とともに、意地の悪い５人の継子とも別れ、ナパにやってきたのだ。その後、クリストフは、マクシーンを家に招待したり、まだジョイにはまだ経験させていなかったオペラハウスでの音楽鑑賞やワインの競売にマクシーンと行ったりした。ジョイには済まないとは思いつつも、マクシーンの貪欲さと魔性に負けてしまった。それに対して、娘のカミールは、亡くなった母がかわいそうとは思わないのか、と非難した。カミールが旧友と９月の労働者の日の後、カリフォルニアとネバダの州境にあるタホ湖で過ごしている間、クリストフは、マクシーンと連日、デートしていた。プールで一緒に泳いでから、二人は急に親密になり、外泊するようになった。サムが主催するワインパーティに、マクシーンを連れて行った時、サムから「マクシーンは何かを企んでいる。注意した方がよい」と忠告された。しかし、クリストフは、それを無視し、マクシーンに婚約指輪をプレゼントして、プロポーズしてしまった。

クリストフは、カミールが帰宅すると、早速、ランチに誘い、マクシーンとの結婚の話をした。カミールは、マクシーンのことが嫌いであり、何か隠していることがあると確信していた。また、一緒に生活したくなかった。ランチには手を付けず、投げ飛ばした。クリストフは、サムにも相談したところ、「マクシーンは、ジョイとは全く性格の異なる、魔性の女だ。生い立ちなど詳しく調べた方がよい」と忠告した。マクシーンは意地悪である。クリストフはマクシーンの言いなりになり、夜遅く二人だけで夕食をとるようになった。カミールは一人、部屋で食べることになった。とうとう、父にマクシーンの行動を告げたが、取り合ってもらえなかった。マクシーンの母のシモーンが犬を連れてやってきた。シモーンは、カミールとはすぐに仲良くなったが、マクシーンとは相性が合わないようだ。カミールはシモーンと食事するようになってから、初めてほっとできた。マクシーンの二人の息子たち、アレキサンダーとガブリエルも一緒に住むようになった。彼らは、母親に似て横柄であり、仕事もなく、ぶらぶらしていた。タホに遊びに行ってくれたので、カミールはほっとした。クリストフは、用事でヨーロッパに向かったが、途中飛行機の墜落事故に遭遇し不慮の死を遂げた。母と父の両方を短い間に失い、カミールは絶望的になった。そんな時、慰めてくれるのはシモーンだけであった。また、友人のサムと息子のフィリップは、なんでもできることは協力すると言ってくれ、慰められた。クリストフの残した遺書には、「マクシーンとクリストフの結婚から間もない出来事であるため、カミールが 25 歳まで死亡しなければ、遺産は全てカミールに渡される」と記されていた。そうなると、マクシーンはフランスに帰国せざるを得なくなる。マクシーンは、アレキサンダーとカミールを結婚させようとする。納屋を改造してそこに住ませることを提案した。カミールは、ことを難しくしないようするため、その提案に従った。シモーンは気の毒がり、一緒に食事をしたりして協力してくれた。セサレが、帳簿から小遣い銭を盗み取り、マクシーンとアレキサンダー達に手渡している現場を目撃して、セサレを解雇させることができた。アレキサンダーは、痛飲し、酔った勢いで納屋にいるカミールを襲ってレイプしようとした。カミールは窓から飛び降り、被害にあえずに済んだ。そのことをシモーンに話したら同情してくれた。ピーターは、アレキサンダーに、カミールの父の車と着物をカミールに返すように言った。マクシーンは、サムを誘惑し、夫になってもらうため、贅沢なワインパーティを開いた。ピーターから話を聞いていたサムは、カミールが危険な状態にいることを察知し、どうしたらカミールを守ることができるか真剣に考えた。フランス時代にマクシーンがどんな生活をしていたのかを、探偵に調べさせたところ、マクシーンは何度が結婚の経験があり、その度に、夫から財産を巻き上げていたことが発覚した。彼女は、貪欲な醜い悪女である。

シモーンのいる納屋が物凄い火力で焼かれていた。カミールは、警察に連絡をしてから、燃え盛る火の中に飛び込み、何とかシモーンの救出に成功した。アレキサンダーとガブリエルが油を撒いて放火したことが発覚し、母のマクシーンともども逮捕され、刑務所に閉じ込められた。

ピーターは、それまで交際していた女性と、性格の不一致で分かれていた。ピーターは、カミールに対する愛情を初めて認識し、愛を告白するところで、物語は終わる。

77 冊 “An Artist of the Floating World”by Kazuo Ishiguro (206 pages)　published in 1986, Faber and Faber

この小説は、戦前に日本精神を鼓舞する絵を描き名声を成した画家が、戦後の急激な変革の中で、若い芸術家達に批判されながらも生きる苦悩を描く。

私（小野マスジ）は、内務省分化委員会会員、そして、非愛国的活動委員会のアドバイザーを務めている。私は第二次世界大戦が勃発する前に、画家として活動していた。私の絵画の芸術性の高さは、多くの弟子達から畏敬の念で見られていた。経済的な余裕が生まれた、子供達（節子、ノリ子、ケンジ）の結婚を考え、相応の家を探していた。杉村アキラは、戦前４件の家を所有していたが、杉村の死後、財政的な問題で、丘の上のイチョウの木に挟まれた立派な構えの家を売却することになった。４名の応募者があったが、杉村が私の絵画を高く評価してくれたこと、そして、芸術家への資金援助をしていたためか、私が、その家を買うことができた。杉村は公園に、自然科学博物館や歌舞伎劇場を建てようとしたが、未完のまま終わっている。私は、その情熱を今でも高く評価している。

私は、戦争と原爆により、妻と長男を失った。杉村は、自分の両親のために東の翼面に大きな3部屋を増築した。家の中心部まで、庭を見下ろせる長い廊下がつながっていた。戦争で破壊された家も、40年前に杉村アキラが建てた当時のように、よく修理されていた。長女の節子は結婚して、一郎を生んだ。私の家には、次女のノリ子しかいないので、居住範囲を広げる必要はなかった

戦後、30歳になった長女は、一郎を連れてやって来た。私は、長女と久しぶりで一緒に過ごすことができた。私は、一郎にスケッチブックとクレヨンを買ってあげた。しかし、スケッチブックには、路面電車の絵が未完のまま残されていた。どうも絵に集中できないようだ。私は、戦後は、絵を描くのを止めていたので、家には一郎に見せる絵はなかった。次女と一郎は、仲がよく、一緒に公園に行ったり、都市から多額のお金で買い占めた竹林を眺めていたりした。一郎は、宮本武蔵よりも、アメリカのカーボーイが好きであった。恐竜の映画を見たがった。私は一郎をデパートの食堂に連れて行った。一郎は、ほうれん草を頬張り、ポパイのように強くなるぞ、と言った。

私には意思の弱さや、怠け癖があった。私は、母（幸子）から、「父親のように画家になりたいのか？芸術家の道は険しい。人かじりの才能のある者だけしか成功しない」と諭された。私は、大志を抱いて芸術の道に進みたいと言ったら、母は喜んでくれた。

戦争中は、国のために戦うのは恥ではない。死をもって謝る必要はない。過去の違犯を忘れて、未来を見るべきだ。戦時中に国のために忠実に働いた人は、戦犯ではないのだ、と言われた。戦後の若い世代は、国を誤った方向に導いたことを卑怯だと思っている。私の長男（ケンジ）の死に対して憤りを覚えた。長男を戦地に送った人たちは、のうのうと暮らしている。50才前後の退役軍人が愛国的な歌やスローガンを口ずさんでいることに対して憤りを感じていた。

荒川線は、郊外に伸びていた。新しい路面電車の開通とともに、飲み屋街、歓楽街が新設された。私の評判も上向き始めていた。新進気鋭の芸術家や作家が集って飲める場所「右左（みぎひだり）」が開店した。ひさしの下に大小の提灯、棟木から吊り下げられた大きなライトアップされた旗がたなびいていた。私は屋根裏部屋で電気もなく狭い部屋で、背を丸めて絵を描いていた。武田商店で、画家として雇われた。画家達は、皆、一所懸命、質の高い絵を描こうと必死であった。亀というあだ名をもつ中原も例にもれず、遅まきながら努力していた。私は、森山に見込まれ、スカウトされた。絵画に志をもつものは、武田の弟子になろうとした。他の同僚と異な

り、才能と熱意のある亀を森山に紹介しようと思った。「右左」でお酒を飲みながら、師匠の森さんや、旧友の義三郎と浮世絵の芸術性について議論したものだ。

戦後、「右左」は破損されたままであった。「右左」のオーナーも、移転した方がよいという私の意見を受け入れた。孫の一郎から、「お祖父さんは有名な画家であった」と言われたことは嬉しかった。私は、一番弟子の黒田と再会した。黒田は大学の地位を得るようだ。黒田は、画家として成長するに従い、師匠である私に反発するようになった。私は、黒田の愛弟子からも冷たくあしらわれた。私に対する周囲の目は冷たくなった。路面電車を乗り、荒川の郊外にある黒田の家まで行ってみた。30 年前、我々は若く野心があった。昨日あった時は、黒田は、健康が優れず、看護師の介護を受けていた。黒田はやがて亡くなった。弟子の慎太郎には、何か後ろめたい、狡猾な感じがする。慎太郎は、私の影響から離れたいのか、私に高校で採用のための推薦状を書いて欲しいと言った

次女は、戦争のため婚期が遅れていた。最初のお見合いは、相手との身分の不釣り合いが原因で、ご破算になった。その相手と百貨店で、ひょっこり出会い、別の女性と婚約したことを聞いた。修一の親会社の社長は、戦時中に、事業が失敗した責任を取り自殺した。次女は、斎藤博士の長男の太郎とお見合いをした。結婚式を挙げ、まもなく第一子も生まれる。

私は、時折、亀から、家の階段の踊り場にある未完成の絵について批判を受けた。亀のゆっくりではあるが着実に、日本に貢献できる価値のある絵を描こうとする姿勢には、共感を覚える。日本は、もう後進国ではない。西洋と互角に競い合える。我々は芸術で生きて行くべきである。日本は過去において間違ったことをしてきたかもしれないが、これから新しく物事を変革して行くこともできるだろう。若い人達の今後の活躍を期待したい。

76 冊 “Genesis”by Robin Cook (387 pages) published in 2019, Macmillan

雪の降る寒い日、２人は性愛行為に耽っていた。精子と卵子が接合した。このまま順調に栄養が供給され、廃棄物が除去され、身体が守られていれば、$37x10^{12}$ 個の健全な個体（脳だけでも 10^{11} 個の細胞、10^{14} 個のシナプス結合）が形成される。しかし、残念ながらそうにわならなかった。

28 歳のソーシャル・ワーカーのケラ・ヤコブセンは、ニューヨーク(NY)に来て 8 ヵ月になる。ケラは、ロサンゼルス(LA)で生まれ、UCLA で修士、マッテル子供病院でソーシャルワーカーとして働いていた。医学生のロバート・バーロウとの２年半の交際も昨年の 9 月に終わった。それは、ロバートが、医療センターで研修中に、後輩の女学生と親密になり、別れ話を持ちかけられたからだ。ケラは、絶望の余り、LA から NY に逃げてきた。今は、NYU のランゴン・メディカル・医療センターで働いている。12 月の休日には、妻子のいる男性と逢瀬を重ねていた。ケラが夜シャワーを浴びて一日の疲労を癒している時、ブザーが鳴った。その男性は、ワインをもってケラのアパートにやってきた。ケラは、訪問の理由を聞く前に、酔いが回り、微睡んでしまった。

ローリー・モントゴメリー―ステープルトンには、夫ジャックとの間に、ジョン・ジュニア(JJ)という、4 年生の息子と、自閉症の 4 歳の娘のエンマはがいた。ローリーの祖母は、以前に乳癌宣告されたことがある。ローリー本人も、MRI やマンモグラフィーで 1 cm 以上のしこりが見つかっている。BRCA1 の突然変異が検出され、乳癌と卵巣がんに罹患している可能性があった。JJ は、衝動的に攻撃的な行動をとる ADHD 患者であったため、ローリーは度々、担任の先生と面会

した。ローリーとジャックは、ともにNY市の検死官である。OCMEの教育担当者のチェット・マクガバンと緊急の打ち合わせや、乳癌検診があるので、代わりにジャックに学校に行ってもらった。

NYU病理研修医は4-5年のカリキュラムのうちの1ヵ月をOCMEで過ごす。教育指導者のもとで、検視官を補助することはできるが、死亡証明書にサインすることはできない。研修が終了して初めて一人前の検死官になれるのだ。しかし、研修医のアリア・ニコラスは、忠告を無視し、検死のローテンションを規則通り履行しない問題児であった。ローリーは、以前にも問題児を立派な検視病理学者に育て上げた経験があるので、アリアにも検死を一から教えることにした。

マディソン・ブライアンは、ケラの友達であり同業者であった。この数日、ケラが連絡なく休んでいることが心配になり、ケラのアパートに行ってみることにした。室内は、強い異臭がした。危険を感じ、パトロール警官を呼んでドアを開けてもらったら、ケラの死体が見つかった。緊急サービスユニット(ESU)の話では、多量の薬物を飲んで死んだようだ。

遺体の検死をローリーが担当することになった。下肢に死斑が見つかり、座った状態で死亡したことが明らかになった。ケラの前腕部のくぼみに注射針が刺さったままであった。アリアはだんだん仕事に興味を持ち始めた。身体の内部を剖検すると、ケラが妊娠10-11週であることが判明した。アリアは、ケラを孕ませた犯人が許せなかった。

アリアは、身長約170 cm、六感が働く。男性や患者が嫌いなのに、何故医学部に入学したのか？しかし、聡明で、頭がよく、器用である。ローリーは、死亡証明書を書かなければならないので、何か気づいたことがあったら、連絡するようとアリアに伝えた。アリアは、5階の医療法律研究所(MLI)に行き、デーヴィド・ゴールドバーグに「MLIレポートに、ケラが妊娠10週目であったことが記載されていない」と主張した。アリアは、これまで複数の男性経験があった。アリアは、デーヴィドからマディソン・ブライアンの住所と電話番号を聞き出した。ケラの住んでいたアパートの隣人は、最近、夜に訪問客があることを教えてくれた。

アリアは、ヘンダーソン・カール医学部長に、「フェンタニル摂取による肺水腫が見つからない。長期の薬物投与による腕の瘢痕も見つからない。フェンタニルとチャネル病との関係はあるのか？子供の父親は、アリアとの関係を揉み消そうとしている。これは事故ではなく、れっきとした殺人である」と伝えた。カールは、「早く、犯人を見つけ出してくれ。成功を祈る。マスコミが嗅ぎつける前に、広報部と学長に説明しなければならないので、モントゴメリ―と私には途中経過を教えてくれ」。アリアはまず、マディソン・ブライアンに会うことにした。エリアは、マディソンに犯人捜査の協力を求めた。マディソンは、良いアイデアを思い付いたので教えてあげると、アリアを寿司バーに誘った。「ケラは、薬物は害があるので、嫌っていた。だから、絶対に飲むはずがない。ケラの愛人を探すには、委託会社に、ケラと胎児の体液と組織のDNA分析してもらうのが得策だ」。マディソンは、アリアに感化され、サンプルをもらったら、DNA分析ができるように取り計らうことにした。

マディソンは、ホームで電車を待っていた。電車がトンネルを出てこちらに向かってきた時、ホームの後ろから、ホームレスのような男に押されて、レールに落ちてしまい、そのまま電車にひかれ即死してしまった。アリアは、マディソンから借りた本を一気に読み上げ、遺伝子診断で犯人を突き止められるとの確信を得た。しかし、マディソンに連絡がつかない。心配になり、マディソンの勤務する子供病院に行ってみることにした。何と、マディソンは集中治療室で治療を受けているとの知らせを受けた。ホームで電車と衝突したそうだ。ウェブで地下鉄事故を検索し

たら、マディソンはベルビュー病院に運ばれていた。足、肋骨、頭蓋骨、腕が破損し、踝から上を失った。意識、無意識の間を彷徨っていた。

DNA 鑑定専門の会社では、結果をもらうまで月単位の日数がかかるので、家系調査専門会社に電話した。胎児を救うためと嘘をつき、緊急に同じ家系のボランティアの骨髄が必要だから、胎児の血液の DNA の分析を依頼したら、運よく引き受けてくれた。

犯人は鬘をして、外科医になりすまし、手術用のグローブをはめた。そして、マディソン・ブライアントのいる集中治療室に行き、多量の KCl を注射して殺した。翌日、ジャックは病院で MLI のバート・アーノルドからこの話を聞いた。マディソンは順調に回復したのに、何故、心臓発作、心室細動で死亡したのか、腑に落ちない。アリアが突然、挨拶もなく入ってきた。「これは何かの陰謀だ。なんで死ななければならないの」。アリアは自身で解剖し、心臓に異常がないことを確認した。家系調査専門会社から、「子供の祖父は、トンプソンという家系。兄弟姉妹がわかればもっと楽に解析できる。犯人は、エリック・トンプソンとダイアン・カールソンの不倫で生まれた子であるが、養子の可能性もある」との連絡が入った。

アリアは、カール医学部長に相談したところ、知人のマンハッタン地区検察官を務めるポール・ソアーズに養子の姓を調べるよう依頼してみると言ってくれた。しかし、アリアはカールに、ローリーが NYU で手術をすることをうっかり喋ってしまった。カールは、ポールから良い知らせが届いたからと言って、アリアのアパートにやってきた。DNA 検査の成功を祝ってと、ワインをふるまった。アリアは、ワインの心地よさに酔いしれてしまい、うつらうつらしてきた。やがてカールの言葉が聞こえなくなり、視界が効かなくなった。カールは手術用のグローブをはめた。

アリアの死体は、部屋の掃除人により発見され、911 に通報された。死体は、ジャックのところに運ばれてきた。ジャックは手術のため入院しているローリーに電話した。ローリーは、ジャックに検死をお願いし、カールにも伝えるよう頼んだ。カールは、マスコミを過度に刺激しないように、なるべく大学がかかわらないように処理しようとした。

アリアは、フェンタニルで死んだのだ。ケラの場合と同様に、口の周りには乾燥した唾液はなかった。特徴的な肺水腫も見つからない。アリアも薬物を長期投与されていない。強力なフェンタニル類似物質、カルフェンタニル、あるいは、3-メチルフェンタニルの *cis* 体の疑いがある。これらの呼吸阻害効果はモルヒネの 100 倍である。胃にもフェンタニルが検出された。アリアも毒薬を飲まされたのか？ケラの胃を新たに剖検したら、予想通り、フェンタニルが検出された。

ローリーは乳癌初期であったため、無事手術は成功した。乳房を再建する予定である。ジャックは安心した。しかし、これまで 3 人の殺人の手口が似ていることから、マディソンの治療経過の履歴を調べてみることにした。深夜に症状が激変したことから、殺人魔はきっと真夜中に病室に侵入し KCl を投与して殺害した可能性が濃厚になった。3 人の殺人に関与しているローリーも殺されるのではないかと、急に心配になった。ジャックは、ローリーを守るため、ローリーのいる病室で夜中待機することにした。度々睡魔に襲われ、ソファーでとうとう居眠りをしてしまった。その間に、犯人は、ローリーがいるはずの部屋に忍び込み、KCl をシリンジにとり、眠っている患者に注入した。異変が起こり、警報装置がなった。騒然とするなか、ジャックは目覚め、犯人と格闘したが、逃がしてしまった。館内を追いかけまわし、体力で勝るジャックは犯人を捕まえた。その時、鬘がとれ、カールが犯人であることを知った。ローリーは別の病室で元気に回復していた。「犯人は、私が見代わりとしてベッドに寝かしていたマネキンをローリーと間違え

て注射し、成功したと早合点して逃げ去った。追いかけて、捕まえたら、誰だと思う。カールであった」。

75 冊 “Heads you win” by Jeffrey Archer (588 pages) published in 2019, PAN

7部構成のこの小説は、ロシアからアメリカに亡命し、ロシアの新大統領として復帰する決心をしたアレキサンダー・カルペンコの波乱に満ちた生き様を綴る。

第１部：1968 年レニングラード：アメリアへの亡命

アレクサンダー（アレックス）・カルペンコとウラディミールは、同じ大学に通う学生であり、同じアパートに住んでいた。下層に住む人ほど裕福であった。アレックスは、波止場のオフィスで働く母のエレーナと５階に住んでいた。ウラディミールは９階に住んでいた。父のコンスタンチン・カルペンコは、レニングラードでの戦いではドイツ軍を相手に勇敢に戦い、25 年後(1969 年)、波止場では、共産党の党員ではなかったが、3000 人の従業員を従える共産党の主要監督者であった。アレックスとチェスをしながら、息子に「お前は、学校のフットボールのゴールキーパーとしてはベストだが、出世したかったら、もっと語学を勉強してレーニン奨学金をとれ」と諭した。夜、ウラディミールは、こっそり、コンスタンチンの後をつけ、教会の中まで侵入し、コンスタンチンがスピーチを行った内容を、雇い主であり、KGB のチーフであるポリャコフに伝えた。ポリャコフは、ウラディミールにだけフットボールのチケットを渡した。翌朝、コンスタンチンは誰よりも早く波止場に向かった。と突然、誰かがクレーン車を操作し、３バレルのオイルがコンスタンチンを襲い、一瞬のうちに暗殺した。２番目にランクしていたポリャコフは、主要監督者になり、母のエレーナに性的嫌がらせをした。アレックスは試験に落ち奨学金がもらず、アレックスよりも成績の悪いウラジミールが州立大学への入学を許可された。何か裏にあるに違いない。今日は、フットボールの試合があるため、波止場の食堂は人影がない。オルガと母が昼食の準備をしていが、ポリャコフはオルガを先に帰せて、母に性的暴行を加えようとした時、アレックスが入ってきた。ポリャコフが銃を取ろうとする寸前で、アレックスは熱いスープを彼に被せ、重い鉄製のポットで顔面を叩いて倒した。波止場では、母の兄弟のコリヤが、アレックスとエレーナの２人をロシアから脱出させるため木枠に入れ蓋をして、クレーンで船に乗せた。ポリャノフも木枠に入れられていた。

第２部：サウザンプトンを経由してロンドンへ

荷物船では、コリヤの知り合いのマチューの取り計らいで、エレーナは調理室で働くことになった。アレックスは、サーシャとい名前で給仕として雇われた。船中では、同じロシアからの亡命しＮＹに住んでいるディミトリ―・バランチュクと知り合った。また、モレット氏は、エレーナの料理の腕前を高く評価した。ＮＹに上陸する時、入国管理局では、サーシャは、ロシアで、父が殺害され、KGB 党員からの虐待を逃れるために亡命したいことを伝えた。サーシャは、アメリカの大統領は誰だかわかるかと聞かれ、「リンドン・Ｂ．ジョンソン」と咄嗟に正解を言えたため、すんなり、入国を許可してくれた。２人は、ＮＹ近郊のブルックリンのブライトンビーチのアパートに間借りした。サーシャは、大学では、ならず者のトレムレットの汚い手口で、フットボールの二軍に落とされたり、レイプ犯にされたりしたが、だれも貶めたりしなかった。CIA と一緒に行動している一員のハモンドはアレックスに、アレックスのチェスの仲間のアイヴァン・ドノコフは、ポリャコフなどの KGB の党員を動かしていること、アレックスの父の殺人を命

じたことを教えてくれた。ディミトリもドノコフのために働いているのだろうか？アレックスは、誰かにホームで突き落とされたが、CIA の一員に救われた。サーシャは、チャーリーのアパートで寝ているところを、同級生のフィオナ・ハンターに目撃された。アレックスは、KGB の一員とチェスをしていたことが分かってしまい逮捕された。

第３部：アレックスの社長就任

アレックスは保釈金で刑務所を出た。アレックスはベトナム戦争に駆り出され、ローレンス・ローレル中尉の部隊に配属された。アレックスは、ローレンスが負傷した時、代わりに指揮をとり、ベトコンを一掃し、アメリカの兵が救出されるまで残った。アレックスは、その功績により銀章を授与された。アレックスは、オージーという女性と知り合い、結婚を真剣に考えていた。結婚指輪を作りアージーと再会したが、オージーは既に別の男性と婚約していた。アレックスは、チャーリーに一目ぼれし婚約した。チェ―リーの父の援助もあり、ユニオンの主宰者になった。

アレックスは、ニューヨーク大学に通いながら、将来は大富豪になる道筋を考えていた。オージーからもらったスーツ、ネクタイを纏い、ウォルフと交渉し、スーパ―モールの建設の資金を出させることに成功した。アレックスの母は、料理が上手いためレストランでは定評があった。しかし、母は、トレムレットより突然解雇の知らせを受けた。アレックスは、母にもっと自信を持ち、一流のマネージャーをつければ成功するからと言って激励した。

アレックスは、ローレンスの誕生祝賀パーティに招待された。隣の席のエヴェリン（ローレンスの妹）に一目惚れし、一夜の愛に溺れた。エヴェリンは既に結婚しているとは知らず、母に良い結婚相手が見つかったと伝えた。アレックスは、ローレル家の家宝の（代々長男が受け継ぐ）米国の画家ウォーホル(1928?-1987)の絵を、エヴェリンから買い取った。翌日、そのことを知ったローレンスは、お金を払うから家宝の絵を戻して欲しいとアレックスに電話で伝えた。アレックスは、お金はいらない。すぐに返却すると返答した。これを契機に、ローレンスとの仲がさらに緊密になった。アレックスは、エヴェリンが既婚と分かりがっかりした。

エレーナは、伯爵夫人から、資金を出してあげるから、新たなレストランを企業しないか、また、利益分は、半々でどうかと持ち出された。そして、これから、私のことをナターシャと呼んでくれとも言われた。

アレックスは、チャーリーと正式に結婚した。アレックスは、チャーリーを連れて、メリフィールドの選挙区で、フィオナ・ハンターと労働党の補欠選挙を競うことになった。アレックスは、経済学博士号を取得していたが、起業家になるには、コロンビア大学で MBA の資格を取得した方がよいと思った。アレックスは、マンハッタンのロンバルディで仕事をみつけることにした。列車の中で、アートギャラリーで働いているアンナに出会った。その後、アンナの職場に行き、家宝の絵を、支配人のロゼンタールに鑑定してもらったら、ウォーホルの作品のコピーであることが判明した。そのことをローレンスに話したら、ローレンスは、チェックで返済しようと言った。アレックスは断ったので、エレーナの第２レストランの 50%の株を買い、返済金を半分にすることで合意が成立した。エレックスは、アンナを連れて、サミュエル・T・バローが眠る墓地に行き、そこで、祖母の婚約指輪をアンナの左手の中指に嵌めた。アンナは、エレーナの店で働いていた。アンナが妊娠したが、アレックスは母には教えなかった。アレックスは、予備選挙では、フィオナに負けてしまったが、余り気にしていないようだ。

信託会社の代表取締役社長を務めていたローレルは、首つり自殺を遂げた。その原因は、女性関係や性的倒錯にあるのでなく、会社の運営の仕方に問題があったようだ。顧問弁護士のエド・ハーボトルがアレックスの所に来て、ローレルに代わり、会社の統括をして欲しいと申し出た。その時、アレックスにローレルの遺書を見せてくれた。そこには、「親愛なるアレックスへ、私の死後、IRS 査察により、忠実な株主や顧客に損失が最小限で済むようにお願いしたい。私の全財産、サウザンプトン、南フランス、ボストンの家屋を処分し、エリーナ・ピザ会社の 50%の保有株式を提供したい。」と記されていた。アレックスは、アンナにその話をした。社長になったアレックスは、ドアマンのエロール（ローレンスと同じ部隊にいた）や、突然解雇された前秘書のロビンス嬢から会社に関する情報を得た。どうも反対派のアクロイドはアレックスを追い出そうと企んでいるようだ。アレックスは、フィオナとの選挙戦に僅少差で勝った。エヴェリンはローレルの絵画を盗み、南フランスに隠した。アレックスとアクロイドの間で、次期社長の決戦投票がおこなわれた。5 対 5 のイーブンであったが、アクロイドあるいはエヴェリンのいずれかが、ウォーホルの絵画の窃盗に関与していることが判明しため、アレックスが次期社長に選ばれた。

第４部：フィオナとの選挙戦

メリフィールドと隣の地区のエンドレスベイのマイケル・フォレスターが心臓発作で急逝したため、補欠選挙行われた。その結果、フィオナが勝利し、再びライバルとして登場した。サーシャは、労働党代表として、フィオナは共和党代表としてモスクワで開催されるアングル―ロシア問題の会議のために向かった。モスクワでは、20 年ぶりにウラジミールと再会した。アレックスに、ウラジミールから、「ゴルバチョフの後、書記長になったら、自分を KGB のトップにしてくれ」と頼まれた。昔と変わらないなと思った。いつも首席の女子生徒であったフィオナ・ハンターからは、「次の内閣改造の時、大臣になりたい。ポリャコフには近づかない方が良い」と言われた。サーシャは、レニングラードを訪問した折、ホテルのレストランで、ポリャコフと思しき 2 人組のボディーガードに追跡された（と勘違いした）。命からがらホテルを脱出し、ヘルシンキ経由でボストンに帰ったが、その時、秘書のボビンス嬢（パメラ）が、ポリャコフは、一年前に他界していることを教えてくれた。アレックスが出会ったのはポリャコフの弟であり、その時レニングラードの会議に出席のために来ていたのだ。レニングラードの商業銀行との契約のためには署名が必要であるので、後日プライベートジェットでレニングラードに行くことになった。出産が近づいたチャーリーは、聖トーマス病院にいた。今回も死産になり、息子のコンスタンチンを生むことは永久にできなくなった。チャーリーと、コンコルドに乗り、５日間の NY 慰安旅行に出かけた。伯爵夫人は、アレックスに「自分が死んだら、セントピーターバークの聖ニコラス教会にある父、祖父の隣に埋めて欲しい。是非、ロシアの大統領になって欲しい。」と言ってくれた。

第５部、大統領選出馬への決意

エヴェリンは、株の所有が 50:50 で拮抗しているジレンマを解消するため、ジョージ・ソロスに色仕掛けで近寄り、持ち株の 1%を売った。アレックスは「新しい世界の秩序のおけるロシアの役割」と題する講演を行った。「スターリン後、1990 年ゴルバチョフが大統領に就任し、グラスノスチ（情報公開）政策を打ち出し、初めて企業家が、中央集権的経済の制限なしに活動できる

ようになった。いきなり、共産主義から資本主義への移行は難しいだろう。余りにも貧富の差が大きいからだ。僅か2%のロシア人が、一国の98%の富を所有している。もとの共産主義に戻りたいかもしれないが、先ず勤勉な中間層を伸ばす必要がある。ロシアで支店を開くには、パートナーを見つけることだ。2000年の新大統領選挙ではエリチンに再選させるな。30年前にロシアからアメリカに亡命したロシア人の私は、最近時々定期的にロシアに戻っている。これから100年の間に、戦場ではなく会議室で、核兵器ではなく病気の治療の競争で、通りではなく教室で、アメリカはロシアの偉大なライバルとなることを期待する。全てのロシア人は、平等に投票がすることができる。次世代の人は、どの国に生まれようとも平等に扱われなければならない。」この講演は、皆を感動させ、多くの人がアレックスはロシアの大統領になって欲しかった。

アレックスは、ロシアの大統領になりたかった。エリツインが推すウラジミールと争うことになるだろう。決断の時が来た。外務大臣を御願いしたアルフからも大統領になったらと言われた。ウラジミールは、KGBの発展型のFSBの司令官になっていた。ロシア大使館では、フィオナから、「対立候補は、ウラジミールである。大統領になってくれることを期待する。そうすれば、西欧とロシアの関係が改善するから。」と言われた。母のエリーナもロシアに行くことになった。母は、アレックスに、コリアが死ぬ前の最後の言葉を伝えた。「もし、サーシャがコンスタンの息子であるのなら、偉大な大統領になるであろう」。サーシャは、記者会見で、「英国外務症大臣も、メリフィールドの議員も辞職して、大統領選に出馬する」ことを述べた。エリツインは、サーシャが最も嫌いな人を首相に指名していた。

第６章：いざロシアへ

機内にはアンナと息子のコンタンチン、チャーリーと娘のナターシャ、そしてアレックスと母が乗っていた。アムステルダム空港で、セント・ピータースバーク行きの飛行機に乗り換えた。家族が寝ている間、空港に着いたら疲労するはずのスピーチの内容をチェックしていた。

第７章　不慮の飛行機事故

目的地まで100 kmの所で、飛行機は揺れ始め、急速に下降していった。家族は何が起こっているか知らずに寝ているようだ。第一、第一エンジンが動かない。機長からの緊急連絡があった「緊急着陸の準備。シートベルトを締めて」。着陸装置が起動しない。飛行機は急降下し、丘の斜面に墜落した。乗客、乗務員全員死亡。落下傘部隊がフライトレコーダー（ブラックボックス）を見つけたが、すぐに森に消えていった。他の旅客機が、事故を知らぬまま、セント・ピータースバーグ目指して飛行を続けていった。

アレックスは、熱狂的な聴衆の前で、「独裁政治を廃止し、国家の富を分かち合い、軍事力を恐れず、平和を称え、アメリカのように自由をつかみ取ろう。私の父は、レニングラードの国防メダルを授与された。彼は、組合を作り、労働者の権利を守ろうとしたため、私利私欲の輩に殺害された。彼は、革命の種を蒔いたのだ。」

ドノコフは、群衆が叫ぶ中、ボスに電話していた。

首相「有力な大統領候補であり、また、新ロシアの建設に多大な貢献をされてきたアレキサンダー・カルペンコ氏とご家族の突然の逝去につき、深く哀悼の意を表します。」

ドノコフ「現在、統制下におかれております。同じ間違いは２度と起こしません」、

首相「そう願いたい。あなたのために」、

ドノコフ「近い内に、首相の最新の記者会見が開かれます」、
ラジミール・プーチン首相「先ず、私の旧友であるアレキサンダー・カルペンコ氏の葬儀で頌徳の言葉を述べたい。ロシアの大統領選に立候補するのはそれからだ」。

74 冊 “Silent Night” by Danielle Steel (315 pages) published in 2019, PAN

由緒正しい女優の家系に育った少女エンマは、母の運転する車で交通事故に会い、母親を失い、自らも脳損傷のため女優の道を断念することになる。エンマは、母の代わりに、自分の世話をしてくれている精神科医の叔母の仕事に興味を持ち、その道に進んでゆく過程が描かれている。

ウィットエリザベス（リズ）・ウィンストンは、大映画スターであった。夫ビル・ウイッツとの間に２人の娘、長女のホイットニーと次女のページを儲け、乳母に育てさせた。シングルマザーのページ(37 歳)には、１人娘のエンマ (9 歳)がいた。エンマは、その頃、テレビ番組に子役として登場していた。ページは、自分には女優の才能がないのを悟っていたので、エンマに女優になって欲しかった。そのため、女優志望のアフリカ系アメリカ人（先祖は、エチオピア）のベリンダ・マーシャルを雇い、エンマの発声、演劇、話し方、ダンスのレッスンをさせた。一方、ホイットニーは精神科医であり、結婚にも、女優業にも興味がなかった。ただ、エンマにはのびのびと育って欲しかった。

ホイットニーは、結婚する気はなく、既婚男性とのロマンスを楽しんでいた。ページも母に似て美貌であったため、父の権力を利用しようと企む男性に言い寄られ、純真さを失っていた。母が 56 歳で他界し、2 年度、父が後を追うように 91 歳で他界した。ページは 26 歳、ホイットニーは、28 歳になっていた。ホイットニーは、医学部を卒業し、専門分野の臨床実習に精を出していた。ページは、気力を失い、遺産の分与を浪費していた。ページは急に子供が欲しくなり、高校時代のボーイフレンドの精子をもらい、体外受精により妊娠して、エンマを授かった。このボーイフレンドは、エイズに罹り他界した。ページは、これまでの非行を反省し、薬物もやめ、子供の養育に専念した。ホイットニーはエンマに、「母から強制されたことをやるのではなく、自分が本当に好きなことをした方がよい」と諭した。エンマは、ベリンダのレッスンを終え、夕食後、母の運転する車で、ドラマのコーチのマーティのところへ向かっていた。過密スケジュールのため、到着が数分遅れてしまう。時間厳守のマーティに携帯で、過密スケジュールで数分遅れるため、片手でハンドルを握り、待っていてくれる様、テクストした。その時、トラックが横から飛び込んできた。運悪く二人ともシートベルトをしていなかったため、ページは、前方の車の下に投げだされ即死。エンマは前方の TV スクリーンに頭を打ってしまい意識を失い、病院に搬送された。丁度その頃、ホイットニーは、ヨーロッパにいるチャドに連絡し、約１ヵ月の地中海の船旅に出ようとしていた。警察は、ページの運転免許証、エンマのバッジから唯一の身内であるホイットニーを探し出し、携帯に電話した。ホイットニーは島巡りを始め、解放感に浸っていたが、交通事故の知らせを受け、エンマのいる病院に急行した。エンマは依然として無意識であった。ホイットニーは、一旦家に帰り、ページの葬儀場とエンマのショーの製作者に電話した。ページは、顔の損傷が著しかったので、歯列で本人であることを確認した。約３週間後、エンマの顔の損傷は癒え、エンマは目を開けた。しかし、前頭葉損傷により、言語中枢が機能せず、会話も、聞き取りも、意思疎通もできず、記憶も喪失したままであった。ホイットニーが誰なのか

さえ判別できなかった。ベテランの小児神経科医であるベイリー・ターナーとエイミー・クラークがエンマの治療に当たった。チャドは、お金があるのなら、リハビリテーション病院に預けて、自分のしたいことをすべきだと主張する。しかし、エンマが正常に戻るか否か全くわからない今、自分の家でエンマの世話をしてやりたかった。自分勝手なチャドとは縁を打ち切ることにした。しかし、１人ではエンマの世話はできない。そこで、月曜から木曜まではベテラン看護婦のエイリーンに、金、土、日曜は若い看護部のブレットに来てもらうことにした。ホイットニーはエンマに、記憶を蘇らすため、母の写真を頻繁に見せるようにした。エンマは、母を思い出し、お母さんと叫んだ。ベイリーが家にエンマの様子を見に来てくれた。一緒に食事をした。エイリーンはエンマを虐待することが見つかったため、解雇した。ブレットには週５日来てもらうことにした。週末の２日は、ホイットニーが面倒を見た。ホイットニーはベイリーから、何か共同執筆をしないかと誘われていた。精神医学と小児医学で接点がありそうだ。ベイリーには５歳年下の弟のデービドがいたが、３歳の時にプールで溺れ、以後元通りには回復しなかった。ベイリーの両親は責任をなすり合い、とうとう離婚してしまった。ベイリーは、弟のような子供の救援のために小児科医になった。弟は、脳障害により呼吸器系がやられ、最後には肺炎を患い、14歳で死亡した。エンマに手話を習わすために、30代のアフリカアメリカ人のサムエル・ボンドを雇った。感謝祭（11月の第４木曜日）の日には、エンマとホイットニーのいる家に、ベイリー、そして、ベリンダとサムが集まり、七面鳥、パイなどで祝った。エンマはiPADでゲームをしたり、新しいアプリで遊んだりした。エンマの代理人のロバート・ジョンズから「いつエンマは復帰できるか」という問い合わせがきた。ホイットニーは、エンマに無理にスターになって欲しくなかった。子供らしい生活をさせてあげたかった。クリスマス・イブにエンマは突如起き出し、3メートルもあるクリスマスツリーを倒そうとしたので、辛うじてそれを止めた。エンマは、暖炉の上の棚においてあるオルゴールを壊し、歌が聞こえなくなったと叫んだ。エンマの聴力が復帰したのだ。エンマは、「ページが車を運転中、片手で携帯電話を操作した」と言った。これで事故の真相が明らかになったと同時に、エンマに記憶が戻ったこと示していた。エンマは、ベイリーにテレビに出演したのは、母がそうして欲しかったからだと漏らした。ホイットニーは、13歳の脳炎を患った子供が、エンマと似た症状を示すことに次第に興味を示し、ベイリーやエイミーと、将来、精神医学と神経医学を結びつける研究を始めたいと思った。ホイットニーは、利己的なチャドとは対照的なベイリーに惹かれていった。ベイリーと一緒に人生を楽しみたいと思う様になった。脳損傷と精神医学、小児科学を結びつける治療に関するセミナーを発表した。エンマは、普通の学校に通い、将来はホイットニーの様な精神科医になり、人助けをしたいと思った。ホイットニーはどの学校に通わせたら良いかを真剣に検討するようになった。エンマは、ダンスのクラスでは演技ができるようになっていた。ホイットニーと買い物に行った時、顔馴染みに見つかってしまい、いつの間にか、タブロイドに自分の記事が載っていた。チャドから、またよりを戻してヨット旅行にでかけよう、と電話がきたが、ホイットニーはチャドの自分勝手さに嫌気がさし、もう二度と会うまいと思った。アンダーソンスクールからこれまでの授業の穴埋めをするための呼び出しが来た。この学校は、脳障害による麻痺、自閉症、言語障害に陥った学生に対しても平等な教育を施し、障害者を法曹資格試験に合格させたという実績がある。ホイットニー、エンマに広く世界を知ってもらい、自分がしたいことをさせようと思った。

２人は、ホイットニーとベイリーはしばらく結婚しないで一緒に生活することにした。ホイットニーはエンマを立派に育てることに生き甲斐を持っていたので、敢えて子供を作らないことに

した。エンマは、アンダーソンスクールに入った。ホイットニーから新しいリュックサックとiPhoneを買ってもらった。

エンマは、現在、31歳である。大学のベイリーの診療室の隣に、エンマの診療室のネームプレートが掛けられていた。エンマは、大学医学部に入学し、大学の医学部神経科に進み、小児歯科の専門実習を修了した。現在、エンマは、ホイットニーとベイリーと一緒に勤務している。ホイットニーは、エンマに自分の知っていること、信じていることの全てを教えた。「夢をあきらめなければ、何でもできる」。母であることの喜びは、エンマが教えてくれた贈り物である。

73冊 "The Reckoning" by John Grisham (561 pages) published in 2019, Dell

この小説は、３部構成である。第一部では、ピートがデキスター神父を殺し、自らも感電死の刑に処せられるまで。第二部は、ピートが太平洋戦争で負傷を受け、帰国するまで、第三部は、ピートの死後の遺産争いとピートがデキスター神父を殺すに至った真相に迫る。

Part 1: 殺人、1946年の10月の朝、43歳のピート・バニングは、殺人計画を立てていた。バーニング家は、農家、地主でもあった。ピートには、妻ライザとの間にヴァンデルビルト大学４年の息子のジョエルと、ホリンズ大学２年の18カ月年下の娘ステラがいた。ニネバとアホスは野菜を育て家事を賄っていた。ピートは誰にでも平等に給料を払った。戦争で瀕死の重傷を負い、足が不自由であった。48歳の姉のフロリーに会いに向かった。フロリーは、離婚後、詩を雑誌に発表したりしていた。ピートは、銃弾を詰め、両親が建てたコロニアル様式の館のあるクラントンに向かった。ピートの祖父が70年前に建築したメソジスト教会に忍び込み、デクスター・ベル神父に銃を突きつけ、「俺は戦争で、多くの勇敢な兵士を殺してきた。お前は卑怯者だ」。ベルは、「待ってくれ。ライザのことを言っているのなら、説明させてくれ」。心臓に２発、頭に１発放って殺した。20年掃除人をしていたホップ・パージュは、銃声を聞き、オフィスに急行した。ピートと鉢合わせになった。ホップは「私は何もしていない。子供がいる。殺さないでくれ」と言った。ピートは「保安官に俺がやったことを伝えろ」と言って去った。ホップは、ジャッキーに真実を伝えられず困っていたら、偶然鉢合わせした保安官代理のロイ・レスターに、ベル神父がピートに殺害されたことを伝えた。ピートは、フォード郡の刑務所に送検された。町の卓越した弁護士のジョン・ウィルバンクスは、バンニング家とは長い友達であったので、ピートの保釈のために来た。裁判で負けたことがない。教会で会葬が行われた。ジョン・ウイルバンクスは、フロリーとは高校時代の３年後輩であった。ライザが収容所に放り込まれた時も、フロリーの離婚の時も、都合の悪いことを見逃してくれた。しかし、ピートはウィルバンクスには何も話そうとしなかった。デクスターとライザの仲があやしまれた。新聞に、「戦争の英雄、殺人容疑で逮捕」「人気のある説教師は教会で死す」と書かれた。クラントンの人々は、ピートに裏切られたと思った。

フロリーは殆ど毎日、ケーキ、パイ、クッキー、ビーフシチューを作り、刑務所にもっていった。ピートは、刑務所で皆に配り、配管工事、空調工事をやり、皆から信頼された。ピートは、ジョエルとステラにしばらく帰宅しないように指図した。フロリーにも真相を教えなかった。ジョン・ウィルバンクスの崇拝者の巡回裁判所判事ラフェ・オズワルドは裁判を開いた。記者で混

雑していたが、ベル家の人々も、バニング家の人々も来ていなかった。デクスター・ベルの埋葬は、パイプオルガンの演奏の中、盛大に挙行された。

ジョン・ウイルバックスは、裁判結果の記録もなく、公平性がないので、クラントンでは裁判をやりたくなかった。デクスターは、女癖が悪く、ルイジアナ州の教会で説教した時にも秘書と不倫したという噂があった。クリスマスの３日前、ジョエル、ステラは、ピンクカテージでフロリーと会った。戦争が始まる前に、ライザはデクスターと教会でよく一緒にいる場面が目撃されている。ジャッキーもそれに気づいていたようである。クリスマスを過ごした３人は、ウィットフィールドにあるミシシッピー州立病院にいるライザに会いに行った。しかし、ヒルサベック医師は、ピートから口止めされているので、何も情報を教えてくれなかった。

いよいよ裁判の日。ジョンは、自分の国を守った立派な男を弁護するといきりたった。ジョンは、オズワルド裁判官にここで裁判をすると公平な裁判ができないといった。弁護側のラッセルは、ピートに対して、オズワルド裁判官に敬意を払え、態度を改めるようにと諭した。12 名の陪審員が決定された。トルイトは、ピートに対して、第一級殺人として死刑を要求した。ジャッキー・ベルは証人台に立ち、夫のいる部屋を見に行ったといったと嘘の証言をした。ホップは、「ピートが自分が殺したことを保安官に伝えるように言われた」。スリム・ファガリは、「土地はピートから２人の子供に渡った。ピートは自分の放った弾でデクスターを殺した」。証人台に立ったピートの戦友は、ピートは、戦争中、皆を鼓舞した英雄的な行動を評価され、銀星章、銅星章、十字勲章を受章したこと、そして、日本軍に捉えられ、強制収容所に留置されたことを証言した。別の戦友は、刑務所のピートを訪問した。

ピートは、上告を拒否した。ピートは、ブフォード・プロビンにすぐ穀物の種を蒔くように指示した。ピートの処刑は、7 月 10 日に決まった。1940 年以前は、ミシシッピー州は絞首刑であった。1818~1940 年、ミシシッピー州では強姦・殺人で 800 人が処刑された。そのうち、80%が黒人であった。1940 年から感電死が処刑に取り入れられた。州刑務所は、初代所長のジム・パーチマンの名を関してパーチマンといった。新しい処刑人のジミー・トンプソンは、1940~1947 年、37 回も電気椅子「オールド・スパーキィ」を持ち運んだ。ピートは精神病院にいるライザに会いに行った時、「お前を愛しているが、許せない」。ピートと家族３人は、最後の晩餐をした。ピートは、「人生は、決して安っぽいものではない。毎日は贈り物だ。それを忘れるな。デクスターは死んで当然だ。いつかそれが分かる時が来るだろう」。ピートの処刑の時が来た。フィールディング・ライト知事は、殺人の理由を教えてくれたら、死刑を免除できると言ってくれたが、ピートはそれを無視した。ピートは、オールド・スパーキィに座った。電気の急速な流れを助けるため、ふくらはぎと頭に湿ったスポンジが置かれた。ヘルメットをかぶらされ、ワイヤーが取り付けられた。2000V の電流でピートの筋肉は収縮し、苦痛で叫び声を発した。鼓動が停まり、無意識状態になり、激しい痙攣に襲われた。30 秒後、２度目のショットで、身体の抵抗力がなくなり、体温は、200F まで上がった。臓器の溶解、眼窩からの放血、心停止。そして、死亡が確認された。ピンクカテージ付近のバニング家の墓に埋葬された。墓石には、「ピーター・ジョシュア・バーニング III、1903 年 5 月 2 日誕生、1947 年 7 月 10 日死亡、神の忠実な兵士」と記されていた。多くの兵士が弔いに来た。

Part 2.　墓場　ピートは、1925 年、ウェストポイントの US 陸軍士官学校を 22 歳で卒業した。ピートは、新装改築したピーボディ―ホテルのパーティで、18 歳のライザ・スウィーニィと出会い一目惚れした。２人はすぐに深い中になり、ライザの家に招待され、保険会社の数理士をしている父、母と姉に会った。とうとうライザは妊娠してしまい、駆け落ちをすることになった。リー郡庁舎で結婚の手続きをし、1925 年 6 月 14 日に結婚した。ジョエルは、1926 年 1 月 4 日にドイツの軍人病院で生まれた。ステラは、1927 年にカンサス州のリレー駐屯地で生まれた。ピートの父ヤコブは、1929 年 6 月 20 日に心臓発作で、49 歳で死亡した。同年 10 月は、世界大恐慌に見舞われ、綿市場は崩壊した。母が、50 歳で肺炎で死亡した。召使のニネバとアモスがやってきた。ニネバは、フロリーとピートの子供達の出産と育児を助け、農場生活をはじめた。ライザは、都会っ子で田舎の生活になかなか馴染めない。子供をもっと欲しかったが、度重なる流産であきらめた。

ヨーロッパでは、ヒトラー率いるドイツ軍がポーランドに侵攻し、ロンドンを空爆し、1941 年 6 月にはロシアに大軍で押し寄せていた。日本は、中国と 10 年も戦闘を繰り返していたが、東アジア圏を支配下に置きたかった。1941 年 8 月、アメリカは、石油の 80%を日本に供給していたが、ルーズベルト大統領は、完全な石油禁輸を宣言したため、日本の経済および軍事力は、危うくなった。とうとう、12 月 8 日、日本軍の真珠湾攻撃が始まり、第二次世界戦争が勃発した。マッカーサー陸軍元帥の元、ピートは、フィリッピンのバターンに送り込まれた。当時最新鋭のゼロ戦により日本軍に制空権をとられていた。マッカーサーは、アートストラリアに司令部を移動し、太平洋に戦争の拠点を移した。そのため、物資・食糧難に陥り、飢餓、病気、負傷者、死者が続出した。ピートは第 26 機甲部隊に配属され、たこつぼ豪の両隣とよく食事の話をした。家族に手紙を書きたいが、ペンも、紙も、配達人もいない。ネッド・キング将軍は、日本軍に降伏することに決めた。ピートは、日本軍の捕虜となった。トラックで輸送中の日本兵の銃身で頭を叩かれ、トラックから転落し、仲間とはぐれた。ピートは 31 歩兵連隊に配属された。ピートは病院で頭を見てもらった。頭皮、頬髯が剃られ、傷口近くを 6 針縫い、抗生物質を投与されて回復した。日本兵からもらえる食事は、一日必要量の約半分の 1500 カロリーであった。虫のついたお粥がほとんどでたまに肉片が入っていただけであった。不衛生なため、赤痢、マラリヤ、壊血病に罹る囚人が多く、助かるものだけが、アヘン安息香チンキ、キニン、ビタミン C を投与された。オドンネルでは、新しい相棒のクレイ・ワンプラーと出逢った。ピートは 26 機甲部隊では死亡したと思われていた。ピートも赤痢に罹ったが、護衛兵からアヘン安息香チンキをもらい回復した。

アメリカにいる家族に、２人の軍人が訪れた。「ご主人は、消息不明である。状況から見て死亡した可能性が高い」ことを告げられた。知らせを聞いたフロリー、デキスター・ベルとジャッキーらが集まり祈祷した。少しづつ、悲しみも失せ、フロリーと子供達がメンフィスのピーボディ―に会いに行っている時、デキスターは毎日、ライザに会いに来ていた。二人だけで会話しているのを、ニネバが見ていた。

ピートとクレイは、健康なので、広島から 50 マイルほどのところにある炭鉱で働くため、輸送船で日本に送られることになった。しかし、アメリカ軍の魚雷が命中し、海に放り出された。筏を見つけ、島に漂流中、日本に魚を提供しているフィリピンの漁船に助けられた。ルソン島に到着した。ピートは家に手紙を書き、フィリピン人の配達をお願いしたが、破られてしまい、本国には届かなかった。第一次世界大戦でのイギリスの英雄のバーナード・グランザー(60 歳位)は、フィリピンで 20 年ほど生活していた。グランザー将軍は、ピートに洞窟内にある迫撃砲と軽カノン砲を見せてくれた。ゲリラ戦で日本兵を殺し、食糧、弾薬を奪った。ピートは、グランザー将軍の勧めで、夜飛行場に忍び込み、ゼロ戦 72 機を爆破した。1943 年の春までに、日本軍は、南太平洋を制圧した。ピートは、日本軍が輸送のために築いた舟橋を爆破し、川に飛び込んだ。が、大岩に衝突し、左足の骨が砕かれた。1944 年の夏、アメリカ軍は、フィリピンまで 300 マイルのところまで接近し、B-29 が日本を爆撃した。1944 年 10 月 20 日には、レイテ島、1945 年 1 月 9 日にはルソン島に上陸した。日本兵の投げた手りゅう弾の破片がピートの右足に突き刺さった。現地での治療が不可能と判断され、サンフランシスコの北西部にあるレターマン陸軍病院で治療のため帰国することになった。ピートの無事の知らせが届き、家族はピートの見舞いに行った。

Part 3：裏切り　ピートの遺言には、子供達には 10 万ドルの不動産を、妻のライザには、その 1/4 を。フロリーには、2200 ドルの子供たちの養育費、6000 ドルの現金と金貨を渡されることが記載されていた。銀行の預金口座からライザの名前が除かれていた。ジュエルとステラは、何故、父はベルを殺し、母は精神病になったのかと思った。バニング家の財産の分与について、原告ジャッキー（バーチ・ダンラップ弁護士）と被告バニング家（ウィットフィールド弁護士）の裁判が行われた。原告側は、ジャッキーは収入がないので、殺された夫が生存していたと仮定した場合、一生の間に得られる所得分を支払うべきであると主張した。これに対して、被告側は、ピートは既に死刑で罪を償っている点、そして、ジャッキーが生涯独身であるか否かも考慮すべきであると主張した。ジュエルは、母のいる病院を訪れた。あまり体調は良くないようだ。ニネバから、ライザの母が危険な状態であるため、ライザはできスターと２人だけで一日病院にドライブしてお見舞いに行ったことを聞いた。その時、ライザは体調が悪かったそうだ。判決が下った。原告側が、バーニング家の土地、家屋を譲り受けることになった。ジャッキーは、エロル・マックレイシュと仲良くなっていた。一方、ジュエルは、汽車の中で、マリー・アン・マロウフに一目惚れした。彼女とは、同じミシシッピー大学の学生同士であった。彼女には婚約者がいたが、まだ、いつ結婚するかは決めていないそうだ。

ライザは、病院側が気分転換のために企画した劇場見物に行った時、逃亡した。汽車に乗り、ニネバとアモスが住みこんでいた家に行った。誰もいなかった。ピートのトラックが以前にあった場所に置かれていた。懐かしい台所の匂いがした。昔を思思い出し、よろめき、引きつり、うめき声を出した。フロリーに電話したら、すぐかけつけてくれた。二人は思わず抱きしめ合った。フロリーは、ピートがベルを殺した経緯をライザに話した。ライザは、がんに侵されており自分の命が長くないことを悟り、フロリーに秘密を洩らした。ライザはピートの墓の前に行き、ピートに会いに行こうとしてピルを飲んだ。翌朝、アモスはライザの死体を発見した。葬儀は、ピートの祖父が建てたメソジスト教会で行われた。棺の５フィート前にジョエル、ステラ、その間にスウィーニィ夫妻が座った。マリー・アン・マロウフがそこにいたことが一番うれしかった。ピ

ートは彼女と結婚すると誓った。マリー・アンの家を訪問し、父から婚約指輪をプレゼントすることの許可をもらった。フロリーに、ライザとベルの逢引きについて聞いたところ、一瞬戸惑ったところから、ジョエルはそれを確信した。

ジャッキー・ベルとエロル・マクレイシュは結婚した。ジャッキーの両親は、エロルを信用できないので出席しなかった。ジャーキーはもうじき、フォード郡で最も素晴らしい家を手に入れようとしていた。

フロリーは、心不全が悪化し、余命が短いことを悟り、ライザが死ぬ間際で漏らした秘密をジョエルに伝えた。「ピートは戦禍により両足を負傷し、ギブスを装着して帰国した。ピートが戦地で消息を絶ち、死亡したとの連絡を受けたため、未亡人となった独身のライザは、デキスターと親密になった。ピートは、探偵を雇い調べさせたところ、ライザが中絶をしていたことが分かり、ピートは怒り狂った。ライザは何度も謝罪し、許しを乞うたが、ピートは許さず、代わりに憎いデキスターを銃殺した。自分も感電死の刑を受けた。その後、ライザの妊娠は、ニネバの孫息子のジュープとの不倫の結果であることが判明した。ピートは間違った人を殺害してしまったことになる。

フロリーはやがて死に、その秘密を墓にもって行くであろう。ジェルもステラも先例に従がうだろう。ぶち壊され、恥辱を受けた家族はこれ以上の屈辱は受けないだろう。フォード郡の人とは一緒に住むことはないだろう。真実をそこに埋めてしまい、もう引き返すことはないだろう。バニング家の人達は皆短命である。フロリーが死んでも、我々は行き残る。長生きをしよう。もし、母が真実を語ったら、父は離婚して、母を追い払ったかもしれない。そして、ジュープに復讐していたかもしれない。母は生き延びたかどうかわからない。しかし、父とデキスターは生きたであろう。我々も土地を譲ってもらったかもしれない。ピートは、ステラの額にそっと、キスをして「一体、何というファミリーだろう！」

著者の覚書
私が、ミシシッピー州議会で２年間州の代表を務めた間に、1930 年代にミシシッピー州に小さな町に住んでいた２人の著名人の話を聞いた。１人が他方を何の理由を述べずに殺した。絞首刑が言い渡されたが、州知事がもし、殺した理由を述べれば減刑にできると言った。彼は拒んだだめ、翌日、裁判所の芝生で絞首刑が挙行された。知事は、最前列で、はじめて絞首刑を見た。私は、この話を盗用した。しかし、これは本当の話なのか、いつの頃の話なのかは不明である。読者の方でもし情報をお持ちの場合は、ご一報下さい。

72 冊 “Newton and the Counterfeiter: The unknown detective career of the world’s greatest scientist” by Thomas Levenson (301 pages) published in 2006, Faber and Faber

中級政府役人がバーで、ニューゲート刑務所の前科者と会っていた。前科者は、「用心深く、悪賢い男と一緒に単調な生活をしていた。ウイリアム・カロナーは、偽造の硬貨のプレートを、

贋金の密輸にために使った壁か穴に隠した。」という情報をくれた。どうして、ケンブリッジ大学のルーカス教授職を務めたほどのアイザック・ニュートンが、王立造幣局(Royal Mint)の管理者になり、ウイリアム・カロナーの贋金作りを暴き、絞首刑にするための証拠を集めようとしたのだろうか？ ウイリアム・シャロナーは、極端に大胆そして残忍であり、ニュートンを激しく非難した。2 人は、2 年間に亘り戦い合ったライバル同士である。ニュートンは、まるで探偵のように、忌まわしいシャロナーを追い詰めた。話は、リンカシャーの小さな町の若かりし頃のニュートンにもどる。

ニュートンは、1642 年 12 月 25 日（クリスマスの日）に生まれた。3 ヵ月前に既に他界していた父は、広大な土地を残してくれた。母は地方の牧師と再婚した。ニュートンは、まだ 2 歳であったが、祖母に遺棄された。ニュートンは、他人に頼らずに、自分で考え、生きて行く方法を学んでいった。12 歳の時、家村を離れ、数マイル離れた所にあるグラマースクールに通った。そこで考えることを学んだ。成績は良かった。ニュートンは、貸し馬に乗るお金もなかったので、リンカシャーから 3 日間歩いて、ケンブリッジにあるグレートセントメアリー教会に辿り着いた。そこからは、馬車で大学に行った。ニュートンは、水時計や日時計を設計して、皆を喜ばせた。ノートブックには、インクの作り方、色素の混ぜ方を書いた。他の本から写した母音の音声チャート、星座表、水車とダムの考案、流体静力学的実験に夢中になって、夕食も忘れるほどであった。一番の喜びは、木の下で本を読むことであった。1664 年、物体の最も基本的な形は何かという疑問が沸いた。学部の卒業試験に合格すれば、トリニティーの学者になるための奨学金がもらえる。不合格なら農場に帰らなければならない。当時、腺ペストが流行り、ケンブリッジは、1665 年の盛夏までにゴーストタウン化した。病気は蔓延していたにも拘らず、ニュートンは、重力の理論、宇宙の動きを支配する本体に夢中であった。この頃が、発明、数学特に微積分、哲学の絶頂期であった。1666 年春、大学が再開し、ニュートンはトリニティ・カレッジに戻った。リンゴは、地球の中心に向かって垂直に落ちて行く。物質は、質量に比例して、物質の中心に引っぱられて行く。ウールスソープ（イングランドのリンカンシャー州サウスクスラン地区の集落）にあるリンゴの木は、1819 年の暴風で倒壊した。このリンゴの木の一部は接ぎ木として残り、Flow of Kent という名のとして今でも残っている。ニュートンは、地球の大きさを計算し、地球表面の下に引っ張られる力（彼は「重力」と呼んだ）を計算した。月が地球の周りを規則的な軌道を描いてまわるのは何故か？惑星が軌道を維持する力は、その周りを自転する中心との距離の２乗に比例する。地球と月の距離を知るためには、地球の大きさを知る必要があった。動きの 3 原則：①全ての物体は、外からの力が加わらなければ、静止するか、動き続ける、②動きの変化は、加えた力に比例し、その力が加えられた方向に直線上に起こる、③どの作用も２つの物体に同じに、逆方向に作用する。1666 年のロンドンの大火は、1 万 3 千の家屋、47 の教会を焼き、そのお陰でスラム街も焼かれ、ペストは収まった。1667 年には感染症の伝播はとまった。

ウイリアム・シャロナーは、処刑されるまでニュートンの敵対者であった。当時、グロート（英国の昔の４ペンス銀貨）は、王立造幣局で、たまにしか製造されてなかった。個人会社が出現し、贋金を供給され始めた。シャロナーは、ロンドンに向かった。その当時のロンドンは、人口約 60 万人で、国の 10%以上を占めていた。17 世紀のロンドンは、経済と商業の中心であった。市を基盤としたカルテルを軸に、バルト海、東地中海、北アフリカとの貿易が栄えていた。イギリスの国際貿易の三分の二は、ロンドンを通してであった。シャロナーは玩具の時計を作り上げ

た。金箔を均一な被膜として被せる手技を持っていた。グレシャムの法則というものがある。悪貨は、良貨を駆逐するという意味である。イギリスは当時、金がなかった。シャロナーにとり絶好のチャンスであった。2 種類の硬貨があった。摩耗しやすい 1662 年までのものと、その年、王立造幣局に導入された機械で製造されたものである。議会は、贋金造りに対する罰則を増やした。シャロナーは、パトリック・コーヒーから見破られない贋金造りの方法を学び、流通させた。シャロナーは、技術をアピールして造幣局を取り込もうとするが、ニュートンが差し止めた。

シャロナーの手下たちが、次々と逮捕された。1997 年 9 月 4 日、ニュートンは、ウィリアム・シャロナーを逮捕し、ニューゲート刑務所に収容した。しかし、確固たる証拠が不十分であったため、シャロナーは一旦刑務所から出獄した。1697 年 12 月、ニュートンは、お金を払ってシャロナーの調査をさせたことが見つかってしまい、ニュートン側が不利になり、立場が逆転したかに見えた。シャロナーは、手下と共謀してニュートンを苦しめた。しかし、賃貸アパートで細々と生活している貧乏なシャロナーには、贋金をバレないように作ることはできなくなっていた。シャロナーは、偽造の硬貨のプレートがまだ見つかっていないので安心していた。しかし、仲間たちが次々と裏切り、贋金造りの全てを吐いてしまった。シャロナーは、狂乱し、自分は何もできないし、何もやっていない、と言い放ったり、真夜中に素っ裸で走ったり、シャツを引きちぎったりした。1699 年 3 月に、裁判があり、シャロナーの絞首刑が決定された。アイザック・ニュートンは、他の贋金造り問題に取り組まねばならず、シャロナーの処刑には立ち会わなかった。1699 年クリスマスの日、57 歳になったニュートンは、新しい職について裕福になった。

1703 年、二つ目の大作、*Opticks* を提出した。1700 年前後には、ニュートンは自然科学から遠ざかり、「神」を考えるようになった。大改鋳造幣局のマスターに就任したニュートンは、銀の流出と貨幣の劣化に対応するため、貨幣改鋳を主導した。銀は、イギリス海峡を渡り、流れ続け、大陸の金をより安い価格で買うことができるようになり、1715 年にはイギリスの銀は、金に変わっていった。ニュートンは、一時南海株エンタープライズの株式で失敗したが、東インド会社株の購入で持ち直した。80 歳代になると、ニュートンは王立造幣局に興味がなくなり、姪の夫のジョン・コンデュイ・コンジットに譲った。1722 年、ニュートンは、健康が悪化した。1725 年になると、痛風、重度の呼吸器疾患、膀胱結石、そして、酷い腹痛が 2 週間続き、意識を失い、3 月 20 日、82 歳で他界した。

ニュートンは、死ぬ前に墓碑銘に言葉を残した。「私は、世間の人にどのように思われていたかは知らないが、自分は、海岸で遊ぶ男の子のように、滑らかな小石あるいは美しい貝殻を探すのを楽しんでいたと思う。私の周りには、真実の広大な海原が隠れていた。」

追記：作者のトーマス・レベンソンは、ニュートンに関する数百にも及ぶ資料・伝記などを入念に調べて本書を書き上げた。アインシュタインに関する書物も出版している。

71 冊 “Never Let Me Go” by Kazuo Ishiguro (282 pages) published in 2006, Faber and Faber

この小説のタイトルは、主人公の私（キャシーH）が、11 歳の時、宿舎でジュリー・ブリッジウォーターSongs after Dark というアルバムに収録されている「Never Let Me Go」という曲を何度も聴いていたことによる。この曲は、子供ができないと宣言された女性が奇跡的に子供が授かることが描かれている。私は、31 歳の介護者であり、これまで臓器提供者の世話を 12 年もやっている。ルースは、臓器提供したあと回復室にいた。

物語は、ヘイルシャムという全寮制の学校時代にもどる。ルースとトミーはよく体育館や砂場で一緒に遊んだ仲であった。ルースには、乗馬させてもらったこともある。ジェラルディーン先生を学校のすぐ近くにある鬱蒼とした怖い森に誘拐する計画を立てたり、また、展示交換会では、お互いの創作品を交換できることに興奮したりしていた。ルースはリーダー格であった。
我々は、臓器移植のために育てられた。我々は、誰も子供を持つことが出来ない。私は部屋の中に入り、戸を開けたまま、「Never Let Me Go」の入ったテープを聞いていた。マダムは、入り口の外で曲を聞いて泣いていた。数年後、その話をトミーにした。それから数か月後、テープがいつの間にか消えていた。ルースは、「探したけど、テープは見つからなかった。代わりに、クラシック音楽の舞踏曲の入ったテープを聞かない」と言って、私にくれた。

トミーは、腕をまっすぐにして固定されたまま、腎臓、肝臓を取り出された。我々が 16 歳の時、ガス、スティームの破裂音が聞こえた。ルーシーは 222 番の部屋にいた。ルーシーが何か書いた紙が散らばっていた。ルーシーとトミーの間に何があったのか？ハンナは私に、「セックスした方がよい。セックスしないとよい臓器提供者になれない。セックスをすれば、腎蔵と膵臓がよく働くからだ」と教えてくれた。私は、以前シャロン D とセックスの経験のあるハリーと一度だけセックスした。

ヘイシャムを卒業した 8 名は、コテージへ、その他の者は、ホワイトマンション（ウェルシュの丘にある）とポプラファーム（トルセットにある）に送られた。ヘイシャムを卒業すると、保護者がいなくなり、自分たちで自分ことを世話しなければならなくなった。私はルースに、「トミーの世話をするように言った」。コテージには、ケファーズという不機嫌な高齢の管理人が、週 2,3 回、泥まみれのバンに乗ってやってきた。ケファーズは、読んだポルノ本をまとめて納屋にしまっていた。私は、ケファーズが不在の時、見つからないように納屋に行き、ポルノ本に目を通していた。その時、トミーが中に入ってきた。我々は無言のまま読んでいた。

我々５人は、ノーフォークへの旅に出かけた。トミーは、私のために、ジュリー・ブリッジウォーターの「Never Let Me Go」の入ったテープを買ってくれた。ルースは、トミーと私が仲が良いことが気に入らないようた。それで、トミーに近づいて抱きついたり、キスしたりして、仲のいいことを私に見せつけたりした。

春が来ると、先輩達はトレーニングのために去ってゆく。もっと大きな興奮する世界に行けることが羨ましかった。トミーは彼の部屋で、私にノートブックに書いた絵を見せてくれた。ヘイルシャムからの新入生は来なかった。ヘイルシャムは遠い過去になってしまった。

私は、ワンルームのアパートに住んでいた。ローラもルースも介護人であったが、私は、ルースの介護人にはならなかった。ヘイシャムの家屋と土地は、ホテルチェーンに売却される計画があった。そうしたら、学生はどうなるのだろうか？ルースのいるドーバーにあるリカバリー・センターを訪問し、一緒に、キングスフィールドにいるトミーを訪ねた。トミーとルースはよそよそしかった。トミーは私に気があるらしい。トミーが２度目の臓器提供をした時、私は、ルースの薦めに従い、トミーの介護人になった。昼食後、トミーの部屋に行き、オデュッセイや千一夜物語を読んで聞かせた。トミーは３度目の臓器提供をした後、休んでいた。とうとう私はトミーとセックスすることになった。トミーは何故もっと早く私とセックスをしなかったかを悔やんでいた。最初は、手によるセックス、それから普通のセックス、我々はハッピーであった。トミーは、スケッチブックに描いた尾の付いたカエルの絵を見せてくれた。トミーに４度目の臓器提供がくる可能性があった。

マダムは、依然として教師を続けていた。マダムは、ヘイルシャム時代は、敵対的な他人であったが、今は親身になって私に接してくれた。「私とトミーは愛し合っています。」「何故、私の所に来たの？」「絵を収集してあるギャラリーを見に来ました」。「どうして、絵や詩を収集したかと言うと、あなたの芸術は、あなた自身の魂を現わしている。」トミーは、「先生のギャラリーには私の作品はありません。もう遅すぎるかも知れませんが、あなたに見せたいものを持って来ました」と言い、バックの中から、最近の作品と古い作品を取り出した。そこに、車椅子に乗ったミス・エメリーが現れた。

エメリー：「あなたは機嫌は悪いが、大志を抱いているトミーでしょう。そして、あなたは介護人として働いているキャシー・H でしょう？」

トミー：「どうして、我々のギャラリーを取り除いたのですか？」

エメリー「その当時、確かにこの家にはギャラリーがあった」。

私「臓器提供して死ぬのなら、何のために勉強し、議論したのでしょうか？」

エメリー：「その同時、私もそう思っていた。あなたの芸術は、あなたの魂を露わにするので、あなたの芸術を取り去ったのだ。貴方が魂をもっていることを分かってしまってはまずいと思った。」

私：「何故そんなことを証明しなければならないのですか？」

エメリー「ヘイルマンは他の施設よりもずっと良い環境だった。我々は、慈悲深い、教養のある環境で、学生を育てようとした。トミー、それがあなたの芸術を収集した理由だった。国内の大臣、司教、著名人を招き、最良の芸術を展示した。これらの子供達は、完全な人間に劣っていない」。

私：「どうして最初の頃、学生はひどく扱われたのですか？」

エメリー：「我々は何とかして改善しようとした。我々はヘイルシャム、グレンモルガン、サンダーストラストでも頑張ったが、誰も支援してくれなかった。」

私：「モーニングデール・スキャンダルとは何ですか？」

エメリー：「スコットランドの僻地に住んでいたジェームズ・モーニングデールという科学者は、子供達に最上の知識、運動を養わせたかった。同様な大志を持った人はいたが、モーニングデールは、法を超えるまで研究を進めてしまった。それが発覚して、仕事を断念せざるを得なくなった。しかし、あなた方がいる臓器提供のプログラムを作ることになった。しかし、創造された人間は、我々よりも秀でているわけでもなく、怖がり屋で、消極的であった。」

私：「何故、ヘイルシャムは閉鎖されたのですか？」

エメリー：「社会は、我々の臓器提供プログラムを認めようとしなかった。次々とスポンサーを失い、もうどこにも、ヘイルシャムのような施設はなくなっていった。２階にはあなた方の製作品が飾ってあるし、負債はたくさんあるが、良い思い出もたくさんあるので、ここに戻ってきたがる人もいるだろう。私は、あなたを保護してあげた。もし保護してあげなかったら、あなた方はここにいなかったでしょう。我々のお陰で、あなた自身の生活を打ち立てた。もっと、お話しをすべきであった。私はあなたが怖かった。」エメリーは、大柄な男の運転するボルボに乗って去っていった。

私とトミーは夜のドライブをした。トミーは車を止めて、外に出ようと言った。辺りは強風ではばまれ、トミーが暗闇の中で叫んでいるのが聞こえた。私は、丘の上に立ち、谷底に火の灯る

人家を見ていた。トミーは、泥濘にはまり、歩きにくそうであった。私は逃げようとするトミーを抱きしめていた。車に戻った。トミーは動物の絵が入っているバックを膝の上に載せていた。
トミー：「私は馬鹿だ」。
私：「ヘイルシャムに戻ろうとその時思っていた」。

長い旅を終え、キングスフィールドに行った時、臓器提供者の人々と打ち解けていた。「臓器提供の経験のない人にはわからないかもしれない」と言われ、多少イライラした。トミーの第４回目の臓器提供の時が来た。危険を伴う第４回目の臓器提供は特別な尊敬をもって扱われる。トミーは「ルースに、最後の臓器移植の時は、あなたに介護人として来てもらいたくない、と言われた」。私は、最初はむっとしたが、冷静に対応した。「私はあなたを助けに来たかっただけ」。
数週間後、トミーに新しい介護人がきた。私は、他の臓器提供者の介護で忙しかった。しかし、時々、トミーに会いに来て、セックスしたり、本を読んであげたりした。私はルースと共有したかった。ルースが我々に与えたダメージの修復は思ったより難しかった。私はルースを失った。トミーも失った。しかし、彼らの記憶は失われないだろう。ヘイルシャムの卒業生は、昔、それがどこにあったか探すだろうか？ヘイルシャムはどうなったか？ホテルか？学校か？それとも廃墟になったのか？そんなことには興味がなく、ドライブして確かめることもしないだろう。
スポーツ・パビリオンを見つけた？きっと我々のだ。私の脳裏には、私だけのヘイルシャムがあり、誰もそれを奪い取ることができない。トミーが４度目の臓器移植が終了してから数週間後、私は、なんの必要性も、また目的もなくノーフォークにドライブに出かけた。どこに行ったかもわからない。時々エンジンの音を聞き鳥の群れが飛び立つくらいで、特色のない何エーカーもある野原が眼下に広がっていた。木々が風を遮ってくれていた。木の枝に、風で運ばれたちぎれたプラスチックとビニール製の買い物袋が、風に靡いていた。その時、子供時代のことを思い出していた。トミーの姿がだんだん大きく見えてきた。トミーが手を振っている。叫んでいる。空想はそこで止まった。涙が流れたが、私はすすり泣くこともなく、取り乱すこともなかった。しばらくして、車に引き返した。私は、何処に行くとも知れず車を走らせた。

70 冊 “Fall from grace” by Danielle Steel (364 pages) published in 2018, PAN Books
序文：継母の夫が死亡した時、継母は全てを失うことになる。仕事上の相棒や上司により、法的に不利な立場に置かれたり、遺産の相続権を喪失したり、罪を着せられたり、信頼する人がいなくなったら、どう対処したらよいだろうか。それには、勇気をもってやり直すことだ。

2 人の娘（サブリーナ、ソフィー）のいるシドニー・ウェルズと、同じく 2 人の娘（前妻のマージョリーとの間にできたカイラ、ケリー）のいるアンドルーは、それぞれ、33 歳と 40 歳の時に結婚した。それからの 16 年、2 人は幸せな日々を過ごしていた。ところが、ある日、56 歳のアンドルーは、オートバイを運転中に、水たまりにはまりスリップして、不慮の死を遂げてしまった。アンドルーは、投資会社の経営者の父の仕事を引き継ぎ、裕福な生活をしてきた。まさか、若くして死ぬとは思いもよらなかった。アンドルーは遺書を書かずにいたため、アンドルーの財産は、全て、カイラとケリーが受け取ることになった。シドニーに残されたものは、アンドルー

と生活したパリのアパート、宝石類、絵画だけであった。アンドルーの弁護士のジェシー・バークレーと相談したが、どうすることもできなかった。

シドニーはアンドルーとの結婚する前は、洋服のデザイナーとして働いた経験はあるが、いざこれから仕事を見つけようとしても働き口は見つからなかった。まもなく、住み慣れた豪邸からも立ち退かされることになるので、アパートを処分をするためにパリに飛んだ。アパートは、一年間、借家とすることに決めた。帰路、飛行機事故に巻き込まれ、何とかノバスコティアに不時着でき、九死に一生を得た。機内で相席のドレスメーカー社長のポール・ゼラーと知り合うことになった。帰国後、その話をサブリナにしたら、「ポールは、コピーばかりしていて、オリジナルなデザインを一つも作っていない。才能のある創造的なデザイナーの敵である。そんな会社で働かない方がよい」と忠告された。アンドルーが遺書を残さなかったため、深い痛手を味わった母が気の毒になった。サブリナの父は、ザンビアで飛行機事故で死亡している。シドニーは、アンドルーとの思い出の品、衣類、アルバム写真、アンドルーの本、誕生日祝いにアンドルーからもらった宝石、ルビーをまぶした時計などをニューヨークのちゃちな（エアコンのない）アパートあるいは物置にしまった。シドニーは会社探しをしたが、全て断られてしまった。他に打つ手もないので、娘たちには悪いが、ポールに電話で就職できるか頼んでみた。ポールは喜んで受け入れてくれた。一旦溺れたところから水上に浮かびあがったような気がした。ポールが経営するレディーズ・ルイーズ会社の人事課では健康保険の手続きをしてくれた。サラリーも以前ほど多くはないが、充分満足のいけるものであった。ポールからは、「何か前衛的なことをして欲しい。実務上の上司となるエドワード・チンに仕事場を案内してもらいなさい。これまでの実績をもとに、軌道に乗せて欲しい」と激励された。エドと一緒に北京の事務所を訪問しにでかけた。帰国後、娘達にポールの会社で働くことになった経緯を説明したら、軽蔑されてしまった。デザイナーのミミが、サブリナのデザインを模倣したため、Women’s Wear Daily 誌に、うっかり、サブリナがポールの会社に売りつけたと間違った記事が掲載された。そのため、サブリナは、会社から解雇されてしまった。サブリナは、真相を明らかにするため弁護士を雇った。責任を感じたシドニーは、ワインを飲め、ピルを飲んで死のうとした寸前で、エド・チンの電話がかかり止められた。エドは、シドニーが自殺しないように、その夜、シドニーにアパートに泊まり、シドニーが自殺しないように見張った。ポールは、シドニーに革製品を安く販売する計画を話し、収益の一部を支払うことを約束した。そして、シドニーは中国の北京郊外にある工場に出張し、革製品を大量に購入するため、全ての革製品にサインをして帰国した。やがて、多量の荷物がニューヨークの空港の商業顧客事務所に届いた。しかし、それらは全てイタリア産の窃盗品であることが判明したため、シドニーは空港で逮捕された。シドニーは、刑務所に送検され、素っ裸にされ身体検査を受け、監禁された。エドは、ポールに保釈金をすぐに用意してくれと催促したが、「窃盗品であることを見抜けなかったシドニーの責任であるので、シドニーが自分のお金で保釈金を用意すべきである」と突っ返された。緊急の事態となり、叔父のフィリップ・チンにお願いして、連邦検事のスティーブ・ウェインステインを紹介してもらった。ポールの冷酷な仕打ちに愛想をつかし、エドは辞職することを申し出た。シドニーは娘達に連絡し、これまでの経緯を説明したところ、まだ仕事が見つからないサブリナが、保釈金を出してくれて、仮出獄ができた。シドニーはパリのアパートを売って払い戻しすることを決意した。エドはポールの会社を退職し、一旦、香港にいる父親に会い、新しい会社設立の資金援助を得ることができた。シドニーは、エドから一緒に仕事をやらないかと誘われたが、「自分は仕事に生きる」と辞退した。シド

ニーは、クリスマスに、娘のソフィー、サブリナ、エド、スティーブ、ソフィーのボーイフレンドのグレイソンをアパートに招待した。シドニーは、わざとサブリナとスティーブを相席に座らせた。エッグノッグ（卵にミルクと砂糖を入れかきまぜ、ラム・ブランデーなどをいれたもの）、ホット・トディー（ウィスキー。ブランデーのお湯割りに砂糖（とスパイス）を加えた飲み物）、ワインを飲み、定番の焼き七面鳥そしてケーキを食べながら、夜更けまで、打ち解けた、楽しい時を過ごした。年も明け、２月になり、サブリナは、新しい会社に採用され、最初のファッションショーを開催した。エドは、ファッション雑誌やボーグ誌の編集長、ジャーナリスト、銀行員、服装会社のエリート、香港からビジネスでニューヨークを訪問中のイギリス人のボブ・タウンゼンドら多数を招待した。音楽が流れ、豪華な食事も振る舞われ、大成功を治めた。スティーブとサブリナは、すっかり仲良しになり一緒にいた。そこには、意地悪なカイラもいた。カイラから「サブリナのショーをみるために、牢獄から出してもらったのか？」と言われ、返す言葉が見つからなかった。ボブはニューヨークを訪問する度にシドニーを激励した。

週刊誌にカイラが、夫のジェフ・マディソンと離婚するという記事が掲載されていた。カイラは、プレイボーイの夫から、１億ドルの財産を要求されていた。また、スティーブから、ポールの中国支社で解雇された従業員から、「ポールが、イタリア製の革製品を盗んだことは知っているはずなのに、シドニーに責任を添加した」という情報が入った。しかし、証拠が見つからない。

裁判の前夜、シドニー達は、ファッションショーを成功させた。エド、ボブ、スティーブ、2人の娘が見守る中、判決が下された。和解案であった。シドニーは、5~10 年の刑務所入りは免れ、６か月間、踝にプラスチック製のバンドを着けさえていれば、自宅で待機できることになり、皆から祝福された。自宅でも仕事が続けられるよう、シドニーのために、パソコンやデザイン作成機が運ばれた。

ポールのオフィスに、突然、4 名の FBI 捜査員が押し入ってきた。ポールは、資金洗浄と窃盗品の輸入の容疑で逮捕され、手錠をはめられた。ケリーは、夫のジェフ・マディソンから賭け金の上乗せと家全部を請求され、更に、規制薬物を所持しいたことが見つかり、告発された。これで、ケリーとカイラの生活は完全に破綻した。シドニーは、家にいて、サブリナに借りたお金を返すため仕事に専念した。同性愛者のエドは、22 歳のケヴィンと交際を始めた。

スティーブはアメリカ最高の法務官と裁判官に状況を説明した結果、ポールは罪を認め、連邦刑務所に送還された。シドニーは、逮捕・監禁の過去の記録が抹消されることになり、3 ヵ月で家から出られることになった。踝のバンドが外され、久日ぶりに外出した。ボブは、シドニーが香港滞在中に、子供たちを紹介し、香港で生活ができないかとシドニーに尋ねた。シドニーは、ニューヨークでの仕事を継続したいので、悩んでいたところ、エドから、「父から土地をもらったので、香港で先ず、ファッション会社を立ち上げ、それから、NY でも会社を立ち上げる」という話を聞かされ、心が躍った。これで、仕事とボブとの生活の両方を満足できるのだ。「これが始まりであった。その時がとうとうやってきた」。

69 冊 “The story of an African Farm” by Olive Schreiner (301 pages) first published in 1883, Penguin classics in 1939/1995)

2 人の孤児の少女の、南アフリカの平原にある孤独な農場での成長が描かれている。エムは、環境に適応し、ボーア人の継母のタン・サニーに従順である。リンダルは、美しく、誇り高く、独立心が強い。彼らの孤立した生活は、浮浪者のボナパルト・ブレンキンスの出現により壊されてしまう。ボナパルトは、ゴールドラッシュで失敗した経験があり、農場を奪ってしまう。少女たちの継母のタン・サニーに性的な嫌がらせをしたり、農協労働者であったリンダルの従弟のウォルドーにペンナイフで切りつけたり、また、ウォルドーの父を痛めつけたりして楽しんでいた。リンダルはウォルドーを守った。「我々は、いつまでも子供ではない。いつか力を蓄えるだろう」。ボナパルトは突如去っていった。子供たちは、7 歳になり。聖書を読めるようになっていた。新しいスピリッツを得た。自然とともに生きていた。何年か経過し、イギリス人の、グレゴリー・ローズが農場の一部を賃貸した。グレゴリーは、エムに熱烈な恋をした。エムに強引にキスをして、「あなた以外の人とは結婚しない。死ぬまで君を愛する」と迫り、とうとう結婚式をあげた。ほぼ同じとき、タン・サニーも結婚して、子供を授かる。しかし、グレゴリーは、エムとの仲がしっくりいかなくなった。グレゴリーは、まだ離婚もしていないのに、リンダルに惹かれてしまう。しかし、リンダルの反抗的な性格は、結婚を拒絶した。「私は、あなたを助けた。目標を知り、ただ一つのことを目指しなさい。ただ一回の人生です。集中することが成功につながります。男は目標を知り、それにまっしぐらに進むのです。ただそれだけ」。

著者のオリーブ・シュライナー(1855-1920)は、ボーア人であり、宣教師の娘として、南アフリカのケープ植民地に生まれた。心脳患者であった。子供の頃は、ミッション・スクールに通っていた。12 歳で両親と別れ、家庭教師の経験もあるフェミニストである。昔の植民地時代を喚起するシュライナーの小説には、広大な南アフリカの自然、実存的独立、個人主義、女性の職業的願望、怒り、そして深い同情が描かれ、1983 年に初刊が発表されると、たちまち成功を収めた。

68 冊 “Two by two” by Nicholas Sparks (547 pages) Sphere in 1989)

私（ラッセル・グリーン）は、学生時代には多くの女性と恋愛を経験してきた。大学に入り、エメリーという絵画専攻の真面目な女性と付き合い始めて、真剣な交際を考えるようになった。家族にもエメリーを紹介し、皆に気に入ってもらっていた。そんな時、ジョージタウン大学を首席で卒業した美貌のヴィヴィアンが現れ、一目惚れしてしまった。やがて私はエメリーとは疎遠になり、ヴィヴィアンと結婚することになった。ヴィヴィアンは、娘のロンドンの誕生とともに、NY のトークショーや、メディア企業での政治評論家の仕事を辞めた。私もその当時は、代理店の主要な取引先になり仕事も順調であった。4 ドアのハイブリッド車を買い、金曜日はビビアンとデートした。結婚して 7 年、ロンドンは 5 歳、私は 34 歳になっていた。キッチンを改造し、次に浴室の改造も考えていた。私は、幸福な生活を営んでいた。

しかし、私は上司のピーターの機嫌を損ね、退職することになった。新たに代理店を開こうとしたが顧客はなかった。ヴィヴィアンは、仕事に復帰することを決心した。就職の面談を受けるため家を空けることが多くなった。当然、一人娘の世話は、仕事のない私がすることになった。私は、ロンドンを幼稚園に連れて行ったり、ロンドンのために買ってあげたハムスター（ネズミ）の世話をしたりしていた。時々、姉のマージ、妹のリズがロンドンを映画に連れて行ってくれた。私は父から、ロンドンをしっかり育てるように諭された。父の弟は一生独身であった。私

は 18 歳の時に祖父を、21 歳の時に祖母の兄弟を亡くしている。母にはいろいろと苦労をかけてきた。母からは、「お前は思いやりのある子だ。やってみなさい。いつかできるようになるから」と言われた。

ロンドンは、幼稚園でボウディ（菩提、覚、智、道の意味）と仲良しになった。私は、幼稚園にロンドンを連れて行くことが日課になった。偶然、そこで、エメリーに出逢った。エメリーは、デービッドと結婚して、一人息子のボウディを儲けたが、夫が複数の女性と浮気したことから、離婚したことを聞いた。私とエメリーがロンドンとボウディを交代して面倒を見れば、それぞれ自分の仕事を続けられると思い、ヴィヴィアンには悪いと思いつつも電話番号を教えあった。

私は、フェニックス・エイジェンシーという広告代理店にいたが、相変わらず顧客が見つからない。一方、バージニアは、会社が決まり、アトランタに移転した本社に、シャーロットから毎週４日通うことになった。ヴィヴィアンは別の銀行口座を作っていたことが分かり驚いた。一体何のために口座を作ったのか？恋人でもできたのだろうか？１週間前にヴィヴィアンが去ってから、私は 7 ポンド(3.2 kg)も体重が減少していた。ストレスだろうか？私は、ヴィヴィアンとの仲を立て直したいと思い、アトランタまで 4 時間のドライブをした。スパナーマンとヴィヴィアンがベントレーに乗り、駐車場を出るところを偶然目撃した。気づかれないように追跡した。二人は、スパナーマンのペントハウスに向かっていることが分かった。そこで 2 人は何をするかは明白であった。ヴィヴィアンから離婚の話を持ち掛けられた。

ロンドンは、絵画教室で、花瓶に色をつけることを習っていた。ロンドンが花瓶を持って行くのを忘れた時は、届けてやったりした。私はお人好しであった。ヴィヴィアンが、週末にアトランタからロンドンに会いに来るときは、必ず２人だけにして欲しいと言われた。私はそれを許してあげた。私はみじめであった。

私にとり、エメリーだけが救世主であった。エメリーと会員制ゴルフクラブのグリーンを一緒に歩いた。エメリーに、ヴィヴィアンとのこれまでのことを全て話した。エメリーは、離婚後、前夫が身体を求めてくることは許していたが、それ以外の男性との交渉はない、と教えてくれた。

ヴィヴィアンはロンドンと食事した後は、後片付けをしたためしがない。ヴィヴィアンの高慢態度に私はいら立ちを覚え始めた。ヴィヴィアンは離婚後、ロンドンをアトランタに引き取るつもりだ。ヴィヴィアンは、私のことは全く気にかけていないようだ。

ロンドンは、不注意のため自転車から落ち、郵便箱の頭をぶつけた。目をとじ動かなくなった。パニックになった私は、一旦家にもどり、車を運転して病院に運んだ。ロンドンはしばらく入院したら、意識を取り戻したので、私はホットした。

ヴィヴィアンが、ロンドンと二人だけで過ごしている時、私は別室のマスターベットにいた。その夜、ヴィヴィアンの承諾を取り、エメリーに会いに行った。昔、エメリーと一緒に観覧車に乗ったこと、花火を見に行ったこと、プロポーズし損ねたことを思い出した。エメリーの展示を見に行った。もし、エメリーと結婚していたら今頃どうしていただろう。エメリーは私が何を考えていたかを知っていた。エメリーの絵が一番良かった。

私の弁護士のタグリエリから、ヴィヴィアンの弁護士が書いた陳述書を見せてもらった。そこには、私がロンドンの世話をきちんとしていないこと、エメリーと不倫していることを挙げ、私

にはロンドンを育てる資格がないこと、ヴィヴィアンがロンドンをアトランタに連れて帰るべきであることが記されていた。私は頭が真っ白になった。

私の母は、父が癌を患ったという不吉な夢を二度見た。それから、間もなく、姉のマージが体調が次第に悪くなり、咳をした時、とうとう血を吐くようになってしまった。腺癌が両肺、リンパ節、脳に転移し、悪性心嚢液貯留ステージ４と診断された。マージは死ぬ前に、私に、「ロンドンと一緒に暮らしなさい。女の子には父親が必要だから」と言ってくれた。ロンドンは、私に、抱き着き、アトランタには行きたくない。私と一緒にいたいと言ってくれた。マージは、私に対しては、エメリーを一生愛すること、決して浮気をするな。父と母には、リズのように、時々、ロンドンに会いに行くように、という言葉を残して、静かに息を引き取った。お墓の前で簡潔な葬儀が執り行われた。私は、死者に対する頌徳の言葉を述べた。ヴィヴィアンは、私の家族、リズ、エメリーと離れて立っていた。会葬者が帰った後、ロンドンは、私の前で、叔母のマージのために、薄く透き通る羽を着て蝶の様に舞って踊った。

私は、次第に顧客も増え、仕事が順調に行きそうになってきた。シャーロットの家を引き払い、アトランタに住むことにした。エメリーも同意してくれ、私の新居のすぐ近くに住むことになった。ヴィヴィアンとの離婚が正式に成立したら、エメリーとボウディ、そして、私とロンドンが一緒に暮らすようになるだろう。

（注：米国のベストセラー作家である Nicholas Charles Sparks (1965 年 12 月 31 日~）は、悲劇の先にある運命的な愛を描いた恋愛小説を数多く世に送り出している。)

67 冊 “The Remains of the Day” by Kazuo Ishiguro (258 pages) Faber & Faber (2005, First published in 1989)

私（スティーヴンズ）は、ダーリントン・ホールで働いている執事である。ダーリントン侯時代には、連日紳士・淑女が連日このホールを訪問していた。1922 年の春に、家政婦と副執事が退職したため、それを補充するために、先ずミス・ケントンが、1 週間遅れで私の父が入れ替わりに雇われることになった。1923 年にはここで重要な国際会議が開催され、18 人の紳士、2 人の淑女、通訳、秘書など付き添いの人も大勢来られ、我々は大忙しであった。この由緒ある建物で働けることは幸せであった。私は父から、執事のあるべき姿、すなわち、主に対して威厳（忠誠心を持って主に使えること）の重要性を徹底的に叩き込まれた。ミス・ケントンは、家政婦として私の下で働いていたが、どちらかと言うと、我々はチームとして働いており、フランクにお話しをする間柄であった。例えば、女中が結婚でやめた場合は、新人を実際以上に過大に評価し（しばらくは、真面目に働いたが、同僚の男性と結婚してすぐやめてしまって恥をかいたり）、あるいは、私が手に携えている本（図書室は来客用の寝室に置いてある婦人客用のロマンス本）はどんな本であるかを教えてくれとせがんだり。父も年をとり、体力が衰え、トレイで運んだ料理を落としたり、こぼしたり、失策が目立つようになってきた。医師は、過労と判断し、父を屋根裏部屋に静養させることにした。72 歳になった父の容態がおかしい。2 階で祈祷するように、うずくまっている父をベッドに運んだ。父は、ミス・ケントンに、私が戻ってきたら、起こしてくれ、と言った。会議が終わり、宴会が開かれて、主催者が慰労の言葉を述べている時、ミス・ケントンが、父の容態が悪くなり、医者の到着も送れるのですぐ来てくれと言いに来た。父のいる

部屋に急行した。父は脳卒中でも起こしたのだろうか弱々しく見えた。また、仕事に戻ったとたん、今度は死亡の知らせが届く。仕事のため行けないから、ミス・ケントンに父の目を閉じさせてもらった。その夜は、私の転換点であった。偉大なる執事とは何か？執事はどうあるべきかを常に考えるようになっていた。執事は威厳をもって、自分の能力の全てをもって、主人に尽くすことである。

ミス・ケントンが 33~34 歳の頃、6 週間に一回、サウザンプトンにいる叔母を訪問した。また、定期的に手紙が来るようになった。とうとうミス・ケントンから、知り合いの男性から求婚され、受け入れたことを聞いた。私はおめでとうと言い、すぐ仕事に戻った。ミス・ケントンはダーリントンホールを去り、西部に行き、そこでベン氏と結婚した。結婚生活はうまく行かず（離婚したかは不明）、リトル・コンプトンの村の知り合いの家に寄宿しているとのことである。ミス・ケントンから届いた手紙には、「２階の寝室からの眺めが好きだった。まだ変わっていないですか？その光景は魔法のようで、私は魅せらえて窓に突っ立っていました。貴方のお父様が、あたかも落とした宝石を探しているかのように、あずま屋の前を行ったり来たり歩いているのを、我々は２階から見ていました。」と記されていた。私は、30 年前の光景を思い出した。彼女の手紙を何度か読み返したが、ダーリントン・ホールに復帰するとは書いてはいなかった。

私はダーリントン侯に 35 年間、奉公した。このような特権を与えられ、私は満足であった。ダーリントン候は、3 年前に逝去した。その後、アメリカ人のジョン・ファラディー氏が館を所有することになった。現在、ファラデー氏には４名の召使がいる。クレメンツ婦人、2 人の若い娘、そして私である。ファラディー氏は、8~9 月にかけて、アメリカに 5 週間ほど出張するので、私に、ご褒美として、車（フォード）を運転して 5~6 日間の休暇を取るように命じた。私は、ミス・ケントンのいるイギリスの西部地方への旅に出かけることにした。途中、牧場、小川、谷を通った。ガソリンが切れ、テイラー夫妻の宿に２泊させてもらった。夜の宴で一緒になったカーライル医師の車で、置き放しになっていたフォード車まで運んでもらい、おまけにジョウロでガソリンを補充していただき、ミス・ケントンが住むリトル・コンプトンに向かった。

嵐のような雨の中、ミス・ケントンは私に会いに来てくれた。ミス・ケントンは、多少、年を取ったが、昔の面影は残っていた。夫と別居したわけではなく、娘も生まれ、その娘も結婚し、その年の秋に孫が生まれる。娘は、私に会いたがっているそうだ。ミス・ケントンは、「私に手紙を寄越した時は、一時幸せでない時もあった。しかし、今、まもなく孫が生まれることが分かり、少しずつ夫とよりを戻し、幸せな日を過ごせるようになった。それで、あなたはどうなの？」。私は、「仕事に生き甲斐を見出すよ」。

それから２日後、桟橋で、夕日の映える風景を見ていた。ベンチに隣り合わせで座っていた、やはり執事の経験があり、３年前に退職した男性と話しをした。彼は、私に、「過去の思い出にいつまでも浸っていてはいけない。前進しなければいけません。」私は、アメリカからファラディー氏が戻ってきたら、一生懸命練習して驚かせてあげよう」。

66 冊 “Camino Island” by John Grisham (310 pages) Hodder & Stoughton Ltd (2017)

窃盗犯グループが、F. スコット・フィッツジェラルド(1896~1940)の研究者のネビル・マンチン教授に成りすまし、プリンストン大学のファイアストーン図書館の地下に保存されているフィッツジェラルドの蔵書に接近した。この蔵書は、1950 年に一人娘が、安い紙に手書きで書かれた最初の 5 編の小説をファイアストーン図書館に寄贈したものである。この窃盗犯は、図書館員に案内してもらい、地下の保存場所に近づき、配置を確認した。詐欺師グループは、バッファーローでネットで指示をしているアーメッド、リーダーのデニー、マーク、ジェリー、トレイの 5 名あった。

4 名の窃盗犯は、偽造した ID カードとパスポートで学内に入り込み、トイレに爆薬をしかけた。爆音で学内が騒然としている隙に、難なく 5 冊の蔵書を手に入れた。しかし、階段にグループの 1 人が垂らした血痕から、ジェリーとマークが捕まってしまった。デニーは、マークとジェリーに連絡がとれないのは、トレイの密告ではないかと早合点し、絞殺して池に沈めてしまった。デニーは、盗んだ 5 冊の本を持ち逃走した。ニューヨークタイムズ誌に、フィッツジェラルドの原稿の盗難と 2 人の逮捕の記事が載った。

ブルース・ケーブルは、父からの遺産金約 30 万ドルを持ち、ガールフレンドの誘いにより、カミノ島のフロリダビーチに行くことになった。サンタローザ村の本屋に入り込んでいるコーヒー店のオーナーのティムは経営難のため店をたたみ、キーウェストに行くことを聞いた。この島は、現役の作家が住み、本のフェスティバルも開かれ、図書館もあり、４万人の永住者がいる。毎年 100 万人に観光客が訪れる。ブルースはガールフレンドと別れ、74 日間で、約 8000 マイルも各地を回り、61 の独立した本屋を訪ねた。その結果、ティムの店が気に入り、125000 ドルで本屋まるごと買い取れた。1996 年に新店舗「ベイ・ブックス—新本とレアブック」を開店した。父親もレアブックスを多数収集していた。その中の 18 冊（蒻 20 万ドル）をボール箱につめ運んだ。ブルースは朝 7 時には店に行き、懸命に働き富を築いていった。一年で、レイ・ブックスは下町のハブになった。2005 年にはアメリカ書籍販売業者協会の理事に選ばれた。ブルースは、女癖が悪く、独身あるいは単身の女流作家が町に来る時には声をかけた。40 歳になった時には、レアブックの収集で 200 万ドル稼いだ。2 件のヴィクトリア朝様式の家を買った。一度離婚歴があり、子供のいないノエル・ボネット(37)と出会い、結婚した。

マーサー・マン(31) は、自作の本のサイン会に来るファンがなくなり、また、UNC からも英語の教師の依頼通知もなく、落ち込んでいた。マーサーは、エレインから、年収 10 万ドルで、ブルースは、盗まれたレアブックを所有していないかどうかの調査の依頼を受けた。職のないマーサーは、承諾した。マーサーは、夕方、ベイブックスに行ってみた。そこで、自作の「10 月の雨」を見つけた。マーサーは、ブルースの本屋で働くことになった。マーサーの歓迎会には、多くの作家が祝ってくれた。しかし、マーサーはなかなか２つ目の小説が書けない。そんな時、よくビーチに出かけた。

デニーは、ボストンの古書店を経営しているオスカー・スタインに会いに行った。デニーはオスカーに「お前が、オリジナルな書籍 5 冊を 50 万ドルで買ったのを知っている。俺に寄こせ」といった。しかし、オスカーは、既に 100 万ドルでフロリダのカミノ島にある書店に売りさばいていた。

マーサーは、ブルースの店と隣接するノエルの店をみせてもらった。収集品は皆高価なものであった。ヒューストンからルークとキャロル・マーッシーが来て、高価な家具を買っていった。ノエルは新しい装飾品を求めてフランスに出かけた。

ブルースはノエルと結婚する前に、タリアというガールフレンドがいた。タリアは、3 人の著名な作家、チャールズ・ディッキンス、ウイリアム・ホークナー、アーネスト・ヘミングウェイの情事をもとにした小説を書いた。ヘミングウェイはパリにいた頃、ゼルダ・フィッツジェラルドとひと時のロマンスを楽しんでいた。妄想的な彼女は 27 歳の時に、服薬自殺をしている。

マーサーは逐一ブルースの情報をエレインに送り続けていた。マーサーは、ブルースに地下の蔵書室を案内してもらった。本を保存するため、湿気なし、55ºF (13ºC)の条件で保管されていた。

エレインは、連邦政府、FBI にブルース・ケーブルが本を地下に埋蔵していうると通告する前に、もっと正確な情報が欲しかった。ブルースは女流作家のサリー・アランカと一夜を過ごした。ノエルには、バリに結婚しているボーイフレンドがいる。マーサーはブルースとワインを飲んだ夜に、一緒に昼寝をとろうと誘われた。一旦は断ったが、誠実さを信じ、危険が及ばない範囲で続けようと決めた。とうとう、マーサーはブルースと肉体関係を結んでしまった。ブルースは、大学時代から好色であった。ブルースは、「小説を書くための 10 個条」を披露した。気を許したブルースは、マーサーを地下に案内した。そこには、スコット・フィッツジェラルドの未完の小説「最後の大君」のオリジナル版があった。エドマンド・ウィルソンが編集して完成させたものだ。マーサーは、これらが、プリンストン大学の図書館から盗まれ、闇市に流れ、最終的にブルースが手に入れたことを聞き、ブルースのことが信じられなくなり、逃走した。ブルースにはモラルがなく、共謀して、正当な書類者から書物を引き離してしたのだ。

マーサーは、エレインにブルースが、地下に盗まれた書籍を隠していることを知らせた。エレインは、マーサーに法廷で真実を述べさせ、ビデオにとらせた。とうとう FBI が動き出した。隠しカメラの映像からデニーが逮捕された。これで、5 人のグループのうち、すでに、ジェリーとマークは、刑務所にいるので、残りは、2 名である。デニーに殺され池に沈められたトレイと、海外に逃亡中のアーメッドだ。これをもって、FBI は捜査から手を引いた。

ガストン・チャペルは、フランス、スペインとアメリカのレアブックの書店の経営者であった。チャペルは一目を忍んで、プリンストン大学出身でコロンビア大学とソルボンヌ大学で学位を取得したトーマス・ケンドリックと密会をした。チャペルは、ケンドリックに「あなたは、プリンストン大学で理事も務められておられるので、カーライル学長をご存じでしょうか？私の知人は、フィッツジェラルドの書籍を所有している男を知っています。そのお男は、金銭と引き換えにフィッツジェラルドの書籍をプリンストン大学に変換したいそうです。私は、ただ仲介するだけなので、あなたの力が必要です。変換の場所はパリです。警察に知らせないでください。これが、第 3 章の Great Gatsby の第一ページです。証拠として納めて下さい」カーライル学長は、対応策を練るため 4 人の小さな会議を開いた。2 回目の会議では、エレイン・シェルバイ、保険会社の CEO も参加した。ブルースの居場所は不明である。ケンドリックは、毎回 4 億ドルのお金と引きかえに、チャペルからフィッツジェラルドの蔵書を 1 冊づつ受け取ることになった。1 冊目は *This Side of Paradise*、2 冊目は *The Beautiful and Damned*、3 冊目は *Tender Is the Night*、4 冊目は *The Last Tycoon* であった。そして、ケンドリックは、最後の 5 冊目（第 3 章の 1 頁だけがない Gatsby）を、タクシーの後部座席にいるチャペルか受け取った。その手渡しの光景を、50 ヤードも離れていない木陰からブルースがほくそ笑みながら見ていた。これで蔵書は全てプリンストン大学に戻ったことになる。

ブルースは、南イリノイ大学で働き口を見つけたマーサーに会いに行った。雪の積もったキャンパスを歩いていたら、マーサーは、男の友達とコーヒーを飲んでいた。マーサーと数分間、話す時間をもらった。マーサーに何故スパイをしたのかと尋ねたら、マーサーから、金銭的に厳しい状態であったからだという答えが返ってきた。ブルースは寛大にも許してくれた。ブルースに、今年の春から、ピンチヒッターの駐在作家として来ないかと勧誘された。マーサーはここに留まり、11 年前に死亡している祖母のテッサのビーチでの生活、孫、そして、若い男性とのロマンスについての小説を書くつもりであると言って断った。ブルースは、いつでも島に戻ってきてもよいから、そして、小説を完成させたらお祝いをしたいと伝え、最後に、マーサーの頭にキスをして去った。「とうぶんさようなら」。

著者のメモ
プリンストン大学への謝罪をお許し下さい。ウェブサイトが正確であるのなら（不正確であると信じる理由はありません）、F. スコット・フィッツジェラルドの手書きのオリジナル原稿は、ファイアストーン図書館に実際に収納されてています。私は直接、これを確かめたわけではありません。図書館も見たこともありません。また、この小説を執筆中も遠ざかっておりました。これらの原稿は、地下室、屋根裏、武装した警護員のいる秘密の埋葬所にあると思われます。私が、この点を確かめようとしなかったのは、読者を間違って方向に誘導したり、凶悪な考えをもって蛮行に走ったりすることを恐れたからです。私は、本の売買よりも、本の執筆の方がはるかにたやすいことを知っております。本の売買、レアブックの世界については多くの関係者の協力を得ました。ここに謝意を表します。

65 冊 “This was a man”(The Clifton Chronicles, Book 7) by Jeffrey Archer (507 pages) PAN BOOKS (2016)

The Clifton Chronicles のこれまでの粗筋は、下記をご覧ください。
47 冊 “Cometh the Hour”(Book 6) (691 pages) Thorndike Press (2016)
46 冊 “Mighttier Than The Sword”(Book 5) (677 pages) Thorndike Press (2015)
18 冊 “Be Careful What You Wish For”(Book 4) Macmillan
9 冊 “Best Kept Secret”(Book 3)
8 冊 “The sins of the father”(Book 2)

カリンは、継父に裏切りものと言われ、ピストルで撃たれた。病院に急送され、奇跡的に救命された。エンマは、バーリントン船舶会社の後継者にサイモン・ドーキンを抜擢して経営権を譲り、自らは、病院の経営で満足した。ホン・フレディー・フェンヴィックは、生みの母であるレディー・バージニアに捨てられ、こっそりとカリン＋ジャイルズを訪れた。
セバスチャンは、刑務所にいるメラーに面会に行った。ファシングの会長は、メラーの提案を断った。メラーは、殺し屋のゲイであるナッシュに殺人を依頼した。メラー・トラベルの会長のスローンは、スローンが泳げないことを知っていたナッシュとソルキンにより海に落とされ死亡した。また、デスモンド・メラーが報道された。

セバスチャンは週末を両親と過ごした。父のハリーは、デスモンド・メラーの死が自殺、そして、スローンが行方不明になっていることに、不信感を抱いていた。メラーはどうして、急に1万ドルの現金が必要になったのか？もし、メラーが30日間以内に10万ドルを返せない場合は、メラートラベルの55%で終わってしまう。メラーは地方のビジネスマンであるノールズを介して、バージニアからお金を調達してもらったのだろう。
ジャイルズは、バージニアから遺書のコピーを15000ドルで貰った。デスモンド。メラーは娘のケリーに財産の移譲をするという遺書であった。セバスチャンは、それをケリーに届けにシカゴまで行った。
重役会議室では、メラー・トラベルの次期社長を決める投票が行われようとしていた。そこに、シカゴから急行したケリー、セバスチャン、アーノルド、クックが入ってきて、決選投票を勝ち取った。次期会長に就任したケリーは、夜、バージニアに「計画通りにいった」と報告をした。なんと、二人は通じていた。ケリーは父親のメラーがバージニアの世話になっていたからだ。
バージニアは、兄弟のアーチ―に、「父は、遺書に、醸造所を我々に移譲すると記していた。その後、気が変わり、フレディーに渡すと変更した。フレディーとは何の血縁関係もない。我々がもらいうけるべきだ」と主張したが、アーチ―は取り合わなかった。バージニアは仕方なく、アルゼンチンの遠い従弟に連絡を取ろうと思い立った。バージニアは、ラビニアの夫であるペリー侯爵に近づき肉体関係を結び、誘惑して185000ドルの税の支払いをさせる計画を立てた。セバスチャンには、息子のジェイクが生まれ、娘のジェシカとともに、幸せな毎日を過ごしていた。しかし、娘のジェシカは、大学で絵の才能のあるパウロ・レイナルドに惚れて、バーでパウロと一緒のところを、たまたまそこに居合わせたバージニアに見つかってしまい、飲酒運転すると警察に予告の電話をいれた。パウロの運転する車は、警察の追跡に会いスピードを上げたため警察の車と衝突してしまい、スピード違反で逮捕されてしまった。パウロはスピード違反の罰金を払って、アルゼンチンに戻った。ジャシカは、帰宅を許された。ジャシカは、父にもう二度とこのようなことをしないと約束した。しかし、翌朝、新聞にジャシカの記事が掲載されていた。セバスチャンは、ジャシカの才能を伸ばすべきであることを主張して、何とかジャシカに大学を卒業できるように計らった。バージニアは、デイリー・メール誌にブリジウォータ侯との婚約の噂を載せさせ、ペリー侯を焦らせた。ペリーは騙され、バージニアの家に赴き結婚を申し込んだ。二人は結婚した。ペリー侯は心臓発作を起こしていたので、食事制限が必要であるにも関わらず、夫の死期を早めるために、無理やり脂っこい食事をとらせた。そして、夫は、予定通り夫を死んでくれた。ハワード家の前妻の子供たち、クラレンス新侯爵、継娘のカミラらが集まり家族会議になった。ハーワード家の法律条文と夫に遺志に従い、バージニアは権利放棄に会い全てを失った。亡夫の土地にある小屋敷にバージニアは住むことができるが、バージニアの死後は没収されることになった。公爵の甥のトリスタンが、バージニアの部屋を見に行ったとき、骨董品がカタログが見つかかった。カタログのカバーには、1462年明朝時代の国宝の二つの花瓶が載っていた。バージニアはそれらを競売に出そうそしていたのだ。バージニアは、ワーワード家から、花瓶を返してもらえば、これ以上苦しめないと約束された。いわれた通り、バージニアは花瓶を返しにいったが、クラレンス、カミラが窓から見ている前で、花瓶を落として壊してしまった。ざまあみろ。
セバスチャンは、ジョン・アシュレイに主要な銀行のCEOに抜擢し、ビクターを副会長を推薦した。

ハリーは 70 歳、妻のエンマは、71 歳になっていた。邸宅はセバスチャンに、宝石類のほとんどは、サマンサ、ジェシカ、ルーシーにすでに渡していた。ハリーは前立腺癌に罹っていた。転移が見つかり、手術することになった。
エンマはジャイルズに勝利した。ハリーが最初に生まれているのでバリン家を継ぐことになる。ジャイルズとカリンはベルリンに行き、28 年ぶりに東西ドイツは、再統一した。ベルリンの壁は壊れた。カリンはジャイルズに昔住んでいた家を案内した。
ジョシュア・バーリントンが、バーリントン海運会社の創立者であった。毛ナードに、6800 万ドルで売った。ジョシュアに乾杯。
エンマは、皆に 1 年の豊富を聞いた。サマンサは、ウォレス・コレクションの副会長に応募する。セバスチャンは、叔母のグレースにお金を作る。ブレースは、学生を大学に進学させたい。ジェイクはブレースに残って欲しい。カリンは、マースデン慈善信託の委員会に参加したい。ジェシカは、ターナー賞を狙いたい。DNA レポートにより、アーサークリフトンはエンマの父であることが判明した。エンマは、体調がすぐれない。筋肉萎縮症。 s

64 冊 'A Pale View of Hills' by Kazuo Ishiguro (183 pages) Faber and Faber Limited (1982)

Estuko Sheringken（私）は、現在イギリスに在住しており、戦争の傷跡の残る長崎で微かな希望を胸に懸命に生き抜いた若き日々を振り返る。ケーブルカーで長崎の稲佐山の上に登ったこともあった。思い出の中に登場してくる人物の人間関係を整理して、理解するのは、かなり時間がかかる。

私は、英国人の夫の間に、長女の Keiko と次女の Niki を儲けた。長女には、友達がおらず、家に引きこもって雑誌を読んだり、音楽を聴いたりして過ごしていた。家を訪れた時、首をつって自殺をしていた。

長崎では、Sachiko というアメリカ人と結婚して奔放な生活をしている女性と知り合った。Sachiko の娘の Mariko が幼い頃、迷子になり私は、Sachiko に捜索を頼まれた。川の対岸の土手で木から落ち切り傷を負った Mariko を見つけ出すことができた。Mariko は 6 歳のころ女性が自殺するのを見ていた。Sachiko の夫のフランクは、飲んだくれで、Sachiko が稼いだお金を酒と女に使ってしまった。こんなあてにならない男に娘の未来をまかせられるのか。しかし、Sachiko は神戸にいる夫の友人にお願いして送金をしてもらえば、アメリカに行ける。そこでは、日本よりも良い生活ができると思っていた。ただ、夫は好かないが。

私の記憶はあてにはならないものだ。私は、Jiro と再婚し、お祝いのご馳走を作ったこともあった。郊外の小別荘の中から、Mariko の声がした。そこには、誰かの子供を置き去りにした 70 歳位の老女がいた。父の同僚の葬儀から帰ってきたそうだ。Niki には、デイビッドというボーイフレンドがいるが結婚を考えていない。これから、Niki とイギリスに帰ろうとしていた。将来はどうなるのか。絶妙な曖昧さを残して物語が終わる。

63 冊 'Make me' by Lee Child (425 pages) Bantam Press (2015)　**図書番号　933　L 51　3010477**

真夜中に、見つからないように大柄なキーバーの死体が運ばれ、豚小屋の中に掘られた穴に埋められた。しかし、汽車の到着が５時間遅れ、渋滞が生じたため、尾灯を付けた車が長い列を作って通り過ぎたことが、犯人たちにとり大きな誤算であった。

ジャック・リーチャーは、行くあてもなく旅を続けていた。マザーズ・レストという変わった名前の町で汽車を降りたら、身長 175~178cm, 40 歳位のアジア系の女性が同僚を探していた。リーチャーは、この女性からモテルのある場所を教えてもらった。モテルには、30 室の部屋があった。空室も結構あったので、フロント係と談判し、１泊 60 ドルのところを 25 ドルで泊めてもらった。リーチャーは 106 号室、女性は、214 号室であった。片目のフロント係が、女が男をモテルに連れてきたことを、電話で誰かに通報していた。何か不穏な動きが感じられた。

ジャックは、早朝、この人口 1000 以下の小さな町を散歩した。食堂で、昨日会った女性と一緒になった。まだ同僚に会えていないようであった。彼女は、ミチェル・チャンといい、もと FBI（連邦捜査局）の特別捜査官をしていた。現在コネチカットで警察の警備員をしていること、そして、同僚のキーバーを待っていたが、彼に連絡が取れなくなったことを教えてくれた。リーチャーは、陸軍の警官として、詐欺、窃盗、殺人、反逆罪などの犯罪捜査の経験があり、今日この町で一泊するつもりであることを伝えた。リーチャーは、誰かが自分の動きを監視されていることを確信した。

キーバーのいた部屋に入ってみると、屑籠の中にメモが捨てられていた。そこには、電話番号とウェストウッドと名乗る男の名前が書いてあった。ウェストウッドは LA ジャーナルのジャーナリストであった。しかし、キーバーのことは知らないようであった。GPS をもとに、キーバーの家を探りあてたが、家の中には誰もいなかった。

リーチャーは、チャンの手だけのため、しばらくこの町に残ることにした。一夜を同じ部屋で明かしてからは、二人はより親密な仲になった。犯人たちにもそれがわかったようで、より警戒をするようになった。

チャンが図書館のメイン・スウィッチボードを調べていたら、ボランティアの住所が見つかった。しかし、マッカンの電話番号がわからない。犯人グループは、リーチャー達が、シカゴにいるマッカンに会いに行こうとしているのを何とか阻止しようと企んでいるようだ。携帯電話から、チャンとリーチャーの動きが筒抜けなようであるため、公衆電話を使って連絡し合うことにした。ピーター・マッカンは大変物静かで慎み深い老人である。妻を亡くし、成人した息子のマイケル・マッカンがいる。マッカンのアパートに行ってみると、ドアが開いていた。中に誰もいない。マッカンに電話しても出てこない。そこに、40 代の男が現れ、銃を突きつけられた。リーチャーは、隙をついて、腎臓と顔面にパンチを食らわせて、男を捉えることができた。男は精神的な弱みをもっており、誘導尋問により、名前が、ケイス・ハケットであることを漏らしてしまった。誰に頼まれたと詰問した。ハケットが気絶したので、隣に住む女性に水をもらいに行ったところ、ピーターがコンピューターを設置していることを教えてくれた。マッカンはどこに行ったのか？リーチャーはハケットの携帯電話、現金、銃を捕獲した。隣人からもっと情報を得たかったが、時間がなかった。ハケットの携帯電話のスイッチを入れて、緑のボタンを押すと、男がでてきた。大きな胸、太い首をしたロシア人のような響きであった。「ハケットは今病院にいる。メカンを殺した」と伝えたが、返事はなかった。ハケットは、カリフォルニア出身で、イリノイで武器を製造させていた。彼のボスはアリゾナに住んでいる。国家レベルの犯罪組織である。リーチャーは、マッカンがキーバーを雇ったのだと思った。

パロ・アルトから来た人類学者の男にネットで調べてもらった。インターネットには指紋がないため、マイケル・マッカンの社会保障番号も住所を探すことはできなかった。そこで、父のピーター・マッカンの社会保障番号からマイケルの社会保障番号が探した。そしたら、マイケルは、シカゴ市のリンカーン・パーク・アパート 32 号室に住んでいることが分かった。父親のピーターもシカゴ市のリンカーン・パークに住んでいた。マイケルは、若いころ、母親を亡くしている。

自殺にはいろいろな方法があるが、鎮静・催眠作用を持つネンブタールは、米国で、大量の動物を安楽死させるため、その使用が法的に認められている唯一の薬剤である。少量で人を殺せる。出荷しやすい。国際宅配で配送できる。900 ドルでラバを殺せる。マザーズ・レストのウェブサイトを調べたら、ネンブタールの商品の紹介が載っていた。アメリカでは、一年に 4 万人が自殺をしている。9 日毎に、マザーズ・レストの管理人サービスを使った場合、一年で 200 人を殺すことができる計算になる。殺人リストには、キーバー、マッカン、チャン、リーチャー、レ家の 3 名、計 7 名の名前が載っていた。

麻薬業者に近づき急襲した。３人の男と銃撃戦になった。リーチャーは、カフェテリアのカウンター客の給仕人と、モテルの片目のフロント係の二人を銃で殺した。３人目の養豚場の男は、逃走した。リーチャー達が近づくと、両手を上げて、降参した。リーチャー「キーバーの死体はどこにやった」。その男は、豚の方に視線を向け、豚に食わせことを仄めかした。チャンは思わず、銃で、男の喉元を射抜いた。リーチャーは、死体を豚に食わせ、キーバーの仇を返した。

マザーズ・レストは、昔のアラパホ・インディアンのなまりである。二語からなるようだが、実は一語である。それは、悪いことが生育する場所という意味である。リーチャーは、簡易食堂を出て、チャンの車に乗り、昔幌馬車隊が通った跡、衣料品限を過ぎ、西に向かった。やがて小麦畑が遠ざかって行った。

62 冊 ‘Prodigal son’ by Danielle Steel (371 pages) Dell (2016)　　図書番号　933　St 3　3010468

2008 年 10 月 10 日（金）、ピーター・マクドウェルは、勤務していたウィットマン・ブロードバンクがリーマンショックの煽りを受けて閉鎖され、仕事を失った。妻のアラナ、息子のライアン(14)とベンに「ストックマーケットが崩壊したことを告げた。ハンプトンにある家とニューヨークにあるアパートを売りに出した」と言った。

ピーターとマイケルは二子として生まれた。マイケルは、成績優秀であり両親から好かれていた。一方、ピーターは学校の成績が振るわず、両親から相手にされなかった。ピーターは 12 歳の時、飼い犬が川で流されているのに、近くを泳いでいたマイケルが救助しなかったために、犬を見殺しにしたことを目撃して以来、二人な険悪な仲になった。マイケルは、父親と同じく医学部に進学した。卒業後は、麻酔医への道を諦め、父親と一緒に地元の医者として働いていた。ピーターは、家族との隙間を感じ、ウォール・ストリートで名をあげることを考えた。ビジネススクールを卒業し、USC 卒のアナラと結婚した。アナラの父のガリー・タロンは資産家であり、娘婿のピーターに資金援助をしたりして、幸せな日々を過ごしていた。しかし、不況が訪れ、家を売

りに出たピーターに不信感を抱き始めた。アナラは、貧乏な生活をしたくないので、子供たちを連れてLAに先に帰った。アナラの父は、油田開発、不動産で裕福な生活をしており、ピーターに一緒に仕事をしないかと誘った。しかし、ピーターは自分の仕事は自分で決めたいと思っていたので辞退した。

アパートを空にして、小さな居住者向きのホテルで生活することになった。ボストンの投資銀行は、ピーターの履歴に興味を示し、ボストンまで面接を受けに来ないか誘われた。ボストンに行ってみると、景気がよくなったら、採用を考えると言われた。ピーターは昔、魚を釣った湖に家に行った。

マーガレット・ビギンズ・マクドウェル（マギー）は、パーキンソン病を患っていた。池でのスケート転倒事故以来、夫のマイケル、娘のリザ、家政婦のプルーディス・ウォーカー以外とは合わなかった。息子のビルはロンドンの大学の経済学部に留学中でいなかった。マギーは体が弱くなった。

アラナから、離婚話を持ち出された。また、サザンザンプトンの家をアラナの手放したため、湖畔の家しか残らなかった。スーパーマーケットで、偶然マギーに出会い、元気になった。ピーターは、娘のリザにも好かれたようだ。地元のレストランでハンバーグとフレンチフライを頼んだら、幼馴染のバイオレット・ジョンソンにも会えた。ピーターとマイケルは険悪の仲であることも地元では有名だ。

マイケルはマギーにピーターに近づかないように言った、マギーは、「もう46歳になったのだから、和解したらどうか」と持ちかけた。ピーターは、マイケルに再会した。マイケルはピーターを家に呼び、一緒に食事をしたり、釣りにいったりした。ピーターは、マイケルと仲直りできたことを嬉しく思った。湖畔の家で見つけた母の日記を読んで行くうちに、父そして、癌で亡くなった母に対して何もしてやれなかったことを悔やんだ。ピーターはその後、ウォール・ストリートで財を成したが、マイケルは地元の医師として質素につつましく生きていた。ピーターは、ライアンとベンを連れてサンフランシスコに遊びに行った。その時、ベンから「母に、ブルースというボーイフレンドがいる」ことを聞いた。

ピーターに、イギリスの投資会社から面接したいという知らせが届いた。イギリスに着いたピータは、マイケルの息子のビルに食事に誘った。二人は体格、風貌がそっくりであった。その時、ビルから「父のマイケルは、二年前に祖父が亡くなり、母が遺産を受け取った後、母を殺して、遺産を独り占めすることを企んでいる」と聞かされた。しかし、ピーターは信じようとしなかった。アメリカに帰り、湖畔を歩いていたら、見知らぬ男が近寄ってきて「癌患者であった父は、マイケルに多額のお金を寄付したが、殺されてしまった」と怒鳴られた。

マギーは肺炎になり、２階に隔離された。酸素マスクをされ無意識状態で眠っていた。ビルからピーターにメールが入った。「除草剤のパラコートは、パーキンソン病の症状を起こす。母の毛を採取し、ボストンのラボで、パラコートが含まれていないか分析してもらえないか。そしたら、毒殺されようとしているかが分かるから。」ピーターは、「やるが、もし間違ったら、ビルお前は精神病院に行き、もう俺に電話しないと約束しろ。ラボの住所を教えてくれ」と返事した。

審査結果が届いた。予想通り、毛髪からパラコートが検出された。ビルはイギリスから帰国し、ピーターは、警察署にいるマイケル友人のジャック・ネルソンに捜査を依頼した。ジャックは乗り気ではなかったが、やむなく、マイケルには極秘で、再度、マギーからの毛髪を採取し、

マイケルの家にあった薬品類や不審物を回収して全てボストンのラボに送った。容器からは、マイケルの指紋と、致死量のパラコートの粉末が検出された。その結果を受け、マイケルは逮捕され、手錠を嵌められた。妻のマギーに対しては、至急チャーコールで、毒物の作用を中和する応急措置が取られた。

マイケルの逮捕の記事が新聞に載った。しかし、リザや、付近の多くの人々は、ピーターの地域に対する献身ぶりを知っていので、信じようとしなかった。マイケルの親友のジャックも、ピーターが、もしかしたら、離婚して、お金欲しさに企んだのではないかと考えていた。ピーターは、マギーが依然として衰弱しているので、マイケルの逮捕の件は伝えなかった。

ピーターは、旧友の兄のボブが郡書記をしているので、マイケルに贈与されたお金について調べてもらった。4 件の家屋と、老人からは 20~30 万ドルもらっていたことがわかり、これにマギーからの遺産が手に入ったら相当な額になるはずだ。マイケルはなんためにこのようなことをしでかしたか？マギーは依然として夫の殺人を信じていなかった。リザは、最初は、ピーターが父のマイケルを陥れたとものと思っていた。リザは、父のいる刑務所を訪ねた。マイケルの味方はリザしかいない。最後にリザがマイケルに会った時、マイケルはリザを拒絶するようになっていた。ジャック・ネルソンは、9 体の遺体を発掘したところ、いずれも筋弛緩作用のあるサクシニルコリンが同じ部位に投与されていることが分かった。ジャックは、ピーターに「あなたのご両親もマイケルに毒殺された」ことを告げた。マイケルは 11 件の殺人で起訴された。マギーは家を売るつもりでいた。ピーターも湖畔の家を売ることを考えていた。朗報が届いた。ピーターにイギリスの信託会社から、9 月 15 日から雇用したいという申し入れがあった。

ピーターは、マギー、リザ、ビルの 4 人は、クリスマスをロンドンで過ごした。そこに、ロスからベンとライアンが合流し、楽しい時を過ごした。マイケルは罪があるのに、何故今更裁判をしたがるのか？地域の人々は、今はピーターに味方するようになっていた。マギーとビル、ピーターは、リザをロンドンのクラスメートの家に残し、裁判のために一旦帰国した。陪審員は、男性 8 名、女性 4 名、そして、補欠の女性 2 名であった。マイケルの弁護士は、マイケルは瀕死の患者を安楽死させただけなので、麻酔薬を持っていても問題はないはずだ。また、マギーも自殺を考えていた」と弁解した。裁判は長引きそうだ。ピーターとマギーは、川に浮かんだ筏を見ていた。そこで二人は、高校生の頃、キスをした思い出がある。バイオレットからも、無料の食べ物が届いた。

最終公判の日、マイケルは、「ピーター、お前は、ウォール・ストリートで華々しく活躍した。俺は、地域で患者に世話ばかり、日の目を見なかった。お前が憎い。お前は、そんなことをしたことがあるか？」。判決が下された。「被告人は、11 件の第 1 級殺人、マーガレット・ビギンズ・マクドウェルに対する計画的な殺人未遂で有罪」。法廷では叫び声が聞こえた。

ピーター「今、言っていい時ではないかもしれないが。愛している。これから、私は、あなたが経験したことに対して償いをしたい。私の兄はモンスターだ。あなたは兄には何の意味もなかった。しかし、あなたは、私には全てである。」。ビルはロンドンのリザに「タカが降りてきた（キスをした）」とメールしたら、リザは、ロスのライアンとベンに転送した。ピーター、マギーとビルはリザのいるロンドンに旅立って行った。

61 冊 'Blue' by Danielle Steel (322 pages) Delacorte Press (2016)　図書番号　933　St 3　3010495

ヴァージニア・カーター（ジニー）と夫のマークは、TV ニュースの仕事で出会ったゴールデン・カップルであった。1 人息子のクリストファー（クリス）とビバリーヒルズで幸福な日々を送っていた。3 年前、クリスマスの二日前の友達のホリディー・パーティでは、子供たちやサンタクロースにも会えるとあって、クリスを連れて出かけた。マークは、ワインを飲みすぎ多少酔ったようであったが、気にせず、車を運転して帰途に向かう途中、フリーウェイで自動車事故に会ってしまった。ジニーは何とか病院で手当てを受け救出されたが、夫と息子は、戻らぬ人となってしまった。失意のジニーは、ネットワークの仕事から離れ、ニューヨークで、人権保護グループの職を探した。現在、36 歳になったジニーは、世界の後進地域で、人権労働者として働くことに生き甲斐を見出そうとしていた。アフリカ南西部のアンゴラから、緊急救助活動の任務を終え、ニューヨークに帰る前に、ロサンゼルス北東のパサデナに住む姉のレベッカ（ベッキー）(40 歳)と会った。ベッキーは、エレクトロニクスのエンジニアのアランと結婚し、チャーリー、マギー、リジーの 3 人の子供を育てていた。10 年前に母を亡くし、72 歳になるアルツハイマー認知症の父の介護と、３人の子供の世話で天手古舞であった。

ジニーは、自分は何のために生きているか悩みはじめていた。自動車事故で、夫と一人息子を失い、川から投身自殺をしようと、橋の欄干に手を置いたその瞬間、すぐ近くで、子供の助けを求めている声が聞こえた。ジミーは、小屋に潜んでいた子供を、自分のアパートに連れて行った。子供は、13 歳で、青い目をしていたため、母親から、ブルー・ウイリアムズと名付けられた。母は、5 歳の時死別し、父も数年前に無くしている。ジニーは、ブルーをマクドナルドに連れて行き、ビッグマックを 2 つ買ってやった。

ジニーは、聖サイナイ病院で看護婦の補助をしている、ブルーの叔母のシャーリーンから話を聞いた。シャーリーンには子供が３人いたが、ブルーの親戚は自分しかいないので、仕方なくブルーの面倒をみていた。しかし、ブルーは、シャーリーンのボーイフレンドのハロルの暴力に耐えきれず、家を飛び出して、避難所に住んでいた。ジニーは、ブルーに鞄を買ってあげ、来年から高校に進学できるように、中学に行かせた。

ジニーはアフガニスタン東部のジャララバードに行き、難民の手当てや救助活動をした。ブルーから e-メールが届き、学校ではラップトップのパソコンが盗まれそうになり、学校に通うのが嫌になった、と書かれていた。ブルーは、ジュリオ・フェルナンデスの説得も聞かず、学校から去っていった。難民救助隊の医師が狙撃されたため、女性の長期滞在が許されなくなった。ジニーはニューヨークに戻ったが、ワシントン DC の上院聴聞会で、アフガニスタンの窮状について報告したところ、聴衆に強烈な印象を与えた。ジニーは、DC に向かう途中、ペン駅で若者の集団に中に、ブルーを見つけた。シャーリーンには、ブルーをアパートに引き取ったことを伝えた。ジニーの部屋を作り、家具を買ってあげた。通常の学校に行くよりは、ラグアディア・アート音楽学校に通った方が、ブルーには向いていると言った。ジニーの夫の友人のケヴィン・キャラバンと電話で話した。「アフガニスタンは危険なので、行くな。こちらでも何かできることがあるはずだ。」

父を見舞うために、ジニーはブルーを連れて、LA の姉の家を訪問した。ブルーは、同い年のリジーに音楽の話をし、ピアノを弾いてあげた。ブルーは、ベッキーの子供達と、すっかり打ち解け、楽しい時を過ごした。

ジニーは、シカゴの聖フランシスのテディ・グラハム神父に会いに出かけ、ブルーに対して虐待をしたかどうかを、確かめようとした。しかし、証拠がない。シカゴにテディがいるのは、追放されたためのではないか。帰り際に、子供を誘惑する場面を目撃した。ケビンの紹介で幼児虐課に電話したら、ジェーン・サンダース捜査官を紹介してもらった。ジェーン・サンダースは、全力を挙げてこの事件の解明に取り組むことを約束してくれた。弁護士のアンドルー・オコーナーに、ブルーの警察への陳述書を見せた。アンドルーは、「ブルーが受けた虐待に対する償い金がもらえるようにしてあげたい。同じ虐待に脅えている子供がたくさんいる。公益のため無償でやってあげる」と言ってくれた。アンドルーは、サンダース刑事と連絡し、民事訴訟を起こすことを提案した。ジニーは二人を信頼した。

ジニーが２ヵ月間シリアに行っている間、ブルーはシェルターに戻った。ファーザー・テディーは、シカゴに行っても相変わらず子供の虐待を続けている。ジニーとアンドルーは、高位聖職者（モンシニョル）と会う約束がとれたが、LA のベッキーから父が死去したとの通知を受け、延期になってしまった。ジニーは、ブルーを連れて、LA に父の葬儀にために出かけた。ベッキーから、ブルーの面倒を見る必要はないということ、神父を非難することはよくないと言われ、落胆した。しかし、ベッキーの子供たちとブルーは楽しい時を過ごしていた。ピアノを弾いて歌ったりもした。シャーリーンから、ブルーの後見人にはなりたくないと言われ、自分がブルーの後見人になる決心をした。ジニーは、アンドルーと一緒に、モンシニョルにブルーが虐待を受けたことを訴えに行ったが、カバレッティ・モンシニョル代表は、神父を庇うのみで、非を認めようとしなかった。ジニーは、インドへの支援活動を頼まれたが今回は辞退した。ブルーの誕生日に合わせて、アンドリューは、ジニーとブルーをニューヨークヤンキースの野球試合に連れて行った。なんと、スコアボードには、アンドリューの計らいで、誕生日おめでとうの字幕がライトアップされた。アンドリューは、二人をヨット航海に連れて行った。

その後、テディーの被害者が続々と現れたが、教会側は依然として認めようとしなかった。セラピストも、ジニーはブルーの保護者としてふさわしいと述べてくれた。ジニーの記事がポストとエンクワイアは大きい反響を与えた。ジミーはブルーの世話に専念し、救援活動はしばらく停止した。神父側も、ようやく、ことの重大性に気づき始めた。

ブルーは、ラップトップとセルフォンをもって家出した。ジニーは、新聞記事をみて、多くの人に迷惑をかけ責任を感じたに違いない。実は、アンドルーにもブルーと同様神父に誘惑された経験があり、ブルーのような被害者を救ってあげたいという願望があった。アンドルーは、ジニーの肩を抱き、キスをしたところ、ジニーもキスを返した。二人は、お互い好意を抱いていたことを初めて知ったのだ。二人は、ジニーを探しに行った。案の定、小屋にいた。ブルーを家に連れて帰る途中、一年前に、川の飛び込もうとしていた自分を思い出した。ジニーは、ブルーに、養子として引き取りたいと言ったら、ブルーは涙ぐんで承諾してくれた。アンドルーは、時間がかかるが大丈夫だと言った。

モンシニョール・カバレッティーは、アンドルーとジニーと再度会見した。ファザー・テッドは、保釈金で出獄していたが、その後新聞記事では触れていない。テッド・グラハムは、有罪を認め、ブルーに 1700 万ドルが 21 歳になるまで委託されることになった。

ジニーは、エレンから、ニューヨークのメイン・オフィスの SOS/HR の仕事を引き継いで欲しいと言われ、承諾することを決意した。サラリーも良いし、世界を放浪することもないので、ブルーの世話ができる。ブルーとアンドルーも喜んでくれた。ジニーはブルーにピアノを買ってあげた。ブルーは、12 月のリサイタルの準備をしている。夫と息子を失ってから 1 年目を迎えようとしていた時、ブルーに出会い、彼女の人生、そして、ブルーの人生は大きく変わった。奇跡としたいいようがない。

ブルーの 15 歳の誕生日は、人生で最も重要な日になった。その日、ベッキー夫妻と子供たちの立ち会う中、ジニーは、ブルーを正式に養子として引き取ることが決まった。古い記憶は消え失せ、新しい絆が作られて行く。何も不可能なことはない。

60 冊'NYPDRED4' by James Patterson (332 pages) Little, Brown and Company (2016)　図書番号 933　P 27　3010557

レオポルド・バセット（レオ）と宝石商のマクスウェル・バセット（マックス）は兄弟である。女優のエリーナ・トラバースは、婚約者とドライブ中に、銃殺された。従軍カメラマンがその写真を収めていた。エリーナの葬式が行われた。エリーナの携帯電話には、エリーナのネックレスのデザインをしたマックスの電話番号があった。

私（ザカリー・ジョルダン刑事）は、4 年前に、一度離婚歴のあるチェリル・ロビンソンと出会って以来、恋人関係になっている。

聖セシリア病院では、持ち運べる心臓超音波診断器、麻酔器が盗まれた。2 ヵ月で、9 件の病院が盗難に会い、2 億ドルの損害を受けた。ニューヨーク市長のムリエル・サイクスの夫のハワードから、私と相棒のカイリー・マクドナルドは、患者を心配させないために、秘密裡に、犯人を捜してくれないかと頼まれた。本当のところは、公になると、寄付金集めや、資金の調達に支障をきたすからだった。カイリーは私の前のガールフレンドであったが、現在は、アル中のスペンス・ハリエットと結婚していた。スパンスは、行方不明になった。新しく 6 つの透析器が盗まれた。

テディー・ライダーは、強奪を行ってから眠れない。パートナーのレイモンド・デイビスは引き金を引いたが、自分が悪いのではないと断言した。

私は、チェリルの手料理をご馳走になろうとしていた矢先、カイリーから電話が入った「スペンスに麻薬を売っているベイビーD こと、ダミアン・ヒルスボローを探し出した。彼は夫の腕時計をはめている。来てくれないか？」。私は、チェリルの作ったラザーニャ、ガーリックバン、ワインに手を付けず、捜査に出かけた。ベイビーD を逮捕したが、夫の居場所を話してくれなかった。

機密情報提供者のクウェンティン・ラトレル、別名 Q・ラビッシュから前科のあるテディー・ライダーとレイモンド・デービスを探す様に言われた。彼らは、刑務所で、一緒に寝泊まりしており、運命を共にしている。

デービスの住所を調べ、彼の PO（仮釈放者を管理する役人）であるブライアン・サンダスキーに電話して協力を得ることにした。デービスとライダーの住んでいる建物に行って見ると、床か

ら階段に血痕が残っていた。3 階のドアを抉じ開けて中に入ると、額を銃で撃たれたレイモンド・デービスの死体が横たわっていた。２発目の弾は、部屋の反対側の壁土に受けもまれていた。銃弾の口径がエリーナ・トラバースを殺したのと同じであった。デービスの相棒がエリーナを殺し、800 万ドルのネックレスを奪い、売り払ったと思われた。テディー・ライダーを探すことになった。4 階のアパートの住人の防犯カメラのビデオには、テディーが 9:37 に 3 階に歩いて行った。4 階のカメラには映っていなかった。9:44 にテディ・ライダーが血を流しながら、階段を降りて行った。犯人は白人で、35 歳以下、約 6 フィートの高さであった。警察署で画面コピーし、市の全ての警察官に送った。

テディ・ライダーの母のアニー・ライダーは、負傷している息子から電話をもらい、至急家に来るように言った。母は、以前看護師の助手をしていた時、モルヒネのアンプルを盗み、近所の麻薬常用者に売っていた。アモキシシリンを４錠飲ませ、スミルノフ・ウォッカで消毒した。テディーは母親に、「私を撃ったのは、私とレイモンドに強盗をさせたジェレミー・ネヴィンだ。車の後部座席に乗っていたエリーナの高価なダイアモンドのネックレースを盗んだ。レイモンドがエリーナを殺した」。テディーは、ジェレミーの頭を叩いてグロッキーにさせ、ダイアモンドを奪い返し、母親にプレゼントした。

ハワード・サイクスは、リチャード医師を我々に紹介した。彼が言うには、「新しく、肺活量測定器が設置される。昨夜、シリコーン製マスクをした、スクラブを着た４人組の一人が銃を突きつけられた。手と足をしばられ、猿轡をされた。彼らは、装置を担架に乗せ、シートを被せて持ち去った。」

だが、ハワードは、リチャードの本名も、連れの人物も知らない。レイモンド・デービスの銃弾と、エリーナを殺した銃弾は一致した。レオとマックス兄弟に写真を見せたが、情報は得られなかった。レオとマックスは、以前、三回も盗難に会ったと見せかけ、合計 1900 万円の保険金を稼いでいた。宝石泥棒をしたことがある。マックスは野生の絶滅危惧動物を飼育して、殺して死体を高額で売りつけていた。兄弟は、プレシオ・ムンドと契約して大金を得るそうだ。マルコが殺された。

これまでの犯人の足跡をたどると、同じものを二度と盗んでいない。まるで、盗んだもので病院を作ろうとしているようだ。次に狙うのは、ハドソン病院の乳房エックス線写真装置（マンモグラフ）だろう。

ジェレミーは、すでにレイモンド・デービスを殺しているが、テディーを殺し損なった。アニーは、ジェレミーに会うため、指定された場所に、バックの中に人工のネックレースを忍ばせて出向いた。そこで、ジェレミーとお金を交換した。ジェレミーはルーペでそのネックレースが偽りのものであることを知り、交換をせず、怒ってその場から帰った。ジェレミーは、マックスから、レオを殺すように言われた。

カイリーの夫のスペンス・ハリントンはヘロイン中毒の末期症状、呼吸が永久に停止寸前であった。スペンスは、「生きる希望もない。一人で死なせてくれ」。カイリーは、ナルカン（ナロキソン塩酸）をスペンスの鼻にスプレーして一時的に回復させて、病院に搬送した。スペンスは、かろうじて生き返った。

バセット兄弟の館に向かった。死体が２体見つかった。ナイフで動脈を切られたレオの死体と、銃で射抜かれたジェレミー・の死体であった。マックス・バセットが所有している.357 マグ

ナ銃が見つかったことから、まず、ジェレミーがレオを殺し、そして、マックスがジェレミーを殺したと思われた。

マックスはラヴィア・ベグビーにファッション雑誌の第一面に「マックスが、レオの命を助けようとしたことを載せてくれるようお願いした。ラヴィアは会社のイメージアップのため、引き受けることにした。

私とカイリーは、この話をアニーにした。「ジェレミーは、レイモンド・デーヴィスを殺し、テディーを殺そうとした。我々は、レイモンドとテディーが、エリーナから盗んだネックレースを回収した。今、自首すれば、８年間の禁固で済むが、警察が先に逮捕した場合は終身刑なるがそれでも良いか？」

ネックレースは合成品であったが、精巧にできているので、しかし、それでも使い方によっては大金が転がってくる。

監視カメラには、デイブ・マグビーという男が、マンモグラフィーをビデオに撮り、セルフォンで送信している姿が写っていた。彼は、このところ毎日病院にきているようである。４名のジャンプスーツを着た男が、マンモグラフィーを盗んで逃走した。全ての出口をロックした。発砲があった。４名は分散して逃走した。そのうちの１名は、窓から降りて逃走中にガラスで傷を負った。私とカイリーはその男を追いかけた。電車に乗ったようだ。電車の床に血がついていた。電車を止めさせ、血の跡を追った。非常口から逃走した男を捕まえた。この男は、リック・ホークといった。出血多量で、病院に運ぶことにした。他の３人の男と、監視カメラを使えなくした女性も捕まった。私は疲れ切った身体で、アパートに帰ったら、やがて道化師のオペラを母と見に行っていたチェリルが帰ってきた。私は、眠りにつこうとしていた時、カイリーからの電話で起こされた。「ハワード・サイクスから、ケイツのオフィスにすぐ来るように」。そしたら、「リチャード・ホークは、以前、アフガンの自爆から市民と兵士を救出したことから、銀星章授与されたことのある国民の英雄であったので、見逃してくれ。盗んだ機器は、退役軍人のヘルス・クリニックに売りつける。」

おそらくバセット兄弟は、エリーナに偽のネックレスを渡してから、それを奪い、本物に保険金をかけた。過去 22 年間で、3 回窃盗に会い、1900 万ドルを要求して入手した。しかし、エリーナが殺されたため、ご破算になってしまった。テディー・アイダーは、偽のネックレスを本物と思い奪った。ジェレミーは、レオを殺し、マックスはジェレミーを殺して、1 人社長になり、800 万ドル以上の支払い金をもらえる。先ず、偽のネックレスを探すためにアニー・ライダーに会おう。警察が見つける前に、マックスが自分で作った養殖の水晶のネックレスを見つけなければならない。

アニーはテディーとマックスに会いに行った。通された部屋には、動物の死体が転がっていた。交渉は成立せず、マックスは、アニーを囮として逃走した。私とカイリーの乗ったバンは、マックスのランド・ローバーに２度体当たりされ、ひっくり返った。あたりの地理に詳しいジョン・ウットラフ刑事の車で追跡した。新しい車のタイヤ跡が見つかり、アニーの赤い綿のボールがみつかり、彼らは近くにいるらしい。銃声がした。アニーの頭から血を流して倒れていた。マックスにピストルを突きつかられ、私、カイリー、ジョンの３人の刑事は、手錠をはめられた。その時、一瞬の隙をつき、アニーはジョンが持っていたナイフで、マックスの胸を切りつけ、即死させた。

エリーナ・トラバースの死が弔われ、アニーの勇敢さが称えられた。アーヴィン・ダイアモンドは、市長の夫のハワードに、「病院は盗まれた機器を退役軍人のために寄付したらどうか。まだ、３か月した市長をやっていない妻のムリエル・サイクスの再選のキャンペンのために」。

カイリーは、夫と仲直りした。カイリーは、車でアトランタの病院に行き、夫を自宅に運ぼうとしていた。私は、チェリルから夕食の招待状をもらった。カイリーから電話があると困るので電話を棚に隠し、チェリーと愛し合った。

59 冊'Hope to die' by James Patterson (374 pages) Little, Brown and Company (2015)　図書番号 933　P 27　3010539

マルカス・サンディーは、「完全犯罪」に関する講義をするところから、物語は始まる。私（アレックス・クロス）は、目が覚めた。家に誰もいなかった。冷蔵庫のドアに５枚の写真が貼ってあった。その写真には、血まみれになった私の家族（アリ、後妻のブリー、長男のダモン、娘のジャニー、90 歳過ぎの祖母のナナ・ママ）が写っていた。家族が誘拐されたのだ。

それから一夜して、妻のイアリング、ブラジャー、パンティをした女性の死体が見つかったという通報を受けた。妻と血液型が同じで、おまけに妊娠 6 週であった。顔はつぶされており確認がとれない。しかし、子宮筋腫を患った妻はこどもが出できるはずはなし。多少疑念を感じた。

ティエリー・マルチと名乗るウェブサイト起業家が、息子のアリの学校で話をしに行っていたことが判明した。７人のティエリー・マルチが検索で引っかかった。マルチは、盗聴器を仕掛け、我々の家の習慣を調べていた。娘の携帯電話を盗み、ダクトテープで猿轡をされた家族の写真を送ってきた。警察に通報すると殺すといってきた。私は生きている気がしなかった。私、意気消沈しているふりをして、犯人を油断させる作戦にでた。アリが通っている小学校の校長のドーソンに、マルチは会いに来ており、名刺を渡していた。どうして、マルチは 10 時間程度で、家族全員を誘拐できたのか？誰か共犯者がいるのだろうか？夜、帰宅すると、顔をつぶれた男の死体が見つかった。

ティエリーの実家は、ホッグ・ホロー峡谷の谷間にあった。祖父の代から、豚を飼育していた。父の死後、14 歳で家督を継いだ。経営が苦しくなり、炭鉱会社に土地を売った。マルチは、18 歳の時に、クロスフィールド鉱業会社に所有地を 550 万ドルで売る契約書にサインした。価値のない山は、全部石炭に変わった。ティエリーの乗ったトラックが火災し、死体が上がった。ティエリーが死んだか否か不明のままであった。ティエリーは手に入ったお金を銀行に預けていなかった。無記名社債で支払う様に会社にお願いしていた。炭鉱トラックが怪物の様に、我々の車に突進してきたが、無事であった。

殺人科刑事のテス・アーリアーは、私は誘拐と殺人とは無関係であると思っている。マルチの期限まであと 1 日しかない。アーティカス・ジョンーズは、娘のグロシア・ジョーンズの携帯番号を教えてくれて、私はグロリアに「明日の午後２時までに誰かを殺すのを手伝ってくれ」。死体がマルチの家の中から見つかった。妻ではないはずだ。ダモンはキャンパスから連れて行かれた。ダモンが最後に会ったのは誰か？私は、アーティカスを慈悲的動機から銃殺した。サンデー味は、コンピュータースクリーンで、マルカスの死体を見ていた。「ティエリー・マルカスは、25 年ほど前に、焼死した。アティカス・ジョーンズを殺すことによって、私に恩恵を施してくれた。私に対する目撃者をもう一人消してくれたのだから。」もしかしたら、サンデーは、マルカ

スか？「もう一人、クロスに殺人をやってもらおうか。」。しかし、このビデオは、グロリアが旧友のリチャード・マルティノーに頼んでビデオを修正したのであり、アーティカスは死んでいなかった。マルカスに裏をかいたのだ。

(187~218 が落丁)

ハーバード出身のマーカス・サンディは、ディリー殺人事件、フォート・ワースの殺人に関与しており、その事件もとに小説に書いた。私は、サンディーに、「ティエルー・マルチが私の家族を誘拐した。お前は、マルチを知らないか？」とカマをかけた。サンディーは動揺を隠せない。アカディア・ル・ダックは、看護婦でありフリーランスの写真家であった。アカディアの看護学校時代からの旧友で、サンディーの元愛人のジリアン・グリーンはサンディーに殺された。

チェリー・マルチは、マーカス・サンディーと同一人物であった。ディリーとモナハンの殺人（完全犯罪）の本を書いたハーバード大出身サンディーは、自己中心的な男であり、小説には自分自身を書いたと思われた。アカディアは、マーカスの預金高口座を略奪し、お金をもってメキシコに逃げようとした。アルカディアはなぜ、父親を殺したのか？アカディアは、生家を訪ねた。家では、アルカディアの母が手口を縛られベッドに横たわっていた。マーカスに電話で、「アカディアは、マルチの共犯者であり、息子ダモンの誘拐に関与している。やがて写真が新聞のニュースに載るだろう」と脅した。マルチは、自分の母を殺した手口で、アカディアの母ののどを耳から耳まで深く切りつけて殺した。ワニがアカディアの腿に噛みついた。アカディアは病院で手当てを受けた。

携帯にマルチからメッセージが届いていた。「ニューオーリンズに行け。警察に連絡したら、一家は皆殺しだ」。私は、高速道路を車で走っていた。途中、トルネードの疾風にあい、車がガードレールに衝突して大破した。私は、車から抜け出した。警察や救援や質問に取り合っている時間がない。ヒッチハイクをして盲目のミネルバ・プストの息子フロスが運転する車でニューオーリンズまで運んでもらった。マンツとアーリアーは、アカディアが借りた車の中に、「船積の現金 2129 ドルの支払い」が見つかった。クロスに見せなければ。

波止場は、クレーンで持ち上げられる箱は墓場だ。家族は川を下るボートに乗せられている。フロスと母が見守っている中、私は船を借り、下流へと向かった。低温庫に人質の私の家族がいる。船のキャプテンに救急ヘリ、沿岸警備隊を寄越す様お願いした。

ジャニーとナナママに銃を突き付けられ、私はとうとう銃を捨てた。銃を持ったマーカスが妻に性的な暴力を加えはじめた。妻はマーカスの指を噛んだ。小指と薬指の第二指関節でほとんど喰いちぎれていた。マーカスの手から銃が落ちた、その瞬間、ナナママは、銃でマーカスの胸の中心を射抜き殺した。アアリアは、アカディア・ル・ダックのレンタカーの中に船荷のドキュメントを発見し、私の家族が多分、パンドラという船のコンテナの中にとじこめられていると悟り、急行した。私の祖母のナナママは、心肺機能停止の危篤状況であったが、無事復帰した。家族全員無事であった。ナナママの夫がいなかったら、サンディーを見つけ出すことはできず、また、ナナママがいなかったら、全員生きていなかったであろう。

58 冊'Cross Justice' by James Patterson (420 pages) Little, Brown and Company (2015)　図書番号 933　P 27

一家は、休暇をとり、DC からノースカロライナ州のスタークスビルにドライブした。そこは、かつて、父が住んでいた場所である。私（アレックス　クロス）の従弟のステファン・テートは運動の先生であったが、麻薬売買、10 歳のラショーン・ターンブルの殺害し、17 歳の女子高校生シャロン・ローレンスのレイプ事件の容疑で捕まっていた。裁判まであと 3 日しかない。

ステファンのフィアンセのパティは、ライフル銃で狙われたが、弾は逸れ、シドニー・フォックスを命中した。ラショーンの死体には、血液が付着し、首が鋸で切断されていた。ステファン、パティー、シドニーの 2 階建形式の住まいの地階で見つかったステファンの鋸には、ステファンの指紋とラショーンの DNA が付着していた。ステファンの指紋についたプラスチックのバックの中には、ヘロイン、コカイン、メタンフェタミンが入っていた。

フロリダ州のパームビーチでは、ルース・エイブラムスが、夫のチューリヒでの学会に出張中に首を吊って死んでいた（注：小説では、鬘をかぶり女装したココが殺害現場から出て行く描写がある）。

ステファン・テートの裁判が始まった。地区の女性警察官のテリラ・ストロングは、「ステファンは、薬物乱用のため学校や仕事から追放され、学生をレイプし、被害者のラショーン・ターンブルトに拒絶されたため殺害した」と主張した。ラショーン・ターンブルの身体から採取された精液中の DNA は、ステファンの DNA と一致した。さらに、ステファンの地階で見つかった刈込鋸には、ラショーンの DNA が検出された。シャロン・ローレンスは、テートが麻薬をやっていると発言し、形勢は不利になった。

マービン・ベルは麻薬の売買で儲けたお金で、プレザント・レークに大邸宅を建てた。ベルは、フィン・デービスを実の養子のように扱っていた。ベルから金銭援助を受けているローレンスは、裁判で偽証したに違いない。

私の父ポール・ブラウンは、アフリカ系アメリカ人であった。ペラリニから、私の父は、母を窒息死させた容疑者として逃亡中、撃たれて橋から峡谷に落ちた。父の消息を確かめるためフロリダのベル・グレイドに向かったが、33 年前にベル・グレイドの北 15 マイルのポホキーで死亡したと記録されていた。

フロリダ州南部のオキーチョビー淡水湖の黒泥の中からフランシー・ルトゥルノーの絞殺遺体が引き上げられた（小説では、パームビーチでココは、家にこっそり入り込み、盗みを働かそうとしていた元家政婦のフランシーを殺したという描写がある）。フランシーは、殺された二人の女性リーサとルースの女中をしていた。フランシーは、この女性達から宝石を盗んだことがあり、今回も、3 人目の名士に接近して宝石を盗むところを見つかり、殺されたもの思われた。マギー・クロフォードの死体が発見された。争った形跡はない。被害者のマギーも、同じ基金調達者のサークルにいたので、4 件の殺人はリンクしている。3 人には、同じハワイ出身の女中がいた。ルースとリーサの画像の隅にはココとサインがあった。

リチャード・S・ジョンソン警部は、「マイズ美術」のドアに、ココと名乗る魅力的な女性が来るのを目撃した。私は、銃をもち、家の中に入ると、２階では、老女のポーリンが猿轡をされ椅子に手を縛られていた。老女の後ろには禿げ頭の青ざめた女性ココが立っていた。ココは、男性で、女装してジェフリー・マイズに成りすましていた。ココは、３人のパームビーチでの殺人に

関与している。ココは、「店の景気が悪くなり、殺人をした容疑者からお金、宝石、衣服を盗んだ。女中のフランシーは盗みを働き、秘密をもらしたので殺した」と言った。そこに、ジョンソン警部とドラモンド部長刑事が駆け付けて、ココを逮捕した。

フィン・デービスは、貨物車が北方に向け出発する時、６人の若者が 3 本指の合図をするのを目撃した。この列車には車掌も乗客もいなかった。私は有蓋車に乗り込み、若い男を追跡して捉え、「3 本指は何の合図か？マービン・ベルと会社がなぜ怖いのか？」と尋ねた。フィン・デービスは、私に散弾銃を発砲してきたため、私は自己防衛で応戦し、フィン・デービスを殺した。マービン・ベルは、貨物輸送を利用してメタンフェタミンを販売しているのではないか。

裁判で、ナオミは、「FBI のテストで、テートの精液とローレンスの体液からは、薬物、アルコールは検出されなかった」と迫ったところ、シャロン・ローレンスは、「叔父のアービン・ベルの養子の故フィン・デービスが、裁判で偽証してくれれば、母の生活費として毎年 6000 ドル、また、ジャー・クロスのバックに薬物をいれてくれれば、さらに月 2000 ドル支払う、と勧誘され、それに応じてしまった」ことを認めた。

そこに、パームビーチ郡のピーター・ドラモンドマービン部長刑事が、ベルの手首を縛り、ピストルを突き付けて現れた。ベルは、とうとう白状した。モントリオールからマイアミの貨物車を利用し、コカイン、ヘロイン、メタンフェタミンの配送網を伸ばし、巨額の営利を得ていたこと。その金でプレザント・レークには別荘、ヒルトン・ヘッドには豪華なビーチフロントを、アスペンにはコンドを建て、世界中を旅行し、美術品を収集していたこと。養子のフィン・デービスは、前妻のシドニー・フォックスを撃ったのは、シドニーが麻薬輸送をステファン・テートに漏らしたからだということ。また、麻薬配送網を詮索しているステファンを、パートナーとともに追い払ってしまおうと考えたことを認めた。しかし、ラシュワン・ターンブルを殺害したのは自分ではないと主張した。

この殺人犯のパートナーは、ステファンと黒人の孫息子を消したかった。それは、ラショーンの祖父であり、受精会社のオーナーであり、化学者のハロルド・ケインであった。

また、ベルは、35 年前、末期癌患者の女性にヘロインを売っていたが、夫がヘロインの支払いができないため、夫をヘロイン過量投与で麻痺させている間に、枕で窒息死させた。夫をしばらく働かせていたが、使いものにならなくなったため、足をロープで車に結わいつけ、妻殺しと叫びながら通りを引き回した。その後、若い男たちに、銃で撃たせ、橋から峡谷の転落させた、ことも認めた。私は、思わず叫んだ。「一体お前は誰だ」。ドラモンドは答えた。「私は、お前の父のジェイソン・クロスだ」。

19 歳の孤児のピーター・ドラモンドは、カウンセルを受けるため、アリシア・マヤ牧師の教会に入った。ドラモンドは、海兵隊に所属していたが、戦争で人を殺すことに悩みピストル自殺した。ジェイソンは、ドラモンドと名前を変え、そして、アリシアと再婚した。

それから 2 週間と 2 日が経ち、アリシアも含め家族全員がスタークスビルにそろった。過去のことを認めあい、再起を誓いあい、そして、乾杯、「アーメン」。

57 冊’Depraved heart’ by Patricia Cornwell (466 pages) William Morrow (2015)

私（スカルペッタ）は、35 歳の姪（妹の子供）のルーシーを預かっていた。ルーシーは、ケンブリッジ法医学センターで FBI のインターンをしていた。その頃、リッチモンドでは、絞殺による女性連続殺人が起こっていた。1600 年代に建てられた、ジョージ・ワシントンやロングフェローが住んでいた２階建ての家で、若い女性の死体が発見された。犠牲者は、ハリウッドのプロデューサーアマンダ・ギルバードの娘のシャネル・ギルバートであった。シャネルは頭を強打し、床に横たわっていた。足跡も、自分の血を踏んでいた形跡もないことから、警察は、事故死と確信し、あえて科学調査も行わなかった。私は、蛍光試薬を床にスプレイしたところ、死体の足の近くに長方形の蛍光が現れ、口の中から出血が認められた。誰かが血をふき取った可能性もあり、家政婦がもしエアコンを付けていたら、死体の腐敗が促進して、死亡推定時期が早くなった可能性も無視できない。

ルーシーは大学のインターン時代に、キャリー・グレゼンから指導を受けていた。ルーシーは、FBI の監視、生体認証、データ管理のための技術開発を行う場所でインターンとして働いていた。その時、私が 90 年代後半に創造した情報ネットワークを、キャリーが盗んだ。それ以来、キャリーは、FBI の指名手配人物になった。キャリーは、ロシアとウクライナに逃亡後、アメリカに戻った。13 年前に、キャリーが乗っていたと思われるヘリコプターが墜落したという情報が入ったが、キャリーの生死は不明のままであった。

エリン・ロリア(38 歳)は、ミス・テネシーに選ばれるほどの美貌であった。エリンはキャリーとは FBI で一緒であり、仲の良いレスビアン同志であった。しかし、エリンが FBI ボストン地区に移動後、政府高官と知り合い結婚すると、エリンとキャリーは突然不仲になった。

キャリーは、サシャ・サリンという偽名を使い、政治家のボブ・ロサドのために、うしろ暗い仕事をしていた。10 代の息子のトロイを誘惑して、父のボブを殺した。キャリーは、トロイと逃亡した。

死体にはチェネル以外の血痕が付着していた。チャネルが、電球を変えようとしてバランスを失い、階段から落ちただけとは思えなかった。誰か家に侵入したのではないか？それは、チャネルの家政婦であろうか？それとも、チェネルは別の場所で殺され、死体が発見された場所に運ばれたのか？チェネルの胃内容物からは、シュリンプ、ネギ、ライス、ペッパーが検出された。

私は、不思議なビデオリンクをルーシーから受け取った。それは、ほぼ 20 年前に撮影されたルーシーの監視映画であった。バーミューダ三角水域で、私は撃たれて以来、記憶が定かではなくなった。ビデオには、ベントンと私は水面下 30m に、沈泥に横たわっていたドイツの貨物船内に、二人の警察官の死体が映っていた。チャネルは、バーミューダ三角水域でダイビングをしていた時、ルーシーもそこにいた。ルーシーのジェットに、チャネルが乗っていた

チャネルは殺され、ルーシーは家宅捜査を受けた。一人の警官が失踪した。写真には、ダイバーがサメの頭に乗っていた。怖くないのだろうか？チャネルは冒険家で怖いもの知らずであった。チャネルは不意を突かれて殺された。ほとんど裸の状態で殺されていたところから、親しい人物による犯行と思われる。急速な死体の分解から考えると、犯行は、昨夜とか今朝ではない。キャリーは、ルーシー、あるいはルーシーを取り巻く人たちを殺すためにリクルートされた。ルーシーは、チャネルとも「レズ」の関係であった。家政婦のエルサ・マリガンは、チャネルの死体を見ていると言っているが、母のアマンダ・ギルバートは、そんな人物は知らないと言った。この家政婦は一体誰なのか？

エリン・ロリアを含む４名が殺された。キャリーが、湿った床で、感電死させた。ベントンと私がギルバートの家の中にいる間に、キャリーが彼らを殺したのではないか。ハイドは、銅の矢で首の裏側をさされ、脊髄切開により一瞬で死亡した。FBI と CFC のデータベースがハッキングされた。

チャネルは、海軍の水中写真家であったが、軍隊を去り、アメリカ中央情報局で働くことになった。エルサ・マリガンはチャネルの別名であった。これはキャリーが自分をそう呼んでいた名前であり、死体を見つけた時、家政婦が使った名前でもある。

今年の夏は、ボストンホテルで殺された男のジョエル・ファガノは、中央情報局であった。ジョエルとチャネルは、同僚でありスパイであった。キャリーとチェネルの関係は不明であった。また、キャリーがどこにいるかもわからない。

56 冊'Gray Mountain' by John Grisham (368 pages) Doubleday (2014)

サマンサ・コファーは、弁護士がひしめくニューヨークの法律事務所で働いていた。しかし、リーマンショックの煽りを受け、プロジェクトは全てストップさせられ、失職してしまった。９つの法律事務所の就職試験に応募したが、全て不採用であった。サマンサの父母は不仲であり、一緒に暮らしたくないサマンサは、ニューヨークを離れたかった。バージニア州のブラディ（人口 2.2 万の都市）にあるマウンテン・リーガル・エイド・クリニックが弁護士を募集していることを見つけた。すぐ担当者のマッティーに、応募したい旨を伝えた。母親のカレンからプリウス車を借り、ブラディーに向かったが、途中スピード違反で捕まってしまった。車はレッカー車で運び去られ、自分は刑務所に送検された。そこに、運よく弁護士のドノバン・グレイが突如現れ、事件を解決してくれた。ドノバンには、５歳の娘が一人いたが、離婚していた。ドノバンの父のウェブスター・グレイは資産家であったが、洪水で家を流され、金策が尽き、母親のローズは自殺した。父親のウェブスターは消息不通である。それ以来、ドノバンは、マッティーと一緒の家に住んでいる。ドノバンは弁護士になり、炭鉱会社と戦っていた。炭鉱会社側からはいやがらせを受け、脅迫状などが届いたり、追跡されたりされた。サマンサは、マッティーから採用の通知をもらい、しばらくマッティーのもとで働くことにした。サマンサは、麻薬常用者の夫ランディの家庭内暴力の苦しめられている妻のフェーベの依頼人になった。

エコテロリストは、露天掘り施設を攻撃、爆破、ライフル、採掘トラックを使用不能にし、炭鉱用トラックを狙撃し、甚大な損害を与えていた。未だ容疑者はまで見つかっていない。多くの山が露天鉱になり、この地域は、癌や黒肺塵症（炭粉症）で亡くなる人が多い。マティー・ウィアットの父も被害者であった。

サマンサは、依頼人バディ・ライザーの病歴を調べた。バディは、X 線検査で右肺に良性腫瘍を認められ、病理診断の結果、黒肺塵症（炭粉症）と診断された。会社側は診断結果を隠蔽したが、バディには弁護士がついていなかったため公平な審査を受けられなかった。

ドノバンは、子供を失った事件（原告は、母のライザ・テート）に勝訴した。ドノバンは、飛行機事故で亡くなった。ジェフは、兄のドノバンは、彼らに殺されたと直感した。会社側は、ダムを破壊して洪水でアパラチア山脈近郊の住民、賃金の値上げを要求したユニオンの男たちを殺した。熟練飛行士のドノバンが死ぬはずはない。彼らが殺したのだ。クルル鉱業があやしい。

フェーベとランディ・ファンニングは、麻薬で逮捕され刑務所に入れられている。クルル・マイニングは、紛失した（会社の都合の悪い）ドキュメントをドノバンがもっており、アメリカの検察官にドノバンの法律事務所の捜査を依頼した。

サマンサは、カリー郡ノックスの町の川でジェフと待ち合わせ、一人漕ぎの丸底ボートで川を遡り登り、砂洲で降りてトレッキングを楽しんだ。二人は、山小屋で性交した。翌朝、ジェフは、グレイ山の周囲を歩き、ジェフが子供時代を遊んだという洞窟の中に入っていった。奥に部屋があり、テーブルの上に置かれた箱の中には、ジェフがクルル・マイニングから盗んだ（鉱山の災害の情報が記載されている）ドキュメントが入っていた。ドキュメントの入った箱は、FBIとクルルに見つからないように、ドノバンの共同弁護士のジャレット・ロンドンに渡さねばならない。

ジェフは、兄のドノバンがセスナ機でチャールストン空港に着陸後、7時間停留している時間に、不審な人物が飛行機の B-緩めたのではないかという情報が入った。バディー・ライザーは自殺した。バディーの葬式に立ち会ったサマンサは、バディーの娘から、「あなたは信頼できる唯一の弁護士」と言われた。サマンサとジェフは、グレイ山の洞窟に隠してある全てのドキュメントを取り返した。その結果、クルルの旗色が悪くなり，ジェリー、ロンドン、サマンサチームは勝訴した。サマンサは、マッティーにこれからどうするの、と尋ねられた。サマンサは、ロンドン、ジェフ、それから、ニューヨークのアンディーからのしつこい勧誘を振り切り、若干の給料を出してくれるというマッティーのところで、しばらく残らせもらうことした。アパラチアの人々を救援するためだ。

この小説は、アパラチア地方で、非営利で環境保護や、政策の訂正、炭鉱夫や家族の権利のために勤勉に働いている人たち、を題材にして作成された。

55 冊’Rogue Lawyer’by John Grisham (344 pages) Hodder & Stoughton Ltd (2015)

私（セバスチャン・ラッド）は、法律学校を卒業し市の公共弁護事務所でパートタイムで働いたのち、小さな非営利組織の犯罪弁護を担当したが、その会 社は倒産し、路上で生計を立てていた。私は、市から 2 時間のところにあるミ ロという町で、二人の少女の殺人事件で、脳障害を持つ 18 歳の中途退学者ガー ディーの弁護士をしている。ガーディは死刑の判決を受けていた。私は、現在、 ミロから 25 分のところにあるハンプトンのモテルで、運転手兼ボディーガード、 雑用係のパートナーと一緒に住んでいる。ガーディは、逮捕された。真っ黒に 染めた髪、首の上のピアス飾り、刺青、スチールのイアリング、冷たい青い目、 にやにやした笑い、罪人と思われても仕方ない。新聞では、「小児に性的な悪 戯をする凶悪はカルト集団のメンバー」と報じられて以来、ガーディは犯人扱いされていた。ミロのどの法律事務所も非協力的であった。一般的には、若い弁護士はもうからない事件を引き受けないので、私が引き受けるしかないと思った。ガーディが殺人を犯した証拠がない。病理診断により、二人は溺死し、 頭部外傷が死因であった。池に落とされる前にレイプされたかは不明であった。 警察は、スマット（ニックネーム）をガーディと同じ拘置所に入れ、情報を集め、ガーディを犯人と仕立て上げようとした。殺人裁判には最低二人の弁護士 がつく。私にはトロッツという弁護士がついた。ラットは夜変装して行動した。 タデオ・ダパラは 22 歳のキックボクサーであり、路上で育ち、めっぽう強い。 私は、ボクサーが壮絶な戦いを制して勝利した試合をコーナーで見ていた。ボ クシングを観戦していた 25 歳のがっしりした女性に呼ばれた。彼女から「私の 母のグリンナ・ロストンは、陪審員 8 であ

り、陪審員の間で議論はしていない」 ことを聞いた。どうもジャック・ビリーが怪しい。そこで、私は、友達に頼んで、ジャックと喧嘩させ、ビリーの額から血を採取させ、以前とっておいた少 女のくるぶしについた毛髪と一緒に DNA 鑑定をお願いした。最終裁判の日がやってきた。ラット側の６人の目撃者は、依頼人のガーディは、殺人現場の近く にはいないと証言した。これに対して検察官側の 24 名は、嘘の証言をした。そ こに、DNA 鑑定の結果が届いた。ジャックが真犯人であることが分かった。ビ リーは捕まり、ガーディは釈放された。 リンク・スキャンロンは、裁判官夫妻を射殺した容疑のため死刑の判決を受 けた。威厳のある裁判所が爆破された。主にガソリンによるものだ。夕方、万全の警備を引いたにも関わらず、回廊、検察官のオフィス、事務室が狙われた。 リンクが関与する暴動が起こった。 2 日前に前もって誰かが爆弾を仕掛けたよう だ。リンク・スキャンロンは、ヘリコプターを使い、屋根から劇的に消えた。 リンクはどこへ行ったのか？ ダグラス・レンスコ夫妻（ダグラスとキャサリン）は、静かな郊外に住んでい た。隣には、変り者が住み、その 10 代の息子（ランス）は、レンスコ家のルーターを使って、麻薬をインターネットで仕入れ２年間売買していた。警察は、 オンラインで麻薬の一斉検挙を行い、ダグラスの IP アドレスに行き着いた。やがて麻薬のエクスタシーの売買が分かってしまい、夜半に SWAT チームの急襲 を受けることになった。寝ていた夫妻は銃声の音で目が覚めた。２匹の犬が死亡していた。４人の警官がダグラス夫妻に 38 発の銃弾を放ったようだ。誰が撃ったかは不明である。妻も死亡し、重症を負ったダグラスと警察官のキースラーは病院に運ばれた。ダグラスは容疑者にされてしまい、私が弁護士を務める ことになった。侵入した警官が順に取り調べられ、共謀なビデオゲームの興味 を持つもの、飲酒運転の経験のあるもの、ガールフレンドに暴力をするような 連中であることが暴露された。ダグラスは、警察は、証拠もないままレンスコ 家に侵入し、そして発砲した。その銃弾が妻を射抜き、死亡させてしまったことを述べた。判決が下された。ダグラスは無罪、警官は殺人罪になり、私は、 崩れそうなダグラスを抱きかかえていた。 私（ラット）の息子のスターチャ・ウィットリーはリング脇でキックボクシ ングを見ていた。タデオは、1 ポイントでクラッシュに負けた。自分が勝っていると信じていたタデオは、常軌を逸し、レフェリーのショーン・キングを殴り 殺してしまった。このままだと、タデオは、禁固 10~30 年になってしまう。 約 1 年前、若い女性（ジリアナ・ケンプ）は、入院中の友人を見舞いに行った時、誘拐された。この時、ジリアナは妊娠 3 カ月であった。ジリアナの父は 主任警察官であった。監視カメラでは、野球帽をかぶり眼鏡をかけた若い白人 が運転する青いフォード車が駐車場を出てゆくのが映っていた。このプレート ナンバーが変えられていた盗難車は州立公園で見つかった。犯人は、ボーイフ レンドがジリアナにプレゼントした金のネックレスを質屋に売っていたことが 判明し、アーチ・スリンガーが容疑者として浮上した。スリンガーには窃盗、 麻薬売買の経歴があった。取り調べをしていたラッド（私）が弁護士として依頼され、引き受けることにした。アーチスリンガーが逃亡した。私の息子のス ターチャがトイレに行っている間に消え、絶望感に捕らわれた。私の息子は誘拐され、アーチスリンガーを探すためのおとりとして使われていることを知り 安心した。アーチ・スワンガーは。私の依頼人では決してなかった。彼は、私 にジリアナの死体が埋められていそうな場所を教えてくれた。しかし、そこに

3

行って掘り起しても、死体はなかった。ケンプは、スワンガーが言っていることが嘘だとわかり、私の息子スターチャーを開放してくれた。８名の SWAT チームと警察主任は解雇された。タ

デオから刑務所によってくれと頼まれた。刑 務所を歩いていると、刑事リアドンにあった。彼は、殺された二人の写真を見 せた。トゥビー（ダニー・ファンゴ）とレーザー（アーサー・ロビリオ）であ った。喉が切られていた。アーチ・スワンガーから電話があった。「会えない か。ケンプの娘は生きている」。ジリアナは出産した。彼女は奴隷になり、ヘロイン中毒になり、ストリッパーとして働いている。スワンガーの車で、ジリ アナのいるアトランタ地区に向かった。クロニクルのオンライン版に、ジリア ナ・ケンプが無事、救出された記事が載っていた。 タデオの最終裁判では、陪審員から同情の声が上がったが、レフェリー殺害 のビデオ、それから、５年前にドローで負けた試合後に、興奮してレフェリー に暴力をふるったこと映っているビデオが公開され、満場一致で、第二級殺人 の判決が言い渡された。タデオの家族は、私を必要としている。私はもううんざりだ。アーチ・スワンガーから慰めのメールが届いた。この町を出たい。戻ってくるかは定かではない。

54 冊’Ashley Bell’ by Dean Koontz (560 pages) Bantam Books (2015)

ビビ・ブレアは、母ナンシーと夫マーフィ―の間に生まれた１人娘であり、小説を書くために生まれた申し子であった。手に違和感を感じ病院に連れて行かれた。ＣＴ検査では結論が出ず、MRI と血液検査を受けたところ、大脳神経膠腫と診断された。一年の命と言われた。母は、絶望感に襲われた。夫はやけっぱちになり、ハーフデッキにビールを持って行った。誰かを殴りたくなった。

（病院で昏睡状態のビビは、記憶を行き来する。このあたりから、記憶に連続性が見られなくなり、ストーリーラインがつかめなくなる。）

ビビはぼんやり部屋を歩いたら、見知らぬ男の影を見た。左手が弱い。左足を引きずって歩いた。幻想だろうか？ビビは抗癌剤の投与を受けた。脳への圧迫があるため片頭痛がした。パクストン・ソープは、ダニー、ギブ、ペリーを引き連れ、フレイミング・アスフォールを追跡中であった。ビビは誰かがドアの血を拭き取るのを見た。

10 歳の時、ビビは、ジャスパーという捨て犬のことを物語りにした。2,3 週間後、ゴールデンレトリーバーが来て、オアフと名付けた。やがて脳腫瘍は緩解し、グリオーマが消えた。シャンドラ博士は、がんがあったという診断は間違っていない。がんが消えた理由は不明である。一般的ではないが、他の腫瘍は破壊され、吸収されて緩解が早いこともある。なぜ消えたか、がん研究者はしりたい。遺伝的なのか、身体の免疫能が高いのか、その原因が分かると多くの患者を救える。朝４時、看護婦と病院の雑役が不振の素振りをみせた。SEAL は、テロリストのアブドゥッラー・ガザリーと一門を探している。婚約者のパックスは、ビビが心配であった。ビビは両親から退院祝いと小説のお祝いをうけた。

40 歳位のカリダ・バタフライというマッサージ師が雇われた。3 年前（19 歳）のビビは、両親と暮らしていて 6 編の小説を書いた。19 歳にしては注目すべき作品であった。カリダはビビに、「癌から救われたのだから、誰か他人を救ってあげなさい」。パックスとダニーは、弾薬をつめ、アブドゥッラーの住家に攻撃した。彼らの任務は、アル・カザーリを見つけ、写真を撮り、DNA サンプルを採取することである。カリダの母は、拷問に会い、手足を切断されたことがある。捨て子のオアフは、血管血種になり 1~2 週間の命であった。ビビはバルビタールを大腿動脈に注射して安楽死させた。

ビビは癌が治った代償に誰かを救わねばならない。アシュリー・ベルはきっと悪者グループに捕まっているに違いない。アシュリー・ベルとは一体だれなのか？アシュリー・ベルを助けるため、ビビは、幼馴染みのポコにお願いして父に内緒で中古車のホンダを借りた。カリダ・バタフライがマーフィーのところに来てもう１年半になる。カリダの母のセーリアは、悪者達の拷問を受け、手足を切断された。テーブルの上には 13 歳のかわいい少女の写真が映っていた。これがアシュリー・ベルであった。ビビには何か自分に似ている気がした。アシュリーを悪者から守らねばならない。チャビー・コイと聖黒合博士は、悪者一味か？テレシュタットとアウシュヴィッツの生存者は、フォークナーあるはベルについて何か知っている。34 歳になるテレジンから、パーティーに来ればアシュリーに会えるのに。ビビは携帯を捨てた、ビビが見つけなければ、アシュリー・ベルは死ぬだろう。

ビビの母方の祖父グガンサー・オラフ・エリクソン（キャプテン）は、もと米国海兵隊の退職者であった。キャプテンにはナンシーとイーデスの二人の娘がいた。17 年前、両親がコンサートに行っている間に、キッチンで祖父はビビの夕食を作った。テーブルの上にはアシュリー・ベルと綴られた文字が書かれていた。コカ・コーラに薬を入れ、ビビに飲ませた。記憶に穴が開くと、一生影響する。子供の生理的発達に影響する。

ビビは男にレイプされそうになったが、ナイフを振りかざして応戦し、撃退した。ビビは手首の目の届かないところに、「Ashley Bell Will Live」という刺青を入れた。14 歳のビビは意識を失い、軍の飛行機で病院に運ばれたが、4 日間昏睡状態であった。その間、現実と夢想の間を彷徨っていた。幸い脳腫瘍は小さく、脳内血流も十分であった。脳波は睡眠時のパターンを示していた。刺青の箇所が痒かった。キャプテンは、動脈瘤で死亡し、メモリートリックがなくなり、ビビの陰の部分は消去した。

ビビは 22 歳、アシュリーベルは、13 歳であった。アシュリー・ベルの両親は、ナチの親衛隊に殺された。ベルは逮捕された。ベルは、トバ・リンブレバウム、別名、ハリーナ・バークの小説にでてくる登場人物で、脳腫瘍が専門の外科癌研究者であった。アシュリー・ベルのブロンドの髪は黒くなり、目はビビと生き写しになった。ビビは治癒することを確信した。

４日間の昏睡から覚めたビビは、現実の世界に戻った。ビビの顔の傷は治り、ビビは退院し皆に祝福された。ビーチボーイの歌を歌い、モンスターハンバーガーを頬張った。

難解な小説である。著者の内面的な葛藤を感じさせた。また、夢の中のさまよいを巧みに描写しているともとれる。

53 冊’Country’ by Danielle Steel (325pages) Delacorte Press (2015)

ステファニーは、弁護士をしている夫のビルが、同じ法律事務所にいる若い女性と不倫するようになってから、夫婦関係は険悪になった。しかしビルは離婚する気はなかった。長男のマイケル、長女のルイーズは就職し、次女のシャーロットも大学に通うようになり、ステファニーは、家に１人取り残された。ステファニー＆ビル夫妻、アリソン＆ブラッド夫妻、ジーン＆フレッド夫妻の６名は、毎年恒例のカリフォルニア州スコーバレーのスキー場に出かけた。女性軍は、初心者クラスの平坦なスロープを、男性軍は、上級者コースを滑った。夕方になってもビルが帰っ

て来ない。慌てて探しに出かけた。救助隊がビルの遺体を担架の上に載せているのを目撃した。ビルは心臓発作で死んでしまったのだ。

子供達を呼び寄せ、お葬式を何とか済ますことができた。スタファニーを励ますために、友人たちは一緒にレストランや旅行に誘った。ステファニーは、思い切って一人でラスベガスにドライブに出かけることにした。新しいホテルに一泊し、歓楽街で賭け事に挑戦した。翌日、グランドキャニオンのトレッキングを楽しんでいる時、チェイス・テイラーというカントリーミュージックの大スターと出会った。演奏会のチケットを２枚もらったが、最初は断った。しかし、何度か誘いを受けるうちに、特に時間を持て余しているステファニーは、演奏会に行ってみることにした。チェイスの歌声は素晴らしかった。チェイスは、楽団の皆から慕われていることを知り、少しずつ気を許すようになった。チェイスの一団と、チェイスの生まれ故郷のテネシー州ナッシュビルでの演奏旅行について行った。アリソンやジーンに電話で、もう少し旅行を楽しむように言われ、段々その気になってきた。娘達には、心配をかけない様に、ただ旅行を楽しんでいるとだけ伝えておいた。ステファニーはアトランタにいる長男のマイケルとガールフレンドのアマンダを呼んだ。贅沢嗜好のアマンダにうんざりしていたマイケルは、７歳年下のサンディーに一目ぼれしてしまった。サンディーは、保護者であるチェイスの演奏のお手伝いをしていたが、ボーイフレンドのボビージョーからセクハラを受けていた。ステファニーは、ニューヨークに住んでいる長女のルイーズに会いに行った。ルイーズは、父親の死後半年も経たないうちにチェイスと恋仲になったスタファニーを許すことができず、冷酷に応対された。サンディーは、アトランタにいるマイケルから誘われ、ベースボールを見に行った。御互いに恋愛感情が生まれつつあった。マイケルはアマンダと、サンディはボビージョーと縁を切ったため、マイケルとサンディは、恋人として交際するようになった。ステファニーは、ＮＹからのサンフランシスコへの帰途、食堂による最中に３名の男性にレイプされそうになったが、覚えていた格闘技で二人を倒し、何とか無事に切り抜けた。サンフランシスコの実家に帰ったスタファニーは、大晦日の夜、マイケルとサンディーを招待した。サンディーはピアノを弾きながら歌い始めたら、急に雰囲気が和んだ。父が浮気をしていたことを知ったルイーズは、母のステファニーを許すようになり、サンディーとも打ち解ける様になった。ステファニーとチェイス、マイケルとサンディーには、これから新しい人生が待ち構えていた。Carpe diem (Seize the day).今この瞬間を楽しめ。

52 冊’Property of a noblewoman’ by Danielle Steel (322pages) Delacorte Press (2016)

インターンの学生のジェーン・ウィロビーは、ハル・ベーカーのもとで銀行の貸金庫係の支払い未納者に連絡をとっていた。92 歳のマーガレット・ウォレス・ピアソン・ジ・サンピネリの貸金庫には、手紙の束や宝石がしまったままで、借り賃の支払いも滞っているばかりでなく、生存しているかも不明であった。ジェーンは宝石類の査定をお願いするために、クリスティッド美術品競売店副社長の宝石部門担当者フィリップ・ロートンに、宝石類の写真を送った。ジェーンは、2015 年に 91 歳で死亡したマーガレットの死亡証明書に書かれていた住所を頼りにナーシングホームを訪れた。銀行からは毎月お金が引き落とされていたが、友人・親戚もいなかった。また、遺書も残されていなかった。箱は、ドリルで開けられた。検認後見裁判所に通告して相続人を探したが、いまだ現れて来ない。

ジェーンは、金庫の中に何通かの手紙を見つけた。そこには、子どもの出産、両親から受けた迫害、そして、イタリアの伯爵との結婚ことが書かれており、マーガレットが書いたことは明白であった。マーガレットは、1924 年に誕生した。まだ幼い頃、トミー・ボブコックと恋愛して妊娠した。生まれた赤ん坊は、両親から認知してもらえず、イタリアに渡った。1942 年、38 歳年上のウンベルト伯爵と結婚した。やがてイタリアは連合国に降伏し、1960 年にマーガレットはウンベルトと、子供を引き取るために、アメリカに一次帰国した。しかし、子どもと対面させてもらえず、イタリアにもどることになった。1965 年、ウンベルトはラケットボールをしている最中に発作で死亡した。ウンベルトは、全ての財産をマーガレットに残した。マーガレットは、1974 年にナポリの家を売り、20 年間ローマで質素な生活をした。娘に男児が生まれたことを知ったのが 60 歳頃であった。娘との再会は、不幸にするだけなので会わないと決心した。遺書には、マーガレットが売った２つのリング以外は全ての宝石を娘に残すと書いてあったが、そこには娘の名前は書いていなかった。

ジェーンは、その頃、同じ司法試験を目指しているジョンと同棲していたが、カラという女性と浮気をしていることを知り、別れることを決心した。マーガレットとの件でフィリップと接触する間に、徐々にその誠実さに惹かれ始めた。フィリップ愛蔵のヨットで航海を楽しんだり、食事を共にしたりした。

フィリップは、フランスに競売に行った。その帰途、ローマ、ナポリに立ち寄り、マーガレットが住んでいた大邸宅に向かった。マーガレットは、夫の死後、生計を立てるために。大邸宅は売ってしまったが、宝石だけは売らなかった。

フィリップの母のヴァレリーには、4 歳年上の姉のウィニー（実際は伯母）と、マーガレットという長姉がいたこと、その長姉がいなくなった時、ウィニーは４歳であったという、でっち上げの話を両親（実際は、祖父母）から聞いていた。長姉の写真が残されていないこと、ウンベルト伯爵夫人の写真をみると自分とそっくりであること、出生届には、ヴァレリーの両親の名前の欄には、マーガレットの記述はなく、マーガレットの両親の名前にすり替わっていた。もしかしたら、マーガレットが自分の実の母ではないか、という疑惑が湧いた。それを立証するには、DNA 鑑定が必要であった。そこで、ヴァレリーは、弁護士を雇い、マーガレットの墓を掘り起こすことに成功した。DNA 鑑定の結果、マーガレットはヴァレリーの実の母親であることが確認された。指名承認公聴会では、ウィニーの娘の弁護士であるペニーが代理人となり、ヴァレリーの申し立てが真実であること、マーガレットとトミーの間に生まれた娘がヴァレリーであり、遺産の相続人であることが宣誓された。その後、宝石類は競売にかけられた。ヴァレリーは、ウィニー、ペリーらと、ロング・アイランドにお墓参りをした。墓場の一区画を買い、そのカタログの上の表題に「貴婦人の肖像」と記した。

ヴァレリーは、トミー・ボブコックの死後、同名の親戚がいるに違いないと思い、パソコンで検索したら、トミーと名乗る人物がリフォルニアに住んでいることを見つけた。マーガレットの父の兄のウォルター(94 歳)、その息子のトミー一家と出会い歓待された。ヴァレリーは、初めて新しい従弟（トミー）の存在を知ったことになる。

ヴァレリーは、両親が過ごした場所を訪問したく、イタリアへの巡礼の旅に出た。昔の大邸宅には、サヴェリオ・サルバトーレという男性が住んでいた。彼は、ヴァレリーを自分で運転する車に乗せ、マーガレットの辿った足跡を案内した。ナポリ、ローマとホテルでの宿泊を繰り返すうちに、同じような境遇にある二人は自然と愛し合うようになった。ヴァレリーは、ニューヨー

クでサヴェリオを、一人息子であるフィリップと、ガールフレンドのジェーンに紹介し、了解を得た。ジェーンは、大学を優等で卒業し、7月の司法試験に備えていた。ヴァレリーとサヴォリオ、フィリップとジェーン、それぞれのカップルにはこれからの幸福な生活が待ち構えていた。

51冊'Host' by Robin Cook (406 pages) Putnam (2015)

（第30作、第21作、第20作と同様に、クック得意のメディカル・スリラー）

プロローグ：37歳で亡くなったケート・ハーリーには、人身被害弁護士の夫ロバートと、二人の息子がいた。残された手記には、「ケートは、友人夫妻と食事に行った時、出血性の下痢を起こした。病院では、微熱、発疹、脱水症状が認められ、単一クローン性高ガンマグロブリン血症と診断された。ロバートは、妻が何故血清タンパク異常が専門ではないミドル・ヘルスケア病院に入院させられたのか解せなかった。商売に利用されているのなら訴えてやる。」と記されていた。

カール・ヴェンデルメールは、スポーツ好きな若手の有望な弁護士であった。前十字靭帯の修復のため整形外科に入院した。麻酔認定医のサンドラ・ウィルコフが担当した。病院にはロシア国籍離脱者が多い。麻酔下で手術も終わり、閉腹する時に、サンドラはカールの異変に気付いた。酸素濃度が低い、カールは瞼を閉じ、瞳孔が拡張していた。脳皮質への酸素供給不足による足の過伸展（足除皮質硬直）が起きたのだ。

カールのガールフレンドのリン・パース（メイソン・ディクソン大学医学部４年生）は、入院中のカールを見舞いに来た。しかし、カールを見つけられないため、スクラブに着替えて、病院内を探しまわった。集中治療室で無意識状態のカールを見つけた。麻酔記録には、酸欠による脳障害と書かれていた。マイケルの身内のアシャンティも同様な症状であること知った。リンは、カールの部屋の引き出しに、婚約指輪を見つけて涙ぐむ。自分がカールを病院に行くように勧めなければ、こんなことにならなかった。

マイケルは、シャピロ研究所から出てきたロシア人のヴラディーミル・マミクロフに近づいた。サイドシール製薬会社で働くコンピューター・プログラマーであったヴラディーミルに、親戚の安否を確かめたいと告げたら、研究所に入れてくれた。アシャンティーの麻酔記録は、カールのものとそっくりあり、やはり多発性骨髄腫の治療を受けていた。スカーレット・モリソンも同じ症状を示した。リンパ球の数が顕著に増加していた。これは多発性骨髄腫の特徴である。これで類似症状を示した患者は、３人になった。

こんな時に、リンとマイケルは、バスとトラックが正面衝突して、病院に救急で運ばれてきた緊張性気胸症の患者を救命させたりもしていた。緊急治療室の医師に評価された。

リンとマイケルは、サンドラから、カールの手術前に、酸素のアラームが作動し、T波に異常を認め、心臓への酸素供給不足が認められことを聞き出したが、ベントン・ローデスに見つかってしまい、カールの事件については、外部に漏らさない様に警告された。ベントンは、弁護士のボブ・ハートリーに電話して、至急対策を講じた。

ヒィヨドールとミシャは、ソビエトの特殊部隊のダルコ・レブドフとレオニド・スビンと会い、シデラル製薬を支援するために送った。という情報をセルゲイ・ポルシンは得た。

ジョシュ・フィンバーグは、ソヴィエト連邦の解体後、失業したロシアの研究者を雇い成功した。ミドルトン・ヘルスケアはシデアル製薬との取引を指揮し、会社の拡大を図った。ベントン

は、ジョシュに、サンドラと、二人の学生の処分について相談した。イングリッシュ学部長には、学生を呼び出し、「ロ外すると退学させる」と脅迫するよう命じた。

サンドラは駐車場にある車に乗るところを、二人のロシア人の男性に襲われ、殺害されて、森の土中に埋められた。

リンとマイケルは、シャピロ内のテレビで、ケイト/ロバート夫妻は、深夜、ロシア人二人組に家宅侵入され、病院とセンターに関するドキュメントを全て消去させられた後、家族全員殺害された。ケイトは、病院で血液異常と診断されていた。

カールがおそらく送られているシャピロ研究所では、倫理にもとる薬物試験が行われていた。何故、ドロチズマブ（ヒトモノクローナル抗体; 抗腫瘍薬）が使用されたのか？退院した人の 1%が異常タンパク質を産生しており、0.1%が多発性骨髄腫を発生していることと関係があるのではないだろうか。

リンは、カールの部屋にいたが、深夜ロシア人に襲撃されたが、寸でのところで、駆けつけたマイケに助けられた。リンは、講義を抜け出し、病院に行き、サンドラを探したが、サンドラの姿が見当たらない。リンは、市内の図書館に赴き、シャピロ研究所の図面を見せてもらった。それは、地上２階、地下３階から成る建物で、２つの３階分の高さほどんのレクリエーションセンターを有していた。昏睡状態の患者は、地下一階に収容されているものと思われた。リンは、弁護士のカールの父に会いに行き、これまでのいきさつを語った。彼は、FBI と CIA に捜査を依頼すると言った。

レクリエーション・センターでは、植物状態の昏睡した患者皆が、ヘルメットを着せられ、絶えず刺激を受け、退化しないように強制歩行させられていた。その中にはカールもいたが、反応を示さずに歩き続きている。リンとマイケルは、警備員に見つかってしまい、追われることになった。コンベーヤー・ベルトを使って脱出を試みたが、コンベーヤー・ベルトを逆行させられて、追ってが肉薄してきた。リンは、換気口の中を伝わり、何とか、病院にもどることができた。マイケルの父に携帯で、緊急事態を伝えた。捕まったマイケルは、手術室で、ベントンに麻酔薬を注射されそうであった。リンは得意の格闘技で医師団を蹴飛ばし、警察が来るまでマイケルが注射をされないようにした。ミルトン・ヘルスケアは破産し、病院とシャピロ研究所は正常に復帰した。

リンがマイケルを救出した記事が新聞に載った。卒業式では、アルファベット順に卒業証書がイングリッシュ学部長から渡される。首席のリン・パース、次点のマイケル・ペンダーが順に証書をもらった時は、会場からの歓声が上がった。しかし、そこには、レオニドとダルコもいたのだ。セルゲイは、「このまま二人を自由に飛び立たせない」だろう。まだ、事件は継続する余韻を残し、物語は終わる。

50 冊’Finders keepers’ by Stephen King (434 pages) Scribner (2015)

（この小説は、前作 49 冊と連動している。登場人物も重なる）

1978 年、まもなく 80 歳の誕生日を迎えようとしたロススタインは、タイム誌で以前天才と呼ばれていた。ロススタインは就眠中に、建築会社で働いていた３人組に襲われた。金庫の鍵が開けられ、中にあったお金とノートブックが引き出された。犯人の１人モリス・ベラミーは、「ジミー・ゴールド（小説の主人公）は、自分の好む性格に描かれてない。アメリカの絶望の象徴であり、生きている価値がない」と、銃口をロススタインに向けた、こめかみに銃弾を放ち、射殺し

た。更に、二人の仲間を殺し、お金とノートブックを持ち去って逃亡した。モリーは、18 年間、ジョン・ロスステインの未発表の原稿の価値を追求してきた。4 冊目のジミー・ゴールドの本を読みたかったが、警察に不信に思われないように、ノートブックを土中に隠した。

2009 年、トーマス（トム）・ソバーズは、妻のリンダ、長男のピーター、長女(8 歳)のティーナと暮らしていた。トムは 10 年間、トップセールスマンとして働いていたが、失業し、シティーセンターの職安で並んでいる時、霧の中、メルセデスが突っ込んできた（49 冊に記載）。車と衝突したトーマスは骨折した。息子のピートは森の中を散歩中に、木の下に、お金と黒いノートブックが入ったトランクが埋められているのを偶然見つけた。ピートは、現金の入った封筒を彼の私室の壁の幅木の後ろの蜘蛛の巣のはったくぼみにしまい込んだ。苦しい家計を救うため、4 週間ごとに、学校のパソコンで宛名をうち、父宛に、毎月 500 ドル（年あたり 6000 ドル）封筒（送り主名は未記入）を送り届けた。家族会議が開かれたが、負債の返済のために使用してしまった。子供達には、このことは誰にも言うなといった。ティーナは、うすうすピートの仕業であることに気づいていたが、兄の部屋に行けなくなるので秘密を守った。父もパートの仕事が舞い込み、足も回復しつつあった。

2010 年 6 月には、シティーセンターの犯人（ブレイディ、49 冊に記載）も逮捕された。ピートは、土の中のトランクから、ノートブックをスーツケースにいれて家の屋根裏部屋に隠した。ノートブックにはジミー・ゴールドという人物が出てきた。

1979 年、モリスは、泥酔し意識を失った時、ウェイトレスをしていたコラ・アン・フーバーをレイプし、終身刑に服した。服役中のモリスは、女教師のトッドから、ロススタインの「The Runner」の主人公ジェニー・ゴールドと性格が似ているからと、読んでレポートを出すように言われた。以来、モリスは、ロススタインの小説を読むことが唯一の楽しみとなった。画鋲でドアにその一部をコピーして貼ったが、後日、ピーターがそれを見て夢中になってしまった。ジミー三部作についての学期末レポートは最高得点の評価をもらった。

さて、レイプ被害者のコラ・アン・フーガ―は 70 歳になり、末期癌に冒されていた。2014 年、余命いくばくもない彼女から、モリスを仮釈放を認めるという手紙が届いた。モリスは、35 年ぶりに、刑務所から出獄した。モリスは、土に埋めたトランクを掘り起こした。トランクは、意外に軽かった。中を見たら、ノートブックが数冊しか残っていなかった。誰かが持ち出したのだ。

ピーターは、ジェームス・ホーキンスの偽名でロススタインのノートブックを古書の買い取りをしているアンドルー・ハリディ（モリスの知り合い）に買い取りを交渉した。アンドルーは、パソコンで検索してピーターの素性を調べ、脅しをかけ有利に交渉を進めようとした。ピーターは、ノートブックの秘密がばれるのを警戒して、交渉から引き下がり、ノートブックを再び土中に埋葬した。

ティナは、バーバラを介して、退職復帰した探偵カーミット・ウィリアム・ホッジに、出所の不明なお金を毎月、父母宛てに届けられていることを告げた。（前作 49 作で、従妹のジェイニーをブレイディ―に殺された）ホリーは、「ピーターは、お金をぬすんでいるのではなく、見つけたのだと」考えていた。

モリスは、アンドルーのレアブックに出向き、ナイフを振りかざし「俺を忘れたか？本を渡せ」と迫った。抵抗したアンドルーは、ナイフで切り付け、とうとうアンドルーを殺してしまった。モリスは、アンドルーの家のパソコンから、ピーターが日分の昔の家に住んでおり、アンドルーと本のことを交渉したことを嗅ぎつけた。モリスはモールで長い刃、のみのついたねじ回しを買い、ピーターがレアブック店に来るのを待ち伏せした。ピーターが現れた。ピーターは、モリスに本の隠し場所を教えろと脅されたが、それを拒んだため、二人は格闘になった。ピストルを持っているモリス目がけて、ピーターは、火をつけたリッカー・デカンターを投げつけた。それがモリの方に当たりひるんだすきにピーターは逃亡した。一方、お金の出所を知った母のリンダは、レアブック店を探り当てたが、モリスと鉢合わせになった。モリスに頭を打たれ、出欠して意識が失いつつあった。ティーナは窓から逃げた時、足をくじき、モリスにつかまってしまった

ホッジが駆けつけ、モリスの車をパンクさせ退路を断った。救急病院に収容されたリンダ、ティーナいずれも無事に回復した。ピーターは、ロススタインを題材にした小説が評価された。最後に、ホッジは、前作の犯人役のブレイディを外傷性能疾患クリニックに見舞うところで物語は終わる。そういえば、モリスの行方は伏せたままたである。

49 冊 'Mr. Mercedes' by Stephen King (437 pages) Scribner (2014)

深い霧が立ち込める中、シティーセンターで仕事を探す人だかりを目がめて、マルセデスが飛び込んできた。８名の死者、15 名の負傷者を出し、盗んだ車を運転した犯人は逃走した。挑戦状が 62 歳の退職した探偵カーミット・ウィリアム・ホッジに届いた。その手紙には、良心の咎めもなく、人を苦しめ、手足をバラバラにして、人を無差別に殺すことが喜びであることが書かれていた。ホッジは、相棒のペットと、黒人の見習いのジェロームを引きつれ、事件解決の取り組むことになった。

犯人のブレイディ・ハーツフィールドは、アル中の母デボラと生家に住んでいた。父は、送電線の架線作業員であったが、作業中にバランスを崩し、送電線に接触し、落下して死亡した。そして、8 歳の長男のブレイディ―と 3 歳の次男のフランキーが残された。フランキーは、リンゴのスライスを喉に詰まらせてしまい、緊急入院したが、脳に後遺症が残した知的障害者になってしまった。

犯人に利用された高性能車のメルセデスは、オリビア・パターソンのものであった。大柄で神経質なオリビアは、投資会社で働くケント・トレノーニーと結婚していたが、ケントは心臓発作で亡くなっていた。オリビアには、8 歳年下の妹のジェイニーがいた。

ブレイディと母は、コンピューターシステムに不法侵入した。ブルーアンブレラ（青い傘）サイトのアイコンをクリックして標的と交信して、オリビアのメルセデスがシティーセンターを出たころ、TV リモートを操作し、信号の赤を緑に変えて事故を起こしたのだ。

オリヴィア宛に、手紙が届いた。そこには、「私はメルセデスを盗み、人を引き殺す事件を起こした。私が何故、こんなことをしたかを知って欲しい。私は、継父が心臓発作で亡くなるまで性的迫害を受けたことを、母から口止めされていた。大学には行けず、アル中の母の世話をすることしかなかった。友達もなく、進歩もなかった。誰かに仕返してやる。」と書かれていた。犯人の

怒り、孤独、欠点、性的混乱などが感じられた。オリヴィアは、自分の車が殺人の目的で使われたことの責任をとり自殺した。

ホッジは、44歳のジェイニーに惚れてしまい、一夜を共にした。２人は自然と愛し合うようになっていた。コンドに住んでいたジェイニーの母は、心臓発作で亡くなった。ホッジは、葬式の手伝いをした。

ブレイディの母は、アル中で、下唇を噛み出血、発狂して死んだ。ブレイディは、ブルーアンブレラにログインして、ホッジに「おれはお前を殺す」と送信した。ブレイディは、ホッジの車の後部座席に爆弾を仕掛けた。葬儀の後、ジェイニ―は、ホッジに従妹のホリーを別の車に一緒に乗せて話ができる様にした。自分は、ホッジから車のキーをもらって運転しようとしたその時、後部で爆発音がした。車の中には、千切れた腕が散乱していた。ジェニーは、ホッジの犠牲になり即死した。

ホッジは、ブレイディに、「俺は、まだ死んでいない、お前を殺してやる」と脅した。ブレイディは、モテルに居所を変えた。ブレディーの住処には、異臭が漂っていた。青い絹のパジャマ姿の母デボラの死体がベッドの下に横たわっていた。地階に行くと、多数のコンピュータが並んでいた。ブラディは、爆薬を持ち出していた。コンピューターの画面には、メールで芸術劇場で開催されるロック・コンサートの案内が届いていた。多分、ブレーディは、甚大の殺傷効果を生むように、身体障害者席をめがけて爆破をしかけるに違いない。ホッジは、ジェローム、ハリーを引き連れ劇場に急行した。ハリーは、車椅子に乗っているブラディを見つけ、編んだソックスをブラディの禿げ頭目がけ投げつけた。再度ソックスは命中し、ブラディは、頭から出血し、足を引きずるようにして退出した。

パタソーン家の遺産相続も話が着いた。ホリーとジェロームは、市長から名誉勲章のメダル、そして10年間無料でバスの乗車、美術館の入館ができる権利を与えられた。ホッジは、保釈保証人より、行方をくらました債務者の追跡人のパートを依頼された。家でのパソコン作業はホリーが手伝うそうである。

夏を感じさせる秋の美しい日、ホッジは、ジェイニーのことを思い、涙ぐむ。皆で祝杯を挙げた。杯した。

一方、「外傷性能損傷」クリニックに入院中の、ブラディは、17月後になり、ようやく看護婦に話しかけられるようになった。「頭痛がする。母を呼んでくれ」。

48冊 “Precious gifts” by Danielle Steel (318 pages) Delacorte Press (2016)

ティミー・パーカーは、29歳の183 cmの大柄な女性で、ニューヨークのホームレスに簡易住宅を斡旋する事業団体で仕事をしていた。母のヴェロニカと28歳年上の父ポールの間に生まれた長女である。パーカーには、サンドイッチ販売店で働いている28歳のジュリエッタ（NY在住）と、26歳のウェイトレスをしながら女優を夢見るジョイ（ＬＡ在住）の二人の妹がいた。ポールの度重なる浮気に業を煮やしたヴェロニカは、ポールと離婚した。父の親友の弁護士アーノルドからポールの訃報が届く。フランスにいるヴェロニカは葬儀のまとめ役になり、３人の娘と、ポールと前妻との間にできたバーティにも連絡をした。ヴェロニカは裕福な家に生まれ、フランスに古い屋敷と遺産を受け継いでいた。ヴェロニカは、家系に恥じない葬儀をと、金銭に糸目をつ

けず葬儀を無事に終わらせた。しかし、バーティは許嫁を、3 人の腹違いの妹達には紹介しようともせず気まずい雰囲気が漂っていた。参列者の多くは、ただの飲食とシャンパンが目当てであったことは空しかった。アーノルドの事務所に、ポールの遺言を聞くために、家族全員集まった。長女ティミーには、ホームレスの人たちのための避難所の建設費用を、次女のジュリエッタには、サンドウィッチ店の拡張に必要な人件費を、三女のジョイには、ウェイトレスのアルバイトをせずに、女優になるのに必要な２年間のレッスン料を遺贈する。サン＝ポール＝ド＝ヴァンス近郊の宮殿を、3 人の娘達と、そして、愛人のエリザベス・マルニエとの間にできた娘のソフィー(23 歳)の４人に均等割する。ソフィーの存在は、今の今まで誰も知らされていなかった。バーティに対しては、これまで、十分過ぎる金銭的サポートをしてきたので遺産はなかった。バーティ―は、こんなバカげた遺言書はないと言い残しで、出て行ってしまった。さらに、遺言書には、ヴェロニカに対しては、絵画を復活さることを勧めた上で、ハネムーン時代に買ったベッリーニの絵画を遺贈すると記されていた。

ヴェロニカは３人の娘たちをレストランに誘い、今後の打ち合わせをした。ポールは自分のことしか考えていない。ソフィーの存在は気懸りであった。ポールは宮殿の維持費で苦労していた。いっそのこと売却した方がよいのではないか？バーティは、弁護士を雇い、最も多額の遺産金をもらったティミーから分け前をもらうとするだろう。とにかく、遺産相続のことでマルニエ家の母子にあって相談することだ。

ヴェロニカは、アーノルドからベッリーニの絵画の写真のコピーをもらい、フランスに立った。途中ローマに立ち寄った。物思いに耽って歩いていたら、誰かが自分を押すような気がした。寸でのところでフェラリーとぶつかりそうになり、多膝を打ち、多少の出血で済んだ。車を運転していたロシアの大富豪のニコライ・ペトロヴィッチは心配して医者を呼び診察をさせたが、特に異常は見つからず軽症で済んだ。「あなたは、死なないようにできている。生きているのであるから、もっと人生を楽しまなくちゃ」。カメラマンのアイダン・スミスが自分を押して車との衝突から救ってくれたのだ。アイダンは、ヴェロニカに一目ぼれし、一緒にフィレンツェ、シエナ、ベニスをドライブして回った。聖グレゴリオ礼拝堂の修道僧のトマソに図書館を案内してもらいベッリーニの絵が贋作かどうか調べてもらうことにした。アイダンは、ヴェロニカとコンゴラの船旅を楽しんでいた。橋の下をくぐる時、船頭の歌声にのせてキスをした。アイダンは、ヴェロニカの娘たちが来る前に、ドイツに立った。それから間もなくして、ヴェロニカと娘たちは、ニコライから 450 フィートの巨大ヨットでの夕食に招待された。アイダンからメールが届き、その話をしたら、アイダンは、ニコライに対して嫉妬心を抱くようになった。

ヴェロニカ、ティミーとジュリエッタは、マルニエ家を訪ね、宮殿売却することに対する同意を得ることできた。車で宮殿を見に行った。ジュリエッタは、宮殿が欲しくなった。ジュリエッタは、30 代中ごろの魅力的な建築士兼請負人ジーン・ピエールに宮殿の改造に必要な費用を弾き出してもらった。そのうち二人は親密になり、母からお金を借り、サンドイッチ販売店を売り、宮殿の中にキッチンを構えるようと懸命であった。ティミーは、バーティ対策に大柄な弁護士ブライアンを雇っていた。一時険悪な関係になったが、仲直りして一丸となって戦えば、バーティの起こした訴訟に勝てると励まし合った。そんな矢先、バーティは、有価証券詐欺で逮捕され、問題はすんなり解決した。２人は今、助け合ってホームレス対策に取り込もうとしている。ジョイには、魅力的なマネージャーが付くことになり、女優への道を順調に歩み始めている。ソフィーも娘達と会えたことを嬉しく思っている。

ヴェロニカは、ニコライから自画像の作成を頼まれ、完成真近かという時に、画材点に絵具を買いに向かう途中、自転車にはねられ、手首とくるぶしを骨折した。娘達は忙しく、お見舞いに来てくれないことをアイダンにメールしたら、アイダンはひょっこり、ヴェロニカの看病に来てくれた。そして、自画像は完成して、ニコライに送ることになった。ヴェロニカのアパートのベットにアイダンが寝ていた時、娘達に見つかってしまい、アイダンとの関係を問い糺されたが、やがて少しずつ母と娘の関係も改善に向かいつつあった。そんな折、トマソから絵の歴史についての情報が届いた。その聖母マリアと子供の風景を描いた絵は、ジャポコ・ベッリーニの息子のジョバンニ・ベッリーニの作であった。1940 年に、フランスの銀行家のフランソワ・ベルガー-コーヘンがその絵を所有していた。しかし、両親、４人の妹、兄はナチスドイツに殺され、全てを失ってしまった。強制収容所にいた当時 18 歳のフランスソワだけは、アメリカ兵に助け出され、１歳年下の妻と結婚した。ベルガー-コーヘンと名乗る人物は、パリに３名いることを突き止めた。順番に電話して行ったら、最初の２名は、女性である点、若すぎる点で除外された。最後のひとりは、30 代の孫娘のアンリエット・ヴィリアーと一緒に住んでいる男性であることが解り、直接会いに行くことにした。老人は、確かにその絵を持っていたが、第二次世界戦争の時に、絵も家屋と一緒に全て失ったことを話してくれた。ヴェロニカは、亡くなった夫からもらった絵を、所有者に戻したい気持ちを伝えたところ、老人は、感余って泣き出してしまった。これこそが、ポールからの大切な送りものであった。

47 冊 “Cometh the Hour”(The Clifton Chronicles, Book 6) by Jeffrey Archer (691 pages) Thorndike Press (2016)

自殺したフィッシャーが残した手紙には、レディー・バージニアがエンマ・クリフトンの会社を破壊することのみを考えていること、ジャイルズ・バーリントンの私生活における女性の遍歴が記されていた。フィッシャーの手紙が証拠として提出された結果、バージニアは敗訴し、エンマは勝利した。

ハリー・クリフトンはシベリアの強制収容所からアナトリー・ババコフを釈放させることに専念した。ハリーの努力もあり、ババコフは、その功績で、ノーベル文学賞を受賞することになった。しかし、ババコフは、授賞式に向かう途中で急死した。ハリーは、ババコフの代わりに、受賞の挨拶文を一睡もせず、書き上げた。ハリーの挨拶文は、実に感動的であった。

セバスチャン・クリフトンは、ファージングス銀行の取締役会長になった。セバスチャンは、美しいインド人の女性プリアと出会い、恋に陥る。しかし、両親の反対にあい、二人はイギリスに飛行機で駆け落ちをすることを思い立った。しかし、母親が手を回して、空港で、二人の脱出を阻止しようとした。ボディーガードの銃弾により、プリアは落命した。プリマの死の痛手からまだ回復していないセバスチャンに対して、祖母のメイシー・クリフトンは死ぬ間際に、「サマンサとジェシカに連絡をとるように」と書かれた手紙を残した。セバスチャンは、お金をもってワシントン DC に出かけた。サマンサの夫のマイケルが健在であると思い、サマンサとジェシカと会うことができなかった。トムキンズ校長と、学校の壁に欠けられたジェシカの描いた絵６枚を全て買う契約をした。最も高額な絵のタイトルは、「私の父」と題する作品であったが、その作品には顔が書かれていなかった。ジェシカは、競売にかけられていたその絵の買い手が誰であるかを知った。ジェシカは、そこに、セバスチャンの顔を書いた。トムキンズは他界したため、セバ

スチャンとサマンサは、ローマで結婚式を挙げた。ジェシカは、10 年前に二人の間にできた娘であることをサマンサが打ち明けた。

ハキムは、ヒースロー空港に向かうナイジェリア航空の機内で、眠っている間に、13g のヘロインの入っている袋をカバンの中に入れさせられた。そのために、容疑をかけられ、逮捕された。しかし、マッサージ師のマイ・リンの協力が盗聴器をとりつけ、黒幕がスチュワーデスを買収して、ハキムのバックの中に、ヘロインを入れさせたという情報を入手した。その結果、ハキムは無罪であることが立証され、釈放された。

レディー・バージニアは、サイラス・T・グラント III に近づいて、何とか金銭上の問題を解決しようとした。バージニアは、サイラスの子を妊娠したと偽った。そのため、医師を騙して、緊急出産により、モリスから帝王切開で出産した子をもらった。しかし、バージニアは、依然として皆から冷遇されているようである。

ジャイルズは、当面補欠選挙への出馬をあきらめることとした。ジャイルズは、通訳として働いていたカリンに対して恋愛感情をいだくようになった。カレンから父親のペゲリーを紹介された。ジャイルズは、カレンにプロポーズした。しかし、カリンが、東ドイツの秘密警察（シュタージ）であり、ペゲリーは、実父ではなく、継父であること、さらには、カリンは、ペゲリーの指示で、イギリスに入り込み、破壊しようとたくらんでいることをまだ知らない。カリンは、ジャイルズへの愛と、秘密警察の仕事への忠誠との板挟みになっていた。ようやくジャイルズへの愛に傾き、結婚の約束をすることを決め、二人は幸せな時を過ごしていた。しかし、ペゲリーに、カレンの気持ちがシュタージュから離れてしまったことを見抜かれ、射殺されてしまうところで、物語(1970~1978)は終わる。

次号に続く。

46 冊 “Mighttier Than The Sword”(The Clifton Chronicles, Book 5) by Jeffrey Archer (677 pages) Thorndike Press (2015)

前号（第 4 冊）では、マルチネスは手下に、エンマとアリーの客室に時限爆弾を潜ませた菊の鉢を置かせ、暗殺を企てた場面で終わっていた。

今回は、この場面から再開される。爆発予定時刻の 3:00 直前に、ハリーは時限爆弾を海に投げ、事なきを得た。海中で爆発音が響いたが、ハリーはほとんどの船客は気付かなかった。ハリーは事を大げさにしないため、付近の海軍の砲弾の演習であるとごまかした。

ハリーは、PEN 会議でアナトリー・ハバコフの釈放を演説したが、政府からは冷たくあしらわれた。ハバコフの投獄に抗議した。

ジャイルズは、国際会議の通訳者のカリンに引かれ、一夜を過ごした。しかし、その密会の写真を撮られ、新聞沙汰になってしまった。カリンの父とも会い、より一層、カリンとの愛に目覚める。ジャイルズは、労働党でこれまで 7 回の選挙で当選したが、今回の選挙では敗れ、失意の余

り、東ドイツに発つが、検問所でハリーのアナトリー・ハバコフの釈放を支持すると答えたため、西ドイツの戻ることになり、カリンとの再会はできなかった。ジャイルズは補欠選挙の準備中である。

セバスチャンは、アメリカにいる許嫁のサマンサに会うため、父とアメリカに渡る。しかし、そこで見たのは、サマンサが、結婚して 5 歳の子供を連れていたことである。セバスチャンは、ジャイカの描いた絵を全て買い取り、イギリスに帰国した。サマンサの夫は心臓発作で意識がなくなり、復活の見込みがない。セバスチャンは、サマンサが気の毒とばかり、秘密にお金を寄附した。

ハリーは、ハバコフの書いたスターリンに関する扇動的な書物 Uncle Joe のコピーを持ち帰るためレニングラードに旅立った。ハバコフの妻の情報を頼りに、そこの古本屋で、ハバコフが隠していた Uncle Joe をみつけ、何とか買うことができた。しかし、空港の検閲に引っかかり捕まってしまう。

会長の選出の投票が行われた。セバスチャンが、車のガス切れのため、投票に間に合わなくなったことと、相手側の約束違反のために、エンマは、 1 票差で、選挙に敗れ、会長の座を、メロウに譲ることになった。

しかし、エンマは、不満に思い、裁判を起こした。バージニアは、ジャイルズとの離婚後、バーリントンの株式の 7.5%を買い、役員会の席を得てからは、会社を潰そうと考えた。アレックス・フィッシャーは、株式の仲買人であったが、バージニアに議員を推薦された。フィッシャーは、エンマの承諾なく、会社の株を買い、売り飛ばしていた。フィッシャーは、商取引で偽証犯罪を犯し、役員会のメンバーである会社で株を売買した。また、会長であったエンマに情報を伝えて承諾をもらわないまま単独行動を起こしたことが暴露され、辞任を勧められた。思い悩んだフィッシャーはまだ判決が出ないまま、書斎で、一通の手紙を残して、ピストルで自殺した。

ハリーは、5 年前に、国際会議にイギリス代表でキーノートスピーチをしたことがある国際的有名人である。ハリーは、法廷に出頭したアナトリー・ハバノフに合った。ハバノフは、モスクワ外国研究所を卒業後、学校で英語の教師をしていた。ハリーは 12 年の禁固を命じられたが、しかし、告白をすれば、ソビエトおよび関係国には今後入国しないならば、禁固を解くと言われ、以下の告白をした。「ハバノフは、クラスで一番の成績であったため、クレムリンで仕事をもらえた。何度かスターリンに合い、学位を取得した。ハバノフのスターリンについて書いた本は真実であり、作り事ではない」。

ヒースロー空港で、ハリーはエンマの出迎えを受けた。ハリーは執筆を続ける。「スターリンは、フルシショフを含む 3 名により絞殺された。フルシショフは、他の 2 名を排除し、自ら首相に躍り出る」。ハリーは、アメリカに行き、Uncle Joe を出版し、ハバコフ夫人に夫のメッセージを伝えたいと考えている。

公判の結果が読み上げられた。9名承諾、3名不承諾であった。一名足りない。エンマは、フィッシャーの残した手紙を読み上げることを提案した。議長のトレフィールドが内ポケットに手を入れたが、手紙が見つからない。会場ではバージニアがほくそ笑んでいた。また、トレフィールドもバージニアに目で合図して、ほくそ笑んでいた。（二人は内通しているようである。）

次号に続く。

45冊 “See me” by Nicholas Sparks (486 pages) Grand Central Publishing (2015)

コリンは格闘技の選手で、路上の喧嘩で何度か刑務所に押し込められて経験がる。コリンは、雷雨の中、タイヤがパンクして警告灯を点滅して立ち往生しているマリアを見つけ、救いの手を投げかけようとした。しかし、マリアは、コリンの痛々しい傷跡や刺青を見て、恐怖心から一旦は辞退したが、そのうち会話をするうちに、誠実さが感じられ、コリンの善意を快く受け入れた。タイヤの取り換えに時間を取られてしまい、マリアは、法律事務所の上司のケンに怒られた。マリアは、その後、ケンに執拗に言い寄られた。ケンのセクハラに悩む女性３名と図って会社を辞めると脅したら、ケンも諦めたようである。

マリアは、妹のセレナに誘われバーに飲みに行ったら、偶然そこに、コリンがバーテンとして働いているのを見つけた。セレナとコリンは大学の同級生であった。マリアはコリンに次第に好意を抱くようになる。二人は、ビーチでお互いの身の上話をするうちに、恋愛に陥る。マリアは、メキシコ人の両親をもち、子どもの頃は差別されて育った。マリアは、家にコリンを招待した。母はメキシコ料理で歓待したが、父からは、交際の承諾を得ることができなかった。

マリアは、何者かに追跡されていた。バーに飲みに行ったとき、野球帽をかぶった男からカクテルといやがらせの言葉の書置きをもらった。一体誰なのか。そんな折、朝元気であった愛犬が突然死する。誰かに殺されたのか？ストーカーの追跡はめっきり減ってきたが、車がまたパンクしていた。いったい誰の仕業なのか？死んだ妹のことの恨みをもっているレスターではないだろうか？しかし、タイヤがパンクした時は、レスターは、被害妄想で病院にいた。誰か共謀者がいたのか？

探偵のマルゴリスは、レスラーがマリアのｉフォンを持って逃げているので、それを頼りに追跡した。マルゴリスは首と内臓を撃たれ、出血多量で意識を失いつつあり、病院に担架で運ばれた。その後奇跡的に退院したが、自分が誰に撃たれたのか分からない。レスラーは、捕まり、手錠を掛けられて刑務所に入れられた。

レスラー・マニング一家は、妹の死、母の自殺と悲惨な過去を持つ。マリアに同じ苦しみを味わせたい、といった復讐なのか？セレナは学位審査のインタビューに出かけたまま、消息を絶ってしまった。川端の廃屋からセレナの声が聞こえた。セレナは手を椅子に縛られ身動きできないでいた。ガソリンで建物に火をつけられた。コリンは、椅子に手を縛られてたままのセレナを、火の海から救助し、戸の外に出た。その瞬間、マニングは、車を運転してコリンとセレナを引き殺そうと突っ込んできた。その矢先、エバンとリリーの運転する車が突如現れ、突進してきた。マニングの車は、製氷室に衝突して大破して死亡が確認された。その後、レスラーは自殺した。レスラーと父の２人ともが死んでしまったので、誰が悪質ないたずらをしたのかを確かめることはできない。

エバンとリリーの結婚式に出席したコリンとマリアは愛と確かめ会うところで物語は終わる。

“Colorless Tsukuru Tazaki and His Years of Pilgrimage” by Haruki Murakami translated from the Japanese by Philop Gabriel (298 paged) Vintage
（浦安キャンパスメディアセンター未所蔵）

名古屋の高校生時代の５人の旧友は何時もグループで行動していた。その内４人は、名前に色を意味する言葉が入っていた。赤と青の二人の男子高生、黒と白の二人の女子高生。しかし、主人公の Tukuru Tazaki だけには入っていなかった。Tsukuru は、大学２年の時に４人から絶好を言い渡され、東京のエンジニアの専門学校を卒業後、駅の設計の仕事をしていた。皆、それぞれ 30 代の中ごろになっていた。Tsukuru は、最近肉体関係を持ったガールフレンドの Sara から、絶交させられた理由を聞きに名古屋にいってみたらと言われた。Tsukuru はまず、名古屋で働いている赤と青に合った。彼らは、Tsukuru をレイプされ流産させたものと思っていた。Tsukuru は、絶交させられた原因を探るために、予め連絡もせず、フィンランドで生活している白に会いに行った。白は、陶芸教室でフィンランド人と結婚し二人の娘をもうけ、夏季休暇をヘルシンキ郊外のシベリウス生誕地のハメーンリンナの湖畔で過ごしていた。白から、Tsukuru のことが好きであったこと聞かされ思わず白を抱擁してしまう。黒は、白が Tsukuru に対して好意を抱いていることを知り、嫉妬心を抱いたらしい。黒は、次第に精神的に不安定になり、謎の死を遂げるに至る。Tsukuru は、日本に帰国したが、自分は何のために生きているはっきりしない。Sara には新しい中年の恋人ができていた。焦りを感じた Tsukuru は、真夜中に Sara 電話してプロポーズした。三日後に Sara から返事をもらえる約束をした。その間、黒に電話したが不通であった。白からも繰り返し電話が届いていたが、それに出ようともしなかった。白からの答えを聞く前に物語は終わってしまう。また、黒殺害の犯人も以前不明である。

村上春樹の英語バージョンは大変読みやすい。

“1Q84 (The Complete Trilogy)” by Haruki Murakami (1319 pages) Vintage
（浦安キャンパスメディアセンター未所蔵）

Masami Aomame と Tengo Kawana は、小学生時代(10 歳)の幼馴染であったが、Aomame の転向により離れ離れになってしまう。20 年が歳月が経ち、1984 年 4 月を迎えていた。その時、2 人は 2 つの月がある 1Q84 年という異次元の世界に入り込んでいた。塾で数学を教えていた Tengo は、編集者の Komatsu 氏から小説家としての才能を見込まれ、失語症の Eriko Fukaga (Fuka-Eri)（「さきがけ」という宗教団体のリーダーの娘）の書いた小説の書き直しを依頼された。一旦は倫理的な理由から辞退したものの、やむなく引き受けることになってしまった。その小説は、期せずして芥川賞を取ることになる。Fuka-Eri が、受賞インタビューで自然な受け答えができるように、Tengo は特訓した。そして、何とかボロがでずにインタビィーを終えることができた。しかし、Fuka-Eri は、責任を感じてか、山梨に逃亡した。やがて、Fuka-Eri は、Tengo のアパートに泊まりこみ、誘惑して、肉体関係を結んでしまう。

一方、スポーツインストラクターの Aomame は、尊敬する老夫人の Ogata から、女性を DV で苦しめる男たちを暗殺する仕事を引き受けていた。そして、レイプ魔の「さきがけ」のリーダー

の暗殺を依頼された。Aomame は、リーダーと 2 人だけになるタイミングを伺っていた。リーダーをマッサージして気持ちよくした後、アイスピックを首の後ろの急所に刺して、予定通り暗殺に成功した。Aomama は、追ってから逃れるために、老夫人の手配した家に身を隠した。Aomame は、自分が妊娠していることに気付いた。しかし、相手が誰であるか思い当たらなかった。自分は、Tengo の子を宿していること確信した（常識では考えられないが)。追手に捕まらないうちに、Tengo に会わなけらばならない。

Tengo は、千葉のサナトリウムに入院中の父が亡くなる間、何度は見舞いに行ったりして、家を空けていた。何度か父を見舞いに行った時は、3 人の看護婦から誘惑されたが、Aomame のことを思い浮かべ、相手にすることはなかった。

２つの月が現れた 12 月の夜、Aomame は、Tengo と再会し、20 年ぶりの再会を果たした。そして、1984 年の世界に戻ったところで物語は終わる。

この村上春樹の 3 部作は、2014 年の 4 月から 12 月までの 10 カ月間のストーリーで、物語は流れるように進んで行きます。Jay Rubin と Philip Gabriel により英訳されたものは大変、読みやすいものでした。村上春樹も英文に翻訳されるのを意識して書いたようにも思えました。

‘Last song’ by Nicholas Sparks (463 pages) Grand Central Publishing Hachette Bok Group 2009
（浦安キャンパスメディアセンター未所蔵）

スティーブは、かつてジュリアードの先生をしていたピアニストであり、カーネギーでピアノを演奏したこともあった。キムと結婚し、娘のベロニカ "ロニー"と息子のヨナをもうけた。ロニーが幼少の頃は、父のスティーブと娘のロニーは、ピアノの前で楽しい時間を過ごしてきたものだった。ピアノだけが生き甲斐であったスティーブは、年に 40 週間も演奏旅行に出かけ家を空けることが多くなった。愛想をつかしたキムは、帰宅しなくなり、別の男性と交際し、結婚生活はやがて破局を迎えた。キムは離婚後、スティーブは、ニューヨーク市からノースカロライナ州ウィルミントンに住居を移した。

ロニーは 17 歳になり、反抗期を迎え、父を避けるようになっていた。ピアノを弾くこともやめてしまった。3 年間も父と話もしていなかった。ロニーは弟のヨナを連れて、海辺近くの父のバンガローで夏休みを過ごした。バンガローに居づらいロニーは、海岸で知り合った青年ウィルと次第に親しくなる。ロニーは、家の外にある亀の巣がアライグマが狙れないかと不安になり、水族館でボランティアをしているウイルに相談することになった。ウイルは、ロニーに好意を持ち始め、二人は恋に陥る。ロニーは、ウイルの妹の結婚式にも招待された。しかし、悪漢のマルクスの放火で結婚式が台無しなり、ロニーは濡れ衣を着せられてしまった。ウィルの母からも冷たい目で見られるようになり、ウイルとの恋も終息したかに見えた。運悪く、ロニーは、友人のブレイズが万引きしたものをバックに入れられ、容疑者として裁判所に出廷しなければならなくなった。ロニーは、益々父に辛く当たるようになり、父から届いていた手紙も未開封のままであった。

スティーブは、体調を崩し、転移性の肺がんと診断された。抗がん剤は効かず、痛み止めで何とか維持していた。ロニーはピアノで父のために歌をうたう。キムは夫にさよならを最後にもう一度言いに到着した。スティーブからの手紙が送り届けられてきた。手紙には、スティーブのロ

ニーに対する愛情が記されていた。ロニーは号泣して自分が父親にしてきたことを嘆いた。ロニーは、バンガローに留まり、父の介護と食事の世話をした。しかし、父の健康は、日に日に衰えて行き、食事もろくに食べられないため、みるみる痩せて行き、やがて息を引き取った。父の葬儀には、ウイルの父親も来ていた。ブレイズが来て、マルクスの悪戯と万引きをしたのは自分であることを白状し、ロニーは嫌疑からようやく逃れることができた。ロニーは、父の遺志を継ぎ、母親の住むニューヨークにある大学いで音楽を勉強することにした。ウィルは、彼女を追っかける様にして、やはりニューヨークにあるコロンビア大学に行くことにした。

44 冊 “Never Go back” by Lee Child (400 pages) Delacorte Press (2013)

Jack Reacher は、サウスダコタから、ワシントン D.C.近郊北東バージニアの以前司令官として勤務していたオフィスに向かっていた。現在司令官を務めている声の美しい Susan Turner に会うためであった。しかし、到着してみると、Susan ではなく、男性の Morgan 大佐が椅子に座っていた。Reacher は、Morgan 大佐から、「16 年前に、Mr. Juam Rodriguez を頭を殴り殺したのはお前か？もう一度、軍隊に戻れ！」と怒鳴られた。Morgan は Susan の居場所を教えてくれなかった。おまけに、Reacher は、Romeo と Juliet により見張られていた。Reacher は、Susan が、昨日司令官を解雇され、アフガニスタンに向かったが、消息を絶っているという情報を入手した。Reacher には Samantha Dayton という 14 歳になる娘がおり、弁護士を雇い、母親の Candice Dayton を探していた。Reacher は Samantha の母を知らない。Reacher は、ペンタゴンにいる Morgan 大佐に、アフガニスタンでは行方不明者が２名もいるのに何故応援しないのかと、問い詰めたが逆に、御前は、この件に関わるなと言われてしまった。その夜、Reacher の住んでいるモテルの部屋は、4 人の男に捜査されていた。

Reacher は、刑務所にいる Turner を探しあて、車を盗んで一緒に脱走した。ヒッチハイクをして、アパラチアン山脈を越してウェストバージニアへ向かう途中で山火事がみえ捜査網に引っかかりそうなので、車からおろしてもらった。廃屋に入り込み、車を盗んで逃走した。モテルで Reacher と Turner は、自然に愛し合い、セックスをした。ピッツバーグへは大型トヨタトラックで向かった。２人が名前を変えて LA 行きの飛行機に乗ろうとしていることを Juliet と Romeo は知った。

Emal Zadran は、7 年前にアメリカ製の MOABs、Drones や手榴弾などの武器をタリバンに売っていた。その後行方をくらませていた。

Reacher は、簡易食堂で、少女が入るのを目撃した。少女は Reacher をずっと見ていた。Reacher は少女と一緒に食事した。少女の名前は、Sam Dayton と言った。ようやく自分の娘と会えたのだ。少女は Reacher を父であるとは知らない。

Romeo は Gabriel Montague であり、Juliet は Capulet であることがわかった。

Reacher は、Shrago を打ちのめした。Scully は 7 年前に、補助幕僚副長としてアレキサンドリアにいた。4 年前、ジョージタウンのウィスコンシン通りに、Dove Cottage という男性専用会員制クラブがオープンした。この建物は、以前、桂冠詩人の William Wordsworth が 8 年間住んでおり、その後、作家の Thomas De Quincy が 11 年住んでいたものだ。Morgan は、Brag におり、Shrago を中心としたチームを作った。Turner と Reacher は、タクシーで Dove Cottage に行き、しばらく潜んで様子を伺っていたが、中からみな陽気で安らいだ様子で出てくるのを知り、いかがわしい場

所ではなさそうであった。その時、中から、２発の銃声がした。続いて、ユニフォームを着た給仕や、オペレーターが館の中から出てきた。2 階では、60 才台の Scully と Montague がこめかみに銃を撃ち死亡していた。

Montague は Zadran と高性能の武器を取引し、Dove Cottage は、莫大な会員の料金を獲得し、4 年間は大金を稼いでいた。この会員制のクラブには、Turner の弁護士の John James Temple 大佐、Reacher の弁護士の Helen Sullivan 少佐、Tracy Edmonds 大尉などもいることも明るみにでた。

Turner は、彼女のホームである昔のオフィスに戻った。Turner は Reacher と車に乗せ、食事に誘った。お別れのキスをして、Turner は赤い車に乗り去って行った。Reacher は、携帯電話を捨て、北方方面行きのバス停のベンチで一人腰を下ろしていた。

43 冊 “Sycamore Row” by John Grisham (447 pages) Doubleday (2013)

末期肺がんの Seth Hubbard は、首を吊って自殺する前日に、第１の遺書を修正した第２の遺書を作成していた。Seth には、これまで少なくとも二人の妻がいたが、争いの種になるのを恐れて、家族には遺書のことを教えていなかった。35 歳の新進気鋭の法律家である Jake Brigance は、Carla と 7 歳の Hanna とともに生活していた。Jake のところに、修正された遺書が送られてきた。そこには、遺産の 90%を、5 児の母である 47 歳の黒人の家政婦である Letetia Delores Tayber Lang に、5%を Seth の弟の Ancil F. Hubbard に、残りの 5%を Irish Road Christian Church に寄付すると記されていた。Seth の息子の Herschel Hubbard と、娘の Ramona Hubbard Dafoe、孫達には一銭も贈与しないと記されてあった。これに対して、昨年の第１の遺書には、Hearchel と Ramona がそれぞれ 40%づつ、15%を子供達、残りの 5%は Irish Road Christian Church が受け取ることが記載されていた。

第１の遺書と第２の遺書のいずれが正当なものか、Judge Atlee のもとで裁判が行われた。Littie 側の弁護士には Jake が、Herchel と Ramona 側の弁護士には Wade Lanier が就いた。Littie の娘の Portia Lang (24 歳)は、Jake の法律事務所で週 50 ドルで働くことになった。突然悲劇が襲う。Littie の夫の Simeon Lang は飲酒運転で、対向車を正面衝突し、２人を死亡させたため、刑務所に入れられた。しかし、その父親との和解が成立して Jake はホットした。Littlie は夫の Simeon と別れたかった。その間、Wade は、Seth の自殺前日の身体の状態やセクハラの前歴、また、Lettie が、公文書の捏造歴がないか否か調べていた。

Lettie は Portia とシカゴに住む Boads Rinds に会い、Lettie の祖母が Seth の父の Cleon に 80 エーカーの土地を譲渡したことを知る。Lucien は、Seth の弟の Ancil F. Hubbard を探しに行った。Ancil は、名前を Lonny Clark と変えていた。Lonny は、頭蓋負傷・脳内感染により病院で、麻薬性鎮痛薬の点滴を受けていた。意識朦朧としていた Lonny に、Lucine が面会した。Seth の遺産金の一部が Ancil に譲渡されること、Lettie の祖母と Seth の父の Cleon の間の関係について知りたいと伝えたところ、Lonny は、自分が Ancil であることを白状した。

とうとう、公判の日がやってきた。Jake，Lanier それぞれ 12 名の陪審員を選んだ。Wade は、公判間際に、娘を黒人にレイプされて、黒人に対して恨みをもっている Mr. Doley を陪審員に加えていた。Jake 側に十分な対策を検討する時間を与えないのは狡猾である。Jake 側は、Seth の遺書の正当性を切々と説いて一時は優勢を築いた。しかし、Wade が、Seth は、朦朧としていた精神状態では第２番目の遺書を書けないこと、また、Littie とのセクハラ、Lettie の遺書の作文の可能性が

あることを指摘した後、形勢は逆転してしまった。ところが、そこに、Ancil の告白のビデオが届いたのだ。一同は、固唾を飲んで、１時間に及ぶビデオに見入った。それは、「Hubbard家と Rinds家は、犬猿の仲であり、土地問題で常に争っていた。Seth と Ancil は、家の近くの Sycamore で、Seth の父の Cleon Hubbard が数名で、Lettice の祖父の Sylvester Rinds を、絞首刑にしている現場を目撃してしまった。そして、Rinds 家の 80 エーカーの土地が、ほとんど、無償で、Hubbard 家に移譲された。Rinds 家の人々は、Ford County から追い払われたこと」ことを明らかにした。Seth は、自殺して、財産を Rinds 家に譲渡することにより、謝罪したかったのだ。このビデオのお蔭で Jake 側は再逆転を果たした。

裁判後、Atlee 裁判長は、皆が満足するように配分を提案し、Jake にその執行を依頼した。そして、Sycamore で Ancil が Lettie 一家に再会して物語は終わる。

42 冊 ”Personal” A Jack Reacher Novel by Lee Child (353 pages) Delacorte Press (2014)

ジャック・リーチャーは、軍隊警察から退役していたが、国防総省と CIA から再度呼び止められた。機関紙アーミー・タイムズに、自分の名前が出ているのに気付いた。そこには、ジャック・リーチャーよ、リック・シューメーカーに連絡しろ、と書かれていた。そこで、リック・シューメーカーに連絡を取り合うことにした。
飛行機で特殊部隊本部のある Fort Bragg へ向かう。国務省で働く 20 代のブロンドの女性キャシー・ナイスの出迎えを受けた。オーディー軍司令官に説明を受けた。彼とは、20 年ぶりの再会であった。パリでフランスの大統領が、1400 ヤード（＝3/4 マイル）遠方から狙撃され、防弾ガラスの遮られて、命を取り留めた。狙撃者は相当な腕前である。射撃の名人のジョン・コットは、15 年牢屋に入れられていたが、出獄し、G8 サミットに狙いを定めていた。コットを止められるのは、以前コットを倒したリーチャーを置いてほかにはない。リーチャーは一人で挑みたかったが、抗うつ薬が必要な新人アナリストのケーシー・ナイスとチームを組むことになった。コットは、アーカンサスに戻ったが、その後消息を絶った。リーチャーはケーシー・ナイスとともに、コットの家を訪れたが、家にはいなかった。岩を登り、ちょうど 1400 ヤード離れたところに銃の薬莢が見つかった。

リーチャーの母は、パリで生まれたが、ヘビースモーカーであり、60 歳で肺がんでパリで死んだ。リーチャーは、自分の銀星章とともに墓に埋めた。

射撃の名人には、ジョン・コット以外にも、ウイリアム・カーソン(48)、ヒョードル・ダッセフ(52)、ロザン（イスラエル人）(50)などいるが、一体が狙撃したのだろうか？

そのうち、ヘンキンが 1600 ヤード離れた位置から射殺された。コットは、リーチャーを撃つはずであった、銃航路が変わって、ヘンキンを射てしまったのでないのか？

リーチャーは。ナイスを連れてイギリスに渡る。無事空港のパスポートの検問を通過し、予め予約されていたホテルへ向かった。警察のトラックを奪い、ロムフォードへ向かった。
しかし、彼らには、冷酷な盗賊、セルビア人の凶悪犯、裏切り、逮捕など、つらい試練が待ち構

えていた。間一髪。リーチャーは、かつて救援することに失敗した女性のことが頭から離れなった。それをもう一度繰り返してはいけない。ナイスを殺すようになってはならない。リーチャーは、ナイスと親密にならないように努めるが、殺人者は、

41 冊 Sandra Brown の French Silk (403 pages) Warner Books

登場人物：
キャシディー：アシスタント地区首席検察官
オーリンズ・パリッシュ：地区首席検察官
ジャクソン・ワイルド：福音書記官
アリエル・ワイルド：ジャクソン・ワイルドの妻
ジョシュア：ジャクソン・ワイルドの継子
ハワード・グレン：刑事、探偵
クレア・ローラン：フレンチ・シルクの創設者
ヤスミン：フレンチ・シルクのカタログのモデル
アリスター・ピートリー：国会議員
アンドレ・フィリピ：ニューオーリンズのフェアマントホテルの夜のマネージャー

何者かの男女が５歳のクレア・ローランを誘拐しようとしていた。母のマリー・キャサリンが、花瓶を持って男のこめかみに打撃を与えて防ごうとしていた。クレアは、眠りからさめた。という、プロローグで物語は始まる。

ジャクソン・ワイルドの死体が発見された。ジャクソン・ワイルドは、ポルノグラフィー撲滅運動、アメリカからの猥褻撲滅運動で熱狂的な支援を得ていた。そして、フレンチシルクの肌着のカタログを非難し攻撃していた。クレア・ローレンツは、フレンチシルクの創設者であり、ワイルドのことを良く思っていなかった。キャシディーは、地区検察官オーリンズ・パリッシュのアシスタントであり、この事件を担当することになった。ホテルの戸をこじ開けられた形跡はないので、信頼できる人の犯行と思われた。胸、心臓、睾丸に３発射貫かれており、やりすぎかとも思えた。おそらく女性からの恨みを買った可能性があった。

妻のアリエル・ワイルドは、オーケストラをバックに歌を歌う。ヤスミンと妻子のいるアリスター・ピートリーは不倫関係である。ジャクソン・ワイルドのテネシーでの埋葬、葬式はまるでカーニバルのようであった。

クレアの母は、異性の遍歴、クレアを身ごもった時、アルジェで、中絶を考えたが、思いとどまり、放浪癖、クレアを出産した。ジャクソン・ワイルドが殺害された時、クレアは母を迎えに、フェアモントホテルに行った。
クレアとアンドレ・フィリピは、聖心アカデミーの学生（７～１２年生）であった。アンドレ―の母は、紳士たちと関係、そのうちの一人がアンドレの父
アンドレはクレアに母がフェアモントホテルにいることを告げた。ワイルドの死を知らせなかったのは、母を保護するためであった。

アリエルは、ジャクソン・ワイルドと結婚して、貧乏な生活から脱出することができた。キャシディーはデモの抗議からクレアを守った。クレアは嘘をついているのか？ジャクソン・ワイルドの言葉を聞き、胸が重くなり外出した。ヤスミンはワイルドの愛人であった。しかし、殺人の日、ヤスミンはニューヨークにいたと言うし、クレアは自分の車を運転していたと言う。一体本当なのか？アリエルは妊娠した。それは、ジャクソンの子ではなく、多分ジョシュアの子であろう。ジャクソン・ワイルドが殺された夜、クレアは、マリー・キャサリンを連れ出すために、フェアモントホテルにいた。ヤスミンは、女司祭に会いに行き、救いを求めた。「国会議員のアリスター・ペトリーを懲らしめてやりたい」。

アリエルは、妊娠していた。中絶し、流産させ、同情をねらおうとしていた。ヤスミンの自殺、ジャクソン・ワイルド殺害に使用した銃は同じものであった。殺害のあった夜、ヤスミンは、ニューオーリンズにいたことを全く知らなかった。ヤスミンは、ベッドの中で、所持していた銃をなくした。銃はヤスミンのバックの中から見つかった。クレアの車のカーペットのファイバーが、ワイルドが殺された現場に落ちていた。クレアは、ワイルドは自分の父親であることを告白した。クレアの母のマリー・キャサリンは、説教師であったワイルド・ジャック・コリンズに一目惚れし、恋愛して、彼の子（クレア）を宿す。マリー・キャサリンは、2100 ドルを持参金として持って来て、二人は駆け落ちをする。しかし、彼の住処を訪れたが、持参を持ったまま逃亡した後だった。ワイルドは、旅行中、多くの女性を騙し、非嫡出の子供を産ませたに違いない。ワイルス・ジャック・コリンズは、後年、ジャック・ワイルドと名前を変えた。ジャック・ワイルドは、ジョシュアの母に言い寄った。ジョシュアは、アリエルと関係を持つということで復讐したのだろうか？

クレアは、ヤスミンの財布の中から銃を盗み、マリー・キャサリンのドレスを着て、そっとホテルを出て、寝室に忍びこみ、別途で寝ているワイルドを、３発で殺した。その後、銃をヤスミンの財布のもどした。ワイルドは、自分の子供であるクレアによって殺されたのだろうか？しかし、キャシディーの告発は嘘であり、ジャクソン・ワイルドを殺してはいなかった。真犯人は、議員であるアリスター・ペトリーであった。ペトリーの妻のベルはお金持ちであった。ペトリーはそれを利用して、ワイルドを買収したのだ。ペトリーはワイルドを恐喝した。ジュシュアは、彼の父のワイルドは、罪の許し引き換えに賄賂を受け取った。ペトリーはベルと結婚し、会社の社長に就任した。ベルの由緒ある家々の会社は、テレビ伝道師に 10 万ドル以上支払ったのだろうか？ワイルドは、ペトリーがヤスミンと不倫をしていることを知っており、それを公にすると恐喝した。ペトリーは、ジャクソン・ワイルドが嫌いであった。投票に勝つために利用しただけである。ペトリーはヤスミンの銃に近づき、その後、その銃でワイルドを殺害したのだ。ペトリーが、夜 23:00 から翌朝 7:00 の間、フェアモントホテルでヤスミンと一夜過ごした、という証拠は、アンドレ・フィリピーの目撃により得られた。クレアは、殺人は、母を守るためであると、殺人を取り消した。

キャシディーは、クレアに求婚し、受理され、物語はハッピィーエンドで終わる。

40 冊　James Rollins の'The 6th extinction' (426 pages) William Morrow

カリフォルニア州東部のモノ湖は、ヨセミテ国立公園とボティエ州立歴史公園の間に位置する、76 万年前にできた塩水湖である湖の生命は、冬塩耐性藻の異常発生で始まり、春は青くなるがやがて塩水湖に棲息するブライン　シュリンプが藻を食べてしまうため青さがなくなる。燕、カイツブリ、アホサギ、カモメはブライン　シュリンプを食べ、ミサゴが石灰堆積物に住む変わった生態系を持っている。あたりはガスに包まれていた。神経ガスと有機リン製剤の神経毒のサキントキシンであり、猛毒であった。

リモート軍事研究ステーションの研究施設から 911 の連絡が入り、北方に向かうよう指示された。動物の死体が横亘っていた。植物も枯れ、土地は完全に無菌であり疫病が広がっていた。極限環境微生物で毒性環境で生育できる生物を探していた。

南極の表面は凍っているが、数マイル下は、地熱の影響で暖かい。ペルム紀―三畳紀、ほどんどの海洋生物 2/3 の地上の生物が絶滅、そこで XNA の種が根付き生育した。ここでは太陽は要らない。化学合成により生きている。化学合成独立栄養生物バクテリアは、局部的地熱由来の硫化水素とメタンで生育する。ここでの生物は地上とは違う、DNA の代わりに XNA（Xeno=alien、ヒ素とリン鉄、天然と合成生物学のハイブリッド）を使う。DNA の糖部分をヒ素とリン鉄で置換、ユニークな生物体、非常に突然変異を起こしやすい。６度目の大量一斉絶滅に抵抗するため XNA を RNA に取り込ませれば可能であるが、しかし危険性がある。

世界中の絶滅を止める手段を講じるために、司令官グレーピアースとシグマは、南極の冷凍した過去数千年の歴史の秘密から、ブラジルのジャングルの奥深くに埋もれた謎に、シグマは、これまでの最大の課題に直面するだろう。

39 冊　Sandra Brown の'Deadline' (410 pages) Grand Central Publishing (2013)

海兵隊大尉のジェレミー・ウェッソンは、FBI から指名手配中のテロリストのフローラ・スティメルとカール・ウィンガートとの間に生まれた息子である。ジェレミーは、アメリア・ウェッソンと結婚して、長男のハンターと次男のグラントの二人の息子をもうけた。しかし、ジェレミーは、アフガニスタンでの戦役を契機に、PTSD（心的外傷後ストレス障害）に陥り、ウィラード・ストロングの妻のダーレーンと不倫をして、とうとうアメリアと離婚することになってしまった。ハンターの誕生パーティに来ていた、ジェレミー、ストロング夫妻は、アルコールですっかり酔っており、アメリアは不穏な雰囲気を察知し、警察を呼んだ。しかし、警察が来る前に二人は、立ち去っていた。その後、ウィラードと２回目に会った日を最後に、ダーリーンとジェレミーが行方不明になった。ダーリーンの小物がウィラードの不法は犬の消化管から見つかり、ダーリーンとジェイミーは殺されたのではないかと疑われたが、依然として死体が見つかっていない。ウィラードは、アメリアの家に、ダーリーンを殺した銃を持ってやってきた。ウィラードは銃をアメリアに突き付けた。子供達は、女校長とともに来た。ウィラードは、家から出て行った。

アメリア・ウェッソン（旧姓）・ノランは、故アメリカ下院議員のビークマン・デイビス・ノランの娘であり、レム・ジャクソンという弁護士を雇って、被告人のウィラードに対して裁判を起こした。ウイラードには弁護士のグリーソンがついている。ジャーナリストのドーソン・スコットは、FBI 筋からの要請があり、裁判所の観覧席でアメリアの陳述を聞いていた。ドーソンは、一年余りアフガニスタンの戦争圏内にいた、PTSD（心的外傷後ストレス障害）に悩まれていた。

フローラ・スティメルの日記(1978.1.23)には、カールとの逃亡者生活から離れ正常な生活がしたい。ジェレミーを抱いてカールと別れたことが記されていた。

アメリアは、子供達とビーチで、小守のステファニー・エレイン・デマルクを連れて、次回の裁判までの楽しいひと時を過ごしていた。気づいたら、父がくれたダイアモンドがちりばめた腕時計がないのに気づいた。それを、隣に住んでいるドーソンが届けてくれた。ドーソンは、アメリアに恋していた。嵐の夜、アメリアの家は、電気が切れ、真っ暗になり、ステファニーは近くの村まで、バッテリーを買いに、アメリアの車で向かった。そこに、雨に濡れたドーソンがやって来て、自分の家で一夜を明かすことを提案する。ステファニーは、後頭部を強打され頭蓋骨破壊により殺されていた。ドーソンは、死亡推定時刻にステファニーと会話していることが目撃され容疑者になってしまった。ステファニ—の彼氏は、もしかしたら、15 カ月前に失踪したジェレミーが変装した者であり、ステファニーがアメリアのレインコートを借りてきていたので、アメリアと間違って、ステファニーを殺してしまったのではないか？ドーソンは、レイ・ディルから袋一杯の麻薬を買っていた。

ジェレミーは、ウィラードが意識のない時に、ウィラードの積荷から散弾銃を取り出し、ダーリーンを殺し、一旦犬の檻に入れ、沼に捨てた。ステファニーが来ていたレインコートからジェレミーの指紋が検出された。ジェレミーがまだ生きており、アメリアと間違ってステファニーを殺したことが明らかになった。ジェレミーは、厚い髭で被い、犬の檻に入れた頭皮を切った部分を隠すために帽子をかぶり、アメリアを殺し、２人の息子を取り戻すために 15 カ月隠れていた。ドーソンが、ステファニーの荷物を車に積み終わり、別れた隙を見計らい、アメリアと間違い、丸頭ハンマーの一撃で、ステファニーを殺してしまった。ステファニーの殺人現場近くには、所有者登録のないボートが乗り捨ててあった。カール・ウィンガードは、忠実でないアメリアを征服したいと思っていた。ジェレミーは、アメリアと復縁しかかるが、カールが許さない。フローラは、教会に夜盗を行い、カールの支持者のベトナム戦争退役者からボートをもらい、メリーランドからフロリダに逃亡した。FBI 捜査官のゲーリー・ヘッドリーは、何年もフローラとカールを追跡している。カールは、ヘッドリーに捕まるのが怖い。カールは深手を負い、外傷センターに運ばれる。ドーソンの出生の秘密は、カール、アメリア、ヘッドリーしか知らない。ウィラードは、殺人の容疑がかけられており、手錠、足枷をされていた。ヘッドリーはカールに撃たれるが病院に運ばれた。アメリアは無傷であった。ジェレミーは、警察に撃たれた。カールはジェレミーが死んでしまった後は、誰も慕ってくれる人がいない。カールは病棟で治療中、いつも野球帽をかぶり頭皮を隠していた。ヘッドリーはドーソンの名親であった。カールはそっと病室を抜け出し、花束を持って、アメリアとドーソンがいる部屋に忍び込んだ。カールは、銃を持ち、アメリアの背後に回り、アメリアのこめかみに銃を突きつけた。カールの銃がドーソンを外れ、窓ガラスを内向いた瞬間に、ヘッドリーから連絡を受け待ち構えていた SWAT チームがカールを狙撃して侵入した。

瀕死のカールから、ドーソンは、自分の出生に関する驚くべき事実を知る。カールは、フローラに別の男の子を産ませた男の鳴き声が大きいため、床の穴に捨てた。実は、この子供こそがドーソンであったのだ。ドーソンは、ジェレミーの弟であり、ジェレミーとアメリアの間にできたハンターとグラントの叔父ということになる。しかし、ドーソンの父が誰であるかは、ドーソンも知らない。多分、フローラの日記に書いてあるのだろう。ドーソンは、アメリアと幸せに暮らすだろう。子供達が大人になったら、家系について話すことだろう。

38 冊 James Patterson and Michael White の'Private Down Under' (345 pages) Grand Central Publishing (2014).

財政官のジャック・モルガンは、シドニーに犯罪捜査機関であるプライベートの支部をおいた。ジャックは、私立探偵の私（クレイグ・ギスト）を雇い、パートナーとして魅力的で有能なジャスティン・スミスを付けてくれた。私は、プライベート　シドニーをまかされたのだ。ジャスティンには、姉妹のグレタがおり、夫ブレット・ソログッドとの間に、ニッキ（8歳）とサージ（10歳）がいた。

最初の殺人が起こった。起業パーティの席上で、頭を覆った死体がうつ伏せに横たわっていた。10歳後半から20歳前半の男性で、背中を銃の傷、右の大腿部はナイフでめった刺しされていた。犠牲者のホー・チャン(19 歳)には、ID がなく、目がくり抜かれていた。ホー・チャンの父親からお金をいくら使ってもよいから犯人を捕まえて欲しいと頼まれた。

DNA 鑑定で、3 人の血液が見つかり、アンチモンが検出された。入墨は、中国人の入墨師が使用するので 3 人組のギャングの可能性が浮上した。この情報を従妹の検査官のタルボットにメールした。

私は、8 歳の頃、コカイン常用者の母を路上で亡くしている。私は、オーストリアの叔父のベン・タルボットに預けられた。ベンの息子のマークには嫌われていた。18 歳の時、私は法律を学ぶため、1 年 UCLA のカレッジに留学した。イースタの時、マークとベッキーは婚約した。しかし、マークは、私がベッキーに好意を持ち、誘惑しているものと思い、婚約は破談してしまった。それから、9 年後、私は、ベッキーと結婚し、3 歳の息子のキャルと、バリ島で贅沢な休日を楽しんでいた。しかし、幸福な生活はいつまでも続かなかった。妻のベッキーは首を切られ殺された。更に、私の息子のキャルも殺され、片方の目が送られてきた。

やがて、２つ目の殺人が起こった。グレタ・ソログッドの親友のステイシー・フリーウッド（39 歳）が、背中を深く刺され、車内で殺されていた。下着が脱がされ、足を開かされ、膣にオーストリア 50 ドル札が押し込まれていた。計画された犯行と思われた。夫のデービッド・フリーウッドに質問したが、ステイシーとは幸福な夫婦生活を行っており、浮気もしておらず、何故殺されたか、わからない、と言う

ジュリー・オコナーとブルース・フリムメールは同棲していた。子供が欲しかった。手術に失敗して一生子供が授からない体になってから、二人は喧嘩するようになった。ブルースはアパートを出て行った。ジュリーの父は、母がボーイフレンドと浮気している時、強盗に襲われ 34 歳で命を落としている。ジュリーは、ブルースを殺害する計画を立てた。インターネットで、サブリナという名でブルースにメールし、燃え尽きた家に呼び出し、ブルースの頭をハンマーでたたいて殺してしまった。

メアリーは、中国人のバーテンダーが働くレストランに行った。二人の仲の良い兄弟の一人は、リン・サングという名前であった。メアリーはトイレに入る振りをして、建物の外側を見たら、倉庫があった。メアリーは二人に襲われたが、撃退した。

ジュリーは気分が悪かった。連続殺人の噂が流れていた。注意しなければならないと自分に言い聞かせた。ジュリーは、セスミン・トレンツ・シックの車の後ろに乗り込み、ナイフを突きつけ、車を出すように言った。

シートの血液は、ホー・チャンと一致した。それ以外に、窃盗の配管工、マネージャーの妻の

ベッシ・グリフィン、そして二人のアジア系男性の血液が検出された。

ジュリーは、グレタの二人の子供（ニッキとサージ）のベビーシッターになりすました。ソロフット家は、グレタの誕生日を 100 名の人と祝うため、ボンディビーチのレストランを借り切ってパーティを催すため、ジュリーを雇ったのだ。しかし、夜半、ジェリーは子供を寝かせたと早合点して、家を物色して、赤のドレスと靴を履こうしている時、ニッキに見つかってしまった。誰にも言うなと短剣を突きつけた。

また、殺人が起こった。3 人の男の子の母であるヤスミン・トレントの死体（41 歳）が上がった。顔はタバコで焼かれ、背中には切り傷、スカートはまくれ、膣には 50 ドル札が入れられていた。

男女共学に通うアンソニー・ヒラリーは、女友達のカレンとあばら家で愛し合った後、トイレで悲鳴を上げた。一週間後、カレンの死体が発見さて、膣に 50 ドル札が詰められていた。

ダーレーンは、フォーカスというソフトで、顔の分析をした。二人の男の DNA が検出されたが、指紋はなかった。犠牲者は、3 週間行方不明になっていた 38 歳のジェニファー・グランガーであった。車の走行距離から、ヤスミン・トレンドの死体発見場所から 31 マイルしか離れていないことがわかった。ダーレーンは、、ジェニファー・グランガーが発見された場所に行き、その家の庭から、死後 2~3 ヶ月経ったいた男の死体を発掘した。首についていた毛は、エルスペス・ロンンバートの死体についていた毛と同一であった。Y 染色体がないことから、犯人は、女性であることが判明した。

ジェリーは、父を亡くし、11 歳の誕生日には、母から何ももらえなかった。母から虐待を受け、その仕返しをした。

私は、ホーの子供を誘拐したリンを追い、銃撃戦の末、リンを殺し、ダンを助けた。

家のトイレで二人の死体が上がった。一人はフリムメール、もう一人は、クランガーであった。ジュリー・オコナーは、フリムメールの前妻であった。ジュリーは、サイレンの音を聞きつけ、火を放ち、脱出した。ジュリーは変装し、次の殺人を企画して、スクラップブックにその名前を記録する。

ダーレーンは、スクラップブックの紙の細部をササ―という機器で解析し、次の被害者は、「グラタ　トログッド」であることを見つけた。私が駆け付けた時には、グレタは、パースレイベイの何マイルも砂浜が続くビーチをジョギングしていた。ジュリーがナイフをグレタに突き付けたその瞬間、マークは、部下とともに突進して、ジュリーと格闘した。私は、腹部に痛みを感じ、崩れ落ちた。その時、ピストルの音がして、重たい身体が私に覆いかぶさった。私意識を失っていた。私は夢を見ていた。

目が覚め、私は病院に運ばれ、マークから奇跡的に救助されたことを聞き。マークと仲直りした。ジュリーは貧困生活を強いられ、裕福な遊び呆けている奥様連に対して異常な敵対心を抱き、連続殺人を犯したのだ。ジュリーは収容所に収容されて物語は終了する。

37 冊目、James Patterson and David Ellis の‘Invisible’ (401 pages) Little Brown (2014)

私（エミー・ジーン・ドッカリ―、35 歳）は、8 カ月前に、双子の妹のマーサをアリゾナ州ペオリアで不審な火災により失った。私は、結婚 3 カ月前にブックスと別れていた。私は、放火事件のアシスタントとして事件の取り調べを許された。

アメリカ全土で、１年間に 54 件の火災が発生したが、これらには、全て共通点があった。いずれも毎回一人の犠牲者に限られ、犯行場所は、ベットルームで、しかも火元であった。最初の 4 カ月間の 32 件は、全てアメリカの中西部以外の端で起こり、後半の 4 カ月間の 22 件は中西部で起こり、二つのクラスターに分かれていた。同一の犯人の仕業であると思われた。火災で証拠を消したのだろう。先ず、犯人が住む場所を探ることから始めた。犯人は思い付きのまま人を殺しているようだ。仮性現場では、アラームがセットされていなかった。エアコンがついていたが、窓が開いていた。寝室以外に蝋燭はなかった。火を加速するものはなかった。正当な理由がない限り、解答はでない。犯人は、精神病者であり、殺人後、膣内にナイフを入れたり、舌を取り出してベッドの下の屑箱にしまったり、犠牲者に最大級の苦痛を与えた。

犠牲者のジョエル・スワンソン(23 歳)とカーチス・ヴァレンタインの遺体を発掘して調べたところ、思わぬ事実が判明した。彼らの肺と喉から、タイヤの焦げたものから発生する二酸化硫黄(SO2)が検出されたのだ。また、両肘、両膝、両手首の皮膚を切り刻み、骨を取り出していた。犯人は、相当な医学的な知識と経験を持ち、おそらく別の場所で殺人を起こし、火災による事故死に見せかけようとしたと思われた。

犯人は、フットボールスタジアムのある場所で殺人を行った。日曜日以外は殺していないので、多分フットボールを見に行っているのだろう。しかし、最近になり、１回につき１人の殺人のパターンが崩れ、１度の６人殺したり、４人殺したりするようになった。次に来ることが予想されるデトロイトのフォードスタジアムで、多数の警官を配置して待ち構えていた。私は、6000 人の観客の中から、30~40 歳で中肉中背の白人を必死に探し、とうとう犯人と思われる人物と対峙した。連絡しようとした、その時、突然、数か所で火薬の爆発が起こり、逃げ惑う観客に阻まれ、犯人を逃がしてしまった。駐車場では、ペンシルバニア州のナンバーの車が３台停めてあった。ライセンスプレートから身元を調べ、とうとう、ウィンストン・グラハムが容疑者として浮上した。ウィンストン・グラハムの農家を取り囲んだ。爆破物検出機のケビンが反応を示した途端、爆破が起こった。バーに仕掛けてあったレコーダーにより、グラハムは、37 歳のバーテンダーのマリー・ラニーと恋中になっていることが解った。マリーの母は、出産で死に、父親１人で育てられ、2011 年には父を亡くしている。しかし、マリーの家に行ってみると、バットで頭を強打されて血を流しているマリーが床に倒れていた。奇妙なことに、バットで強打したのに、マリーは殺されてはいなかった。グラハムが躊躇して、決定打を放たかったためだろうか？グラハムは、全国指名手配されてから日記をつけはじめているが、それは、もし捕まったら、説明するためなのだろうか？マリーは退院し、一緒に犯人捜査に乗り出す。

しかし、ウィンストン・グラハムは１年前に死んでいることが発覚した。我々の犯人は、グラハムを殺し、グラハムの家を中心に活動していたのだ。とうとう、マリーが犯人であることが明らかになった。私はマリーと解剖用メスを振りかざし、死闘を繰り返した。私は、深手を負ったが、やむを得ず犯人を正当防衛で殺した。事件は解決し、妹の敵を討つことができた。病院には、ブックがお見舞いに来てくれ、仲直りした。

36 冊目、Dan Brown の Lost Symbol (509 pages) Doubleday (2014)

ピーター・ソロモン(58 歳)は、フリーメイソンに設定された上位階級の中でも最高位の人物であった。ピーターは、父親を癌でなくし、母親を強盗未遂者に銃殺され、認知心理学者（Noetic scientist）のキャサリン(50 歳)以外に身内はいない。一人息子のザカリーがいたが、父親からの遺産をあてにして、薬物乱用、放蕩生活を繰り返し手挙句の果てに刑務所に入れたが、ピーターは憤慨して刑務所からの出獄を助けなかった。キャサリンは、同じ建物内にあるノエティック・サイエンスの研究室のリーダーであり、ピーターにより教育を受け、古代の失われた知識を再復活させることを使命としていた。キャサリンは、「十分な数の人々が同じことを考え始めた時、その考えが結集して蓄積し、実際の力を発揮する。」と考えている。

ハーバード大学宗教象徴学教授ロバート・ラングドン（46 歳）は、旧友のピーターの秘書と名乗るものから、急遽講義を依頼され、ピーターから預かってもの（秘密のピラミッド）を持って、ワシントン DC の米連邦議会議事堂に向かった。ワシントン議事堂は 180 フィートの高さがあり、その天井は、4664 平方フィートのアメリカ初代大統領のジョージ・ワシントンのフレスコ画が、1865 年にコンスタンチノ・ブルミディにより描かれている。この最大のフレスコ画は、ジョージ・ワシントンの神格化と呼ばれている。しかし、議事堂に行ってみると、学生は一人もいず、ピータ-にも会えず、ラングドンは途方に暮れた。ただ、ドームの天井を指し示すピーターの切断された右手首が見つかった。マラークという全身刺青の男は、ソロモンを誘拐して、その命と引き換えにラングドンに議事堂に隠された「古の神秘」を解読させ、アメリカ建国の父たちがワシントン D.C.に隠した秘密を手に入れようとしていたのだ。

ラングドンは現場に現れた CIA 保安局局長のイノウエ・サトウ（真珠湾攻撃後、日本人捕虜収容所で生まれ、戦争の恐怖を忘れないでいた）に拘束された。サトウから全ての指先には、「神秘の手」として知られているアイコンが刺青されていること、そして、「神秘の手」は、何世紀もの間、少数のエリートのみにしか知らされていない保護された秘密の知識を受け取るという招待状であること、この秘密の手は、秘密の入口を通過して、キリスト教普及以前の古代の秘密の知識を獲得するための正式な招待であること、そして、ピーターが信じている秘密が、ここに隠されていることを聞いた。サトウによれば、マラークの解き明かそうとしている古の神秘は国家機密であるという。マラークはそのキャサリンの実験データを狙い、彼女に魔の手を伸ばす。キャサリンは間一髪逃げ出し、連邦議会議事堂に向かい、ラングドンと落ち合う。ラングドンはキャサリンと共に、秘密を解き明かしながらピーター・ソロモンを探し始める。ピーターの指には、SBB XIII という記号が記されていた。これは、地下の SUB Basement 13 であると判断され、そこに向かった。一方、助手のトリッシュは、ピーターの秘書と名乗る男を案内して地下へ進む。男は、トリッシュから、キーカードを奪い、個人識別番号を聞き出した。トリッシュが引っ掻いた後には、刺青が見えた。いったいこの男は誰だ！刺青の男は、トリッシュの顔をエタノールの中に入れて殺し、水槽の中の巨大イカの餌食にした。キャサリンはトリッシュに連絡が取れず、心配になり地下を捜索中に刺青の男に見つかり、追い詰められた。キーカードの入った実験着を破られキーカードを奪われ、のど元をつかまれたが、振り切り、車で逃走した。しかし、再度、刺青の男に見つかり、注射針を刺され、出血状態にされた。

ラングドンは解読を続けていた。ピラミッドの上に、16 文字が記されていた。石の箱に、AD1514 年と明記されていた。ドイツルネッサンス最大の画家、版画画家のアルブレヒト・デューラーは、1514 年にメランコリアを制作している。また、下記の 16 個の魔法の正方形（縦、横、斜め、済の

４つの正方形の合計は、全て 34 になる）に見つけた。あてはめ、順番に読んで行くと、
16 3 2 13
5 10 11 8
9 6 7 12
4 15 14 1

Jeova Sactus Unus に変換された。これは、One true God を意味する。

ラングドンは、コリン・ギャロウェー師に導かれて石の箱の中に、指先を入れて探ると、何かあるのを感じた。それは、箱の底に丸いシンボルを見つけた。33°回すと、石の箱は解体して、十字架に変化した。

刺青の男、マラークは、10 年前にキャサリンの母エザベルを殺している。なぜ、刺青の男は、ピータファミリーを殺すのか？それは、この刺青の男こそ、ステロイドの投与で人相が変わったピーターの一人息子のザカリーであったのだ。ザカリーは、ピーターから、キャサリンは無事救出されたこと、また、ピーターはザカリーのことを愛するが故に刑務所にやったことを話した。ザカリーは今初めて、自分は、父親から愛されていたことを知り、今まで全て誤解であったことに気付く。すると、ザカリーの身体で化学反応が起こり、溶解し、全ての痛みが消えた。変容が起こったのだ。困惑、迷い、躊躇、奈落へ落ちて行く。この世から消えて行く。

ピラミッドのベースには、彫り刻まれた正方形の 64 文字があった。フランクリンの 64 個の正方形の序列を用いて、部分的な解読を試みると、Laus Deo、Praise God!と出た。

古では、神は無限の人類の能力であったが、古代のシンボルは今日まで、失われていた。太陽の光は 3300 ポンドの冠石を包み込み、人類の心は啓発される。毎朝、光は記念碑を下り、天国は地球に向かって動き、神は人間に繋がる。夕方は逆の営みがある。太陽は西に沈み、光は地球から発し、天に戻る。そして新しい日を迎える。

キャサリンの実験室は再開し、キャサリンとラングドンは、希望を取り戻す。

35 冊目、August 6, 2015

James Patterson and Maxine Paetro の Unlucky 13 (384 pages) Little Brown (2014)

今回の小説は、The Women's Murder Club(婦人殺人クラブ）の第 13 作にあたります。作者のジェームス・パターソンは、Newsweek7.21.2015（表紙タイトル：チャイナ・リスク）の 62~63 頁（ベストセラーの書き方教えます、に紹介されております。この物語は、宿敵マーッキィの再来と解決、ハンバーガー爆破事件、船旅でのテロリストよる乗っ取り事件、が同時に進行します。

以下が、あらすじです。

サンフランシスコ市金門橋で、赤いジープに乗っていた 2 人の大学院生が、内臓に仕掛けられた爆弾により、殺された。被害者は、音楽を専攻するララ・トゥリンブルと、心理学を専攻するポスドクのディビッド・カッツであった。捜査官の私（リンジー・ボクサー）は、4名からなる婦人殺人クラブ（クレア、シンディー、ユキ、リンジー）に属していた。クレアは、３回の母を経験したアフリカ—アメリカ混血のグループの中心的存在である。リポーターのシンディーは、検査官のリッチー・コンクリンと撚りを戻して婚約した。ユキ・カステラノは、離婚を終えた新警部補のジャクソン・ブラディと結婚する予定であった。私には、夫のジョー・モリナリとの間に、ジュリーという生後６カ月の一人娘がいる。

マッケンジー・モラレスには、既に他界した連続殺人犯のランドルフ・フィッシュとの間にベンという男の子がいる。モラレスは、既に３人を射殺した経歴を持つ。モラレスは、FBI から指名手配中の逃亡者である。以前モラレスが負傷を負い車椅子で運ばれた時、リーッチーが傍らにいたこともあった。そのモラレスが、ミシガン湖畔のクリーブランド町にあるフィッシュの父の家の近くで目撃された。

シンディーは、クロニクルの編集長のヘンリー・タイラーの承諾をもらい、タイラーとともにクリーブランドに向かった。土曜の午前 10:30 頃、ブラディ—からの電話でリンジーは、目覚めた。子供のいる中年の白人女性が、爆死したのだ。あと、45 分で、ユキの結婚式が始まるのに、リンジーは現場に向かった。

マッキーは、顔を隠してシカゴの中心的ビジネス街の銀行に入り込み、黒人の出納係から数千ドルを掻っ攫って逃げた。ジャクソン・ブラディーとユキ夫妻は、10 日間のアラスカへ新婚旅行に出かけていた。ジープ内で即死した二人は、顆粒状の爆発剤の入ったチャックの精肉の過程で入ったバーガーを食べていたことが分かった。私は、ヤンセングが経営するチャックの精肉工場を訪れ。全ての従業員に質問したところ、誰もカプセルを入れていないことが判明した。さらに、被害者が出た。バーガー店の駐車場で、チャックの肉を使った朝食バーガーを食べた男性が、胃内爆発で即死したのだ。再び、ヤンセングを訪ねたところ、爆破者に脅迫の迷惑メールを受け取り、騒ぎを大きくしたくないので、要求額、現金 50000 ドルを、ランチボックスに入れ、生ごみブリキ缶の中に入れ、犯人に手渡していたことを白状した。

シンディーは、マッキィーらしき人物が、シカゴの銀行で強奪したこと、フィッシュの家には爆弾が仕掛けられていることを知る。路肩に女性の死体が見つかり、左のこめかみを銃で撃ち抜かれていた。マッキィーの手口に似ていた。チャックの HQ に、犯人から今度は 10 万ドル要求があった。シンディは、MacBook で検索し、マッキィーの母は、サンフランシスコで孫（マッキィーの子供）の面倒をみていること、そして、マッキィーは、サンフランシスコに向かっていることを知る。マッキィーは、17 時間のドライブでサンフランシスコの母の家に着くと、そこに、シンディーの運転手の車があるのを知る。

新婚のユキはブラディとアラスカへ船旅に出かけていた。ユキからビデオが届き、テロリストグループにより船を乗っ取られたことを知る。首謀者は、10 万ドルから 500 万ドルを渡さないと、乗客の命が危険であることを知らせた。その後、しばらく、テロリストグループにより乗客の何人かが射殺された。ブラディーはラゾロフと助け合い、犯人グループの銃を奪い反撃し、犯人グ

ループの勢いは弱まっていった。救援部隊の到着により、乗客は救助された。ブラディーは骨の損傷、ユキは体調不良で、病院に運ばれた。

ケルナーによる顔のスキャナー分析により、ハンバーガー店に頻繁に立ち寄っている冷凍トラックの運転手があることが分かった。その写真をヤンセングの秘書に見せたところ、、ウェルター・ブレナーであることが判明した。私とコンクリンは、ウィエルナーの家を訪ねた。そこで、ウェルナーと異母兄弟のドンナ・ティンコを銃撃戦の末、取り押さえることができた。ティンコに、殺人の動機を訊いたところ、彼女の犠牲者、警察、チャックの執行部、FBI そして私に対して恨みから犯行を犯したことを自供した。

マッキィーは指名手配された。シンディーと私は、銃撃戦の末、正当防衛により、宿敵のマッキィーを銃殺され、一連の殺人事件の幕が下ろされた。シンディーは、負傷を負い、病院に運ばれたが、そこでユキたちと再会した。それぞれのカップルがそろい、無事を確かめて、物語は終わる。

34 冊目、July 24, 2015
Dean Koontz の The City (Bantam Books)(398 pages) (2014)

60 年代のアメリカ、音楽的な才能に恵まれた少年が、人生の不思議と忍び寄る危険に遭遇する。主人公のジョナーは、1957 年 6 月 15 日に、母シルビアと父ティルトンの間に生まれた。曾祖父は、理髪師、曾祖母は美容師であった。祖母は脳梗塞で 52 歳で死亡した。ジョナーは、ピアノ弾きの祖父のテディーからピアノの手ほどきを受け、将来は、祖父を超えるピアニストとを夢見る。シルビアは、ティルトンに愛想を尽かして離婚して、ジョナーを連れて祖父テディ―の家に移った。シルビアはナイトクラブでシンガーとして働いたため、ジョナーの養育は、ロレンゾ夫人に任せられた。ロレンゾ氏は心臓発作で死亡した。ジョナーは、パール嬢という名の超自然的な指導者（The City)に出会い、庇護され、育て上げられる。The City は、真剣であり、楽天的であり、郷愁をそそり、勇気を与え、怖く、そして神秘的である。私は、The City に憑りつかれ、殺された夢を見るが、翌朝、目覚め、生きていたことに気付いた。ジョナーの周囲には危険な人達のグループが現れ、一連の悪夢の後、まだ見ぬ敵に遭遇する。ジョナーは 9 歳の時、フィオーナ・キャシディーが死ぬ夢を見た。なんと、キャシディーは、ジョナーと同じアパアパートに住んでいた。ジョナーはこの不思議な女性に興味を持ち始ちはじめ、危険を犯して、屋根裏から彼女の部屋の様子を伺った。彼女の正体を突き止めるため、同じアパートの 5 階に住む吉岡氏を、母の作ったクッキーを持参して訪問した。キャシディーは精神病質者であるのか？キャシディーには、二卵性双生児の弟がおり、幼少の時、一酸化窒素による窒息死で両親を失っており孤児院で育てられていることを知る。益々不可解かことがわかり始め、それに、ジョナーの父ティルトンが関わっていることが明らかになった。ジョナーは絶望を感じ始めるころ、The city（パール）が現れ、「何事が起ころうとも、災害が積もって不幸になろうとも、やがて全ては良い方向に向かうだろう」と悟らされる。これで、ジョナーは、前進し運命と対峙できた。

著者は、同じことの繰り返しには満足しておらず、常に新境地を探索している。

第 33 冊目、June 28, 2014

Danielle Steel の First Sight (Delacorte Press)(373 pages) (2013)

48 歳のティミー・オニールは、ヨーロッパに支社を持つ既製服を取り扱う巨大複合企業の社長であり。アシスタントとして、32 歳のマーケティング部長のデービッドと、38 歳の編集担当のジェイドをアシスタントとして従え、精力的に働いていた。ティミーは、５年間の結婚生活後、4歳の長男マークを脳腫瘍で亡くし、子供が欲しかった両性愛者のデレックと、すぐ離婚した。現在、独身のザックと付き合っているが、それは独身の寂しさを紛らわすだけの関係である。ティミーは、ジェイドとデービットを連れて、パリに出張したが、急に気分が悪くなり、内科医のジーン・チャールズ・バーニヤ教授をよび、虫垂炎の疑いがあるので、至急病院で MRI 検査を受けるべきだと言われたが、仕事を中止するわけにゆかず、頑固に断った。ショーは大成功し、パーティも無事終わり、先にティミーとデービットをニューヨークに返し、一人、パリ最後の夜を過ごしたホテルで、夜中、へその周辺に再び激痛が走り、たまらずジーン・チャールズに電話し、病院に運ばれた。予想通り、虫垂炎と診断され、虫垂が破裂し毒素が流出した。手術は成功したがティミーは、「天涯孤独なヒト」であった。ティミーは、ジーン・チャールズと親しくなるが、彼には、二人の娘（17 歳のジュリアンナと 15 歳のソフィー）、一人の息子（医学部 1 年生のザビエル）がおり、結婚にまでは踏み込めない。パリを去る日が近くなる頃、ジーン・チャールズの妻との夫婦仲がうまくいっていないことを知る。

ホノルルでザックと過ごしたが、自分はザックに利用されていることを知り、ザックと別れることを決意する。ティミーは、聖セリリア孤児院に行き、ブレイクが薬物乱用で刑務所に入れられた母親に虐待され預けられていることを知る。ティミーはマークと境遇が似ているブレークに愛情を覚え、養子として引き取りたいと思った。しかし、裁判の末、祖父母が、ブレイクを引き取り、シカゴに連れて帰ることになった。ティミーは、落ち込んで行く。

ティミーは、パリでショーを行うために再び出張する。ディナーにジーン・チャールズを招待する。そして、2人は激しく愛し合い、ティミーは妊娠した。しかし、ジーン・チャールズには告げていない。しかし、ジーン・チャールズの妻が悪性腫瘍に侵され、妻の治療、子供たちとの養育のため、逢う機会がなくなり、2 人は疎遠になってしまう。

ティミーは、５歳の時、大晦日の日、父親の飲酒運転により車が大破し、両親は行方不明になり、聖クレア孤児院に預けられた。両親はまだ健在なのか、自分の両親はどんな人なのか知りたくなった。両親の居場所をジェイドに頼みネットで検索してもらったところ、アイルランドの首都であるダブリンにいることを突き止め、逢いに行った。父親は結核で死亡し、65 歳になる母は、2人の子供とひっそり生活していた。ティミーは、父親がホームレスの麻薬常用者であり、母が掃除婦として働いていたことを聞き、生活の困窮のためティミーを置き去りにしたことを聞いた。ティミーは母のことが気の毒になり、ついに許した。帰路、パリのショーのために立ち寄った。リハーサルの最中、舞台から転落し床に落ちた。容体が急変した。デービットは機転を利かし、ジーン・チャールズに緊急の連絡をとり、病院には運んだ。検査の結果、骨折はしたが、胎児には異常はないことを知りほっとする。ジーン・チャールズは、離婚を決意し、指輪を外していた。

ティミーは、妊娠６カ月であり、おなかの胎児はジーン・チャールズであることを告げた。ティミーは、ジーン・チャールズからプロポーズされ、アクセプトするところで物語は終わる。

第 32 冊目　June 7, 2015

Danielle Steel の A perfect life (306 page) Delacorte Press (2014)

米下院議員のパトリック・ホルデンが UCLA の学生に向けた講義をしている最中、ヒステリーな学生に胸と首を討たれ瀕死の重傷を負う。47 歳のブレイズ・マッカーシーは、その光景を収めたビデオを、ニューヨークテレビ局のオフィスで見ていた。ブレーズは、23 歳の時 TV 局で気象情報を担当していたが、カメラマンのビルと恋に落ち結婚した。戦争を取材していたビルは狙撃兵に打たれ死亡する。その後、22 歳年上のベンチャー資本家のハリーに求愛されて結婚したが、ハリーには前妻との間に４人の子供がいたが、ブレーズとの間にサリマが生まれる。ハリーの女癖の悪さに耐え兼ね、ブレーズは離婚を決意し、サリマを引き取る。フレーズはその後、野球選手、政治家と恋愛遍歴を重ね、41 歳の時に、妻子あるニュースアンカーのアンドリューと不倫に陥る。娘のサリマは 3 歳の時に、１型糖尿病を患い 8 歳で網膜剥離により失明した。サリマの世話は、未婚の若い女性のアビーがしていたが、髄膜炎で病死した。学校の感染予防のため一時閉鎖された。19 歳になったサリマの養育を担当したのは、ブレーズとは 15 歳年下（32 歳）の男性のサイモンであった。サイモンは、自慢の料理をこしらえ、サリマの歌が上手なことを見抜き、一緒にその才能を伸ばそうとする。サイモンは、ブレーズに出会う前に、３人の子供と夫のいるメガンと恋愛していた。ブレーズの会社では、30 歳のザック・オースチンが社長に就任し、若いスージーを登用して、ブレーズを追い払おうとする。トップに立つ人は、決して完全ではない生涯において、孤独である。学生に銃撃されたパトリックは意識を回復させることなく、死亡した。ブレーズは、パトリックの葬式に参列し、現代の若者が、経済、環境、雇用採用の機会の減少に伴い、危機に瀕していることを意識する。ブレーズは、会社で受けた仕打ちや悩みなどをサイモンにぶつけ、次第に二人は好意を持ち始める。２人が夜愛し合っている間、朝寝坊した時、サリマが部屋から現れないので、不安になって部屋をのぞいてみると、インスリン注入ができず意識を失っていたのだ。幸い、緊急で病院運ばれため、一命を取り留めた。これが契機となり、サリマ、ブレーズ、サイモンの絆がさらに深まった。気を許した夜、二人は、ピルを飲まず、コンドームを填めずセックスにしてしまった。スージーは、大統領夫人とのテレビインタビューに打ってでたのはよかったが、質問の内容が大統領一家の不倫・同棲愛に関するといった個人的でお粗末なものであったため、大統領夫人は憤慨してスタジオから出て行ったしまった。その結果、スージーはTV局から辞職することになり、ブレーズの競争相手は当分いなくなった。サイモンは、不倫の中にあったメガンから、夫と離婚したので結婚しないかと誘われ、ブレーズへの愛とメガンへの愛の板挟みにあう。結局、サイモンは、メガンと合うことを選び、ブレーズと別れる方を選択した。サイモンの代理として、29 歳の女性のベッキーをサリマの養育係として採用する。ベッキーは料理が下手であったが、サリマから習い１つずつ物して行き、ベーキー、サリマ、ブレーズの三人は少しずつ絆を形成しつつあった。ブレーズは、体調の不調を訴え、医者に診断してもらったところ、妊娠していることが分かった。いろいろ迷ったが、妊娠中絶しないで、産む決心をする。サリマの歌のコンテストには必ず出席すると約束したブレーズではあったが、仕事先のパリ

からの飛行便の遅れがあり、約束の時間に間に合わなくなった。しかし、ブレーズは機転を利かせ、アメリカの大統領との会談が予約されているといった嘘を言い、ニューヨーク空港に着陸後、税関の通過を待たずに直行した。サリマのリサイタルが始まる前にかろうじて間に合うことができた。ブレーズが戻ったのに気付かないサリマは不安そうであった。ブレーズは、ステージの前に進み、「母はここにいますよ」と叫ぶ。母の存在に気付いたサリマは俄然頑張り、優勝した。サリマの優勝を祝いために、サイモンは駆けつけた。そこで、サイモンは、ベッキーと別れたことを伝えた。その時、ブレーズはサイモンの子供を宿していることを告白した。やがて、男児のエドモンドが生まれ、サイモンの母からも同意が得られ、目立たく、２人は結婚することになる。ブレーズが100歳の時、サイモンは、まだ85歳である。愛に年はない。L'amour n'a pas d'age (=Love has no age).

第 31 冊目　May 23, 2015
Danielle Steel の'Winners' (334 pages) Delacorte Press (2013)を読了

ビル・トーマスの一人娘のリリーは、子供の頃からスキーが好きで、オリンピック選手になるべく優秀なコーチのジェーソンに鍛えられていた。視界が悪い悪天候の中、リリーはジェーソンと無人の雪山にリフトに乗り出かける。ダイナマイトが何度か炸裂し、突然、リフトのケーブルが故障し、二人はリフトから放り投げられる。リリーは深い雪中に落下したたため、一命を取り留めたが、意識はなく、病院に搬送された。一方ジェーソンは、運悪く峡谷に転落し即死した。リリーは、病院に搬送され、神経外科医のジェシー・マシューズ(43 歳）が処置することになった。ジェシーには、夫の麻酔科医のトムとの間に生まれた長男のクリス(18 歳)、次男のアダム(11 歳)、三男のジミー(6 歳)、長女のヘザー(15 歳）の４人の子供がいた。ジェシーは、夜、リリーの処置を担当した。リリーは、低温、脊椎損傷と判定され、緊急手術を受けることになる。

ジェシーの懸命な努力により、リリーは、足の機能は回復できないが、身体のその他の部分は完全回復した。ジェシーが、深夜リリーの手術をしていた頃、ティムの運転した車が、突っ込んできた車を避けようとして、凍った雪の上でスリップして、スポットライトに衝突した。ティムは即死、後部座席に同乗していたジミーは軽傷であった。留守電から、この悲劇を知ったジェシーは愕然とする。

リリーは、足の機能を失うが、それ以外の機能は使うことができるという診断結果であった。山は、リフト事故の原因が明らかになるまで封鎖され、立ち入り禁止となった。ビルは何としても、リリーの足を復帰させたかった。リリーそして看護婦のジェニファーを連れて、ロンドン、チューリヒ、ニューヨーク、ボストンに出発し、４人の神経外科の権威から、治療の可能性を尋ねた。しかし、足の復帰の可能性は低いことと聞かされ絶望する。

ビルの大学時代の友人のジョーは、ニューヨークで財政マネージャーの仕事をしていた。ジョーは仏教の尼を目指すカレンとの不和による離婚後、生きる意欲を失っていた。ピストル自殺をしようとしたその瞬間、電話がなった。ビルから、リリーの事故、４人の神経外科の先生との面会、そして久しぶりにニューヨークで会いたいという内容であた。この電話は、ジョーに自殺を思いとどまらせた。

リリーは退院し、リハビリを受けた後、高校に復帰する。最初は疎外感を味わったが、友達と徐々に仲を取り戻しつつあった。

ビルは、ジョーの漠然として思いつきにヒントを得て、10~12 歳以上の脊髄損傷の児童を対照としたリハビリ病院「リリーポッド」の設立を企画する。ジェシーはビルから経営をお願いされたが、地元を離れたくないので、癌を患い、離婚歴のある大学時代の友人のキャロルを紹介した。ビルは、キャロルの才能を見抜き、組織に参加するよう説得する。

ジェシーは、ビルから、新築の快適な家を提供するから、リリーポッドの医療管理者になってくれないかと頼まれた。家の経費のやりくりに悩むジェシーは、とうとうビルの誘いに屈し、医療管理者として働くことをなった。子供たちもデンバーに移り住むことを最初は嫌がっていたが、次第にデンバーでの生活になじんで行った。

リリーは、パラリンピックのダウンヒル滑走で銀メダルをとり、皆から祝福された。真夏には、リリーポッドの開設式が挙行され、地域の医師、上層部の人たち、理学療法士、看護婦、校長、建築家など多数の招待者が参列した。入口には、モネのユリ（リリー）の油絵、お隣には、テディーの絵、その近くには、”勝利者のサークル”と呼ばれている黒い花崗岩の壁があり、そこには、寄贈者の名前が記されており、スポーツ大会でのメダル獲得者の名前も記されること予定であった。リリーポッドではジェシー、キャロル、ジョーが協力して経営にあたり、脊髄損傷の患者が次々に担ぎ込まれてきて、軌道に乗り始めた。リリーはクリスと、キャロルはジョーと、そして最後にジェシーとビルは恋に陥り、皆勝利者となって物語は終わる。

第 30 冊目 May 11, 2015
Robin Cook の‘Cell’ (402 pages) Putnam (2014)

George は、ロスアンゼルス大学メディカルセンター放射線科の研修医４年生であった。George には、ステージ３の進行性卵巣がんに罹ったフィアンセの Kasey がいた。Kasey は、突然精神状態がおかしくなり、急死する。その頃、病院では、iDoc が話題であった。iDoc は患者のの皮下の埋め込まれ、患者に対して適切な診断、治療方針を指示するスマートフォンである。経営者の Thorn、Thorn の姻戚であり George の上司である Clayton、George の大学時代からの友人の Paula が講演会で iDoc のアピールをした。そのためか、益々、iDoc が広まりつつあった。しかし、その後、George の周囲の患者が次々に死亡した。その全ての患者が iDoc を使用していたことに不審を抱き、George は捜査に乗り出す。アパートの隣人であるに患者の DeAngelis が車を運転してメディカルセンターに向かう途中で、精神状態がおかしくなった。突然自分の腹をナイフで切り付け、iDoc を取り出した。しかし、その車は、メディカルセンターに激突し、DeAngelis は即死した。DeAngelis の死体が大学に安置されている間に、Clayton と George が iDoc を探そうとしたが見つからなかった。DeAngelis の葬儀に参列した George は、スキを狙い棺の蓋を開け、腹に埋め込まれていた iDoc を探しんた。しかし、iDoc はなかった。George は棺を封じる直前に見つかってしまい逃走する。Gerogen は、廃棄車処理場で、車内に iDoc があることを確認し、持ち帰る。George のアパートに、何者か忍び込み、監視カメラ、盗聴器を設置したため、George の行動を常時監視されることとなる。その隠しカメラに George の友人の Zee が写っていた。Zee は iDoc を調べ結果、死亡する１７分前に、2 箇所の（ロサンゼルス、メリーランド）のプロクシサーバーから停止コマンドを上書きされていた可能性があることが分かった。George はついに逮捕され、一夜刑務所の放り込まれた。裁判を受け、交渉の末 5 万ドルの保釈金を支払いことにより出獄できた。Zee は、真相を確かめるため、ロスのプロクシサーバーに向かう途中、謎の交通事故により死亡したこと

を新聞記事により知る。George には誰も協力者がいない。George は、Paula に電話し、これまでのいきさつを説明し、捜査に協力を依頼し、OK をもらう。人目を忍びながら、Paula の家に車でむかった。Paula の家で一夜を過ごし、これまでの経過を説明して理解してもらえた。アルコールの勢いもあり、２人は愛し合う。しかし、George は GST で追跡されていた。明け方、爆発音で二人は目覚める。正面玄関のドアが開けられ、何者かが侵入者した。二人は、捕まってしまい、目隠しされたまま、ロスのプロクシサーバーのある丘に運ばれた。個別の部屋で一夜を明かし、朝食後、会議室に案内され、そこで二人は、Thorn、Clayton、Langley から、iDoc による事故は、外部サーバーからの停止コマンドによるものではなく、iDoc 自身の試行錯誤的処理機能によること、また、これまで 18 名の患者を死亡させたことを聞く。Paula と George は、メディアには情報を流さないという約束で解放された。Paula の家で楽しい時を過ごしたが、Paula は、George と意見が合わなかった。Paula は、Thorn の提案を飲む方向で考えていたが、George は、事件を公開することを考えていた。Paula は、Rohypnol(フルニトラゼパム、睡眠導入剤)の入ったワインを飲ませ、Gorge を眠らせた。その間に、Paula は Thorn に電話して、George の車をアパートに運び、George を捕まえるよう指示した。Dr. Paul Caldwell に、無記名の手紙が届いた。手書きの字体から George からであることが分かった。「一週間以内に私から便りがない場合は、記された場所に連絡を頼む」と書かれていた。

ここで物語は終わる。

第 29 冊目　April 24, 2015
Danielle Steel の'Power Play' (Delacorte Press)

二人の男女の CEO の仕事、家庭生活、恋愛における葛藤を描いた小説である。ハーバード大学卒のエリートのフィオナ・カールソンは、カリフォルニア州パロ　アルトにある巨大ハイテク企業 National Technology Advancement (NTA)の女性 CEO である。フィオナには、夫デーヴィドと離婚後、娘のアリッサ、息子のマークのシングルマザーとして、仕事に専念していた。社内では、役員会議委員長のハーティング・ウィリアムスと権力争いに悩んでいた。社内の機密情報がマスコミに垂れ流されていることが発覚し、フィオナは、FBI に捜査を依頼した。その結果、意外にも、この漏洩事件には、ハーディングが関与していること、またハーティングは若い女性と不倫関係にあることが解り、役員会議を開いて、ハーディングを解雇することができ、ようやく、会社を意のままに動かせる体制になった。フィオナは仕事に生きていた。

　マーシャル・ウェストンは、マリーン郡にあるアメリカ国内で２番目の巨大企業 United Paper International (UPI)において、有能な CEO として認められていた。マーシャルは、献身的な妻ライザ、長男のトム、二男のジョン、娘のリンジーと幸せな生活を送っていた。しかし、マーシャルは、女癖が悪く、乳癌患者のメガン・ウィラーからはセクハラで訴えられていた。これは、会社のバックアップにより、示談に持ち込み、裁判沙汰にならず解決できた。しかし、マーシャルは、8年間、毎週末、アシュリーと不倫を続けており、二人の間に２人の女の子がいることが発覚した。アシュリーからは、結婚を依頼されていた。マーシャルは二人の女性との間に板挟みになり、な

かなか対応策が浮かばない。そんな中、アシュリーは、幼馴染みのジェフと再会し、二人の間に愛情が芽生えた。試案の挙句、マーシャルは、ライザと離婚し、アシュリーと結婚することに決心した。しかし、アシュリーからは、マーシャルは会社に対する保身が最重要であり、自分に対する愛情はないことを悟り、マーシャルから疎遠になって行く。

マーシャルは、二人の女性（ライザ、アシュリー）から拒否されたことになる。マーシャルは、ボストンにある会社からリクルートされ、UPI を辞めることになる。ボストンに向かう機内、ファースト・クラスの隣りあわせになった女性と親しくなり、彼女とデートをするようになり、ボストンでの新生活が楽しみになる。フィオナは、新しいボーイフレンドができ、また、娘のアリッサとジョンとの仲が復活し、ようやく落ち着いた生活ができるようになる。ライザ一家は、３人の子供達と新居に向かった。アシュリーはジェフからプロポーズを受け、ビーチ近くの新居に構える夢を語りつつ、小説は終わる。

どの様な生活であり、愛情のある夫婦生活が最も大切であることを、考えさせられました。

第 28 冊目 April 9, 2015
Stephen King の‘11/22/63’(Scriner 2011) 849pages

第 35 代アメリカ合衆国大統領ジョン・フィッツジェラルド・ケネディ（John Fitzgerald Kennedy、1917 年 5 月 29 日生まれ）は、在任中の 1963 年 11 月 22 日にテキサス州ダラス市で暗殺された。スティーヴン・キングは、想像を働かし、その当時に戻り、歴史を変えて、ケネディー暗殺を防ぐことができるか挑戦する。

ジェイク・エッピンは、メーン州リスボンフォールズの 35 歳の英語の先生であった。彼は学生達に、自分の人生を変えるような出来事について書かせた。その中の１つが彼の注意を引いた。それは、50 年前に、ハリー・ダニングの父（フランク）が帰宅し、ハリーの母、妹、弟を大ハンマーで殺したことが生々しく記されていた。このエッセイがジェイクにとり重大な転機となり、1963 年のアメリカで起きた事件に向かわせる。ジェイクの友達で、地方で簡易食堂を営むアルは、ヘビースモーカーで肺がんになり瀕死の状態であった。アルは、ジェイクに、ノートを見せた。最初は読みやすかったが、意識が朦朧とした状態になってからは、段々不文章が不明瞭になっていったが、意は解すことできた。そこには、「ケネディーを助けろ、マーチン・ルターを助けろ、人種暴動を止めろ」と書かれていた。ジェイクはアルに感化され、ケネディ大統領暗殺を防ぐ使命を持つ。ジェイクは、ジョージ・アンバーソンと名前を変え、1958 年にダラスに向かう。先ず、小手試しに、ジェイクは、フランクと銃撃戦の末、フランクを銃殺し、死者の数を２名まで減らすことができ、幸先良いスタートを切る。1963 年になり、容疑者のケネディ大統領暗殺の容疑者の主犯であるオズワルドの住むアパートの下の階に住み込み様子を伺っていた。ネネディー大統領が車で凱旋している時（ランチタイム）、銃で狙いを定めているオズワルドに、ジェイクは声をかけ、注意をそらした。そのお蔭で、ケネディー暗殺を防ぐことができたが、恋人のサディーが銃で撃たれてしまう。

その後、オズワルドは、ダラスの郡の刑務所にいれられ、カルーセルクラブ経営者のジャック・ルリーにより、犯罪裁判にかけられないまま、告白の機会を与えられないまま、腹部を撃ち

抜かれて殺された。ケネディー大統領の暗殺者は、オズワルドの可能性が高いが、いまだ不明である。

第 27 冊目 February 20, 2015
Nicholas Sparks の‘The Longest Ride’(Grand Central Publishing 2013) 471 pages

二つの独立したカップルの話が進行して行くが、最後に運命的なつながりが待っている。91 歳のイラ　レビンソンは、9年前に妻のルースを亡くして以来、体力の衰えを感じるようになっていた。車を運転中にガードレールに衝突して土手に乗りあげてしまった。記憶喪失に陥り、出血した手でハンドルを握ったまま身動きできない。死んだ妻の顔が思いだされ、ここから過去への回想に入る。イラとルースは、ユダヤ教会の集会所で、第二次世界大戦前に知りあい、結婚する。イラは戦争中に空軍に参加し被弾して病院に収容される。おたふくかぜの感染により生殖機能を失ってしまう。戦後、二人は再会し、結婚生活に戻る。イラは、男性服飾小売商人として、ルースは学校の先生として働いていた。ルースは、暴力を振う問題児のダニエル　マッカラムの教育を抱えこむことになる。ダニエルは、ルースが好きになり、日に日に性格が改善されて行く。ルースもダニエルを自分の子供として引き取り、育てたいと思うまでになる。しかし、ダニエルは不登校になり、消息を絶ってしまい、この夢は潰えることになる。ルースは、絵画の蒐集に興味を持つようになり、ピカソの青の時代などの著名な画家の作品を次々購入しては、家の壁に掛け始める。幸福な生活は、しばらく続いたが、ルースが心臓発作でなくなり、イラは一人住まいの生活のなってしまう。精神的に落ち込んでいた時、一人の訪問者があった。ダニエルの妻が、ダニエルが描いたルースの肖像画を届けに来たのだ。イラはルースの肖像画が大そう気に入り、壁にかけた。イラはこの絵を見る度に、ルースを思い出しては涙ぐむ。イラは、自分の死後、ルースの絵画を競売にかけることを、代理人のサンダースに指示する。

ソフィア　ダンコは、美術館で仕事を将来の夢みる大学生である。ソフィアは、牧場を経営する母の手伝いをして、ロデオ（カウボーイの乗牛）で生計を立てているルークという若い青年に引かれる。ルークは、獰猛な牛の Big Ugly Critter に振り落とされ、頭蓋骨破損の瀕死の重傷を負い病院の集中治療室に運ばれ、何とか命を引き留めた。しかし、生計を立てるためには、この危険なロデオをやめることができず、ソフィアに愛想を尽かされる。

ルークとソフィアが車を運転中、土手に大破している車を見つける。途切れ途切れの声でイラは、手紙を探すように指示する。その手紙には、ルースに対する愛情が書かれていた。イラは病院に運ばれたが、翌日死亡する。ルークとソフィアは、ピカソなどの著名な絵画の競売の記事が目に留まり、競売に行ってみることにした。なんとそれは、イラの所蔵している絵画の競売であった。最初に、ダニエルが描いた妻の絵画がせりが始まったが、小学生が描いた稚拙な絵画であったために、買値が 1000 ドル、900 ドル、と下がって行っても誰も買おうとしない。400 ドルまで下がった段階で、ルークは買うことにした。その後、イラの遺言が発表された。「このルースの肖像画を買った人に、ルースが蒐集した絵画の全てを引き渡す」。イラにとり、ルースは全てであった。イラはルークの人生を変えた。

イラとルースは、サンダースを雇い、絵画の輸送、多量の絵画に対する税金の支払いの手続き

を依頼し、将来の夢を語り合い、物語は終わる。

イラとルースの純粋な愛情には、感動いたしました。
良い本を読む機会を与えていただき有難うございました。

第 26 冊目 February 2, 2015
Dean Koontz の‘Deeply Odd’(Bantam Books 2013) 471 pages

まだ起こっていない犯罪が、決して起こらないと確信をもてるか？それが、不安を抱えている人と話し合い、正義と平和を見つける手助けをする若いオッド・トーマスが直面している問題である。この小説では、オッドを必要としているのは生きている人々である。３人のあどけない子供（8 歳の男児 Jessie Payton、6 歳の妹 Jasmine Payton、10 歳の姉 Jordan）を含む 17 名の子供は、精神異常者の犯人により誘拐された。見知らぬ男が駐車場でオッドを射殺しようとした。オッドは誰が犯人であるかを知っている。オッドが介在しない限り、子供たちは、火刑もしくは断頭により処刑される。オッドは、得体のしれない老女と、車で危険地域へ乗り込む。守衛に見つからないように、荒廃した産業用建物（工場）の中に入ると陳列棚には切断された頭が並んでいた。さらに、犯人グループを追い求め、防弾チョッキを着ていたおかげで、銃撃戦に勝利した。アルフレッド・ヒッチコックの亡霊と、見込みのない味方の協力のお蔭で、17 名の子供たちを、無事救い出す。

私にとり、Dean Koontz は初めての作家ですが、内面描写のうまさには、素晴らしいものがあります。感銘をうけました。

第 25 冊目 October 24, 2014
Jeffrey Archer の Not a penny more, not penny less (Pan Books 2013) 336 pages

伯爵継承者、ハーリー通りの医者、ボンド街の美術品業者とオクフフォード大学教授の４名は、いかがわしい取引の帝王であるハービー・メットカーフェから、油田の富鉱帯の株を買うと儲かるという話を、信じて株をたくさん購入した。ハービーは株化が急騰した瞬間を見計らって全て売却したため、株価が急落してしまった。４人は、だまされ、一夜にして多量のお金（合計 100 万ドル相当）を搾取された。４人は団結して、ハービーから損失したお金を取り返そうと、モンテカルロのカシノから、神聖なオクスフォード大学敷地までハービーを尾行した。途中、ハービーに、プロスティグミンを飲ませ、意識を失わせ、入院させた。拳大の胆石を除く手術をするとだまし、治療費を巻き取った。ハービーが回復した頃、ハーバード大学の学位授与式に参列させて、寄附金をかすめる取ることに成功した。途中、４人の内の一人が、アンナという女性に恋をし、彼女にいろいろと悩みを相談をする。そして、二人の仲は結婚する段階まで進展する。アンナから父親を紹介され、驚く。父親は、なんとハービーであった。おそらく、ハービーもうすうす娘から状況を説明されていたのであろう、花束の代金を支払ってやり、きっかり（正確には、

1.24 ドル足りないが)、清算した。

第 24 冊目 September 30, 2014

Patricia Cornwell の Dust (Little, Brown 2013) 495 pages (及び Patricia Cornwell の紹介、by James Kidd)

アメリカ歴史上最悪の大量殺人を解決した、主任検視官ケイ・スカルペッタは疲弊した身体を癒すため、家で療養していた。それもつかの間、また仕事を依頼された。22 歳の女性大学院生ゲイル・シップトンの死体が、MIT の安全なゲートの中の、運動場の端の泥濘の中に発見されたのだ。予備的な検査により、死体は細かい塵で覆われていることがわかった。紫外線をかざすと、死体全体に、高濃度の蛍光性の粉が、鼻、歯、鼻腔、死体全体から、また、肺からは、ライクラの繊維が検出された、このような殺人の手口の類似性から、ワシントン D.C.の一連の殺人事件とリンクしていることが想定された。スカルペッタは、違法製造された麻薬幻覚剤、組織された犯罪、贈収賄の闇に引きずりこまれる。ダニエル・メルサは、ポルノグラフィックに夢中になる歪曲した性格を持ち、中国の研究所から入手した麻薬幻覚剤(MDPV)常用者である。ダニエルはサーカス興業でアメリカ各地を巡回する間に、９人乗りサバーバンの後部座席で、窒息による殺人を繰りかえしていた。車中では、死体から検出されたライクラの靴下が見つかり、逮捕され、バージニアの刑務所に送還された。また、死体の DNA プロファールを書き換えて、罪を他人にかぶせていたエド・ブランビーが逮捕され、事件は解決した。

巻末に、James Kidd によるパトリシア・コーンウェルについての解説がついておりました。その要約は以下の通りです。
パトリシア・コーンウェルは、現在、57 歳。1984 年、バージニア検死官。1990 年に種々賞を受賞。ヒーローのスカルペッタのナレーションに重きをおいた。2005 年、Dr. Staci Gruber と結婚（小説では、数年後、スカルペッタとベントン・ウェスリーが結婚)、試着しなれば派手な買い物をしない完璧主義であり注意深い。2003 年までは、スカルペッタの明晰な大局観、2003 年以降は、第三人称のナレーションを重要視する。連続犯人に対しても３次元的にとらえ、悪いことを行っているので、社会から排除すべきであるが、好感・共感が持てないわけでもない。一番よいのは殺してしまうことだ。財産のないものは、金持ちとは違う。財産のないものは刑務所に入れられると、金持ちよりも死刑を受けやすい。犯人は、最後にならないとわからない。スカルペッタは、コーンウェルの心であり、姪のルーシーは、コーンウェル自身である。スカルペッタの部下のマリーは、スカルペッタをレイプしようしたが、そのことをスカルペッタは理解しようとした。小説では、夫のベントンは、一旦死んだことになっているが、ベントンがいないと寂しいので、長期にわたる小説の作成を考慮し、再登場させた。この今回の小説 Dust において、スカルペッタは、政府の退廃を怒り、関係者を容赦しない。この様な勇ましい姿は過去の小説では描かれてこなかった。法律に外れたことはしない。I work really hard and I refuse to sit on my laurels. I will always have moved on to something else. That is the competitor in me. I keep running to the next thing. （現在の栄誉に満足しない。いつも別のものに向かって動いてきた。私の中には、競争相手がいる。私は、次のものに向かって走り続ける。）

第 23 冊目　September 3, 2014

Patricia Cornwell の The Bone Red (Little, Putnam 2012) 463 pages

カナダ北西部のアルバータ州パイプストン支流のキャンプ場を拠点に、48 歳の女性の古生物学者エンマ・シュベルトは、恐竜の骨層を発掘していた。8 月 23 日夜 11:00 頃、キャンプ場の樹木地帯で目撃されたのが最後に、彼女は消息を絶つ。彼女が紛失した iPhone が紛失から、ローガン空港の無線ネットワーク経由で、ちぎれた耳の jpg 写真と、消息を絶つ 2 日前に、ワピティ川の骨層にジェットボートで旅行している姿が写っているビデオが、2000 マイル離れたボストンの検視官ケイ・スカルペッタの受信機に届いた。後、何故そんなものが送り届けられたかわからなかった。また、この耳はエンマのものかどうかと不明であった。不思議なことに、家族、知人は、エンマが失踪したことを知らない。

その後、６ヶ月の間に、この地域で、ペギー・スタントン、ミルトレット・ロットが失踪するという事件が相次いで発生する。殺人者は、成熟した女性を狙っており、残酷な殺人の仕方の共通性から、スカルペッタは事件に関連性があることに気付く。河原では、オサガメがロブスター捕獲船にぶつかり、引き揚げられたが、その海面下から女性の死体が見つかった。オサガメが釣り糸に引っ掛かり、ヒレに巻きついた釣り糸に死体も一緒に運ばれたものと思われた。スカルペッタは、夫の秘書と浮気に孤立感を味わいながら、非情な殺人者の追跡を続ける。ペギーが運転していた車のカーペットから、線維性の赤い木片が検出された。やがて、エンマの死体が、パイプグリーク・キャンプ場から 5 マイル以内の地点で発見された。

スカルペッタは、銀色のジープに乗った男（アル・ガルブレイス）に、頭部に打たれ気を失う。さらに、車中でさるぐつわをされ、オサガメと同様に、ネットでくるまれた。この男は、エンマを同様に殺したに違いない。アルが油断しているすきに、スカルペッタはさるぐつわをはずし、アルを逮捕した。アルの母親は脳卒中により認知障害になっており、ガールスカウトの顧問公文書保管係をしていた。アルは取り調べを受け、ゴミ袋、ビール瓶、ネコのエサ袋、爆発した家の木片の繊維、ペギーの死体、ペギーに支払った小切手、そして車のバックミラーかアルの諮問が見つかり、全ての殺人にアルが関与していた疑いが濃厚になった。さらに、水辺の家には、母の所持品が隠されており、引出の中から、ペギーの衣服、イルトレットのネグリジェが見つかった。ロブスター捕獲船の塗料が、オサガメに付着しており、フジツボの塗料と一致した。そのボートは、ペギーが回収された地域でオサガメに遭遇したものと思われた。そして、エンマの携帯をとり、通報したのだろう。しかし、何故、ミルトレットの死体が犯人のフリーザーの中に凍った状態で保管されていたか不明である。たぶん、夫が関与しているのだろう。以上、最後の１０ページでようやくことに真相に触れました。

第 22 冊目　August 8, 2014

Patricia Cornwell の Red Mist (Little, Brown 2011) 498 pages

女性検屍官ケイ・スカーペッタは、重警備のジョージアにある女性刑務所(GPFW)で囚人のキャサリーン・ローラに合うことになった。キャサリーンは、有罪の判決を受けた性犯罪者であり、冷酷な殺人者の母であった。キャサリーンは、年下の男子と性交し、サヴァンナ総合病院で一卵性双生児のドーンとロベルタを出産する。この２人は幼少のころ、離れ離れになり、ドーンは材料科学、ロベルタは薬学の大学院に進む。ドーンはジャック・フィーリングを殺し収容所に入れられていた。キャサリーン、ジャイム、そしてドーンが何者かにより殺された。スカーペッタは、9年前に起こったサヴァンナ家の殺人事件と、これらの続殺人にパターンの類似性を見い出し、共通の犯人の可能性が想定した。新技術のエピジェネティック変化（メチル化、ヒストンのアセチル化）解析を駆使して本格的操作に乗り出す。キャサリーン、ジャイムの胃内容物を調べた結果、ボツリヌス毒素が検出された。宅配便で毒素入り寿司が運ばれてきた時、その時隠しカメラに、ウインドブレーカーを着た女性の姿が写っていた。ロベルタは、刑務所薬剤師として、通常の致死量の２倍量の毒殺していたことが判明した。スカーペッタは、ヴァンナ家の事故現場を訪れた。ウインドブレーカーを着たロベルタが夫と二人で生活していた。スカーペッタの推察は、以下のとおりである。ロベルタは、調剤室を抜け出し、サヴァンナ家の人々を殺害し、血痕のついた衣服を風呂場におり、調剤室に戻った。これは、あくまで推測である。物語は、逮捕する場面もなく終わる。

第 21 冊目 July 13, 2014

Robin Cook の Death Benefit (Putnam 2011) 418 pages
これは、第 20 冊目(Robin Cook の Nano)の前作にあたり、主人公のピアの過去を知ることができます。

ピア・グラズダニ（アルバニアとイタリアの混血）は、父親と叔父から虐待され、警察により、６歳から、養育院に連れて行かれ、そこで育てられた。コロンビア大学４年生になったピアは、内科を選択科目に選ぶ。彼女の指導者であるトビアス・ロスマンは、山本博士の強力な実験支援により、ノーベル賞およびラスカー賞を受賞しており、その後、再生医療の研究を精力的に推進していた。ロスマンは、非社交的であり周囲から嫌われ、また、妬まれてもいた。ピアは、ロスマンが養育院への返済金を立て替えてくれたので、修道女にならずに、研究に没頭するようになる。そんな中、突然、ロスマンと山本は眩暈を訴え病院に運ばれた。病院内部では、サルモネラ菌による感染であると判断し、第３世代セフェム系抗菌薬よりも効果のあるクロラムフェニコールを投薬した。しかし、病状はよくならず、投薬から数日で二人は死亡した。ピアは、急死の原因が何であるかを探ろうとしたが、病院の警備員は、協力もせず、逆に妨害・恐喝され、死因がサルモネラ菌の感染以外にあるのではないかと疑うようになる。夜、ガイガーカウンターを持って研究室に忍び込んだところ、ロスマンと山本博士が飲んだコップからポリニウムの放射能が検出された。さらに確証を得るため、病理解剖室のスタッフにお願いして、ホルマリン付けのロスマンの死体の小腸の標本を見せてもらった。思った通り、針が振り切れるほどの高濃度のポロニ

ウムの放射能が検出された。ロスマンは毒殺されたに違いない！

ラッセルとエドモントは、ロスマンと山本が、再生技術の特許をコントールする会社を設立することを快く思っていなかった。エドモンドは、アルマニア人のブタにお願いして３人の手下に、ロスマンを殺させた。ピアは、寮に戻る途中３人の手下につかまり、麻酔薬で眠らされ連れ去られた。ピアの父親のブリムは、ブタとも兄弟である。ブリムは、ピアと 15 年ぶり再会を果たし、ピアが実の娘であることを確認した。ブタは、ブリムに娘の命を助けるから、娘に調査は打ち切り、手を引くよう、説得をお願いした。ピアは、自分自身で捜査を続けていてもそれほど成果が上がらないだろうし、警察が捜査をしてくれるものと判断して同意した。最後は、エドモンドとラッセルが射殺されて物語は終わる。

第 20 冊目、June 23, 2014

Robin Cook の Nano (Putnam, 2012) p436

女医のピア　グラザニは、指導者が殺され、疎遠になっていた父から逃れるため、ニューヨークを離れて、コロラド州にあるナノ研究所に勤務していた。ピアは、ジョギンギ中に、中国人の男性が心停止状態で倒れているところに遭遇した。必死の心肺蘇生を繰り返し、この男性は呼吸を再開したので、近くの病院に搬送した。ポール医師が診察をし、体温の正常値にもどり、心電図は正常であったが、念のために血液を採取して精密検査をしようとしていた矢先、ピアの上司のホウィットニーと二人の中国人の警備員が病院に押し入り、強制的に患者を連れ去った。ピアは、不審に思い、ナノ研究所で何が作られているのかを探ることを決意した。所長のバーマンは妻子があるが、ピアに夢中であった。ピアは、ポールからもらった睡眠薬をウィスキーにいれ、バーマンを眠らしている間に、バーマンの家を捜索したが、収穫はなかった。しかし、研究所の別棟で何か秘密の作業が行われているようであった。別棟に入り込むためには、そこで勤務している従業員の目が登録されているＩＤカードをモニターに認識させる必要である。ピアは、危険を覚悟で、２度目にバーマンの家に行き、バーマンを酔わせたすきにバーマンの顔写真を撮ることできた。別棟に乗り込んだ時目撃したものは、人体実験に使用されている死体であった。しかし、バーマンを認識するシグナルが真夜中に２度点滅し、ホウィットニーに不審に思われ、ピアは捕まった。この研究所では、赤血球よりも効率的に酸素を運搬する 4 μm 程度の大きさの respirocyte を開発中であった。これは、たとえ心臓が停止しても数時間脳に酸素を提供できる。バーマンの母親はアルツハイマー病であり、この respirocyte を病気の治療にも使おうとしていた。ピアを救出しようと、ポール、そして、ピアの大学時代の友人のロバートもともに必死になるが、なかなかピアの居場所をつかめない。そこで、ピアの父の協力を得て、ピアがロンドンにいることを知る。オリンピック競技場では、バーマンは、中国人のジミー、ホウィットニーと、女子の 10000 メートル決勝を観戦していた。予想どおり、respirocyte を投与された中国人の女性選手が優勝した。しかし、この respirocyte は、ジミーとホウィットニーが共謀してナノ研究所から盗んだ技術により、中国で製造されたものであること、そして、お金の譲渡もなく知的財産、施設が全て、中国側に持ち去られたことを知る。一人、残されたバーマンは、飛行機で帰路に発つが、途中発生したメキシコ湾流に呑まれ、飛行機は爆発し、消息を絶つ。大変、スリルのある小説でした。現在、

酸化チタンのナノ粒子が炎症を増悪する研究をしているので大変興味深く読みました。

第 19 冊目、June 4, 2014

Dan Brown の Inferno (Random House, 2013) p463

ハーバード大学で象徴学教授のロバート・ランドンは、深夜フィレンツェの病院で目覚める。頭部を損傷され、36 時間前からの記憶が曖昧になっていた。負傷いたランドンは、何者からに狙われており、付添の医師の一人が射殺され、女医のシエナに命からがら救われ、彼女のアパートに身を潜めていた。ランドンは、何故、自分は、追われる立場にあるのかわからなかった。しかし、記憶が徐々に回復し、ビデオテープによりランドンは、陳列ケースから、ダンテのデスマスクを取り出し、その裏側を見ていたことを知る。そのデスマスクの裏には、7 文字が記されており、マルサス主義者（過剰な人口を増やさない主義）のゾブリスト博士が遺伝子工学技術で作成した不妊ウイルスの入った袋の在り処が記されていた。エリザベス・シンスキー博士は、ランドンを使って、ウイルスの隠し場所を特定させるはずであった。その袋は、イスタンブール市の貯水槽にあることが解り、ランドンとシエナは、その袋が崩壊してウイルスが拡散する前に、袋を回収しようとした。しかし、駆け付けた時には、既に、袋は崩壊しており、ウイルスは空気中に飽和した状態になっていた。その時、水槽のある地下では、リストのダンテ交響曲が流れており、脱出を急ぐ人だかりで混乱を極めた。このウイルスは、ヒトを殺すことはないが、全世界の人口の 1/3 が不妊になるように設計されていた。シエナは、自殺したデブリストの初恋の女性であり、医師の射殺はトリックであり、ランドンからデスマスクを取り戻すために芝居を打っていたことが明るみにでた。既にウイルスが蔓延し、その拡散は防止できない状態であった。シエナは、デブリストを尊敬しており、デブリストの思想を信奉いていたが、新スキー博士とともに、ジュネーブで開催される対策委員会に向かった。物語は、不妊ウイルスに対する撃退ウイルスの作成が成功したか否かは、明らかにはせずに終わる。フィレンツェやイスタンブールの歴史的建造物の描写、ダンテのベアトリーチェに対する愛など、ほかにも興味が尽きない作品でした。

第 18 冊目、May 10, 2014

Jeffrey Archer の Be Careful What You Wish For (Macmillan)
The Clifton Chronicles Volume Four

自動車事故で、亡くなったのは、セバスチャンではなく、密輸業者のマルチネスの息子のブルーノでした。マルチネスは、フィッシャーを利用して、クリフトン家への復讐を誓います。養子のジェシカは、バージニアより出生の秘密を聞かされ自殺に追い込まれます。しかし、マルチネルやフィッシャーの執念深い陰謀に苦しめられても、エンマは、ロス・ブキャナンの後任としてバーリントン船舶会社の議長の席を継ぎ、ジャイルズは、家族一致の応援により、議員選挙に勝ち、欧州担当大臣に任命されます。そして、イギリス王女陛下を招いてのバッキンガム号の就航記念式典を行い、エンマとハリー夫妻、息子のセバスチャンと婚約者のサム、ジャイルスは、ニュー

ヨークへの処女航海に発ち、全て順調に進行しておりました。しかし、マルチネスは手下に、彼らの客室に時限爆弾を潜ませた菊の鉢を置かせ暗殺を企てます。そして、爆発予定時刻の 3:00 に、爆発音が響いたところで、物語は終わります。

次号 5 巻は、2015 年に発行予定だそうです。彼らの運命は全く分からず、アーチャーの構想にゆだねるのみです。アーチャーは、素晴らしいストーリーテラーです。

第 17 冊目、April 7, 2014

Lee Child の A Wanted Man (Delacorte Press)

主人公の Jack Reacher は、ヒッチハイクを乗り継いで、バージニアに行こうとしていた。二人の男性（Alan King と Don McQueen）と後部座席の女性 Delfuenso（一人娘 Lucy の母）が乗っている車が拾ってくれた。しかし、乗ってみると、Delfuenso は終始沈黙を守っており、なんとなく、不自然な雰囲気が漂う中、Reacher は Delfuenso から手話で、この車は自分の車であり、King と MaQueen に盗まれたものであること、彼らは銃を持っていることを、伝えられた。この２人は、燃料庫で殺人を犯した指名手配中の男であり、Reacher を拾ったことは、指名手配の疑いの逃れ、逃走するために利用したことを知る。Lucy が誘拐され、また、切断された腕が見つかり、Delfuenso が殺されたと思われた。Reacher は Sorensen と一緒に捜査を開始した。Alan は、King を射殺し、Sorenson も流れ弾に当たり死亡する。Lucy と Delfuenso は無事救助され、Reacher は、King を倒し、物語は終わる。

第 16 冊目、March 4, 2014

John Grisham の The Racketeer (Belfry Holding, Inc)

アメリカの歴史において、これまで、５人の現役連邦政府の裁判官しか殺されていない。レイモンド　フォーセット判事が第５番目の犠牲者になった。連邦政府の捕虜収容所にいた前弁護士のマルコーム　バニスターは、誰が、何故、フォーセット裁判官を殺したかを知っていた。フォーセット裁判官と若い愛人の秘書が人里離れた湖畔のバンガローで殺され、金庫から純金が盗まれた。この 10 億円相当の純金は、フォーセットが関与した、金鉱の開発に絡む裁判で報酬してもらったものであった。バニスターは、誰が殺したかを教える代わりに出獄させてもらえるかと相談にもちかけた。バニスターの相棒のクインを犯人にしたてて、出獄できた。そして、名前をマックス　リード　ボールドウィンに代え、整形して逃亡した。ボールドウィンは、真犯人のナタンに接近し、純金のありかを聞き出した。そして、恋人のクインの妹のバネッサに、ナタンが盗んで裏庭に隠した棺の中から純金を掘り出し、トラックで運び出す。やがて、ボールドウィンが純金の塊を手にしていることがわかり、怪しまれるが、ナタンが真犯人であることを陳述して、容疑から逃れた。最後は、バニスター、恋人のバネッサ、兄のクインは、純金で楽しい旅に出るところで物語は終わります。

第 15 冊目、February 4, 2014

（James Patterson の Alex Cross, Run)(Little, Brown and Company)

形成外科のエリジャー・クリームは手術の腕の良さ、そして、未成年のストリーッパー、麻薬、フリーセックスの夜のモデルを紹介する「産業パーティ」で名が通っている。刑事アレックス・クロスにより豪華の夜会が台無しなってしまい、クリームの楽しみは潰されてしまった。クリームは刑務所に送り込まれないよういろいろと手を尽くす。しかし、アレックスは、この件にばかり、こだわっている時間はなかった。美しい女性が車の中で死体で見つかり、一房の髪が冷酷にも毟り取られていた。第２の犠牲者は、６階の窓から吊るされた状態で見つかり、腹にナイフによる裂傷があった。第３の切断死体が見つかった。これらの連続殺人の噂は、ワシントン DC 中に広まり、狂乱状態に陥ってしまう。アレックスは、連続殺人事件を解決しなければならないという重圧を感じるが、自分が誰かに調査されていることには気付かなかった。その後、連続殺人事件が次々と起こり、依然として犯人像が浮かび上がってこない。しかし、検死の結果、これらの連続殺人は、クリームが使用した手術用のナイフによるものであることが判明し、クリームが重要人物に浮上した。クリームは家庭不和に悩まされていた。クリームは、妻を暗殺をするため、鬘をかぶって変装して、高速バスでに乗り込み、妻のいるロッドアイランドの豪邸へと向かう。そこで、妻を殺害し、次に娘を殺そうとするが、アレックスに取り押さえられた。アレックスから逃走中、螺旋階段から落下して、脊髄を折ってしいし車椅子で病院に運ばれた。これで事件は解決したかに見えたが、そうではなかった。アレックスの養子のアバが依然行方不明であったが、焼死死体で見つかったのた。アレックスは犯人のガイディスと死闘を繰り広げ、妻ブリーの一撃により九死に一生を得た。ガイディスの死で事件はようやく解決した。

第 14 冊目、January 12, 2014

James Patterson and Mark Sullivan の Private Berlin

ドイツの最強の犯罪捜査組織本部である Private Berlin の一員であるクリスが、犯罪捜査中に行方不明になる。同じく、Private Berlin の一員であり、クリスの昔の婚約者であったマチルダは、クリスの捜索に向かう。そのうち、畜殺場（食肉処理場）でクリスの死体が、多くの女性の頭蓋骨とともに発見される。犠牲者は、すべて、以前、クリスが預けられていた孤児院にいた者たちであった。フォークの父は、この畜殺場を 1960~1970 年代に国のために経営していた。フォークの母は、ドイツの国立オペラのメークアップアーティストであった。フォークは優秀な学生であったが母の投獄後、気が変になり、動物を殺すことに快感を覚えるようになる。東ドイツ秘密警察長のミエルケは、フォークを兵卒の名簿に載せ、殺人者として鍛えた。ベルリンの壁の崩壊後、フォークは、仮面をかぶり、偽名を使い、姿を晦ました。マチルダは、逃走中のフォークを見つけ、死闘の末、逮捕した。大変息のつまるクライマックスです。

第 13 冊目、December 27, 2013

James Patterson and Maxine Paetro の The twelfth of never、Little, Brown and Company

タイトルの The twelfth of never は、1950 年代の、男性の女性への愛をうたったラブソングである。主人公の女刑事のリンジーは、ジョーとの間に、娘ジェリーを授かり、幸せな時を過ごしていた。そんな時に、サンフランシスコ市で、３つの殺人事件が起こる。一風変わったイギリス人の教授は、共謀な殺人事件が起こる悪夢を見る。彼が殺されてから、それが現実の殺人事件であることがわかる。次に、サンフランシスコ４９マーのプロフットボール選手の女友達が、車中で殺されているのが発見され、その選手が容疑者であると思われた。死体が安置所から消えてしまう。警察の上司からの要望で、生後１週間のジュリーが、病理医が誤って、単核症を悪性リンパ腫と診断され、気が動転したまま、事件の解決に乗り出す。やがて、死体が発見され、交通事故で脳震盪を起こした真犯人が逮捕される。この犯人は、入院中、逃走してしまう、ところで、物語は終わる。起伏に富んだサスペンスでした。

第 12 冊目 December 16, 2013

Danielle Steel の The Sins of the Mother、Delacorte Press, 2012

オリビアは妻子ある男性と母モリベルの間に生まれた、パワフルな女性事業家である。夫ジョーとの間に４人の子供（兄のフィリップ、姉のエリザベス、弟のジョン、そして妹のカサンドラ）を儲ける。しかし、フィリップは、派手な暮らしを好むアマンダの機嫌とりに苦しみ、エリザベスもソフィーとキャロルの２人の娘を授かるが、夫のジャスパーと離婚し、ジョンとサラの間にできたアレックスはホモであり、末娘のカサンドラは結婚をしない、など、それぞれの家庭生活はしっくりしない。また、子供たちは、オリビアの生活に不審を抱きはじめ、オリビア家に不和が生じる。オリビアは、夫の死とともに、家族の絆をもとに戻すことを考え、一家全員の地中海旅行を企画する。寄港地での水泳、釣り、ショッピング、楽しいディナーなど夢のような休暇を満喫し、オリビア家に漂っていた不和は解消し信頼関係を取り戻した。その後、フィリップは、アマンダとの離婚が成立しないうちからテイラーと、エリザベスはアンドリューと、カサンドラはダニーという新しい恋人ができる。祖母のモリベルの死後、家族は再度集まり、家族の皆が同じ過ちを犯してきたことに気付く。フィリップはアマンダと離婚し、テイラーと正式に交際する。ピーターは正式に離婚する。カサンドラは、ダニーとの間にできた子を無事出産する。オリヴビアとピーター、カサンドラとダニーは同時に結婚式を挙げる場面で、物語は終了する。家族愛の大切さを考えさせられる小説でした。

第 11 冊目 November 27, 2013

Danielle Steel の Friends forever

幼稚園の最初の日に５人(Original Big Five)、Gabby, Billy, Izzie, Andy, Sean は、出会います。それぞれ、両親の離婚や、再婚などで悩みながら、スポーツ、医学、芸術の分野で能力を発揮して行きます。しかし、Sean の兄の Kevin が薬の売買で取引業者に殺されのを皮切りに、Gabby は交通事

故死、Billy は家出の不和により麻薬の過量摂取で死亡、医学部に進んだ Andy は、脳膜炎から子供を救えなったことから自殺と次から次へと不幸が訪れます。Sean も、自分で志願した FBI の任務中、胸と足に５発銃弾を浴び、瀕死の状態で病院に担ぎ込まれ、やっと命は取り留めることができました。最後に残った Sean と Izzie (Isabel が正式名)は、Sean が FBI の仕事を辞めることにより、二人睦まじく結ばれて幕を閉じます。友人愛を描いた良い作品でした。

第 10 冊目 November 11, 2013

Danielle Steel の Until the end of time
この作品は、２つの物語から成り立っております。
第一話は、Bill と Jenny というタイトルです。
ファッションの仕事に多忙な Jenny と、神学校を卒業し職を探している夫の Bill は、New York で生活しております。Jenny は仕事のし過ぎのためか流産します。Wyoming に移り、Bill は牧師の職を得、Jenny も夫の仕事を手伝い幸福な生活が始まりますが、また、流産してしまいます。そんな時、夫から暴力的迫害を受けている妊娠中の 14 歳の Lucy から子供を養子をもらうことになります。しかし、Bill は夜の騎行中に、峡谷のクレバスに落ち死亡し、その四日後には、Jenny も大型トラックと正面衝突して死亡します。Lucy は子供を産み、Jenny となずけて前半の物語は終わります。

第二話は、Robert and Lillibet というタイトルです。
後半は、話が、前半の 1975 年から、一気に 2013 年に飛びます。Lillibet は、母親から読書の喜びを教わり、小説家になりたいと思っておりました。Lillibet の小説が New York で編集をしている Robert の目にとまり、出版をするよう依頼されます。しかし、アーミッシュの Lillibet は、父親から他州に行くことを禁止されているにも関わらず、１週間の日程で Robert に会いに行き、編集を完了させます。そして、また、古巣に戻りますが、父親から追放され、行く所を失います。New York に車で戻る途中に、運転手が酒気帯び運転のため、トラックの正面衝突にあい、意識不明のまま病院に運ばれます。Bill の手厚い看護、父親も呼び戻され、Lillibet は、夢うつつの時、無意識に Lucy と叫び、やがて、回復します。父親は、Bill と Lillibet の結婚を認め、物語は happy end を迎えます。この二つの物語は、永遠の愛情で結ばれております。

第 9 冊目 October 27, 2013

Jeffrey Archer 作の Clifton chronicle の第３作目にあたる”Best Kept Secret”
ハリーとエンマは、二人の父親が同じである可能性を否定できないまま、正式に結婚します。また、二人の間に生まれたセバスチャン以外には子供を作らないことを誓約させられ、エンマの父（ヒューゴ）が愛人に作らせたみなしごのジェシカを養子として引き取ることを決意します。エンマの兄のジャイルズは、遺産相続者になり、議員の地位を得ます。しかし、ジャイルズは、私利私欲の強い妻のバージニアとの間に深い亀裂を生じます。離婚の手続きが完了する間際で、ジ

ャイルズは二回目の議員の選挙を迎えます。バージニアは、クリフトンに敵対するフィッシャー少佐と共謀して、対抗馬を立てて、夫のジャイルズの選挙運動を妨害します。選挙は、セバスチャンやジェシカの協力も加算され、４票差でジャイズルがかろうじて勝利をものにし、２期目の議員生活を送ることができるようになります。バージニアはジャイルズと正式に離婚します。セバスチャンは、17 歳にまで成長しますが、学校をさぼり家出中に、密輸業者のマルチネスにつかまり、利用されそうになりますが、無事父親のハリーに救出されます。しかし、クリフトン家の成功をねたむグループにより、連れ出され、交通事故を装った事故で殺され、第３作は幕を閉じます。

物語は、まだこの段階で 1957 年です。2020 年にまでこの物語は、続くので、まだ Clifton chronicle は続きます。とりあえず、第４作目は、来年の 3 月に、"Be careful what you wish for" として発売されるそうです。このシリーズが５作で終わるか、それ以上続きかは著者も分からないそうです。

第 8 冊目　October 15, 2013

Jeffrey Archer 作の Clifton chronicle は、バーリントン家とクリフトン家の間の恋愛、遺産相続に関する３部作からなる小説です。今回は、第２作にあたる The sins of the father を読了いたしました。

第一作では、バーリントン家のエンマとクリフトン家のハリーは、恋に陥り、結婚式までたどり着きます。しかし、結婚式の時に、ハリーは、エンマの父（ヒューゴ）とハリーの母親（メーシー）の間にできた子供であることが明らかになり、結婚式がご破算になります。ヒューゴーはいたたまれず逃亡し、ハリーも英国から船で脱出しますが、ドイツ軍の魚雷攻撃を受け、船は沈没し、かろうじてアメリカにたどり着きます。ここで第一作は閉じられます。

第二作では、ハリーが無事であることを確認するために、エンマはアメリカに渡ります。エンマは、ニューヨークで大変話題になっている小説を読んでみようと思い立ちます。著者はハリーではありませんでしたが、内容は、ハリーと、自分が主人公であることは明白でした。エンマは、ハリーがまだ生きていることを確信します。最後は、ニューヨークに住む叔母の力を借りてハリーの消息を知ります。ヒューゴの長男であるジャイルズは、ドイツ軍と戦っており、アイゼンハワーの終戦の勧誘をドイツの将軍に伝え、戦争を終結させるのに貢献し、戦功十字勲章をいただきます。ヒューゴは愛人に刺殺され、愛人との間にできた娘の消息も分かぬまま終戦を迎えます。ジャイルズ、ハリーは無事イギリスに帰国し、一緒に生活するようになります。遺産相続の公開議論が行われ、ジャイルズとハリーのいずれが遺産相続者になるか、投票が行われました。その結果、同数で引き分けになり、エンマの祖父にあたる議長の投票によりいずれかが相続者になるはずでしたが、議長の容体が急変し、次の日まで延長、というところで幕を閉じます。

決着は、第三作にて明らかにされます。大変スリリングな小説を読む機会を与えていただき有難うございました。

第 7 冊目　October 1, 2013

Sandra Brown の Low Pressure

主人公の作家のベラミーは、18 年前に自分の姉のスーザンが何者かにより惨殺されたことを題材

にした小説を書いた。その本が出版されると、その内容が余りにリアルで迫真に迫るものたあるため、瞬く間にベストセラーになってしまった。と同時に、事件に関わった人たちに多くの憶測を生むことになった。ベラミー自身も、殺人犯と間違えらえて狙われてしまう。最後の２０頁前後で、最も身近な人物が真犯人であることがあきらかになり、本人の自殺により幕を閉じる。最期のクライマックスでは、死闘が繰り広げられますが、デントの暖かい愛情に包まれて、余韻を残して終わります。

第 6 冊目 September 7, 2013

James Patterson の Second honeymoon
カリブ海でハネムーンに来たカップルの殺害事件が起こります。FBI 捜査員の John O'Hara（主人公）は殺された息子の父親からから捜査を頼まれますが、ハネムーンのカップルを標的とした連続殺人事件（事件Ａ）が続きます。これと並行して、John O'Hara という名前の持つヒトをねらった連続殺人が起こります（事件Ｂ）。事件Ａは、３組のカップルが被害に合い、犯人の自殺により解決いたします。事件Ｂの犯人(Ned)は、妹が John O'Hara により殺されたと思い込んでおります。John O'Hara は、妹のお墓の前で、Ned と死闘の末、犯人を射止めます。

第 5 冊目　August 26, 2013

James Patterson and Jill Dembowski 著の Witch & Wizard: The KISS
Witch & Wizard シリーズものです。登場人物のほとんどが魔法使いです。多くの人たちが暴君に洗脳され、獰猛なユキヒョウが警護する山中に囚われていました。魔法使いの兄妹(Whit と Wisty)が、魔力を武器に暴君と戦い、彼らを救出し、平和を取り戻すという内容です。

第 4 冊目　August 16, 2013

Danielle Steel の Betrayal を読了いたしました。
女性の若き、魅力的な映画監督のタリーには、二人のパートナーがいます。アシスタントのブリジットと、映画製作のパートナーであり恋人のハンターです。タリーは、公認会計士のヴィクターから、彼女のクレジットカードが何者かによって、引き落とされていることを告げられます。ブリジットは、ハンターが犯人であることを告げます。そこで、タリーは、元 FBI のメグに、ジムに身辺捜査を依頼したところ、ハンターに新しい恋人ができ、妊娠していることを聞かされます。二人の側近に裏切らり、タリーは精神的に追い詰められます。メグはタリーにＦＢＩのジムを紹介し、さらなる調査をお願いすること勧めます。ジムのおかげで、犯人はブリジットであることが分かりました。ブリジットとの裁判争いに勝ち、また、オスカー賞も獲得し、最後は、ジムと再婚するというハッピーエンドで物語は終わります。大変感動的な小説でした。

3 冊目　August 9, 2013

Middle school: How I survived Bullies, Broccoli, and Snake Hill by James Patterson
を完読いたしました。
中学校シリーズの第４作目にあたります。キャンプでの生活のことや、初恋などを、面白く描いております。主人公は、前作に登場した Rafe で、その妹の Gerogia も登場します。

第 2 刷目 August 3, 2013

Middle School: My brother is a big, fat liar by James Patterson)(277 頁）
この本は、James Patterson の中学校シリーズの第 3 作目と思われます。
主人公のジョージア（女性）の中学校生活が面白おかしく描かれております。ジョージアには、brother（兄か弟かは不明）の Rafe がいるのですが、学校の成績については強い対抗意識があるようです。後半の方で、ジョージアは、母から養子として育てられたことを知り、一次感傷的になり休戦しますが、また、戦いが開始されます。

第 1 冊目　July 29, 2013

John Grisham 著の Calio Joe
若いバッターのポープであった Joe Castle は、Warren Tracy が投げた死球を頭に受けてしまい、意識を失い入院、一命は取り留めたものの、野球人生をあきらめる結果になってしまいました。Warren は、Joe に対する敵意のため、Joe に謝罪することもありませんでした。その後、Warren は、不治の癌に侵され余命いくばくもなくなった時、Waren の息子の Paul（主人公）の忠告により、Paul とともに Joe に謝罪に行きます。Joe から許しをもらい、Waren は間もなく息を引き取る、というような内容でした。後半の、和解する場面は感動的でした。